青苗B遺跡

～萬徳寺再建に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書～

1998年度

奥尻町教育委員会

青苗B遺跡

～萬徳寺再建に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書～

1998年度

奥尻町教育委員会

例　　言

1．本書は“萬徳寺再建に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書”である。

2．本書の編集は木村哲朗が担当し，木村・安西が分担執筆した。文責は，第Ⅰ章．第1節～第5節（1　土器，第Ⅱ章．第Ⅲ章．第1節Ｐ－1～4・6・7・10～12，第2節，Ｂ－1～4・6～15，第3節，第4節，Ｆ・Ｃ－1～17・21・22，第5・6節，第Ⅳ章．第1節，第Ⅴ章は木村が第Ⅰ章．第5節（2　石器，第Ⅲ章．第1節Ｐ－2・5・6，第2節Ｂ－5，第4節Ｆ・Ｃ－19・20，第Ⅳ章．第2節が安西がおこなった。

3．フローテーション水洗についてはエーテック環境科学研究所に依頼した。またフローテーション水洗・選別については泊村教育委員会ヘロカルウス遺跡発掘調査事務所の小柳リラコ氏に様々な助言・指導をいただいた。

4．遺物の写真撮影は“スタジオＣＲＥＥＫ”の佐藤雅彦氏に委託し，一部木村がおこなった。現場の写真撮影は木村と安西がおこなった。

5．骨片集中範囲出土の動物遺存体の分析ついては，国立人類学博物館の西本豊弘氏に，炭化種子については札幌国際大学の吉崎昌一氏および北海道大学埋蔵文化財研究室の椿坂恭代氏に鑑定をお願いし，椿坂氏については，原稿を頂いた。

6．整理作業の分担は以下の通りである。

土器復元：天内千秋，大埼恵美子，工藤竹美，近藤美佐子
土器実測：木村哲朗，トレース：近藤美佐子，
土器拓本：天内千秋，土器断面実測：工藤竹美
石器実測，トレース：大橋敏子，柳谷とし子
石器計測：大橋敏子，柳谷とし子，高田和孝
フローテーション選別：石見優子

8．調査を進めるにあたり，下記の機関，人々よりご指導，ご助言，ご協力を頂いた。

北海道教育庁，大沼忠春，田才雅彦，種市幸生，泊村教育委員会　小柳リラコ，高山誠，田部淳
国立人類学博物館　西本豊弘，札幌国際大学　吉崎昌一，北海道大学埋蔵文化財研究室　椿坂恭代
北海道開拓記念館，右代啓視，野村崇。北海道電力（株）吉田玄一。

凡　　例

1．本書の略語は以下のように用いた。

（1）遺構

土壙：P，　骨片集中範囲：B，　焼土：F，　炭化物集中範囲：C．

フレイクチップ集中範囲：FC，　石組遺構：S，　小ピット：SP．

（2）遺物

土器：P，　剥片類：F，　礫類：S．

（3）地層

渡島大島火山灰：Os－a，　白頭山－苫小牧火山灰：B－Tm．

2．本書の挿図の縮尺は原則として以下のように示したが，これ以外のものはスケールを参照されたい。

図Ⅱ－1：1／25000，図Ⅱ－2：1／2000，遺構図：1／40，復元土器：1／4，

拓本土器・礫石器：1／3，剥片石器：1／2．

3．本書の一覧表等の計測単位記載を以下のように統一した。

遺構平面図，土層断面図：m，遺物：cm，g．

4．遺跡分布図や遺構分布図，遺構平面図などの向きは方位で記す。

5．焼土及び，石器のアスファルト・タール付着部はスクリーントーンを貼って示す。

目　　次

序
例　　言
凡　　例
目　　次
挿図目次
挿表目次
写真図版目次

第Ⅰ章　調査の概要 …… 1
　第１節　調査要項 …… 1
　第２節　調査体制 …… 1
　第３節　調査の経緯 …… 1
　第４節　発掘区の設定と調査方法 …… 1
　第５節　遺物の分類 …… 2
第Ⅱ章　遺跡の位置と環境 …… 4
　第１節　奥尻島の遺跡 …… 4
　第２節　位置と環境 …… 4
　第３節　基本層序 …… 7
第Ⅲ章　遺　　構 …… 10
　第１節　土　　壙 …… 10
　第２節　骨片集中範囲 …… 15
　第３節　焼　　土 …… 20
　第４節　フレイク・チップ集中範囲 …… 21
　第５節　その他の遺構 …… 27
第Ⅳ章　遺　　物 …… 30
　第１節　土　　器 …… 30
　第２節　石　　器 …… 83
第Ⅴ章　関連科学
　青苗Ｂ遺跡出土の炭化種子について …… 132
第Ⅵ章　総　　括 …… 136
写真図版 …… 148

挿図目次

図Ⅰ－1　小グリット配置図 …… 2
図Ⅰ－2　グリット配置図 …… 2

図Ⅱ－1　青苗周辺の遺跡分布図 …… 5
図Ⅱ－2　青苗Ｂ遺跡とその周辺 …… 6
図Ⅱ－3　発掘区の地形図 …… 7
図Ⅱ－4　上層断面位置図 …… 8
図Ⅱ－5　上層断面図 …… 9

図Ⅲ－1　遺構分布図 …… 11
図Ⅲ－2　遺構図（1） …… 12
図Ⅲ－3　遺構図（2） …… 13
図Ⅲ－4　遺構図（3） …… 18
図Ⅲ－5　遺構図（4） …… 19
図Ⅲ－6　遺構図（5） …… 24
図Ⅲ－7　遺構出土遺物（1） …… 25
図Ⅲ－8　遺構出土遺物（2） …… 26
図Ⅲ－9　遺構出土遺物（3） …… 27

図Ⅳ－1　包含層出土土器（1） …… 31
図Ⅳ－2　包含層出土土器（2） …… 32
図Ⅳ－3　包含層出土土器（3） …… 34
図Ⅳ－4　包含層出土土器（4） …… 35
図Ⅳ－5　包含層出土土器（5） …… 36
図Ⅳ－6　包含層出土土器（6） …… 38
図Ⅳ－7　包含層出土土器（7） …… 39
図Ⅳ－8　包含層出土土器（8） …… 40
図Ⅳ－9　包含層出土土器（9） …… 42
図Ⅳ－10　包含層出土土器（10） …… 43
図Ⅳ－11　包含層出土土器（11） …… 44
図Ⅳ－12　包含層出土土器（12） …… 46
図Ⅳ－13　包含層出土土器（13） …… 47
図Ⅳ－14　包含層出土土器（14） …… 49
図Ⅳ－15　包含層出土土器（15） …… 51
図Ⅳ－16　包含層出土土器（16） …… 53
図Ⅳ－17　包含層出土土器（17） …… 54
図Ⅳ－18　包含層出土土器（18） …… 56
図Ⅳ－19　包含層出土土器（19） …… 57
図Ⅳ－20　包含層出土土器（20） …… 58
図Ⅳ－21　包含層出土土器（21） …… 60
図Ⅳ－22　包含層出土土器（22） …… 61
図Ⅳ－23　包含層出土土器（23） …… 63
図Ⅳ－24　包含層出土土器（24） …… 65
図Ⅳ－25　包含層出土土器（25） …… 66
図Ⅳ－26　包含層出土土器（26） …… 68
図Ⅳ－27　包含層出土土器（27） …… 70
図Ⅳ－28　包含層出土土器（28） …… 71
図Ⅳ－29　包含層出土土器（29） …… 72
図Ⅳ－30　包含層出土石器（1） …… 84
図Ⅳ－31　包含層出土石器（2） …… 90
図Ⅳ－32　包含層出土石器（3） …… 92
図Ⅳ－33　包含層出土石器（4） …… 93
図Ⅳ－34　包含層出土石器（5） …… 94
図Ⅳ－35　包含層出土石器（6） …… 95
図Ⅳ－36　包含層出土石器（7） …… 96
図Ⅳ－37　包含層出土石器（8） …… 103
図Ⅳ－38　包含層出土石器（9） …… 104
図Ⅳ－39　包含層出土石器（10） …… 115
図Ⅳ－40　包含層出土石器（11） …… 117
図Ⅳ－41　包含層出土石器（12） …… 118
図Ⅳ－42　包含層出土石器（13） …… 119
図Ⅳ－43　包含層出土石器（14） …… 120
図Ⅳ－44　包含層出土石器（15） …… 121
図Ⅳ－45　包含層出土石器（16） …… 122
図Ⅳ－46　包含層出土石器（17） …… 123
図Ⅳ－47　包含層出土石器（18） …… 123
図Ⅳ－48　包含層遺物分布（1） …… 125
図Ⅳ－49　包含層遺物分布（2） …… 125
図Ⅳ－50　包含層遺物分布（3） …… 125
図Ⅳ－51　包含層遺物分布（4） …… 125
図Ⅳ－52　包含層遺物分布（5） …… 125
図Ⅳ－53　包含層遺物分布（6） …… 125
図Ⅳ－54　包含層遺物分布（7） …… 125

図Ⅵ－1　時期別遺構分布図 …… 137
図Ⅵ－2　Ⅳ群ａ類土器分布 …… 139

図Ⅵ－3　Ⅳ群ｂ類土器分布 …… 140
図Ⅵ－4　Ⅱ層出土遺物分布（1）…… 141
図Ⅵ－5　Ⅱ層出土遺物分布（2）…… 142
図Ⅵ－6　Ⅱ層出土遺物分布（3）…… 143
図Ⅵ－7　Ⅱ層出土遺物分布（4）…… 144
図Ⅵ－8　Ⅱ層出土遺物分布（5）…… 145

挿表目次

表Ⅲ－1　土壙一覧表 …… 28
表Ⅲ－2　骨片集中範囲一覧表 …… 28
表Ⅲ－3　焼土一覧表 …… 28
表Ⅲ－4　フレイク・チップ集中範囲一覧表（1）… 28
表Ⅲ－5　フレイク・チップ集中範囲一覧表（2）… 29
表Ⅲ－6　石組遺構一覧表 …… 29
表Ⅲ－7　炭化物集中範囲一覧表 …… 29
表Ⅲ－8　小ピット一覧表 …… 29

表Ⅳ－1　復元土器一覧表（1）…… 73
表Ⅳ－2　復元土器一覧表（2）…… 74
表Ⅳ－3　復元土器一覧表（3）…… 75
表Ⅳ－4　拓本土器一覧表（1）…… 76
表Ⅳ－5　拓本土器一覧表（2）…… 77
表Ⅳ－6　拓本土器一覧表（3）…… 78
表Ⅳ－7　拓本土器一覧表（4）…… 79
表Ⅳ－8　拓本土器一覧表（5）…… 80
表Ⅳ－9　拓本土器一覧表（6）…… 81
表Ⅳ－10　拓本土器一覧表（7）…… 82
表Ⅳ－11　石鏃一覧表（1）…… 85
表Ⅳ－12　石鏃一覧表（2）…… 86
表Ⅳ－13　石鏃一覧表（3）…… 87
表Ⅳ－14　石鏃一覧表（4）…… 88
表Ⅳ－15　石鏃一覧表（5）…… 89
表Ⅳ－16　石銛一覧表 …… 89
表Ⅳ－17　石錐一覧表（1）…… 90
表Ⅳ－18　石錐一覧表（2）…… 91
表Ⅳ－19　楔形石器一覧表 …… 92
表Ⅳ－20　抉入石器一覧表 …… 92
表Ⅳ－21　つまみ付きナイフ一覧表（1）… 96
表Ⅳ－22　つまみ付きナイフ一覧表（2）… 97
表Ⅳ－23　削器一覧表（1）…… 97
表Ⅳ－24　削器一覧表（2）…… 98
表Ⅳ－25　削器一覧表（3）…… 99
表Ⅳ－26　削器一覧表（4）…… 100
表Ⅳ－27　削器一覧表（5）…… 101
表Ⅳ－28　削器一覧表（6）…… 102
表Ⅳ－29　掻器一覧表（1）…… 104

表Ⅳ－30　掻器一覧表（２）…… 105
表Ⅳ－31　掻器一覧表（３）…… 106
表Ⅳ－32　Ｒフレイク一覧表（１）…… 106
表Ⅳ－33　Ｒフレイク一覧表（２）…… 107
表Ⅳ－34　Ｒフレイク一覧表（３）…… 108
表Ⅳ－35　Ｒフレイク一覧表（４）…… 109
表Ⅳ－36　Ｒフレイク一覧表（５）…… 110
表Ⅳ－37　Ｒフレイク一覧表（６）…… 111
表Ⅳ－38　Ｒフレイク一覧表（７）…… 112
表Ⅳ－39　Ｒフレイク一覧表（８）…… 113
表Ⅳ－40　Ｒフレイク一覧表（９）…… 114
表Ⅳ－41　Ｕフレイク一覧表　…… 114
表Ⅳ－42　石核一覧表（１）…… 115
表Ⅳ－43　石核一覧表（２）…… 116
表Ⅳ－44　石製品一覧表　…… 116
表Ⅳ－45　石斧一覧表　…… 119
表Ⅳ－46　すり石一覧表　…… 120
表Ⅳ－47　砥石一覧表　…… 120
表Ⅳ－48　たたき石一覧表（１）…… 121
表Ⅳ－49　たたき石一覧表（２）…… 122
表Ⅳ－50　石錘一覧表　…… 122
表Ⅳ－51　石皿一覧表　…… 123
表Ⅳ－52　台石一覧表　…… 124

表Ⅴ－１　青苗Ｂ遺跡出土炭化種子表　…… 134

写真図版目次

図版１　遺跡全景・発掘風景　…… 147
図版２　Ｐ－１～Ｐ－６　…… 148
図版３　Ｐ－７～Ｂ－３　…… 149
図版４　Ｂ－６～Ｂ－10　…… 150
図版５　F･C－４～F･C－13　…… 151
図版６　F･C－15～SP－６　…… 152
図版７　SP－7･8～F･C－16Ⅳ群ｂ類土器　… 153
図版８　Ⅳ群ｂ類土器出土状況～台石出土状況　… 154
図版９　遺構出土遺物（１）…… 155
図版10　遺構出土遺物（２）…… 156
図版11　包含層出土土器（１）…… 157
図版12　包含層出土土器（２）…… 158
図版13　包含層出土土器（３）…… 159
図版14　包含層出土土器（４）…… 160
図版15　包含層出土土器（５）…… 161
図版16　包含層出土土器（６）…… 162
図版17　包含層出土土器（７）…… 163
図版18　包含層出土土器（８）…… 164
図版19　包含層出土土器（９）…… 165
図版20　包含層出土土器（10）…… 166
図版21　包含層出土土器（11）…… 167
図版22　包含層出土土器（12）…… 168
図版23　包含層出土土器（13）…… 169
図版24　包含層出土土器（14）…… 170
図版25　包含層出土土器（15）…… 171
図版26　包含層出土土器（16）…… 172
図版27　包含層出土土器（17）…… 173
図版28　包含層出土土器（18）…… 174
図版29　包含層出土土器（19）…… 175
図版30　包含層出土土器（20）…… 176
図版31　包含層出土石器（１）…… 177
図版32　包含層出土石器（２）…… 178
図版33　包含層出土石器（３）…… 179
図版34　包含層出土石器（４）…… 180
図版35　包含層出土石器（５）…… 181

関連科学写真図版目次

図版１　炭化種子　…… 136

第Ⅰ章　調査の概要

1節　調査要項

事業名　萬徳寺再建に伴う埋蔵文化財発掘調査
原因者　九鬼　惠隆
調査者　奥尻町教育委員会
遺跡名　青苗Ｂ遺跡　北海道教育委員会登載番号（Ｃ－07－07）
所在地　奥尻郡奥尻町字青苗299
調査面積　815㎡
調査期間　平成９年５月６日～平成10年３月31日（現場期間，平成９年７月４日まで）

2節　調査体制

奥尻町教育委員会	教育長	加藤　堅寿	
	課　長	高田　延三（平成９年度）	山下　育三（同10年度）
	係　長	泉沢　克尚	
	学芸員（調査員）	木村　哲朗	
	調査補助員	安西　雅希（平成９年度）	

3節　調査の経緯

平成５年７月12日に発生した，北海道南西沖地震による津波の襲来により，奥尻島は大きな打撃を被った。中でも青苗地区は地区の大半を津波とその後の火災で失った。萬徳寺も例外でなく，津波により流された。その後，萬徳寺門徒22人から，寺院再建の要望があり，平成９年度建設の計画を立てた。しかし，以前から青苗Ｂ遺跡として登載されている地点であったため，平成８年５月13日，北海道教育委員会の立会を行い，その結果，寺の敷地内全体が包含層である事が判明した。町との協議の結果，平成９年度において発掘調査をすることになった。しかし，寺院建設に多額の費用がかかるなど，自力では発掘調査費は捻出できず，国からの補助を受けて調査することとなり，体制を固めた。調査を進めるにつれ，遺物量が思いのほか多い結果となり，文化庁の検査官の立ち会いのもとに協議し，その結果，平成10年度においても整理を続行することとなり，新たな体制を固めることとなった。

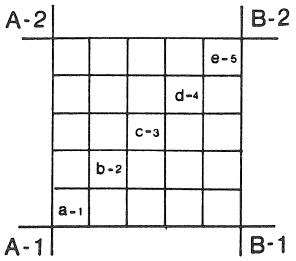
4節　発掘区の設定と調査方法

グリットの設定は復興後あらたに区画整理された道路に付帯する歩道と調査区との境界線を基軸にＸ軸，それに直交して調査区と南側の民地との境界線を基軸にＹ軸を設定した。

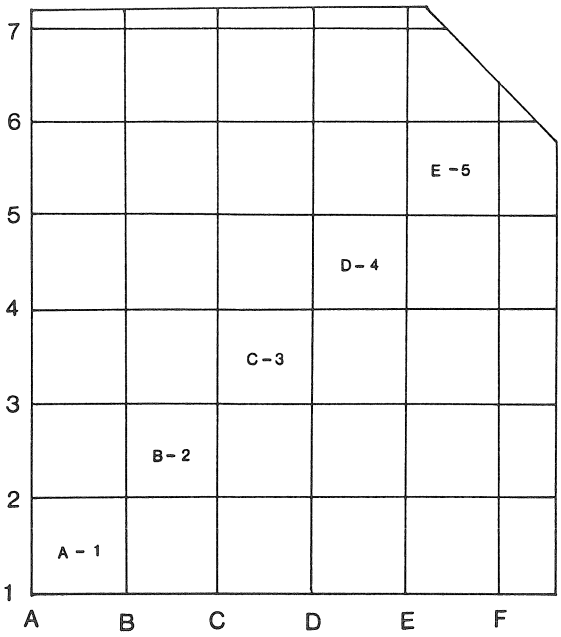
グリットは大グリットと小グリットを設定し，大グリットは５ｍ×５ｍとした。グリットの呼称はＸ軸に大文字のアルファベット，Ｙ軸にはアラビア数字を用いた。Ｘ軸は南からＡ～Ｆ，Ｙ軸は東から１～７とし，東南端の杭をグリットの呼称とした。大グリットは遺構の計測や小グリットの設定の時の基準となる。小グリットは大グリットを１ｍメッシュで25分割したもので，包含層出土の遺物の取り上げ

のときの基準となる。この小グリットの呼称はX軸に小文字のアルファベット，Y軸にアラビア数字を用いた。

発掘作業は層位毎に掘り下げる分層発掘を基本とし，層の厚い地点は幾度かに分けて掘り進めた。



図Ⅰ－1　小グリット模式図



図Ⅰ－2　グリット配置図

包含層の遺物の取り上げは層位毎かつ小グリット毎でとりあげた。

また。遺構出土遺物は，一括でまとまって出土している場合を除いて１点ずつ出土地点，標高を測って取り上げた。また，攪乱となっているところは大グリット毎で取り上げた。

5節　遺物の分類

本遺跡からは当初の予想を遥かに上回る66794点にのぼる数多くの遺物が出土した。遺物は土器が24823点，石器類がフレイク・チップを含め41971点である。

（1）土　器

Ⅰ群土器　縄文時代中期のもの

Ⅱ群土器　縄文時代後期のもの

　ａ類　　後期前葉，入江式などに相当するもの

　ｂ類　　後期中葉，手稲式・ホッケマ式などに相当するもの

　ｃ類　　後期後葉，堂林式・御殿山式などに相当するもの

Ⅲ群土器　縄文時代晩期のもの

　ａ類　　晩期前葉に相当するもの。

　ｂ類　　晩期後葉に相当するもの。

Ⅳ群土器　続縄文時代初頭～前葉のもの

　ａ類　　青苗Ｂ式・兜野式・大狩部式・東歌別式などに相当するもの

　ｂ類　　砂沢式や南川Ⅲ群・南川Ⅳ群に相当するもの

Ⅴ群土器　　擦文時代のもの

（2）石　器

石器は剥片石器と礫石器に大別し，剥片石器類は石器９種類と石核，フレイク・チップに，礫石器類は石器７種類と礫に分類した。以下，特徴的な遺物について記す。

抉入石器

矢柄研摩器等として利用されたと考えられるもので，剥片の縁辺に抉りを持ち，使用頻度によって抉りがつぶれているもの。

楔形石器

骨や木を断ち割る等に使用したと考えられるもので，楔形もしくは凸レンズ状の断面を持ち，その上端，下端，あるいは両側縁に階段状の剥離がみられるもの。

掻器

皮なめし等に利用したと考えられるもの。刃部の形態，あるいは部位によってラウンドスクレイパー，エンドスクレイパー，サイドスクレイパー，その他に分けられる。なお，背面が全面加工され，爪形に調整されたものも掻器とした。

Ｒフレイク

剥片の一部に二次加工を施したもの。器種の特定できないもの。

Ｕフレイク

刃こぼれ状の使用痕をもつ剥片。

たたき石

礫の端部，面部，側縁に叩いた痕跡をもつもの。くぼみ石とよばれるものも含めた。

石皿

使用面の凹んでいる礫

台石

使用面の平坦な大型の礫。

第Ⅱ章　奥尻島の遺跡と環境

1節　奥尻島の遺跡

奥尻島は北海道南西部の日本海に浮かぶ，風光銘媚な島である。外観は皿を伏せたようななだらか形状である。これは島自体が鳥海火山帯の上に位置し，幾度かの隆起と沈降を繰り返してきたため，海成段丘を形成してきたためである。海成段丘は瀬川秀良により幾つかの面に分類されているが，そのうち寺屋敷面（60～50ｍ）は，数多くの遺跡が分布し，奥尻島に分布する遺跡のうち，その大半がこの面に立地する。寺屋敷面に立地する遺跡は現在知られているとこで，北から，仏沢遺跡，長浜２遺跡，長浜遺跡，松江遺跡，松江２遺跡，ワサビ谷地川左岸遺跡，同右岸遺跡，青苗遺跡，米岡１，２，３，４遺跡，千畳遺跡，石見牧場遺跡，赤川２遺跡が分布する。時期的には，米岡２・３遺跡に恵山期の土器が，奥尻空港遺跡に須恵器の破片が出土している例もあるが，寺屋敷面に位置する遺跡の多くが時期的に縄文時代早期～中期にかけての遺跡である。一方，島内には寺屋敷面よりずっと標高の低い遺跡が幾つかある。本遺跡を始めとする砂丘遺跡である。砂丘遺跡は現在知られているところでは，青苗Ｂ遺跡，青苗砂丘遺跡，米岡５遺跡，赤川遺跡があげられる。時期は青苗Ｂ遺跡が縄文時代後期～擦文時代，米岡５遺跡，赤川遺跡が擦文時代，青苗砂丘遺跡がオホーツク文化期（十和田式）である。上記の遺跡の状況を見る限り，当遺跡を始め，縄文時代後期以降の遺跡で占めているのが特徴である。なお，独立砂丘を形成している青苗砂丘遺跡，米岡５遺跡，赤川遺跡は擦文時代，オホーツク文化期など７～８世紀以降の遺跡で占める。

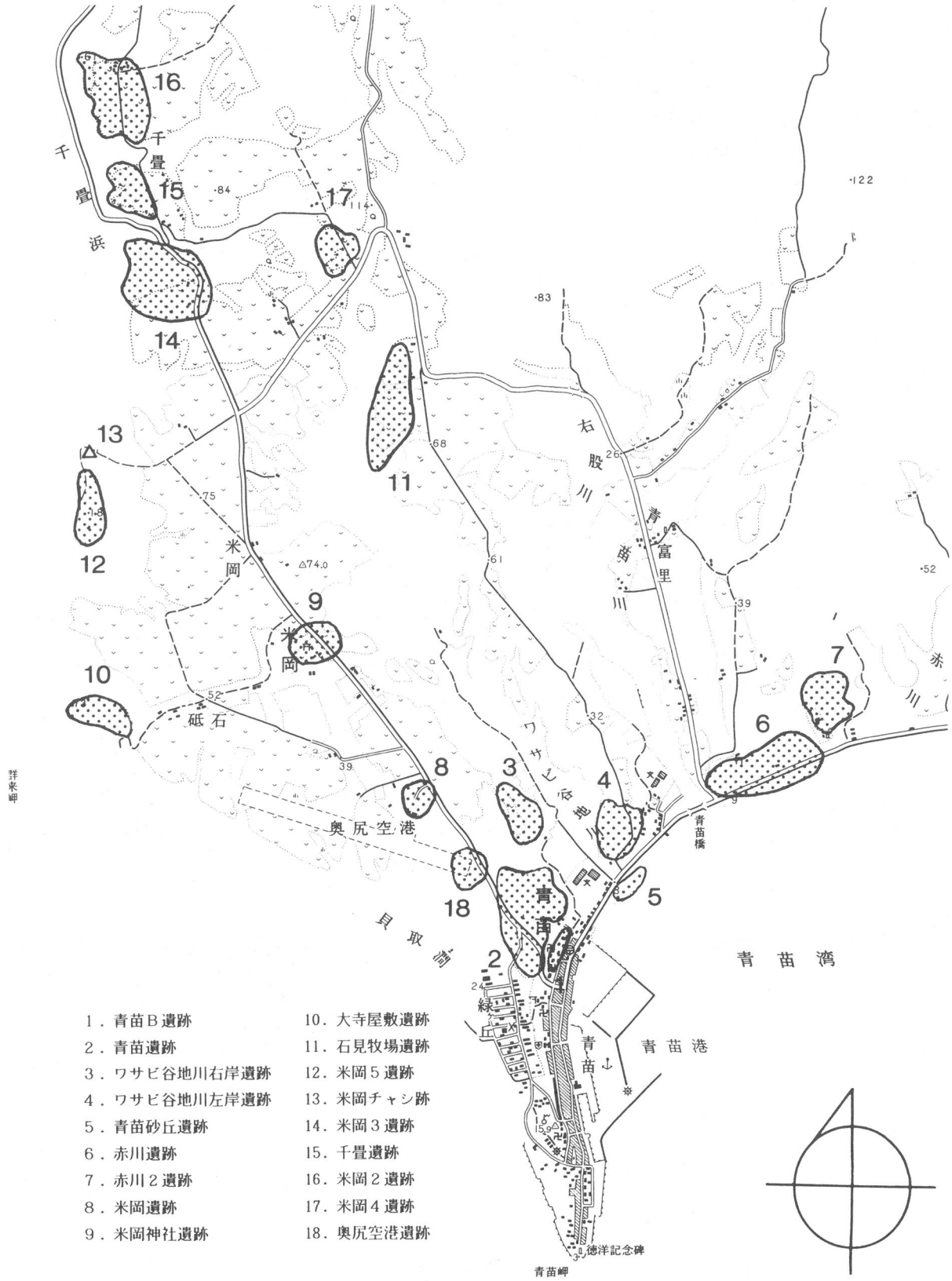
2節　位置と環境

青苗Ｂ遺跡は奥尻島の南端，青苗地区の海成段丘の東側斜面下の砂丘上に位置し，一部斜面崖地にも及ぶ。青苗地区の東海岸側は，強い北西風の風下であり，このため，現在でも奥尻髄一の漁港があり，それを取り巻くように市街地が広がっている。また，強風や波濤の影響が少ないせいか，砂丘の発達も西海岸に較べると顕著である。

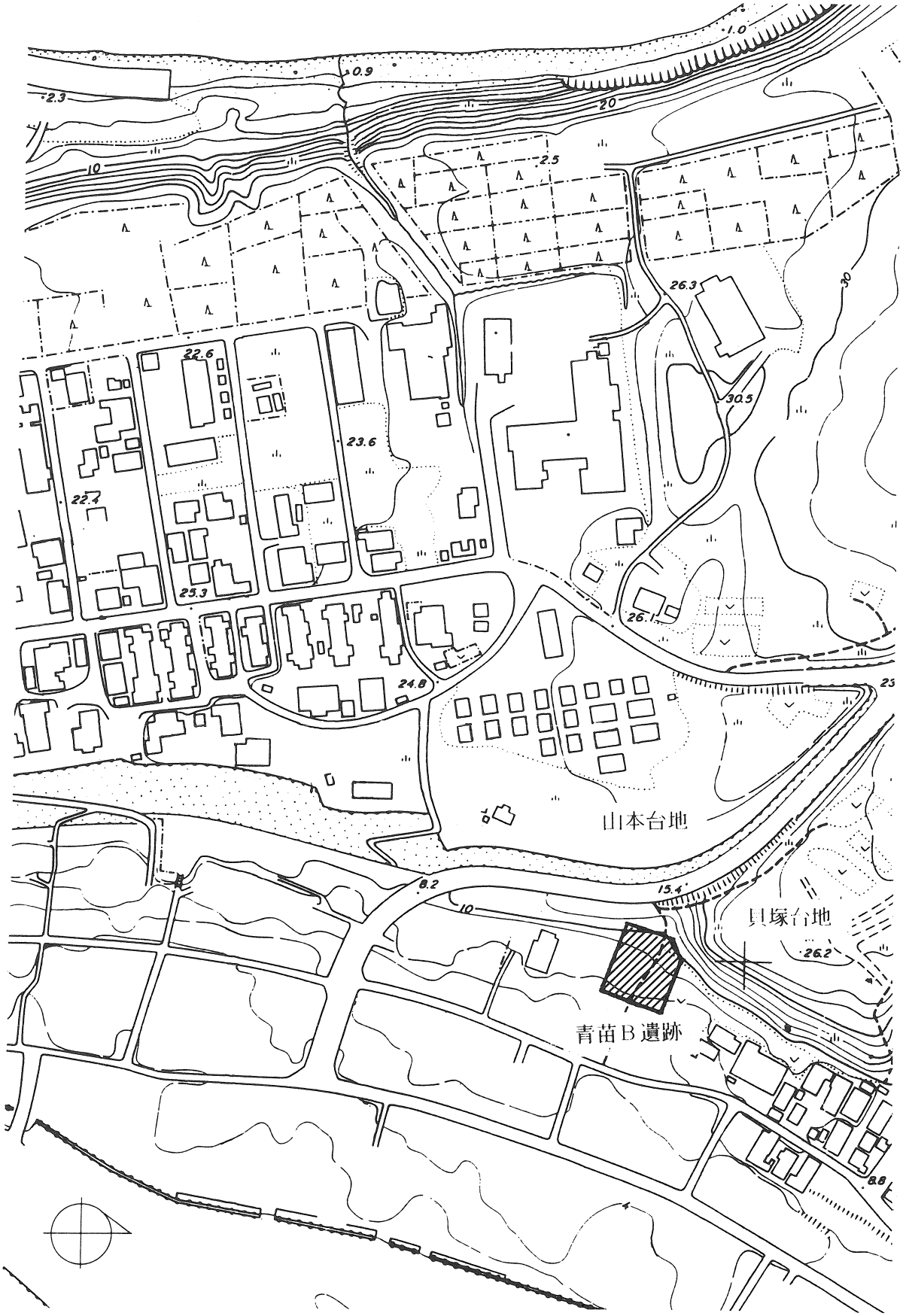
当遺跡の後背部に位置する海成段丘の張り出しは，北側を貝塚台地，南側を山本台地といい，貝塚台地には擦文時代の貝塚が，山本台地には大型の勾玉が出土した墳墓等が検出されているなど，擦文時代を代表する大遺跡（青苗遺跡）となっている。

青苗Ｂ遺跡は青苗遺跡の位置する海成段丘下に形成された砂丘遺跡で，特徴的なことは，段丘の斜面をすぐ後背地に控えていることである。また、他の砂丘遺跡よりも砂丘の形成は早かったと考えられ，出土する遺物も縄文時代後期など，比較的古いものも認められる。それと同時に本遺跡には各時期にわたる生活の跡が認められている。このことは，海退が進んだ更に後であっても生活の場として好条件であったことを物語る。

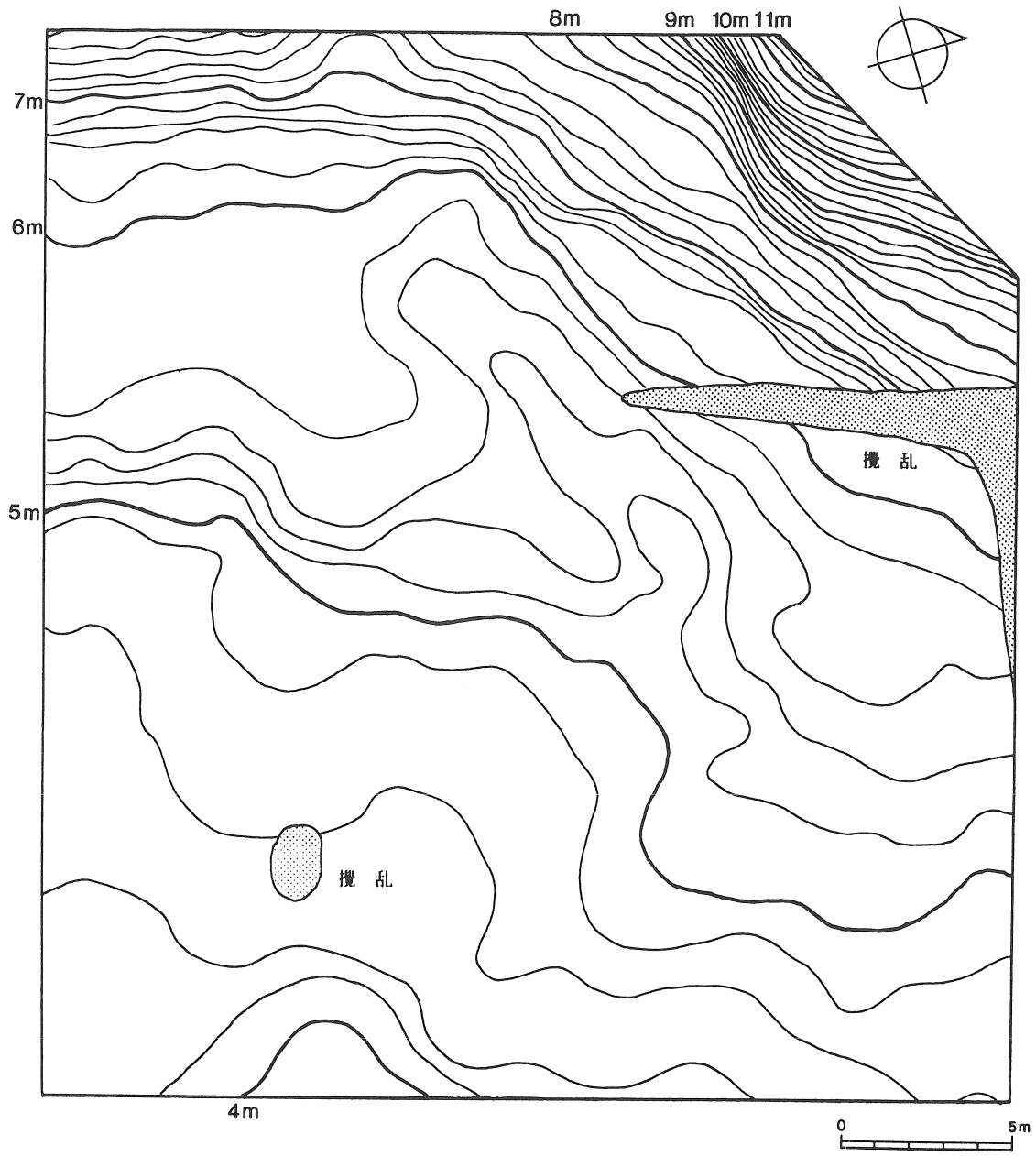
本遺跡の後背地となっている山本，貝塚両台地の間は沢により別れており，その両台地の間から本遺跡を縦断するかたちで，沢水が流れていたものと考えられ，その地形も発掘区内において認められている（図Ⅱ－３）。縄文時代晩期，続縄文時代における作業場的な状況は，こうした沢水の存在と無関係ではなかったものと言えよう。



図Ⅱ－１　青苗周辺の遺跡分布図



図Ⅱ－2　青苗B遺跡とその周辺



図Ⅱ－3　青苗周辺の遺跡分布図

3節　基本層序

本遺跡は砂丘上に立地するため，包含層は厚い。また，攪乱や流れ込みが深く及んでいるため，極めて分かりずらくなっているところがあった。しかし全体として見ると，砂層であるⅡ層，Ⅳ層，Ⅵ層と，礫を多量に含むⅢ層，Ⅴ層とに分けることができる。砂層は海岸からの砂が風の栄為によりもたらされたのに対し礫層は沢戸段丘斜面からもたらされたものが主体となっていると考えられる。なお，場所によってⅣ層が削り取られて無くなっていたり，反対にⅢ・Ⅴ層の堆積が認められない場所もあった。これは沢水の力による侵食等も関係しているのかも知れない。従って堆積状況は極めて複雑な様相を呈する。

土層断面は，Ｘ軸は４ライン，Ｙ軸はＥラインを記録した。

Ⅰ層：攪乱層

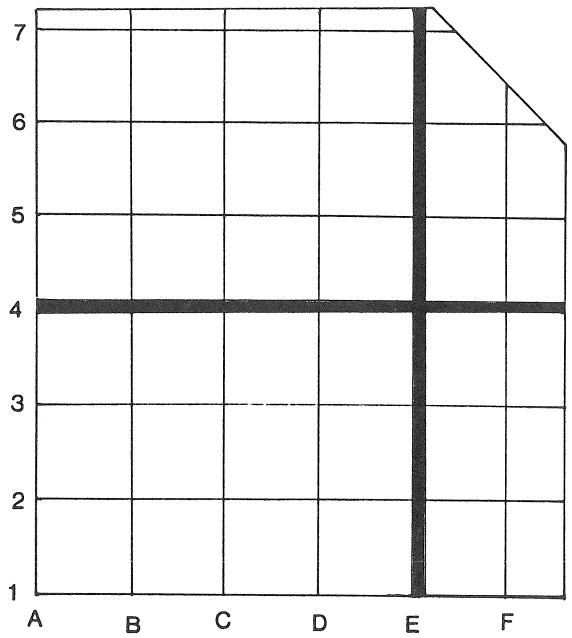
近代～現代に掘りこまれた層。一部重機により取り除く。

Ｏｓ－ａ層

渡島大島火山灰の堆積した層。乳白色を呈する。一部重機により取り除く。

Ⅱ層：黒色砂層

粘質を持ち，若干の炭化物を含む。間層にＢ－Ｔｍ層，Ⅱ’層を挟む。なお，Ｂ－Ｔｍ層の上層は擦文時代，下層は続縄文時代初頭～前葉の包含層であるが，Ｂ－Ｔｍ層の挟まない部分における分層が困難であったため，１層にまとめた。下層からは続縄文時代初頭～前葉のフレイク・チップ集中範囲や骨片集中範囲が検出されている。



図Ⅱ－４　土層断面位置図

Ｂ－Ｔｍ層

白頭山火山灰の堆積した層。明褐色を呈する。

Ⅱ’層：黒灰色砂層

Ⅲ層：褐色砂礫層

粗砂や礫を多く含む。また，リモナイトが多く存在しているのも特徴である。遺物は縄文時代晩期のものが中心であるが，続縄文時代の遺物も混ざる。

Ⅳ層：褐色砂層

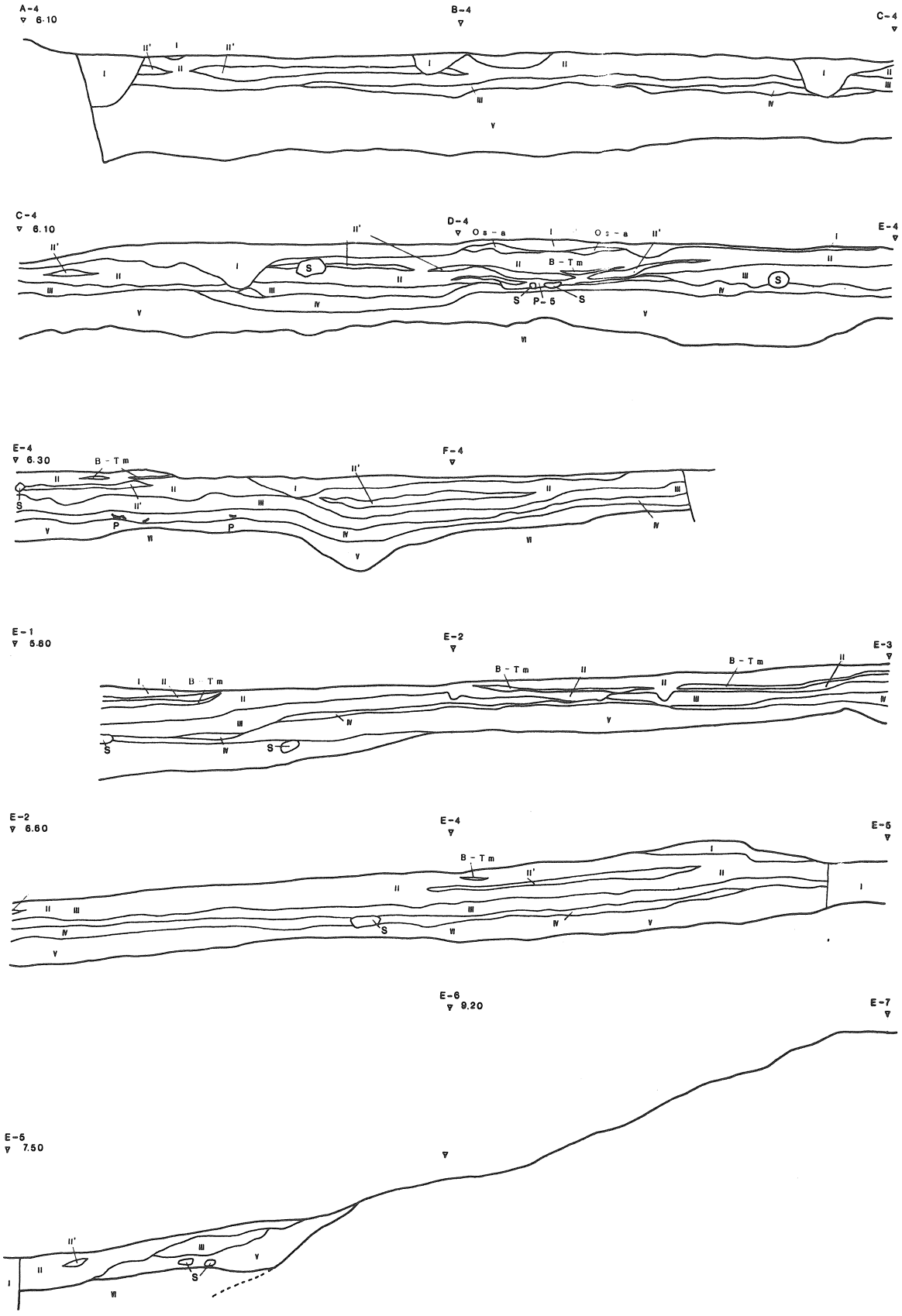
若干粘質を持つ層。遺物は縄文時代晩期が中心であるが，一部後期の遺物を含む。また骨片を多く含む層が存在するなど縄文時代晩期の生活面が検出されている。なお，Ｃ－４～Ｄ－４にかけてのラインにおけるⅣ層はとくに粘質にとみ，調査中は認識できなかったものの，沢あとであった可能性が考えられる。

Ⅴ層：褐色砂礫層

粗砂や礫，粘土塊等を含む。また，リモナイトも多く含まれている。間層として，砂層を含むことがあるが，これは，Ⅱ，Ⅳ層と同様の砂層，考えて良いかもしれない。遺物は縄文時代後期が中心であるが，晩期のものもかなり出土している。

Ⅵ層：灰褐色砂層

混ざり気のない純粋な砂層。


A-4
▽ 6.10
B-4
C-4
C-4
▽ 6.10
D-4
Os-a
Os-a
B-Tm
P-5
E-4
E-4
▽ 6.30
B-Tm
F-4
E-1
▽ 5.80
E-2
B-Tm
B-Tm
E-3
E-2
▽ 6.60
E-4
B-Tm
E-5
E-6
▽ 9.20
E-7
E-5
▽ 7.50

図Ⅱ－5　土層断面図

第Ⅲ章　遺　　構

1節　土　　壙

P－1

（1）遺　構

Eラインにおいて土層確認のためのトレンチを開けることにより，E－5グリットにおいて発見された。

尚，土壙の東側の壁は，水道管敷設のための攪乱によりなくなっているが，他の遺存する壁面や壙底面の形状から，長軸を北西－南東を向く楕円形と考えられる。土壙はⅡ層より掘り込まれていること，出土遺物がⅣ群b類土器を伴っていることなどから恵山期の土壙と考えられる。壙底面は赤色を呈しているが，ベンガラではなく，リモナイトに近いものと考えられ，人為的なものであるかは明らかではない。堆積状態は自然堆積と考えられる。また，壙底面出土の遺物は少ない。土壙の性格は不明であるが，周辺の遺構や遺物の出土状況から，何らかの作業施設であった可能性がある。

（2）遺　物

1はⅣ群b類土器で頚部の破片である。壙底面より出土した。

P－2

（1）遺　構

D－1グリットの調査中，C－1グリット側に黒褐色の落ち込みを検出し，P－2とした。なお，当遺構の北側がD－1グリット掘り下げ時に消失したため長径は不明である。短径は0.48m，確認面からの深さは0.22mである。遺物は土器が1点，チップが2点出土している。

P－3

（1）遺　構

発掘区のほぼ中央，D－4グリット周辺にに僅かに残る，Ⅱ層上面に分布する炭化物層を精査中に，灰色砂混じりの層の落ち込みを発見，土壙とした。形状は長軸を北北西－南南東に向けた不規則な楕円形を呈し，規模は長径が0.70m，短径が0.51m，確認面からの深さ0.06mである。時期は，Ⅱ層上層出土であること，擦文土器片が出土していることから，擦文時代の土壙と考えられる。擦文時代の遺構と考えられるものはこの1基のみである。出土遺物は，土器片の他，礫が出土しているのみであり，その性格は不明である。

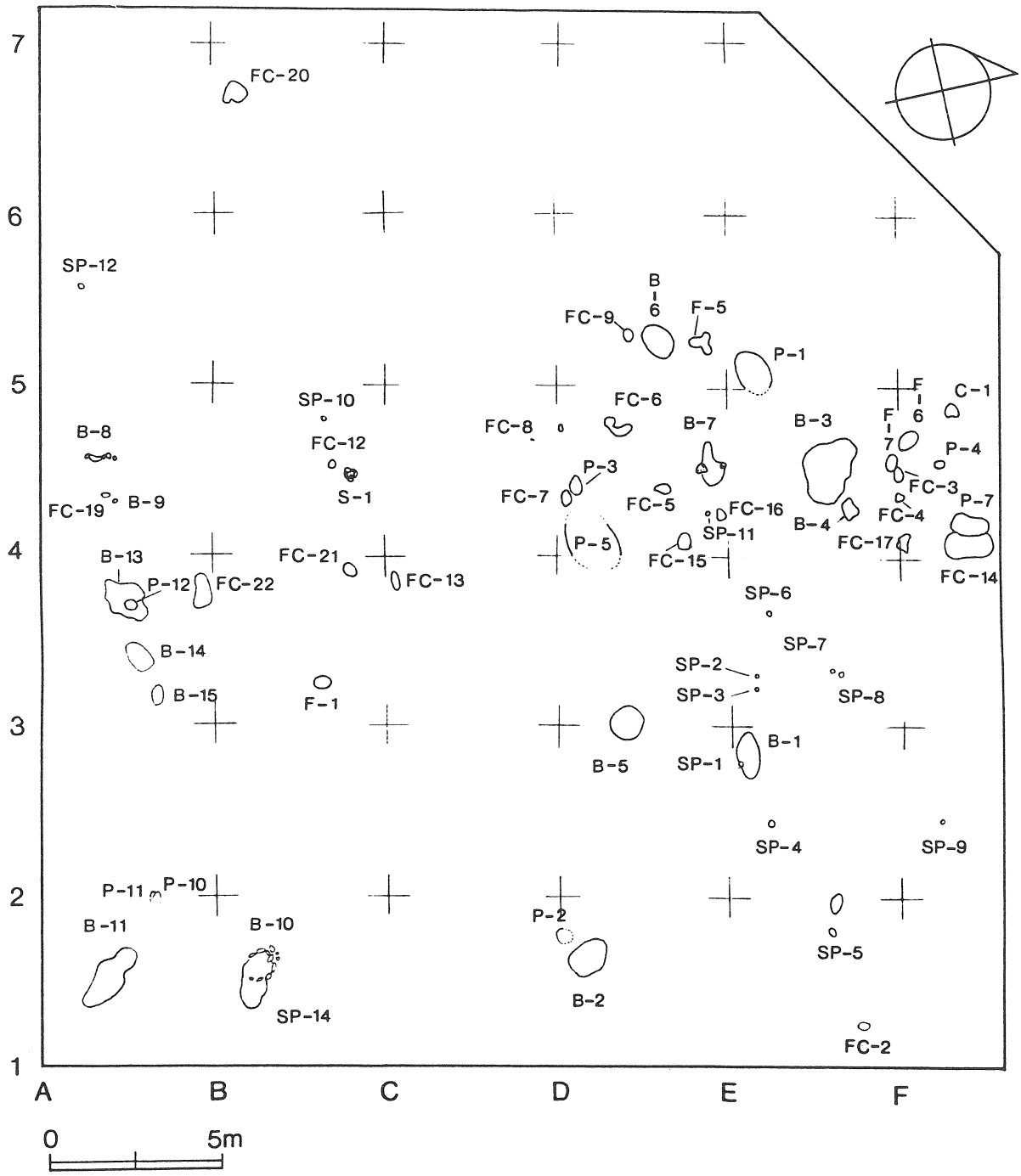
（2）遺　物

2はV群土器で口縁部の破片である。器面には刷毛目状擦痕が認められ，沈線がめぐる。

P－4

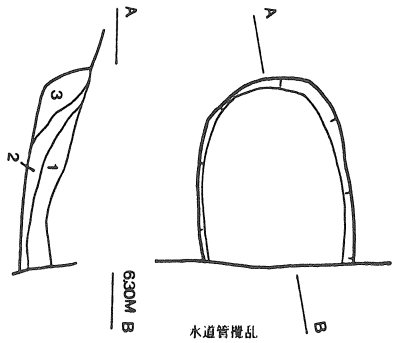
（1）遺　構

発掘区の北側，F－4区のⅡ層を調査中に黒色土の落ち込みを検出，P－4とした。形状は長軸を南北に向いた楕円形で，長径は0.47m，短径が0.30m，確認面からの深さ0.08mである。出土土器の細片は晩期のものであるが，確認面がⅡ層であることから続縄文時代前半期の遺構と考えられる。本土壙に伴うと考えられるものは礫1点である。遺構の性格は不明である。


7
6
5
4
3
2
1
A
B
C
D
E
F
FC-20
SP-12
B-8
FC-19
B-9
SP-10
FC-12
S-1
B-13
P-12
FC-22
FC-21
FC-13
B-14
B-15
F-1
B-11
P-11
P-10
B-10
SP-14
FC-9
B-6
F-5
P-1
FC-8
FC-6
B-7
P-3
FC-7
FC-5
P-5
FC-16
SP-11
FC-15
SP-6
SP-2
SP-3
SP-1
B-5
B-1
SP-7
SP-8
SP-4
SP-9
P-2
B-2
SP-5
FC-2
B-3
B-4
F-6
F-7
C-1
P-4
FC-3
FC-4
FC-17
P-7
FC-14
0
5m

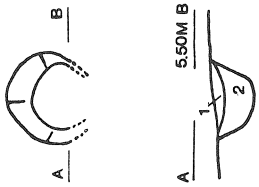
図Ⅲ－1　遺構分布図

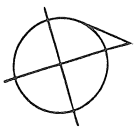
P－1



土層注記
1　暗褐色砂層
2　黒褐色砂層
3　暗褐色砂層

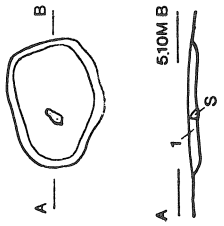
P－2





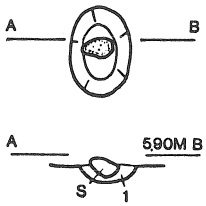
土層注記
1　黄褐色砂層
2　黒褐色砂層

P－3



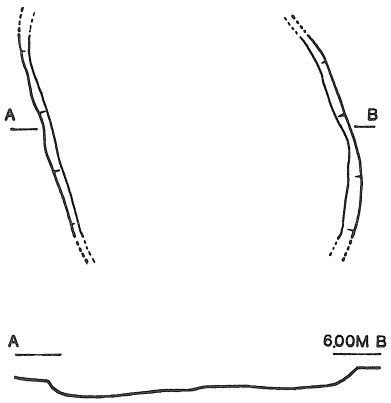
土層注記
1　暗灰色砂層

P－4

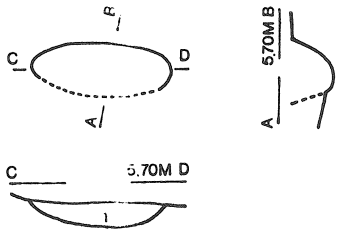


土層注記
1　茶褐色砂層

P－5

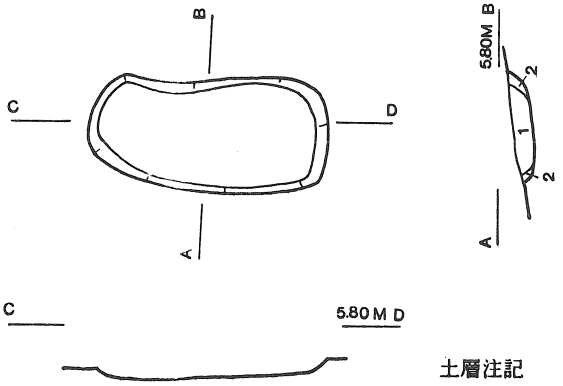


P－6



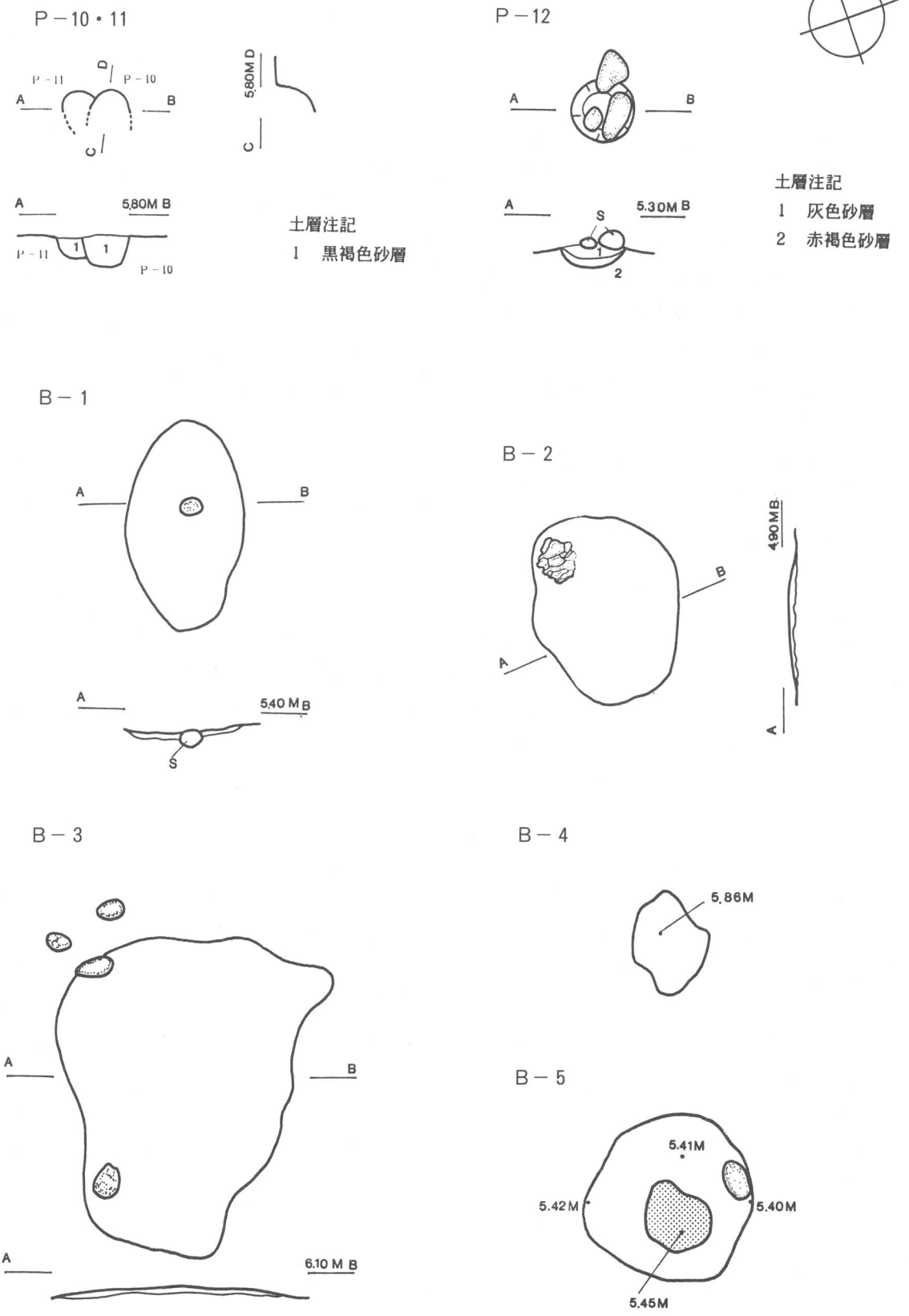
土層注記
1　黒灰色砂層

P－7



土層注記
1　茶褐色砂層
2　黄褐色砂層

図Ⅲ－2　遺構図（1）


P－10・11
P－11
P－10
A
B
C
D
5.80M D
A
5.80M B
1
1
P－11
P－10
土層注記
1　黒褐色砂層
P－12
A
B
A
S
5.30M B
1
2
土層注記
1　灰色砂層
2　赤褐色砂層
B－1
A
B
A
5.40 M B
S
B－2
A
B
4.90M B
A
B－3
A
B
A
6.10 M B
B－4
5.86M
B－5
5.41M
5.42M
5.40M
5.45M

図Ⅲ－3　遺構図（2）

（2）遺　物

3はⅢ群土器で覆土中より出土した。胴部の破片で斜行縄文が施されている。

P－5

（1）遺　構

メインセクションのD－4グリット部分に層の落ち込みを確認，土壙と判断した。覆土は粘性をもつ灰褐色土粒を多く含む灰色砂であり，壙底及び覆土より多量のフレイクチップや土器，礫が出土している。メインセクション部分のみの残存のため本来のプランは不明であるが，掘り込み8㎝程度の浅い竪穴様の土壙と推察される。掘り込み面は覆土上面にⅡ層が堆積し，また，壙底がⅣ層を僅かに掘り込んでいることからⅢ層に対応する時期のものと考えられる。フレイクチップは頁岩のものが多く，その分布は土壙周縁部分に多い傾向が見られる。フレイクチップは長さ3㎝前後のものが多く，フレイクチップ集中範囲出土のものと較べ小さいものが主体となっている。

なお，土器も壙底出土のものはⅢ群であり，層位の状況と時期的に一致する。

（2）遺　物

4～8はⅢ群土器，9～12はⅣ群土器である。4は爪形文の施されたものでⅢ群a類に属する。5～7は斜行縄文の施されているものである。9は口縁部の破片で突瘤文の施されているもの，10は肩部の破片で沈線が巡る。12は帯縄文の施されているものである。13は石錐である。

P－6

B－4グリットより検出。遺構確認面はⅥ層であるが，，壙底に堆積する覆土がⅡ層と考えられる黒灰色砂であるため掘り込み面はⅡ層と考えられ，時期は続縄文時代初頭と考えられる。平面形は長径72㎝で，長軸を北北東－南南西を向けた長楕円形を呈していると考えられる。覆土は骨片を多く含み，僅かながら炭化物も検出された。

P－7

（1）遺　構

発掘区の北側，F－4グリットのⅤ層を調査中に黒褐色土の落ち込みを発見，P－7とした。形状は長軸を北北東－南南西に向けた楕円形で，長径1.26m，短径0.61m，確認面からの深さは0.10mである。壙底はしっかりしている。時期は出土土器が大洞系の特徴を持つことから晩期と考えられる。形状は墓壙に似る。遺物は覆土に土器片やフレイク・チップが散在しているのみである。なお，当土壙から3m南側に，大洞系の小型の精製土器が出土（図Ⅲ－13・232）している。何らかの関わりがあるのかもしれない。

（2）遺　物

14は口縁部の破片で斜行縄文が施されている。15は沈線文のみのものでともに壙底面から出土した。共にⅢ群a類土器である。

P－10・11

A－2グリットを調査中，A－3グリット側に黒褐色の落ち込みを検出，調査するうちに，2つのピットが重複していることが分かり，ともにP－10・11とした。確認面からの深さは10が0.22m，11が0.13mである。時期は埋土がⅡ層のものであることから続縄文時代初頭～前葉と考えられる。ともに遺物は出土していない。

P－12

（1）遺　構

発掘区の南側，Ａ－３グリットの骨片集中－13を除去後，Ｖ層上面に灰色砂の落ち込みを検出，Ｐ－12とした。形状は円形で，直径が0.41ｍ，確認面からの深さ0.15ｍである。出土遺物は礫３点であり，２は台石として利用された可能性がある。時期は続縄文時代の骨片集中地点より下層であることから続縄文時代以前と考えられる。遺構の性格は明らかでないが，灰色砂を埋めていることなどから何らかの作業に関わる施設の可能性がある。

２節　骨片集中範囲

Ｂ－１

（1）遺　構

発掘区北寄りのＥ－２グリットでⅣ層を調査中に発見された。範囲は長径1.40ｍ，短径0.79ｍの楕円形で厚さは0.05ｍある。下層はＶ層であり，上面は赤褐色を呈するが鉄分の染みの影響か焼土によるものかは明らかにすることはできなかった。中央部にはリモナイトの塊が検出されている。出土土器から縄文時代晩期前葉の遺構と考えられる。このほか，周辺からは安山岩製の削器が１点検出されている。

骨片は，鳥骨の小さな破片が多い。海獣骨片も少量認められた。

（2）遺　物

16は爪形文の施されたものでⅢ群ａ類土器である。17はⅢ群土器で胴部の破片である。18は削器で安山岩製である。

Ｂ－２

（1）遺　構

発掘区南寄りのＤ－１グリットでⅣ層を調査中に発見された。範囲は長径1.25ｍ，短径0.97ｍ，厚さ0.05ｍである。Ｂ－１同様下層はＶ層である。焼土は確認できなかった。

種の同定できた骨片では，ウグイ椎骨１点，アイナメ椎骨１点である。

（2）遺　物

19はⅢ群ａ類土器で爪形文と沈線が施されている。

Ｂ－３

（1）遺　構

発掘区の北側，Ｅ－４グリットでⅡ層を調査中に発見された。範囲は長径2.10ｍ，短径1.61ｍ，厚さ0.05ｍである。骨片の分布範囲は広いがＢ－１・２に較べると密度は薄く，流れている可能性がある。また，南側には礫が４点検出されており，そのうち２点は被熱している。出土土器は縄文時代晩期のものが中心であるが，骨片の層がⅡ層下位であることから続縄文時代初頭～前葉の時期の遺構と考えられる。遺物は礫のほか，土器片，フレイク・チップが出土している。

骨片は魚骨・海獣骨が多量に検出。魚骨はカサゴ類（ソイ類）の椎骨３点と種不明魚類椎骨10点が出土した。この10点は焼けて縮小，変形していたが，おそらくカサゴ類と考えられる。海獣類は小さな破片であるが，おそらくアシカ科のトド，アシカ，オットセイなのであろう。

（2）遺　物

20はⅢ群ａ類１種土器，21は同２種土器である。共に沈線による文様が施されている。22は石錐である。

B－4

発掘区の北側，Ｅ－４グリットでⅡ層を調査中に発見された。範囲は長径0.67ｍ，短径0.51ｍである。Ｂ－３に較べ厚く堆積しているが，覆土は流れ込んだ状況であり，Ｂ－３の層が自然地形に流れ込み，堆積した可能性が考えられる。

小骨片のみで種は同定できるものはなかった。

B－5

発掘区のほぼ中央，Ｄ－２グリットでⅣ層下面を調査中に発見された。範囲はＤ－２・３グリットにまたがり，直径約1,10ｍのほぼ円形に分布する。中央部はほぼ赤褐色を呈し，焼土と考えられる。なお，範囲の北側には焼けた礫が出土したが，取り上げの時点でぼろぼろに砕けた。時期はⅣ層下面の出土であること，Ⅲ群ａ類土器が出土していること等から，縄文時代晩期前葉と考えられる。

骨片は種不明魚類椎骨３点，鳥骨片１点，アシカ科海獣指骨１点，その他海獣骨片多数が出土した。

B－6

（1）遺　構

発掘区の北西寄り，Ｄ－５グリットのⅣ層を調査中に発見された。範囲は長径1.17ｍ，短径0.97ｍ，厚さ0.10ｍである。骨片は密に分布している。出土遺物は，Ⅲ群ａ類１種土器が多く出土しているほか，大型の安山岩の礫が出土している。礫は割れ、熱を受けている。なお，一括土器と礫の下位における骨片の遺存状態は特によい。当遺構の北側には焼土（Ｆ－５）がある。層位がⅣ層下位であること，Ⅲ群ａ類土器が出土していることから，時期は縄文時代晩期前葉と考えられる。

骨片は鳥骨片少量，アシカ科の海獣骨片が多量に出土した。

（2）遺　物

23・24はⅢ群ａ類１種土器で爪形文が施されているものである。25～27も同類であるがこちらには沈線文が描かれている。28は地文のみのものでともにⅢ群土器である。30はＲフレイクで一側縁の腹面のみの加工である。29は安山岩製の削器で両側縁及び先端を加工している。

B－7

発掘区の北寄り，Ｄ－４グリットのⅣ層下面を調査中に発見された。範囲は長径は1.39ｍ，短径が0.50ｍ，厚さ0.07ｍで他の骨片集中地点より厚く堆積し，平面形も不規則な広がりを呈する。本集中地点の北側と南側に焼けた礫が出土し，本遺構の付属施設として機能していたと考えられる。時期は，Ⅳ層下位であること，Ⅲ群ａ類１種土器が出土していることから，縄文時代晩期前葉と考えられる。

骨片はホッケ？椎骨約20点，アシカ科の海獣骨片小片が多量に出土した。

B－8

発掘区の南側，Ａ－４グリットの一直線状に分布する焼けた礫群を調査中，礫群の下位，Ⅱ層下面から検出された。範囲は長径が0.43ｍ，短径は0.19ｍと狭い。また，礫群にそって１ｍ程北側には獣の骨が１本出土している。骨片層は礫群の下層に存在し，礫群が骨片集中に伴うものであるかは明らかではない。礫，骨片ともに溝状の凹みに流れ込んだ可能性も考えられる。時期はⅡ層下面から検出されていることから，続縄文時代初頭かと思われる。

骨片は，種不明魚類椎骨２点，アシカ科の海獣小片約20点出土した。

B－10

（1）遺　構

発掘区の南東側，Ｂ－１グリットのⅡ層から石組を発見，精査しているうちⅡ層下位より検出した。範囲は長径1.72ｍ，短径0.79ｍ，厚さ0.05ｍであり，骨片の分布は石組内及び石組の東側に大きく広がる。石組の礫は熱を受けており，また，骨片集中の下位からは石組の形状に沿って焼土が検出されていることから石組炉と考えられ，本骨片集中に伴う関連施設と考えられる。なお，骨片は石組炉外の方に厚く堆積しているが，これは流れ出したためと思われる。時期は，Ⅱ層下位に検出されたこと，付近の同一層からⅣ群土器が出土していることなどから，続縄文時代初頭～前葉と考えられる。なお，ここからは栽培種と考えられるヒエ種子１点が出土している。

骨片は，石組内からは，サケ椎骨１点，カレイ椎骨１点ほか種不明魚骨片多量，石組外からは，アイナメ椎骨10点以上，ヒラメ椎骨数点，ヒラメの歯１点が出土した。

（2）遺　物

31はⅣ群土器，32は削器で頁岩製である。

B－11

（1）遺　構

発掘区の南東隅，Ａ－１グリットのⅡ層を調査中に発見された。範囲は長軸2.07ｍ，短軸0.90ｍで不規則な形状を呈し，厚さは0.10ｍである。当集中下位には長径0.60ｍ，短径0.49ｍ，厚さ0.10ｍの焼土が検出され，本集中範囲に伴うものと考えられる。なお，南西側には炭化物がまとまって出土している。時期はⅣ群土器が出土すること，層位などから，続縄文時代初頭～前葉と考えられる。

骨片は，カサゴ類椎骨１点，カレイ類椎骨20点以上，種不明魚類椎骨20点以上（大部分はカレイ類），鳥骨片少量その他の魚骨，アシカ科の海獣骨が多量に出土した。

（2）遺　物

33は頁岩製のＲフレイクである。

B－13

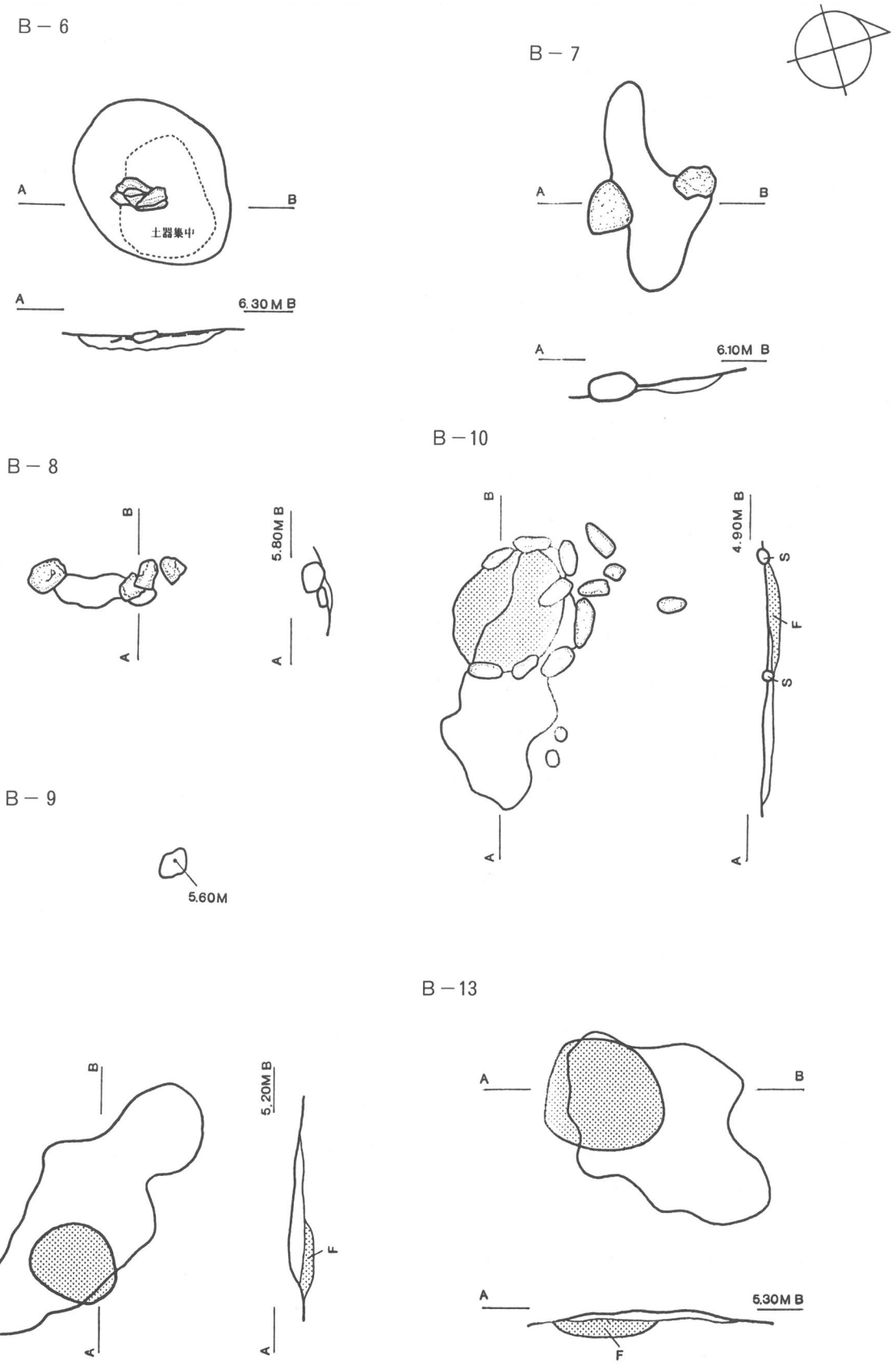
（1）遺　構

発掘区の南側，Ａ－３グリットのⅡ層を調査中に発見された。範囲は長軸1.68ｍ，短軸1.02ｍ，厚さ0.04ｍで不規則な形状に分布する。当集中下位には長径0.75ｍ，短径0.70ｍ，厚さ0.13ｍの焼土が検出され，本集中範囲に伴う遺構と考えられる。時期はⅣ群ａ類土器が出土していること，骨片層がⅡ層下位であること，骨片層下位に焼土を伴うなどの特徴がＢ－10・11に共通していることなどから，それらと同様，続縄文時代初頭～前葉と考えられる。

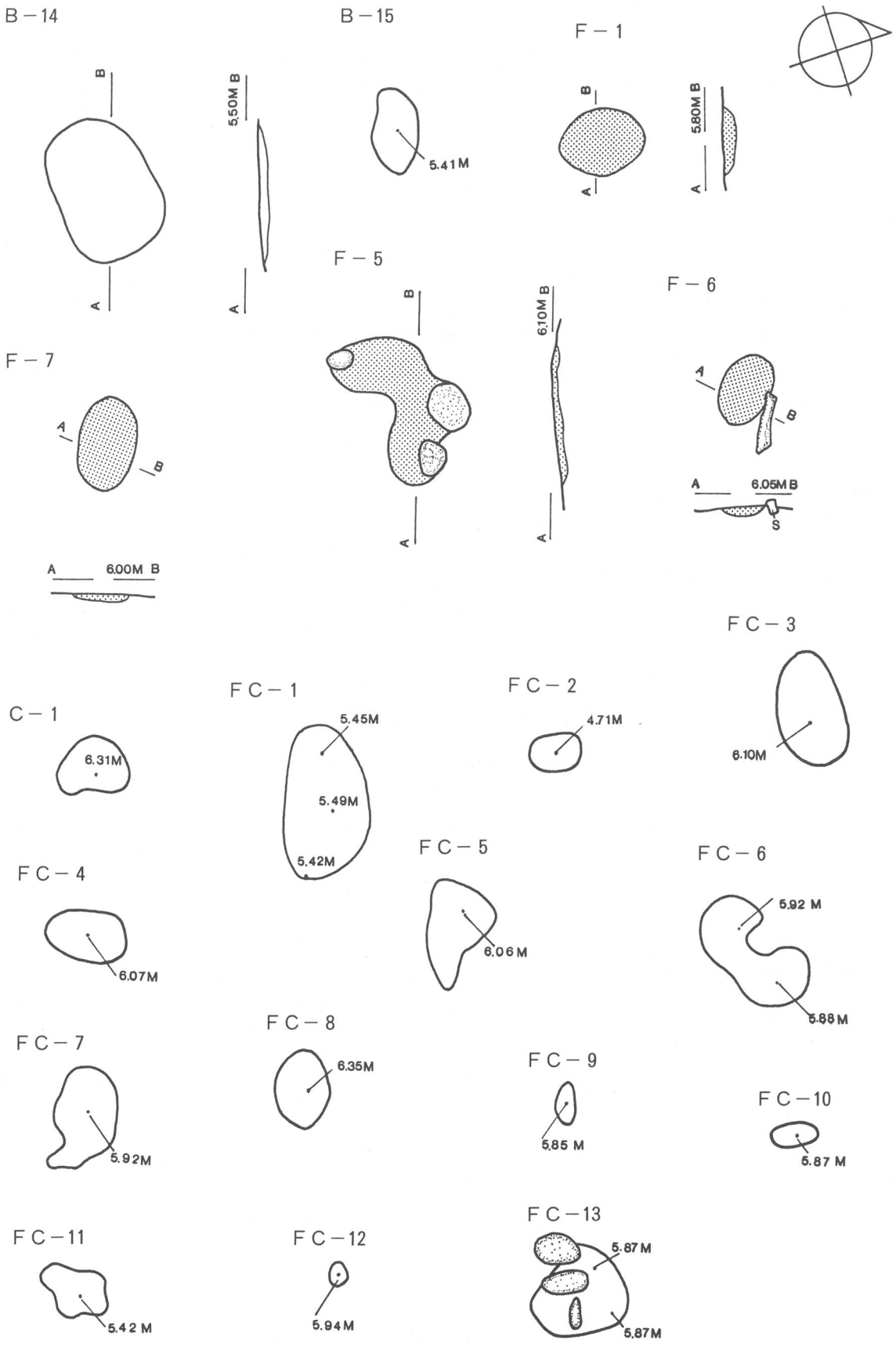
骨片は，カサゴ類椎骨３点，ヒラメ椎骨１点，カレイ類椎骨40点以上，種不明魚類椎骨30点以上（大部分は，カレイ類？），その他の魚骨，アシカ科の海獣骨が多量に出土している。

（2）遺　物

34・35はともにⅣ群ａ類土器の胴部破片である。


B－6
A
B
土器集中
A
6.30M B
B－7
A
B
A
6.10M B
B－10
B
A
4.90M B
S
F
S
A
B－8
B
A
5.80M B
A
B－9
5.60M
B－13
A
B
A
5.30M B
F
B－11
B
A
5.20M B
F
A

図Ⅲ－4　遺構図（3）


B－14
B
A
B－15
5.50M B
A
5.41M
F－1
B
A
5.80M B
A
F－5
B
A
6.10M B
A
F－6
A
B
A
6.05M B
S
F－7
A
B
A
6.00M B
C－1
6.31M
FC－1
5.45M
5.49M
5.42M
FC－2
4.71M
FC－3
6.10M
FC－4
6.07M
FC－5
6.06M
FC－6
5.92 M
5.88M
FC－7
5.92M
FC－8
6.35M
FC－9
5.85 M
FC－10
5.87 M
FC－11
5.42 M
FC－12
5.94M
FC－13
5.87 M
5.87M

図Ⅲ－5　遺構図（4）

B－14

（1）遺　構

B－13の東側，Ⅱ層を調査中に発見された。範囲は長径0.94m，短径0.67m，厚さ0,05mである。

Ⅳ群a類と考えられる土器が出土していること，B－13と同一層位であることから続縄文時代初頭～前葉と考えられる。

骨片はアシカ科の海獣骨片1点，小骨片が少量出土している。

（2）遺　物

36はⅣ群a類土器と考えられるもの。

B－15

B－14の東側，Ⅱ層を調査中に発見された。範囲は長径0.55m，短径0.32mと狭い。時期は層位などからB－13・14同様，続縄文時代初頭～前葉と考えられる。遺物は出土していない。

骨片は，カサゴ類椎骨3点，種不明椎骨3点，アシカ科海獣骨小片が少量出土している。

3節　焼　　土

F－1

B－3グリットのⅡ層を調査中赤褐色の広がりを検出，S－1とした。範囲は長径が0,57m，短径が0.47mである。時期はⅡ層より検出されていることから続縄文時代初頭～前葉と考えられる。

F－5

発掘区の北寄り，D－5グリットのⅣ層を調査中に発見された。範囲は，長軸1.00m，短軸0.65m，深さ0.08mの不規則な形状を呈し，特に強く熱を受けた場所が2ケ所認められる。焼土の下位には礫が2点検出されているが熱を受け，赤紫色に変色している。うち1点は脆く，取り上げの時点で砕けた。B－6と同一層位であり，近接していることから，B－6に関連する施設の可能性がある。時期はB－6同様，縄文時代晩期前葉と考えられる。

F－6

発掘区の北側，F－4区のV層下面を調査中に発見された。範囲は長径0.50m，短径0.31m，深さ0.07mである。周辺には，F－7やC－1，ホッケマ式の一括土器や台石が出土，骨片や炭化物が散在する。焼土の北側には棒状の礫が出土しているが，当遺構に伴うものであるかどうかは明らかではない。時期はV層下面であること，同一生活面からホッケマ式土器が出土していることなどから縄文時代後期中葉と考えられる。

F－7

発掘区の北側，F－4グリットのV層下面を調査中に発見された。範囲は長径0.63m，短径0.39m，厚さ0.05mである。北西隣にはF－6があり，それと同一時期の焼土と考えられる。

4節　フレイク・チップ集中範囲

F・C－1

発掘区の北東側，E－1グリットのⅣ層を調査中に検出された。範囲はE－2グリットにも広がる。範囲は長径1.04m，短径0.57mである。時期はⅣ層下面に検出されていることから縄文時代晩期頃かと考えられる。

37はⅢ群と考えられる小破片である。38はRフレイクである。

F・C－2

発掘区の北東隅，E－1グリットのV層を調査中に検出された。範囲は長径0.35m，短径0.25mの狭い範囲である。

F・C－3

発掘区の北側，E－4グリットのⅡ層を調査中に発見された。チップはその殆どが細かい細片であり，石質は頁岩と黒曜石が半々ぐらいである。範囲は長径が0.78m，短径は0.47mである。時期はⅡ層より検出されたことⅣ群b類土器が出土したことから続縄文時代前葉と考えられる。

39は胴部破片で縄文が施されている。

F・C－4

E－4グリットのⅡ層を調査中，F・C－3 の東隣に発見された。範囲は長径0.40m，短径0.36mである。フレイクは大きい破片が多く石質は全てが頁岩である。なお，南隣にはB－3があるが，層位的にはF・C－3・4の方が若干高く，時期的に後になるものと考えられ，F・C－3 同様，続縄文時代 前葉と考えられる。

40は削器，41・42はRフレイクでともに頁岩製である。

F・C－5

D－4グリットのⅡ層を調査中に発見された。範囲は長径0.72m，短径0.46mで，西端で特に集中している。フレイク・チップは比較的小さいものが多い。石質は殆どが頁岩である。当地点はⅡb層出土であり，同一層位で0.30m程東側にⅣ群b類土器が検出されていることから，時期は続縄文時代前葉と考えられる。

43・44は頁岩製のRフレイクである。

F・C－6

D－4グリットのⅡ層下面～Ⅲ層上面を調査中に発見された。範囲は長軸0.83m，短軸0.48mで不規則な形状を呈するが，密集範囲は大きく2ケ所に分かれる。フレイク・チップは中ぐらい程の大きさであるが，他の集中地点に較べ量は多い。石質は全て頁岩である。検出された層位から続縄文時代初頭～前葉と考えられる。

45は石鏃，46はRフレイクである。

F・C－7

D－4グリットのⅡ層下面～Ⅲ層上面を調査中に発見された。範囲は長径0.64m，短径0.42mである。フレイクは大型のものが多い。また，フレイクは原石面を残すものが多く，その幾つかは接合した。当地点の西側には炭化材が見つかっており，何らかの施設があった可能性がある。時期は検出された層位からF・C－6 同様，続縄文時代初頭～前葉と考えられる。

F・C－8

C－4グリットのⅡ層を調査中に発見された。範囲は長径0.30m，短径0.12mの極めて狭い範囲である。フレイク・チップは小さいものが殆どで数は少ない。この集中地点には炭化物が半ば覆い被さるように伴出しており，何らかの関わりが考えられる。また，周辺には，同一生活面上から，無柄の石鏃や台石として利用された小型の板状礫，Ⅳ群b類土器と考えられる土器底部，棒状の炭化材，削器，熱を受けて割れた礫などが検出されている。なんらかの作業施設内におけるフレイク・チップ集中であり，簡単な加工を施した場所であろう。時期は検出層位や遺物等から続縄文時代初頭と考えられる。

F・C－9

D－5グリットのⅡ層を調査中に発見された。範囲は長径0.52m，短径0.37mである。上位には大型のフレイク，下位には細かいチップ等が認められた。

47はⅣ群b類土器の口縁部である。

F・C－12

B－4グリットのⅡ層を調査中に発見された。分布は長径0.18m，短径0.15mのごく狭い範囲である。フレイクは比較的大きめで同じ位の大きさのものばかりであり，選んで持ち込まれたものと考えられる。石質は全て頁岩である。時期は出土層位から続縄文時代初頭～前葉と考えられる。

F・C－13

C－3グリットのⅡ層を調査中に発見された。範囲はB－3グリットにも広がり，長径0.63m，短径0.57mである。3点の礫を伴う。

F・C－14

F－4グリットⅡ層より検出。フレイクは頁岩が殆どである。層位などから続縄文時代初頭～前葉と考えられる。範囲は長径1.30m，短径0.79mである。

48は地文のみのもの，49は無文の土器でともにⅢ群a類土器，50はⅣ群b類である。51は削器である。

F・C－15

D－4グリットのⅡ層を調査中に発見された。範囲は長径0.51m，短径は0.32mである。フレイク・チップは比較的小型のものが多い。時期は南側の同一層位からⅣ群b類土器が出土していることから，続縄文時代前葉と考えられる。

F・C－16

Ｄ－４グリットのⅡ層を調査中に発見された。範囲は長径0.50ｍ，短径0.32ｍである。フレイクは大型のものが多く，南側には焼礫やⅣ群ｂ類土器の破片が出土している。時期は出土土器や検出層位から続縄文時代前葉と考えられる。

F・C－17

Ｆ－４グリットのⅤ層の落ち込みを調査中に発見された。範囲は長軸0.57ｍ，短軸0.35ｍの不規則な形状を呈する。フレイク・チップは比較的細かいものが多い。その多くは流れ込みと考えられ，明解な伴；土器も認められないことから，時期を特定することはできなかった。

F・C－19

Ａ－４グリットのⅡ層を調査中に発見された。範囲は長径0.27ｍ，短径0.16ｍ，フレイク・チップは比較的小さなものが散在する程度である。なお，同一生活面上には小規模ながら骨片集中範囲や赤褐色の粘土塊，Ⅳ群ａ類の土器片が認められ，それらが分布する範囲全体に赤い小礫が分布するなど特異な状況といえる。それらを全て含め，何らかの作業場であったと考えられる。時期は検出層位や出土遺物等から続縄文時代初頭～前葉と考えられる。

F・C－20

Ｂ－６グリットⅣ層より検出。フレイクとともに土器片が多く検出された。範囲は長径1.30ｍ，短径0.79ｍである。山本台地の縁辺の斜面に位置しており，原位置から大きく移動していると考えられる。分布域の東端から花崗閃緑岩の焼礫が検出されている。フレイクは頁岩が主体である。土器は主にⅢ群ａ類が出土している。

56は石錐，57・58・60は削器，59・61・62はＲフレイクである。57は靴形を呈する。削器・Ｒフレイクともに頁岩製である。

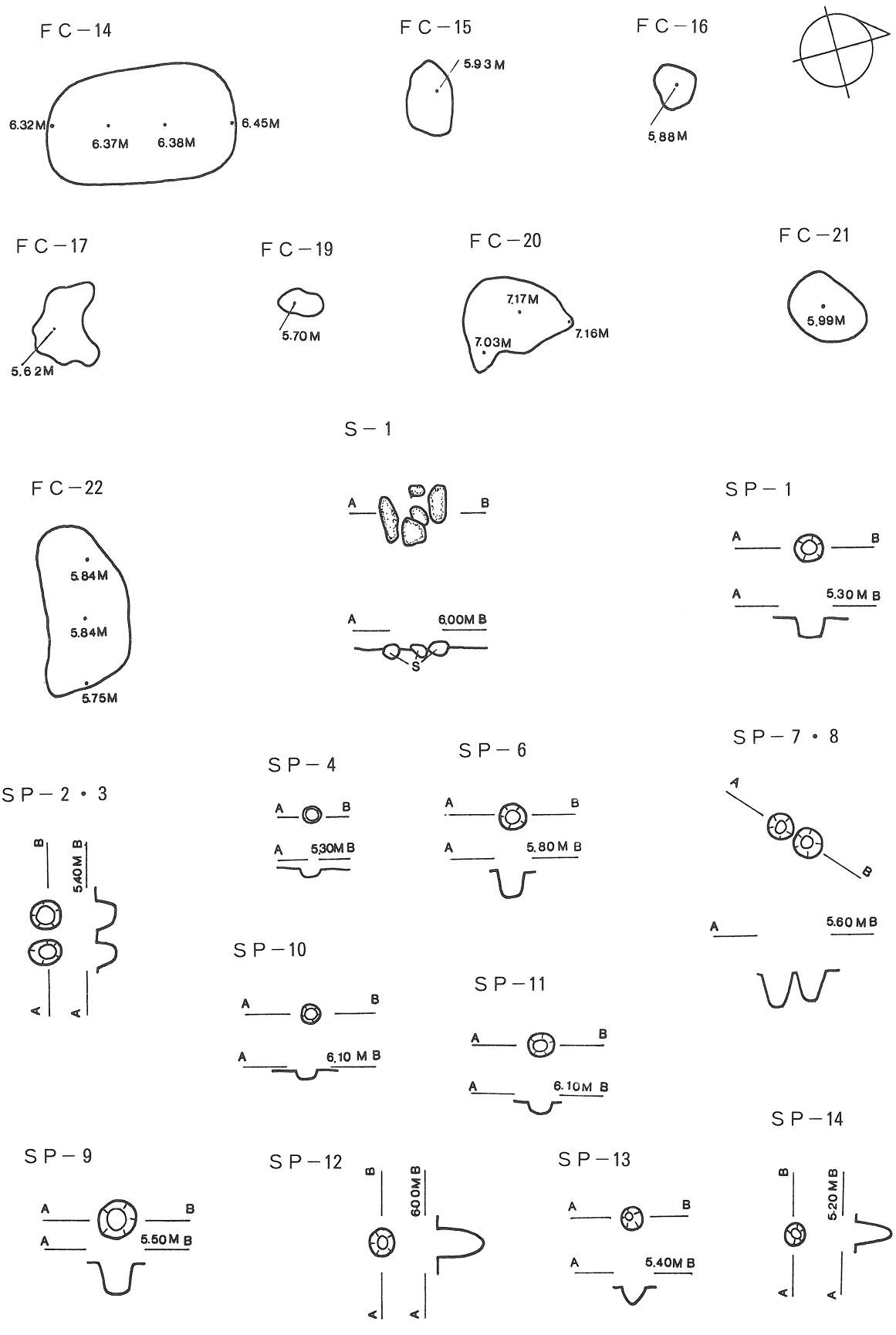
F・C－21

Ｂ－３グリットのⅡ層を調査中に発見された。範囲は長径が0.42ｍ，短径は0.38ｍである。出土層位から続縄文時代初頭～前葉と考えられる。

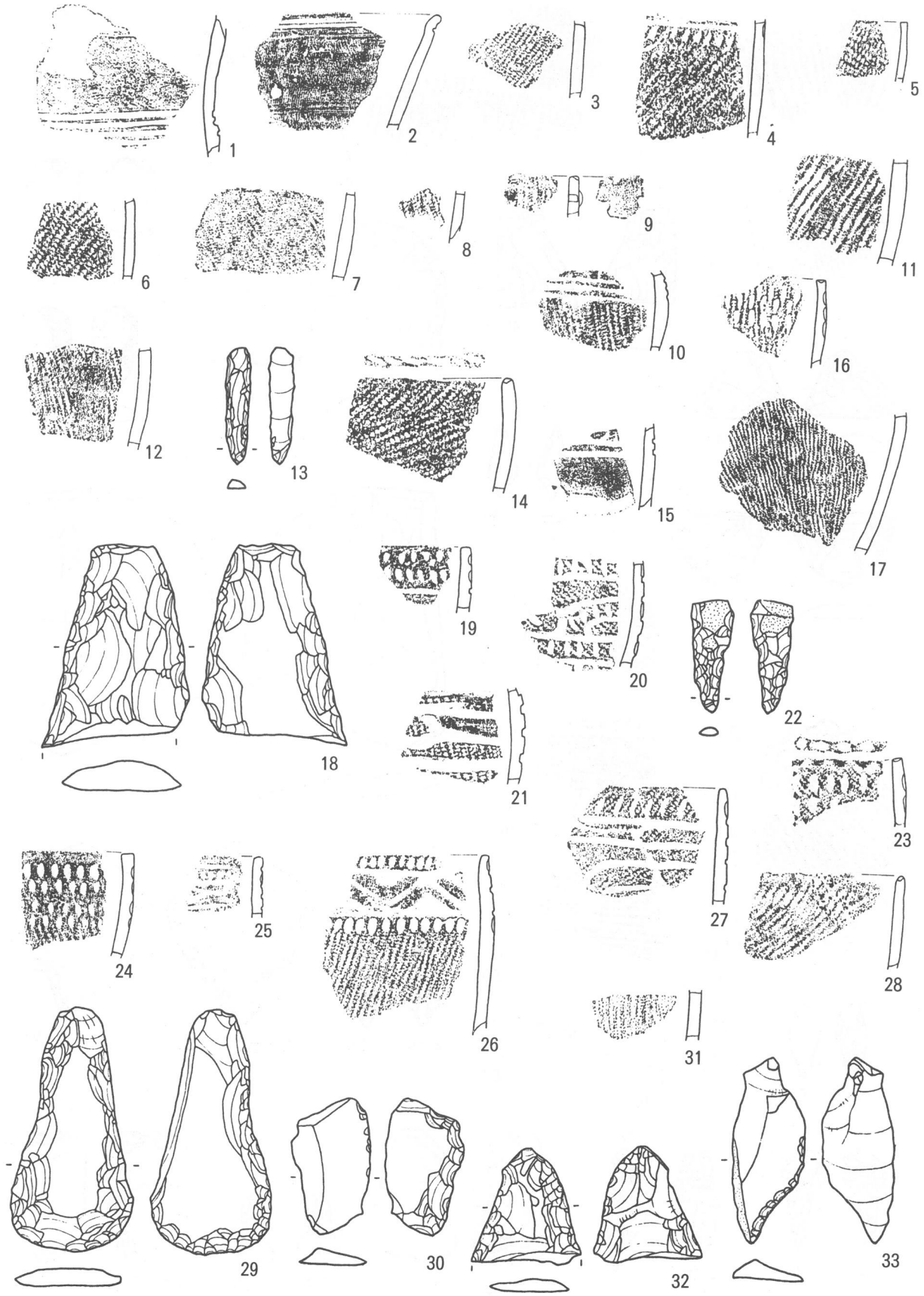
F・C－22

Ａ－３グリットのⅡ層より検出。フレイクとともにⅣ群ａ類土器が出土，復元された。範囲は長径が1.17ｍ，短径は0.57ｍである。隣接してＢ－13がある。

63は胴部から口縁部にむけすんなりと立ち上がる深鉢形土器である。底部は欠損している。口唇の断面形状は三角である。文様は口縁部に突瘤文と３条の沈線文，胴部には縦走縄文が施されている。色調は外面は茶褐色，内面は黒褐色である。64・65もⅣ群ａ類である。


FC－14
6.32M
6.37M
6.38M
6.45M
FC－15
5.93M
FC－16
5.88M
FC－17
5.62M
FC－19
5.70M
FC－20
7.17M
7.03M
7.16M
FC－21
5.99M
S－1
A
B
A
6.00M B
S
FC－22
5.84M
5.84M
5.75M
SP－1
A
B
A
5.30M B
SP－2・3
B
5.40M B
A
A
SP－4
A
B
A
5.30M B
SP－6
A
B
A
5.80M B
SP－7・8
A
B
A
5.60M B
SP－10
A
B
A
6.10M B
SP－11
A
B
A
6.10M B
SP－9
A
B
A
5.50M B
SP－12
B
6.00M B
A
A
SP－13
A
B
A
5.40M B
SP－14
B
5.20M B
A
A

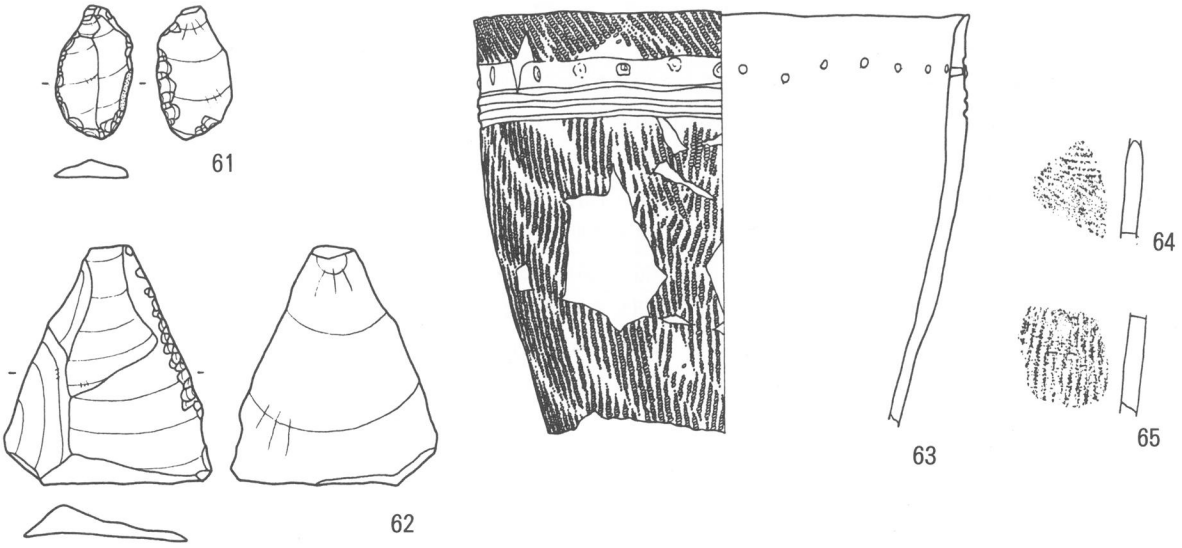
図Ⅲ－6　遺構図（5）


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33

図Ⅲ－7　遺構出土遺物（1）

34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60

図Ⅲ－８　遺構出土遺物（２）



図Ⅲ－９　遺構出土遺物（３）

５節　その他の遺構

Ｓ－１

Ｂ－４グリット，Ⅱ層下面～Ⅲ層上面を調査中に発見された。石組の範囲は長径0.47ｍ，短径0.39ｍで，上位からは取り上げ可能な礫が５個，下位には茶褐色化し，脆くなった礫が２個検出された。石組内には炭化物が出土しているが，焼土は検出されず，礫は熱を受けた痕跡は見られないため．用途は不明である。遺物は出土していないが，時期は出土層位から続縄文時代初頭～前葉と考えられる。

Ｃ－１

Ｆ－４グリット，Ⅴ層上面を調査中に発見された。範囲は長径0.47ｍ，短径0.36ｍである。炭化物は細かい破片として散在している。Ｆ－６・７と同一層位であることから縄文時代後期中葉と考えられる。

遺物は出土していない。

小ピット（ＳＰ－１～14）

全部で12基検出されている。時期を特定できる遺物が出土していないが，その多くは近世～近代の所産と考えられる。

表Ⅲ－1　土壙一覧表

遺構名	グリット	確認面	平面形	規　模	時期	備　考
P－1	E－4・5	Ⅱ層	楕円形	不明×0.83／0.20	Ⅳb	東側は水道管埋設により消滅
P－2	C・D－1	Ⅱ層	円形	不明×0.48／0.22	Ⅳ	
P－3	D－4	Ⅱ上面	楕円形	0.70×0.51／0.06	Ⅴ	
P－4	F－4	Ⅱ層	楕円形	0.47×0.30／0.08	Ⅳ	
P－5	D－3・4	Ⅲ層	不明	不明×1.57／0.04	Ⅲ	
P－6	B－4	Ⅳ層	長楕円形	0.74×不明／0.19	Ⅳ	
P－7	F－3・4	Ⅳ層	長楕円形	1.26×0.61／0.10	Ⅲ	
P－10	A－1・2	Ⅱ層	不明	不明×不明／0.22	Ⅳ	
P－11	A－1・2	Ⅱ層	不明	不明×不明／0.13	Ⅴ	
P－12	A－3	Ⅴ層	円形	0.41×0.41／0.15		灰色砂を人為的に埋設

表Ⅲ－2　骨片集中範囲一覧表

遺構名	グリット	確認面	平面形	範　囲	時期	備　考
B－1	E－2	Ⅳ層	楕円形	1.40×0.79／0.05	Ⅲa	焼けて脆くなった礫を伴う
B－2	D－1	Ⅳ層	不整円形	1.25×0.97／0.05	Ⅲa	割れた礫を伴う
B－3	E－4	Ⅱ層	不整形	2.10×1.61／0.05	Ⅳ	焼けた礫を伴う
B－4	E－4	Ⅱ層	不整形	0.67×0.51／	Ⅳ	
B－5	D－2・3	Ⅳ層	円形	1.10×1.07／	Ⅲa	焼けて脆くなった礫を伴う
B－6	D－5	Ⅳ層	不整円形	1.17×0.97／0.10	Ⅲa	割れた礫，土器片多量に伴う
B－7	D－4	Ⅳ層	不整形	1.39×0.50／0.07	Ⅲa	焼けた礫を伴う
B－8	A－4	Ⅱ層	不整形	0.43×0.19／0.06	Ⅳ	焼けた礫を伴う
B－10	B－1	Ⅲ層	不整形	1.72×0.79／0.05	Ⅳ	石組，焼土伴う。ヒエ種子検出。
B－11	A－1	Ⅲ層	不整形	2.07×0.90／0.10	Ⅳ	焼土伴う
B－13	A－3	Ⅱ層	不整形	1.68×1.02／0.04	Ⅳ	焼土伴う
B－14	A－3	Ⅱ層	楕円形	0.94×0.67／0.05	Ⅳ	
B－15	A－3	Ⅱ層	楕円形	0.55×0.32／	Ⅳ	

表Ⅲ－3　焼土一覧表

遺構名	グリット	確認面	平面形	範　囲	時期	備　考
F－1	B－3	Ⅱ層	楕円形	0.57×0.47／0.10	Ⅳ	P－8を変更
F－5	D－5	Ⅳ層	不整形	1.00×0.65／0.08	Ⅲa	
F－6	F－4	Ⅴ層下	楕円形	0.50×0.31／0.07	Ⅱb	
F－7	F－4	Ⅴ層下	楕円形	0.63×0.39／0.05	Ⅱb	

表Ⅲ－4　フレイクチップ集中範囲一覧表（1）

遺構名	グリット	確認面	平面形	範　囲	時期	備　考
FC－1	E－1・2	Ⅱ層	―――	1.04×0.57	Ⅳ	
FC－2	E－1	Ⅴ層	―――	0.35×0.25		
FC－3	E－4	Ⅱ層	―――	0.78×0.47	Ⅳ	
FC－4	E－4・5	Ⅱ層	―――	0.40×0.36	Ⅳ	
FC－5	D－4	Ⅱ層	―――	0.72×0.46	Ⅳ	
FC－6	D－4	Ⅱ層	―――	0.83×0.48	Ⅳ	
FC－7	D－4	Ⅱ層	―――	0.64×0.42	Ⅳ	
FC－8	C・D－4	Ⅱ層	―――	0.30×0.12	Ⅳ	
FC－9	D－5	Ⅱ層	―――	0.52×0.37	Ⅳ	
FC－10	E－3	Ⅴ層	―――	0.30×0.15		
FC－12	B－4	Ⅱ層	―――	0.18×0.15	Ⅳ	
FC－13	B・C－3	Ⅱ層	―――	0.63×0.57	Ⅳ	

表Ⅲ－５　フレイクチップ集中範囲一覧表（２）

遺構名	グリット	確認面	平面形	範　囲	時期	備　考
ＦＣ－14	Ｆ－４	Ⅱ　層	―――	1.30×0.79	Ⅳ	
ＦＣ－15	Ｄ－４	Ⅱ　層	―――	0.51×0.32	Ⅳ	
ＦＣ－16	Ｄ－４	Ⅱ　層	―――	0.50×0.32	Ⅳ	
ＦＣ－17	Ｅ・Ｆ－４	Ⅳ　層	―――	0.57×0.35	Ⅲ	
ＦＣ－19	Ａ－４	Ⅱ　層	―――	0.27×0.16	Ⅳ	
ＦＣ－20	Ｂ－６	Ⅲ　層	―――	1.30×0.79	Ⅲ	土器多量に伴う
ＦＣ－21	Ｂ－３	Ⅱ　層	―――	0.42×0.38	Ⅳ	
ＦＣ－22	Ａ－３	Ⅱ　層	―――	1.17×0.57	Ⅳａ	Ⅳ群ａ類の一括土器を伴う

表Ⅲ－６　石組遺構一覧表

遺構名	グリット	確認面	平面形	範　囲	時期	備　考
Ｓ－１	Ｂ－４	Ⅲ　層		0.48×0.39	Ⅲ	

表Ⅲ－７　炭化物集中範囲一覧表

遺構名	グリット	確認面	平面形	規　模	時期	備　考
Ｃ－１	Ｆ－４	Ⅴ下面		0.47×0.36	Ⅱ	

表Ⅲ－８　小ピット一覧表

遺構名	グリット	確認面	平面形	規　模	時期	備　考
ＳＰ－１	Ｅ－１	Ⅲ　層	楕円形	0.20×0.18／0.13		
ＳＰ－２	Ｅ－４	Ⅲ　層	楕円形	0.22×0.17／0.15		
ＳＰ－３	Ｅ－４	Ⅲ　層	円　形	0.20×0.20／0.14		
ＳＰ－４	Ｅ－２	Ⅱ下面	円　形	0.10×0.11／0.06		
ＳＰ－６	Ｅ－３	Ⅲ　層	円　形	0.17×0.17／0.17		
ＳＰ－７	Ｅ－３	Ⅲ　層	円　形	0.18×0.17／0.23		
ＳＰ－８	Ｅ－３	Ⅲ　層	円　形	0.19×0.19／0.20		
ＳＰ－９	Ｆ－２	Ⅳ　層	円　形	0.26×0.25／0.21		
ＳＰ－10	Ｂ－４	Ⅳ　層	円　形	0.13×0.12／0.05		
ＳＰ－11	Ｄ－４	Ⅲ　層	楕円形	0.17×0.13／0.08		
ＳＰ－12	Ａ－５	Ⅳ　層	楕円形	0.19×0.17／0.33		
ＳＰ－13	Ｂ－３	Ⅲ　層	円　形	0.15×0.14／0.10		
ＳＰ－14	Ｂ－１	Ⅲ　層	楕円形	0.15×0.13／0.25		

第Ⅳ章　遺　　物

1節　土　　器

第Ⅰ群土器　縄文時代中期のもの。

1は撚糸圧痕の施された貼付帯のあるもの。2は竹管様工具による押引文が施される。

3は底部から口縁部に向けすんなり立ち上がる深鉢形土器である。口縁は平縁で，口唇の断面形状は丸みを帯びた角形を呈する。口縁部にはＯＩの突瘤文が巡る。口縁部から胴上部にかけて斜行縄文が施され，同じ原体の縄文が内面の口縁部にも施される。色調は，内外面ともに黄褐色～茶褐色。

4は口縁部に2条の条線文の施され，地文に縄文の施されたものである。5は撚糸文の施された胴部破片，6は口縁部が無文で胴部に撚糸文の施されたものである。

第Ⅱ群土器　縄文時代後期のもの。

a類：後期前葉のものをまとめた。

7は入組状の文様の施されたもの，8は内外面に幾何学的な文様が施されたものである。11には連続したＳ字状の文様が描かれている。12は円弧状の文様が施されている。

b類：後期中葉のものをまとめた。

14は胴部がすんなりと立ち上がり，頚部が若干すぼみ，口縁部の開く深鉢形土器である。底部は欠損している。口唇の断面は角形を呈する。口縁には4つの山形口縁で，口唇直下には幅のせまい縄文帯，頚部には上位が沈線による連孤文，下位が横走沈線で区画された縄文帯がめぐる。胴部には円弧を上下互い違いに組み合わせた文様が施されている。色調は内外面ともに茶褐色である。

15～18は，口縁部の破片で16・17は円形刺突文の巡るもの，18は横走沈線の巡るものである。19・20は胴部の破片で，19は壷形土器と考えられる。

21は胴部から口縁部に向け大きく開く深鉢形土器で口縁は波状を呈する。底部は欠損している。口唇の断面は角形で，刻みが口唇直下と胴部との境目に巡る。口縁部は無文である。胴部はＳ字を基調とする入組文が描かれている。色調は内外面ともに褐色である。

22は小型の浅鉢形土器である。口縁には山形の小突起があり，その中央に貫通孔がほどこされる。口唇の断面形状は角形で刻みはここに巡らされる。口縁部には縦位の沈線，胴部との境目には横走沈線が3条巡る。胴部は無文である。底部は僅かに遺存するが形状がわかるほどは残っていない。色調は外面が黒褐色，内面が茶褐色である。

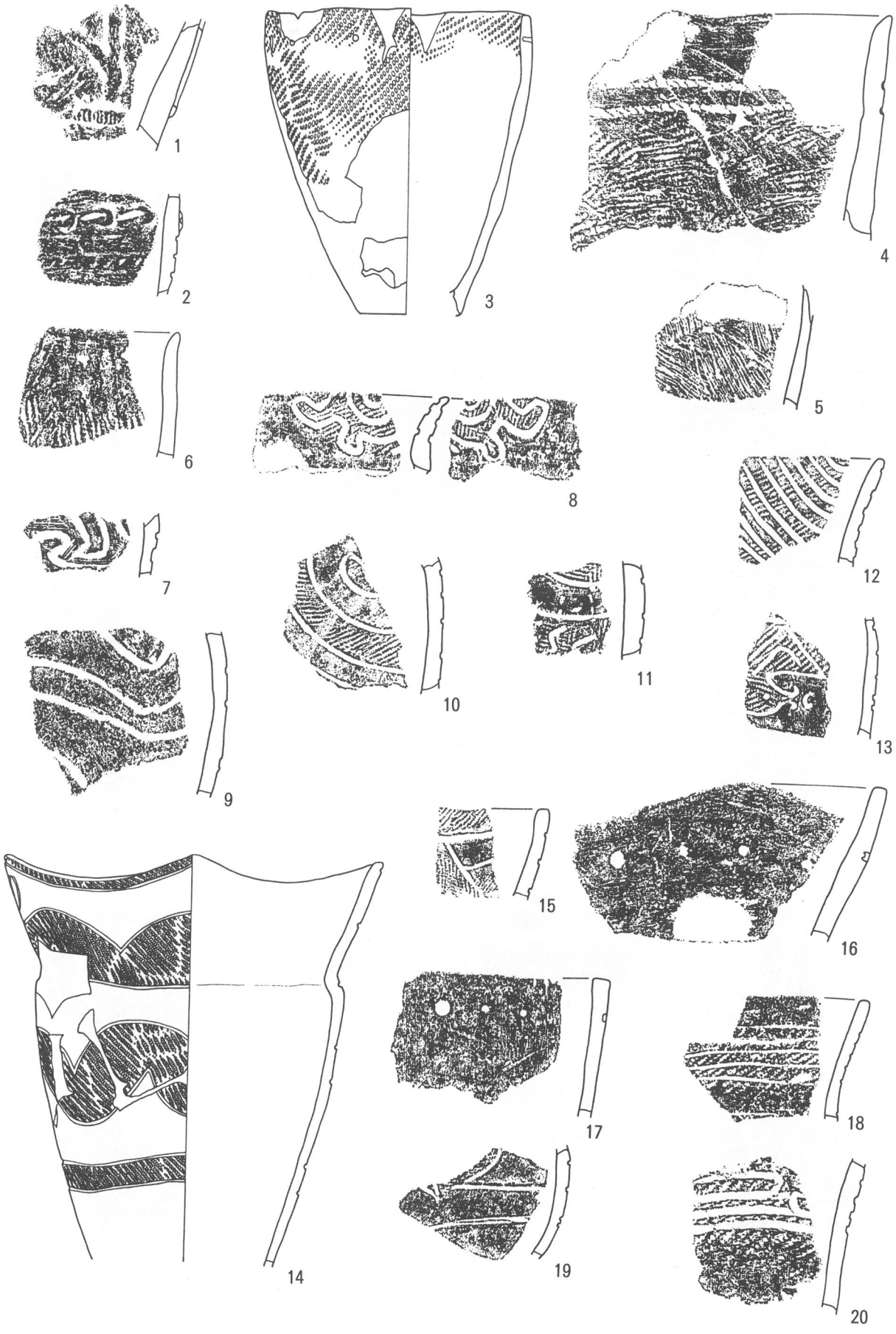
23は小型の浅鉢形土器で，口縁部が欠損する。頚部には沈線及び刻みが巡り，胴部には地文としての縄文及び沈線文が施される。底部は僅かに揚げ底となる。色調は内外面ともに黄褐色である。

24は小型の筒形土器の頚部である。口縁部と胴部以下は欠損している。文様は上部には刻みが横位に，下位には縦位に施され，地文の施された部分を区画する。色調は内外面ともに黄褐色である。

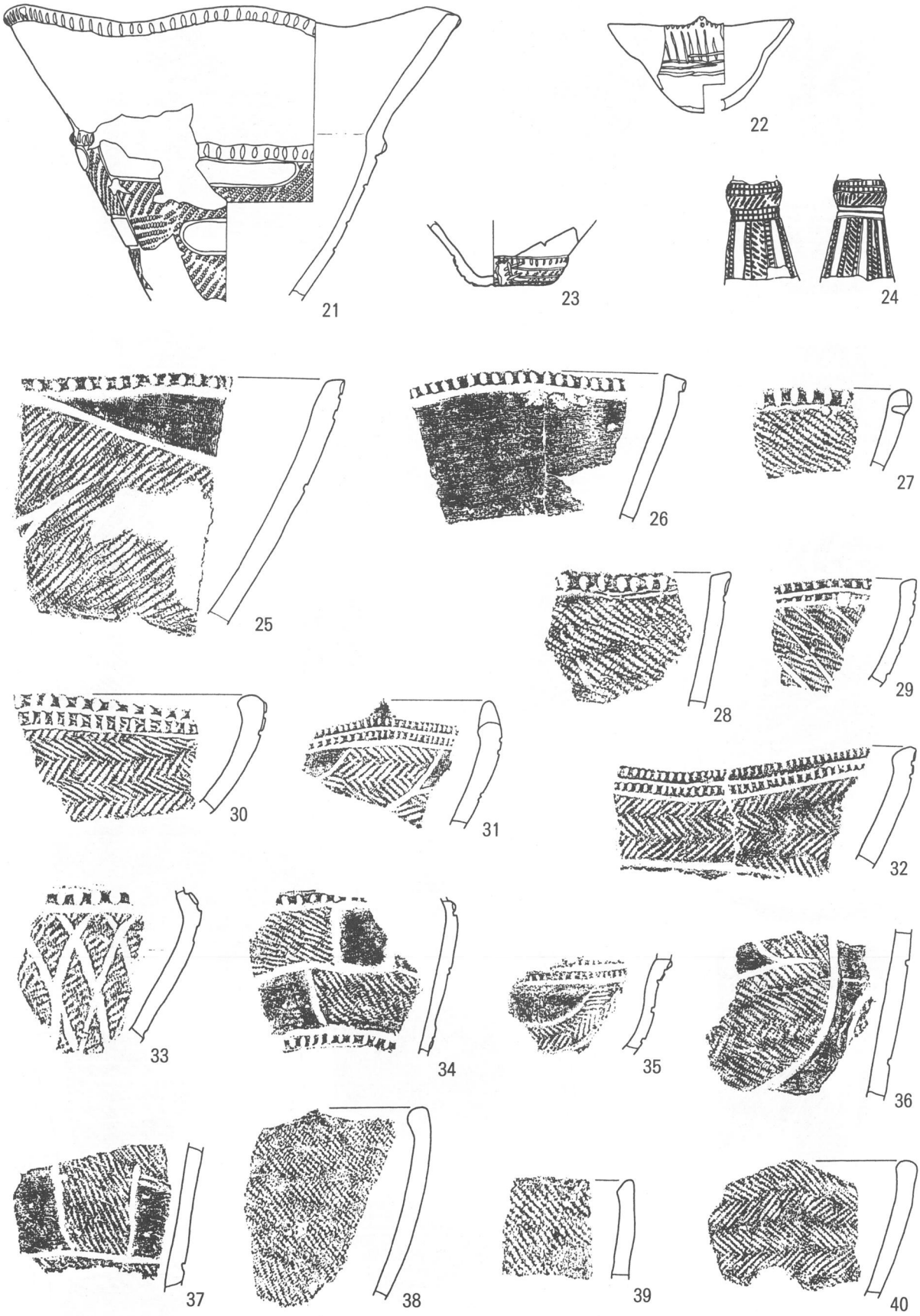
25～32は口唇直下に刻みの巡るもので，25～28は1条，29～32は2条巡る。27は円形刺突文，29は斜位の沈線が施される。30～32は地文が羽状縄文。33～35は刻みの巡る胴部の破片である。33は格子状の文様，34は縦位と横位の沈線で，地文の施された場所と無文の場所を区画する。35は2条の刻みが巡る。38～41は地文のみのものをまとめた。38・39は斜行縄文，40・41は羽状縄文である。

c類：縄文時代後期後葉のものをまとめた。

42～44は沈線の描かれた口縁部の破片である。42・43は円孤状に描かれた沈線の組み合わせによる文



図Ⅳ－１　包含層出土土器（１）



図Ⅳ－２　包含層出土土器（２）

様ですり消しによる無文帯を形成する。45～46は胴部の破片で沈線の施されたものである。

47～64は突瘤文の施されているものである。47～51・55～60は横走沈線を巡らしたのち，突瘤文のほどこしたもの。52～54・61・63・64は沈線は施されず，地文の上から突瘤文を施している。62は外面から刺突を施したのち，内面に形成された突瘤をならし，外面の刺突には貼付瘤を付け，刺突を隠したものである。65・66は口縁部に横走沈線が，67・68は沈線により鋸歯状の文様を描く。69・70は胴部の破片で地文の上から幾何学的な文様が描かれている。

71は口縁及び底部の欠損した壷形土器である。文様は肩部に円弧状に施された沈線を基調とする文様が描かれ，その部分のみ地文の縄文が施されている。色調は内外面ともに黄褐色である。

72は小型の浅鉢形土器である。口唇の断面は丸みをもつ。文様は口縁部と底部に沈線に区画された縄文帯が巡り，胴部には無文帯の中に連続した円弧文が描かれている。色調は外面が茶褐色，内面が黒褐色である。73～75は地文に沈線文及び擦り消しを施したもの。

76は比較的小型の浅鉢形土器と考えられる。口縁部及び底部は欠損している。頚部及び胴中部～下部に文様帯が巡り，胴上部は無文帯となる。文様は地文には斜行縄文がほどこされ，その上から頚部には鋸歯状を基調とした沈線文や貼付瘤，胴中部から下部には弧状を基調とした沈線文や貼付瘤がめぐる。色調は内外面ともに黄褐色である。

77～80は貼付瘤の施されたもので，77は口縁部，78～80は胴部の破片である。79は貼付瘤の剥落した跡が認められるものである。

第Ⅲ群土器　縄文時代晩期のもの

ａ類：晩期前葉のもの。

１種：上の国式などに相当するもの

82～93は爪形文をもつもののうち，爪形文の左側に“めくれ”の認められるものである。82・83は突瘤の上から爪形文を施しているものである。84・86は爪形文の間に沈線による文様を施しているもので，84は×印に似た文様を連続して描いている。85は胴部に弧状を基調とした文様を描いている。88は２条の沈線の上に，爪形文を施しているが，他に較べて大きく，“めくれ”が右側にあることなど，若干異なる。87は大き目の貼付瘤を施しているものである。

94～107は爪形文ないし刺突文が２段巡るものである。地文は斜行縄文を施したものが多い。

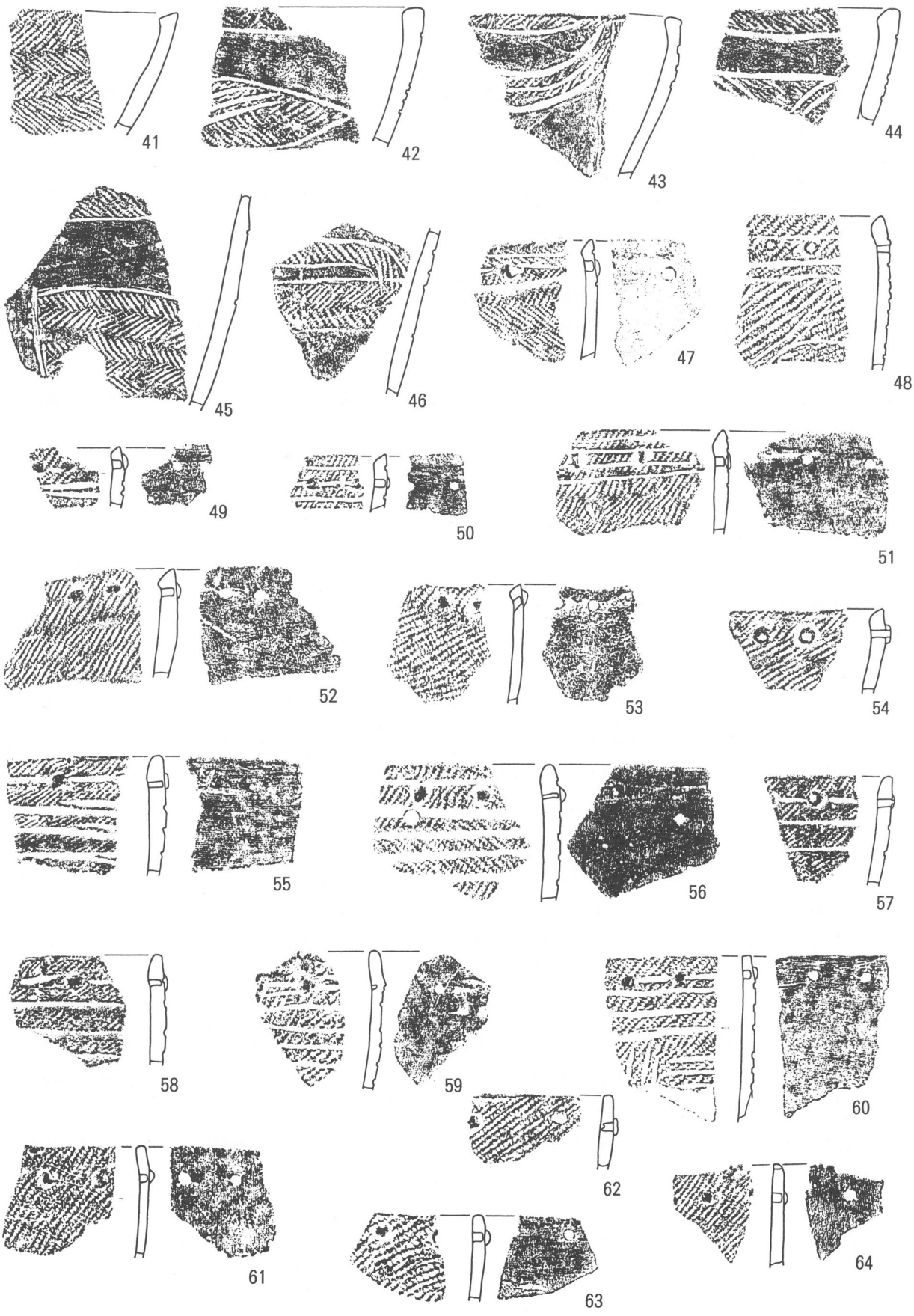
94は口縁部がすんなり立ち上がる深鉢形土器で底部は欠損している。口縁には斜め方向の刻みが巡り，そのため小さな波状口縁となる。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部は丸棒状工具による斜めからの刺突による爪形文を２列施している。地文は斜行縄文である。色調は内外面ともに黒褐色～黄褐色である。

95は胴部から口縁部にむけ直線的に開く深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁には２組の山形小突起が８対めぐり，口唇の断面形状は角形となる。口縁部に爪形文が２段施されている。地文は斜行縄文である。色調は外面は茶褐色，内面は褐色である。

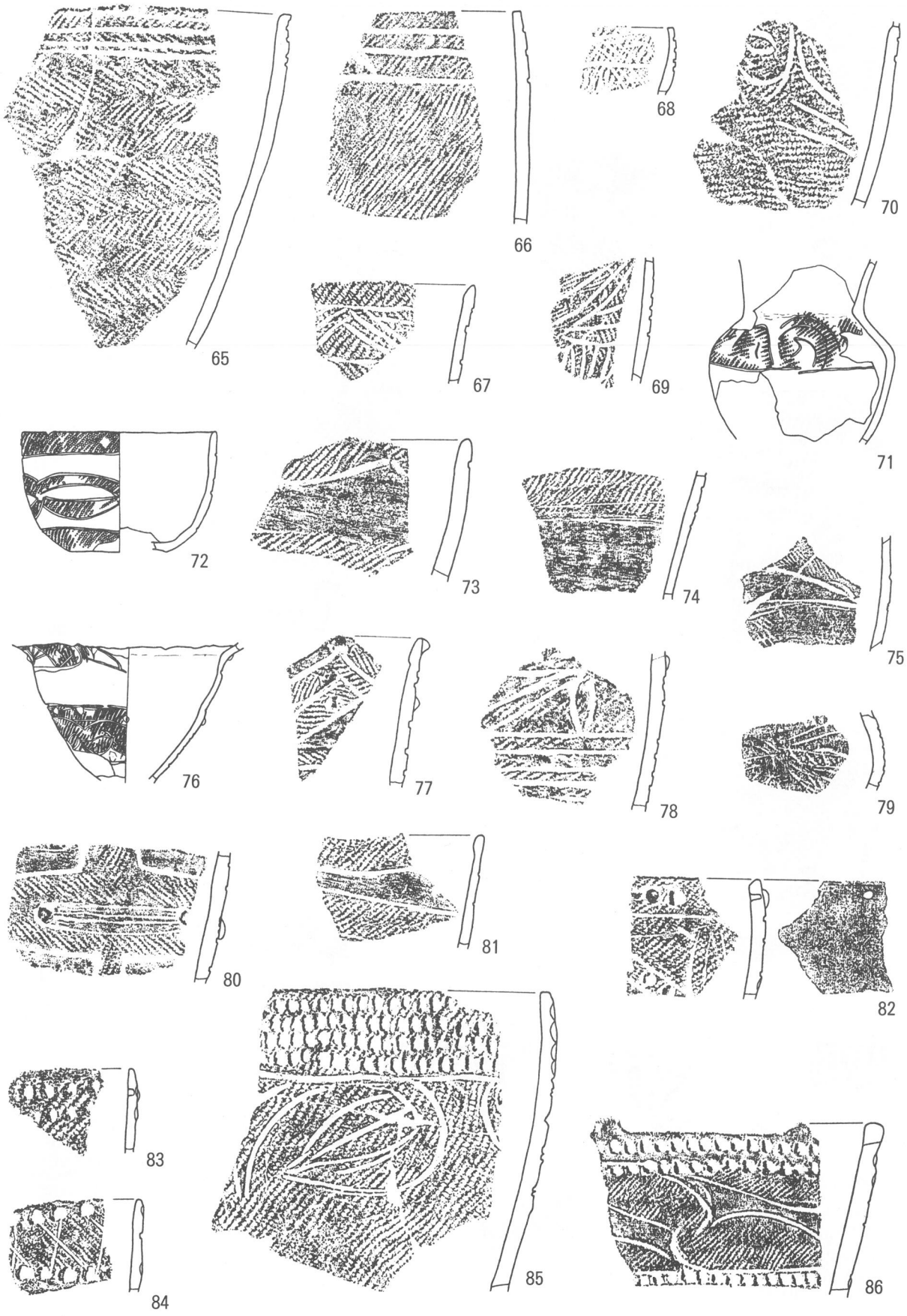
96は94と同様の器形をもつ深鉢形土器で底部は欠損している。口唇の断面形状は外削ぎ気味の角形で，94と同様斜め方向の刻みにより小さな波状口縁を形作る。文様は角棒の先端による上からの刺突による爪形文を２段施している。胴部は斜行縄文である。色調は内外面ともに灰褐色である。

97の爪形文は角棒の先端，99・101は棒状工具で刻線を施すように刻む。103は細い棒状工具による列点文状，105・106は角棒状工具による押引文状，100は先端が丸みをもつ工具の刺突による爪形文と考えられる。107は“めくれ”が認められるものであるが前掲したものと違い，方向がまちまちであるなど規則性がない。

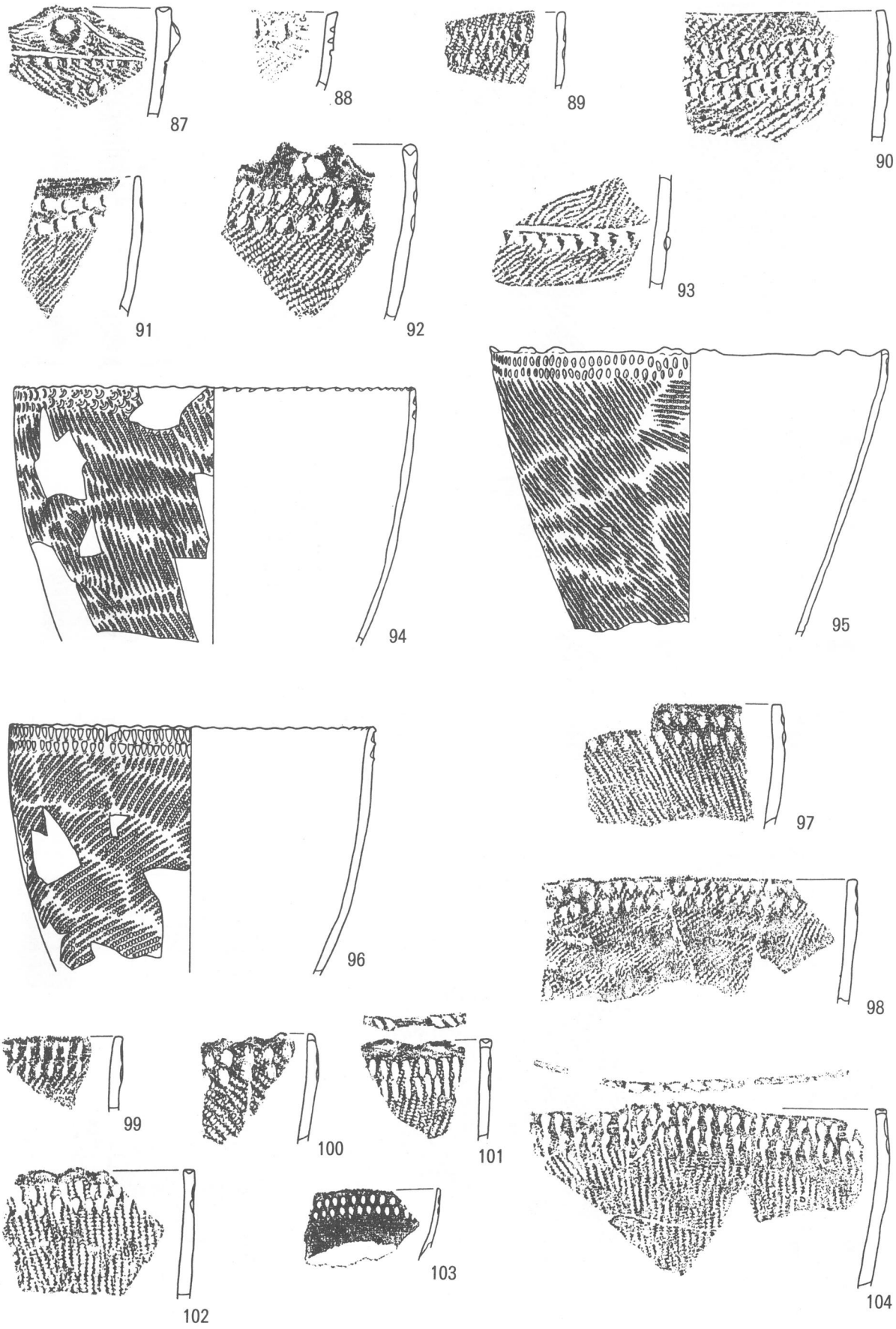
108～123は３段の爪形文の巡るものである。地文は縦走縄文が大半を占める。



図Ⅳ－３　包含層出土土器（３）



図Ⅳ－４　包含層出土土器（４）



図Ⅳ－５　包含層出土土器（５）

108は胴部から口縁部に向けすんなりと立ち上がる深鉢形土器で，底部は欠損する。口縁には斜め方向の刻みが施され，小さな波状口縁を形作る。口唇の断面形状は角形である。地文は縦走縄文を施している。色調は外面が黄褐色，内面が灰黄褐色である。

109は胴部から口縁部に向け立ち上がる深鉢形土器で，底部は欠損する。口唇の断面形状は丸みを持つ角形である。口縁は平縁であるが，連続した4個の刻みが6箇所施される。胴部は縦走縄文を施している。色調は外面が褐色，内面が黒褐色で煤が付着している。

110の爪形文は角棒状工具による斜め方向，112は先端が丸みを持つ工具による刺突，113 は丸棒状工具による横方向の刺突による爪形文が施される。112の地文は斜行縄文である。

114は胴部から口縁部に向け椀状に立ち上がる深鉢形土器である。口縁には正面に3個，側面に1個の山形小突起が施される。口唇の断面形状は角形を呈する。胴部には縦走縄文が施される。色調は外面が茶褐色，内面が黒褐色である。115は細い丸棒状工具による上方向，119は横方向の刺突による爪形文である。

120は底部が張り出し胴部から口縁部に向け椀状に立ち上がる深鉢形土器である。上半分と下半分は接合しないため，図上で推定復元をした。口唇の断面形状は三角形を呈し，口縁には2個の山形小突起が認められる。文様は口縁部に山形小突起のあるところには4段，それ以外のところでは3段の爪形文が巡る。胴部は縦走縄文である。底部には2条の横走沈線が巡る。色調は外面が褐色，内面が黒褐色である。

121は胴部が大きく張り出して口縁部が真っ直立ち上がる器形である。底部は欠損している。口縁には棒状工具による刻みが内面と外面から交互に施されている。口唇の断面形状は丸みをもつ。胴部には縦走縄文を帯状に施す。色調は外面が黄褐色～褐色，内面が黄褐色である。122は地文に斜行縄文が施されている。

124～131・134は爪形文が4段巡るものである。地文は130を除き，全て縦走縄文である。

124 は胴部から口縁部に向け，比較的直線的に開く深鉢形土器である。底部は欠損している。口唇の断面形状は丸みを持つ。口縁には斜め方向の刻みが巡り，それにより細かい波状口縁を形ずくる。口唇の断面形状は丸みをもつ。色調は外面が褐色，内面が暗褐色である。

125は口縁の一部が波状となっているものである。

127は胴部から口縁部に向けすんなりと立ち上がる深鉢形土器で，口唇の断面形状は角形を呈する。口縁には124同様，斜め方向の刻みが施され，細かな波状口縁を形作る。色調は外面が褐色，内面が黄褐色である。130は地文が斜行縄文のもの。131は口縁に小突起の施されているもので，突起には1段の爪形文が施されるため突起のある部分だけ5段となる。134 は太い角棒状工具により横位の押引文ふうに施される。

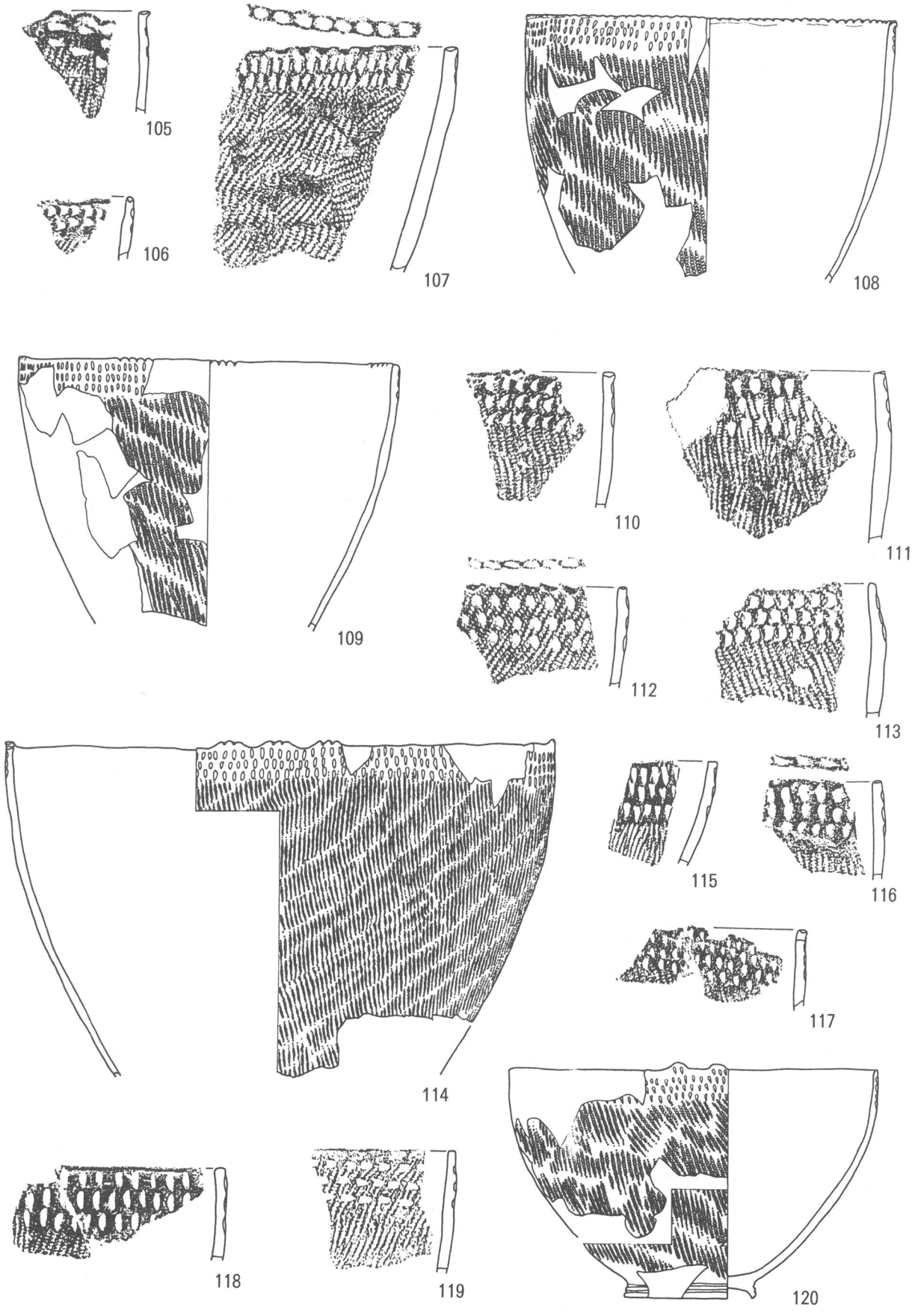
132・133は5段の爪形文が施されたもの。132の口唇には斜め方向の刻みが巡るが，部分により刻みの向きを変える。

135～139は口縁部の文様が爪形文と横走沈線によるものである。

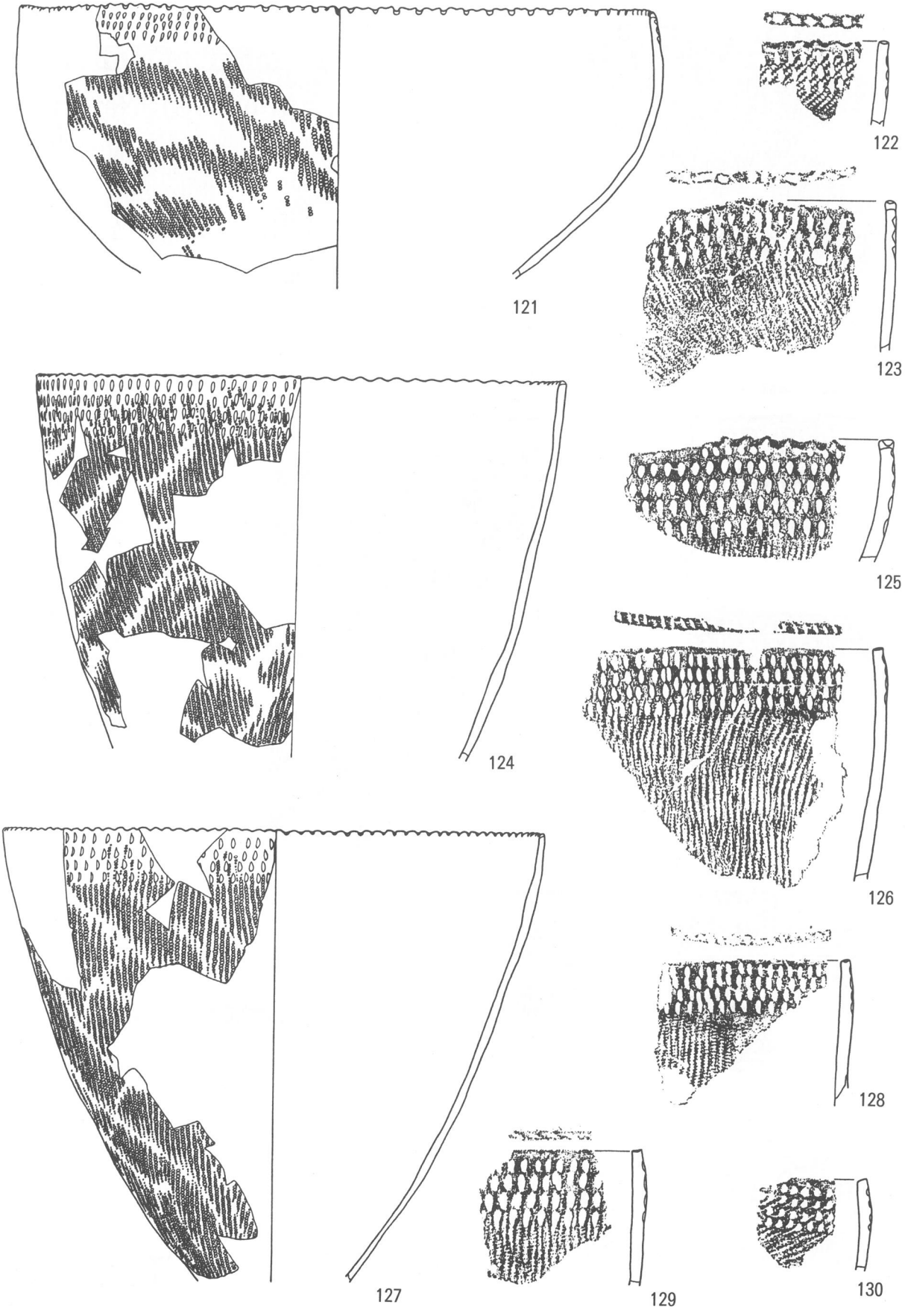
135は胴部から口縁部に向け内湾し立ち上がる深鉢形土器である。口唇の断面形状は丸みを持つ。口縁には2組1対の山形小突起が4箇所巡る。文様は山形突起下には沈線による曲線，口縁部には3本の横走沈線の上下に2段の爪形文が巡る。胴部には縦走縄文が施されている。色調は外面は褐色～黒褐色，内面は灰褐色～黄褐色を呈する。

136は爪形文に挟まれて3本，138は爪形文下に2本，137は爪形文を挟んで4本の横走沈線が巡る。136・139は上位には縦位，下位には横位の爪形文が施されている。

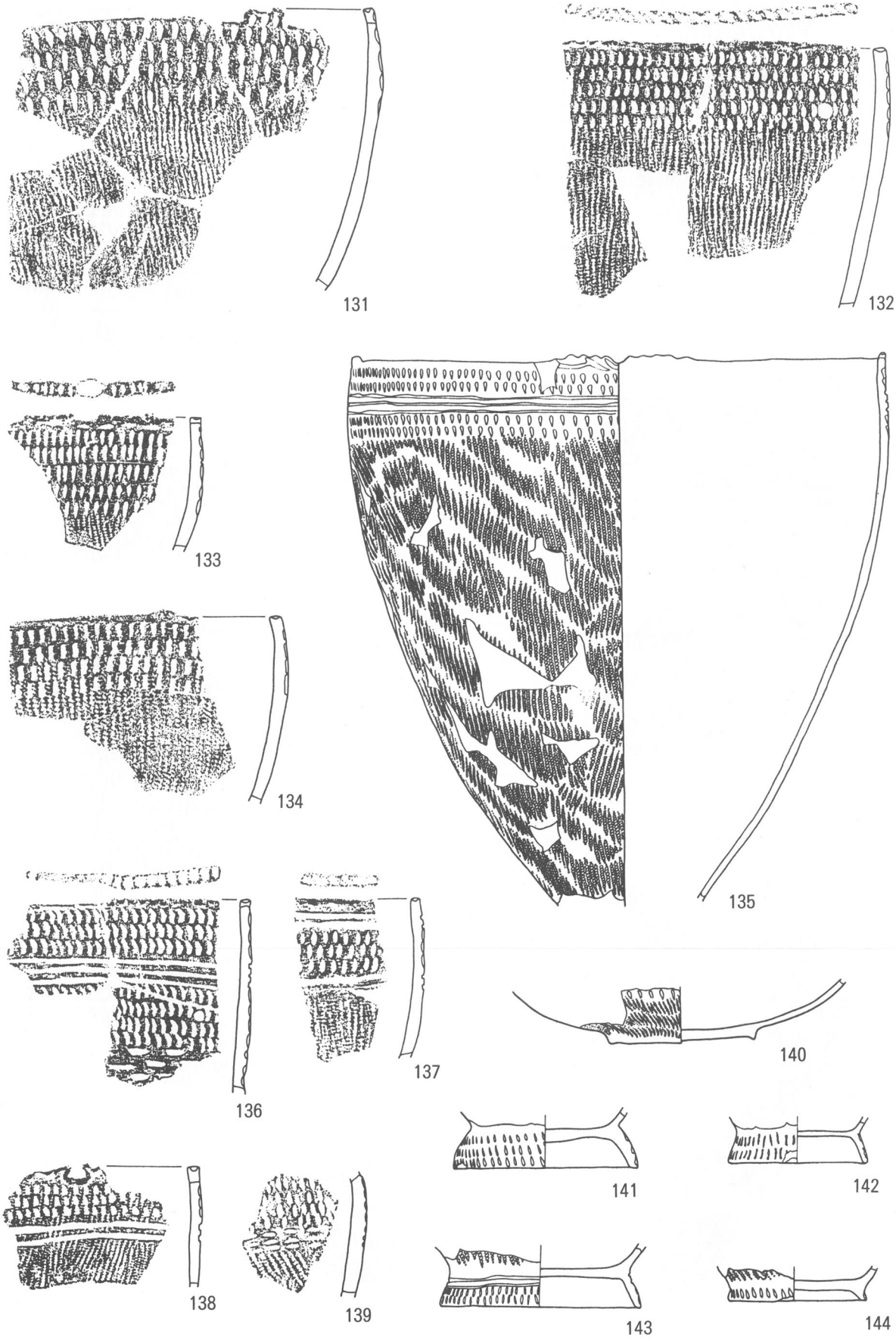
140～144は底部の資料である。140は浅鉢形土器の底部である。141～143は台状となっているものである。141は3段，142は2段の爪形文，143は2段の爪形文と2条の横走沈線が施される。



図Ⅳ－６　包含層出土土器（６）



図Ⅳ－７　包含層出土土器（７）



図Ⅳ－８　包含層出土土器（８）

145～178は沈線文と爪形文の組み合わせにより，幾何学的な文様の展開するものである。

145は胴部の張り出す小型の浅鉢形土器である。口縁には2個1組の小突起が6対巡る。口唇の断面形状は角形を呈する。器面の文様は口唇から底部付近まで爪形文と横走沈線が交互に施され，その中間には1対の小突起下に一つずつ“6”の字に似た文様が描かれている。内外面ともにきれいに調整されている。色調は外面が褐色，内面が黄褐色である。

146は注口土器の注口部である。文様は沈線に挟まれた爪形文のほか，貼付瘤が施されている。色調は内外面ともに褐色である。

147～149は口縁部に横走沈線と爪形文のみの組み合せのものである。149・150は丸棒状工具による斜めからの刺突による。151・152は刻み目の上位に貼付瘤が施されているもの。154は2段の刻み目にはさまれて連続した山形文が施されたものである。161～164は沈線に挟まれた爪形文により直線以外の様々な文様を施すもの。164・165は胴部の破片で，165には刻みの施された貼付瘤が巡る。166・168・173～176・177・178は横走沈線や幾何学的な文様の間に爪形文を充填したものである。

179～184は器面や文様の区画内において小刻みの刺突を施しているものである。

179 は小型の浅鉢形土器である。口唇の断面形状は角形を呈しする。口縁は細かい波状口縁となっている。器面には6段の列点文が巡る。底部は平底と考えられる。色調は内外面ともに褐色である。

180は区画文で括ったその外側を刺突で充填している。

182は底部の丸い浅鉢形土器で，口縁部は欠損する。頚部には横走沈線が数条巡り，幅の狭い胴部には列点文が1段施されている。丸底の底部には同心円を基調とする沈線が描かれ，その間を刺突文が充填する。色調は内外面ともに褐色である。

183は胴部の張り出す深鉢形土器と考えられるが，口縁部と底部が欠損しているものである。文様は頚部に列点文が2段巡り，胴部には工字文ふうの区画内に列点文が1段施される。色調は外面が黒褐色，内面が褐色である。184 は2本の横走沈線や，2本1組の垂下する沈線で区画し，その中を刺突文で充填している。

185・186は沈線を基調とした文様であるが一部に刺突も施されている。187～192は沈線文の施されたもで，191は深い沈線を刻み孤状の文様を貼付文のように浮かび上がらせている。193はボタン状の貼付文の施されたものである。

194は底部の欠損した深鉢型土器である。口縁には刻みのある小突起が4個巡る。口唇の断面形状は丸みをもつ。文様は口縁部に4条の横走沈線が巡るのみである。色調は内外面ともに暗褐色である。195は突起部に穿孔が施されたものである。

197～214は地文のみのものである。

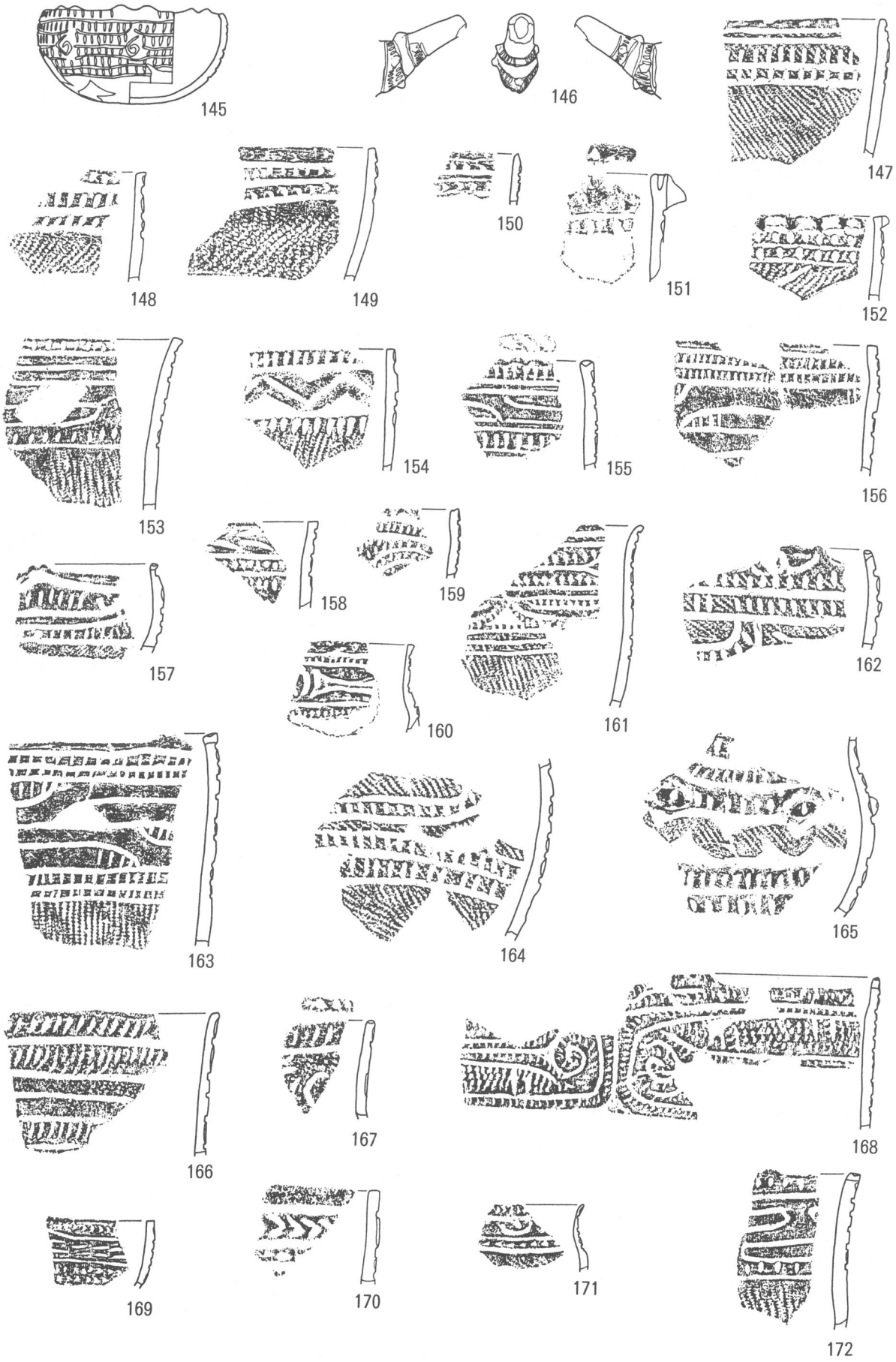
198は胴部から口縁部に向けすんなりと開く深鉢型土器である。底部は欠損している。口唇には斜め方向の刻みが巡り，細かな波状口縁となっている。口唇の断面形状は角形を呈する。地文は縦走縄文が施される。色調は外面が黄褐色～褐色，内面は黄褐色である。

197・199～203も細かな波状口縁を呈するものである。199・202の口縁は内面と外面から交互に押しつけるようなやり方で波状口縁を作出している。

204は胴上部から口縁部にむけ直線的に立ち上がる深鉢形土器である。口縁には斜め方向の刻みがめぐり，細かな波状口縁を形作る。口唇は丸みをもつ。地文は斜行縄文である。色調は外面が褐色～茶褐色，内面が褐色である。205・207は口唇に刻みの巡るもので，205は刻みの向きを変えて施す。

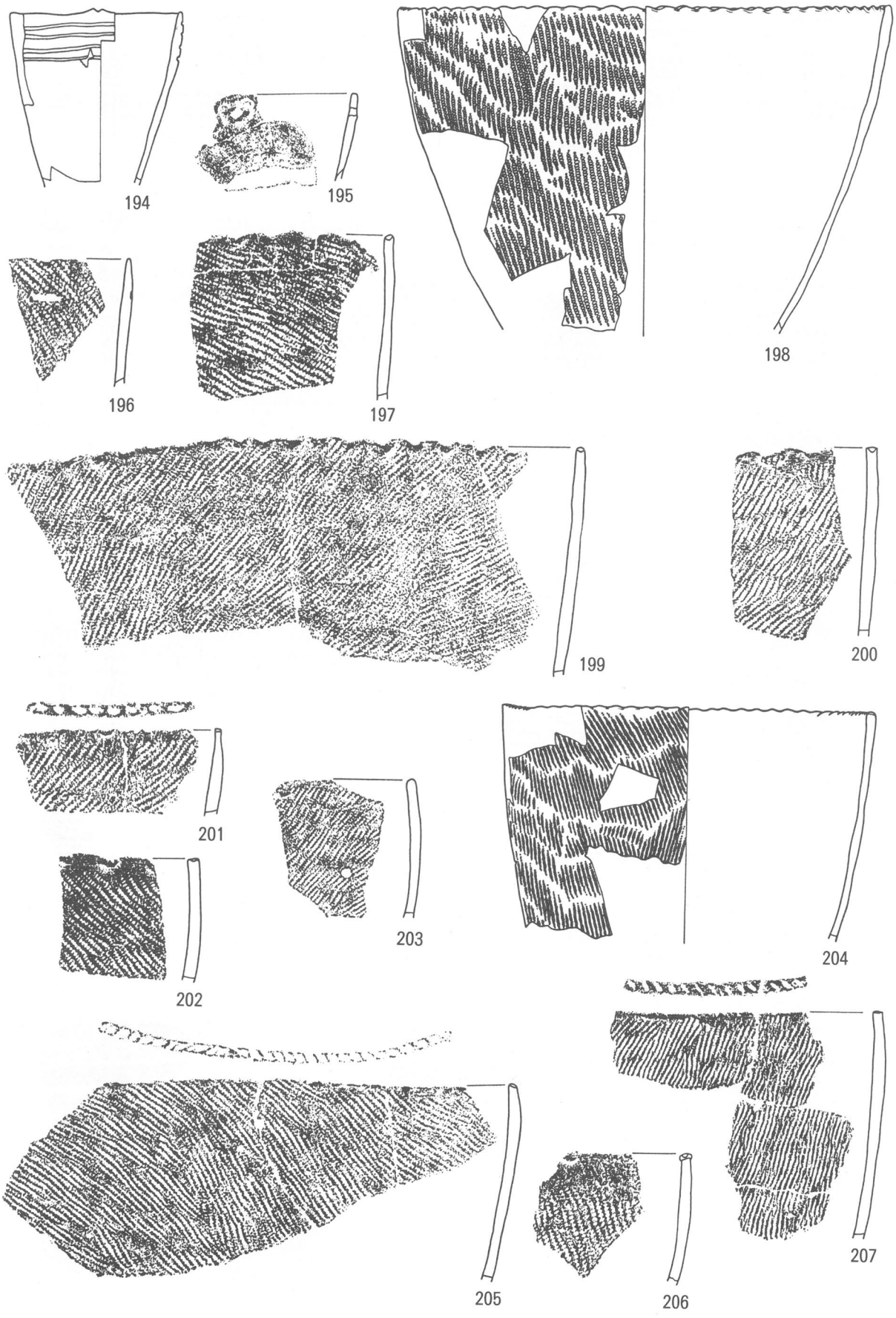
208は底部の欠損した浅鉢形土器である。口縁には頂部に刻みをもつ2基1組の小突起が，6ヶ所施されている。口唇の断面形状は丸みをもつ。文様は斜行縄文が施されている。色調は外面が褐色，内面が茶褐色である。

210は底部の欠損した深鉢形土器である。口縁は刻みがあるほかは平縁で篦状の工具による押圧によ



図Ⅳ－９　包含層出土土器（９）

図Ⅳ－10　包含層出土土器（10）



図Ⅳ－11　包含層出土土器（11）

り平縁を作出している。口唇の断面形状は角形を呈する。文様は斜行縄文が施される。色調は外面は暗褐色，内面が灰褐色である。

211は胴部から口縁部に向けすんなりと立ち上がる深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁には刻みのある小突起が認められ，口縁上には一部に縄文が施されている。口唇の断面形状は丸みを帯びた角形である。文様は縦走縄文である。色調は外面が褐色，内面が黒褐色を呈する。

213は胴部から底部にかけてのもので，底部は揚げ底である。214は胴部のみのものである。

215～221は無文のものである。

215は小型の浅鉢形土器である。底部は欠損している。口縁には刻みが巡り，口唇の断面形状は丸みを持つ。色調は内外面ともに黄褐色である。

216は椀状を呈する浅鉢形土器である。口縁には小突起のかけ落ちたあとがあるが，その他の部分は平縁である。口唇の断面形状は角形を呈する。底部は揚げ底であるが，底部が欠損している。

色調は内外面ともに黄褐色である。

217は胴部から口縁部にむけ大きく開く浅鉢形土器である。口縁には4個の刻みをもつ山形小突起が巡らされている。口唇の断面形状は角形を呈する。底部は揚げ底である。色調は外面が灰褐色，内面が黄褐色である。

218 は胴部から口縁部にむけ，直線的に立ち上がる深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁には細かな波状口縁が巡る。口唇の断面形状は丸みを持つ。色調は内外面ともに茶褐色。

219は大型の深鉢形土器で，口縁は細かな波状口縁，底部は揚げ底である。口唇の断面形状は丸みを持つ。色調は外面が褐色，内面は黄褐色である。

220は比較的小型の深鉢形土器である。口縁には小突起が1基施され，その他の場所には指による押圧が巡り僅かに波状となる。口唇の断面形状は鋭い三角を呈する。底部は僅かに揚げ底である。色調は内外面ともに黒褐色～褐色である。221は口縁部の破片で口唇に刻みが巡る。

2種：大洞B式などに相当するもの

222は胴下部と底部の欠損した深鉢形土器である。口縁は緩やかな波状を呈し，口唇の断面形状は丸みを持つ。文様は沈線によるもので，口縁部には弧や三角を施し，胴部には横走沈線や破線を巡らす。色調は内外面ともに黒褐色である。223～228は沈線による文様の描かれているもので，223は円弧状，226～228は三角形を基調とした文様が描かれている。

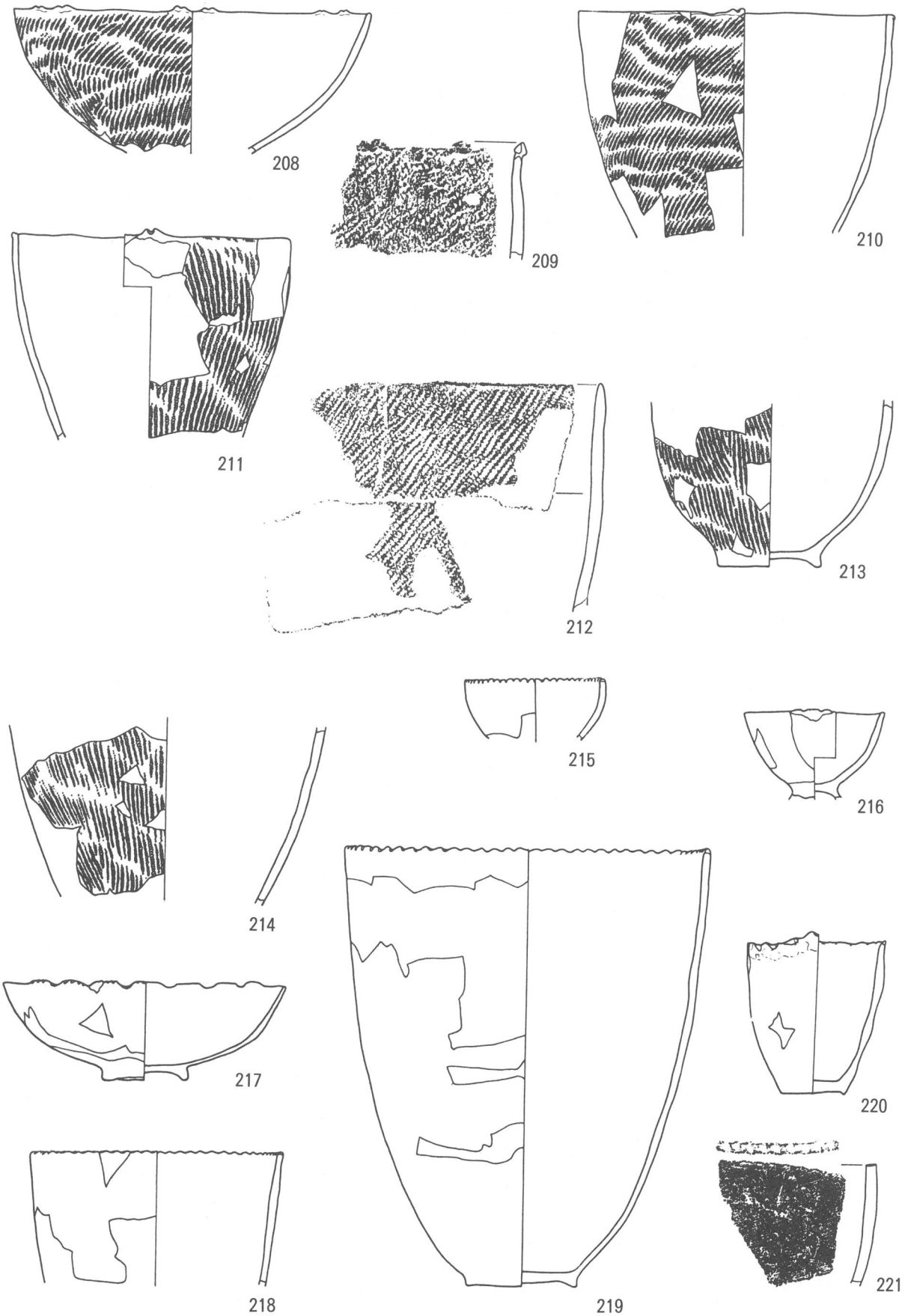
229は口縁部の欠損した浅鉢形土器で，底部は揚げ底である。文様は2条の横走沈線と三叉様の文様を施す。器面の調整は内外面ともに極めて良い。色調は内外面ともに黄褐色である。

230は注口土器の注口部である。

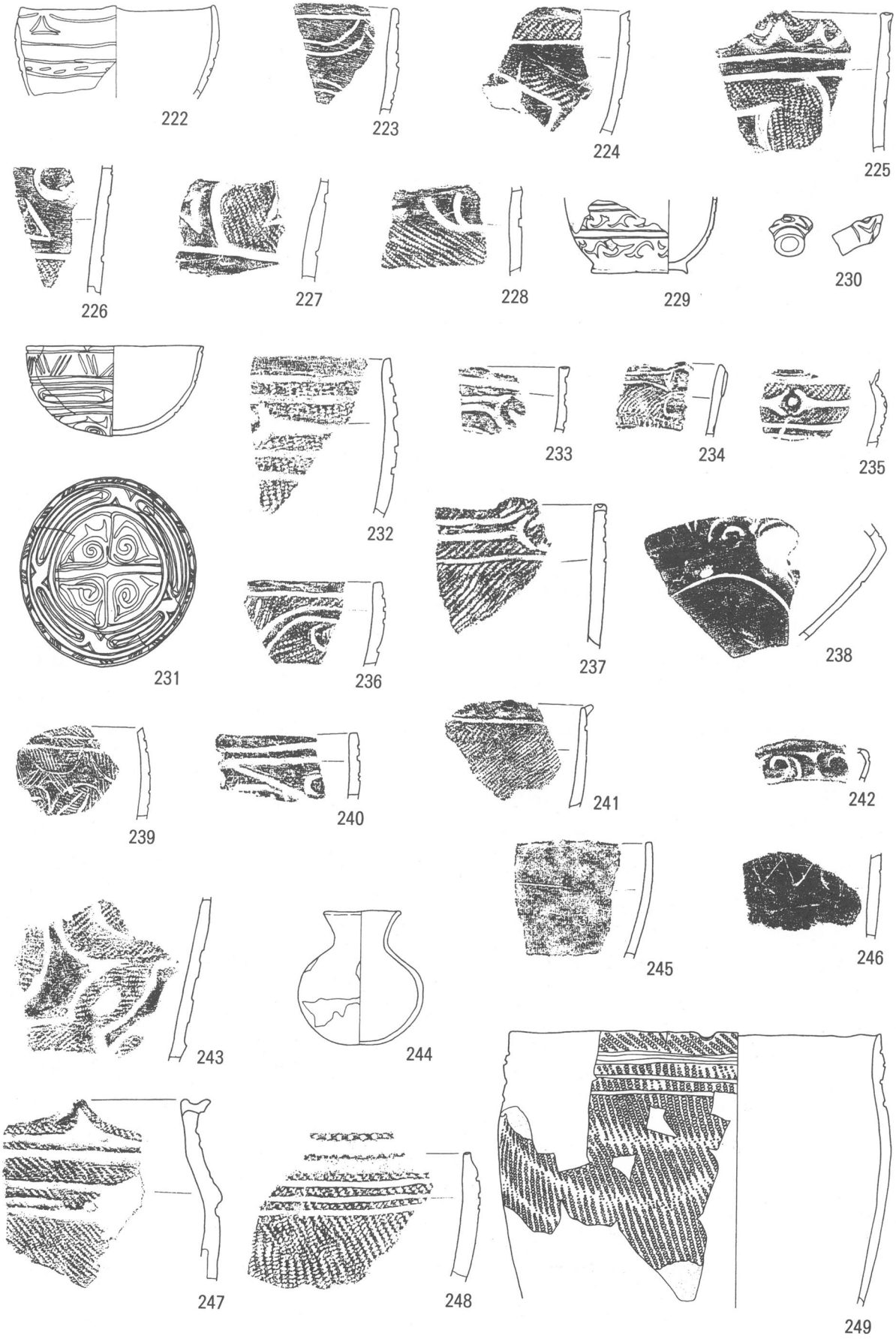
231は丸底の浅鉢形土器である。口縁は平縁で口唇の断面形状は丸みをもつ。文様は横走沈線文を数段施し，その間に“ハ”の字を連続した文様，楕円形を基調とした文様を施し，底部には渦巻き状の文様が4個施される。色調は内外面ともに褐色である。

232～235・237にも三叉状の文様が描かれている。238・242は精製土器で，238は注口土器の胴下部と考えられる。241は沈線の下位に細かな斜行縄文の施されたもので精製土器の可能性がある。

244は小型の壷型土器である。口縁は平縁，口唇の断面形状は角形である。器面全体に刻みが施さた，精製土器と考えられるが文様は施されていない。底部は丸底に近い。色調は外面が赤褐色～黒褐色，内面が褐色である。245・246も精製土器の可能性がある無文土器の破片である。246には焼成後に付けられた刻線が鋸歯状に刻まれている。



図Ⅳ－12　包含層出土土器（12）



図Ⅳ－13　包含層出土土器（13）

b類：晩期後葉のもの

247～249がこれに属する。ともに横走沈線を基本としたモチーフである。

249は胴部が僅かに張り出す深鉢形土器である。胴下部から底部にかけて欠損している。口唇の断面形状は三角である。口縁には1箇所凹んだ部分が認められる。口縁部の文様は横走沈線，地文は斜行縄文である。色調は内外面ともに褐色である。

第Ⅳ群土器　続縄文時代のもの。

a類：青苗B式，兜野式，大狩部式，東歌別式などに相当するもの。

1種：地文が斜行もしくは縦走縄文のみのもの。

250は胴部から口縁部にむけ，直線的に立ち上がる深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁は中央に大きな刻みをもつ山形の小突起が4基施される。小突起上は大きな刻みにより頂部が二つに分かれており，それぞれ頂部にはさらに小さな刻みが施される。文様は口縁部には小突起下に4本の縦方向の沈線が施され，胴部との境目には3条の沈線が巡る。胴部は縦走縄文が施される。色調は黒褐色～褐色，内面は褐色である。

251は底部が張り出し，胴上部から口縁部にむけ直線的に立ち上がる深鉢形土器である。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は三角である。文様は口縁部に4条の横走沈線が施されるが，上部の2条は，波頂部で切れて縦向きになる。胴部は縦走縄文が施される。底部は揚げ底である。色調は外面は褐色～黒褐色，内面は黒褐色である。

252は胴部が僅かに張り出す深鉢形土器で，胴下部以下は欠損する。口縁には山形の小突起がある。口唇の断面形状は三角である。文様は口縁部には，突起下に縦方向の列点文とそれを左右に挟む縦方向の沈線が施され，胴部との境目には3条の沈線が巡る。なお，列点文と沈線は同一工具による施文と考えられる。胴部には縦走縄文が施されている。色調は外面が黒褐色～赤褐色，内面が黒褐色である。

253は小型の浅鉢形土器である。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は丸みを持つ。文様は上部から4条の横走沈線，列点文，2条の波状の沈線が施される。地文は横走する縄文が施される。底部は僅かに揚げ底である。色調は外面が黄褐色～褐色，内面が褐色である。

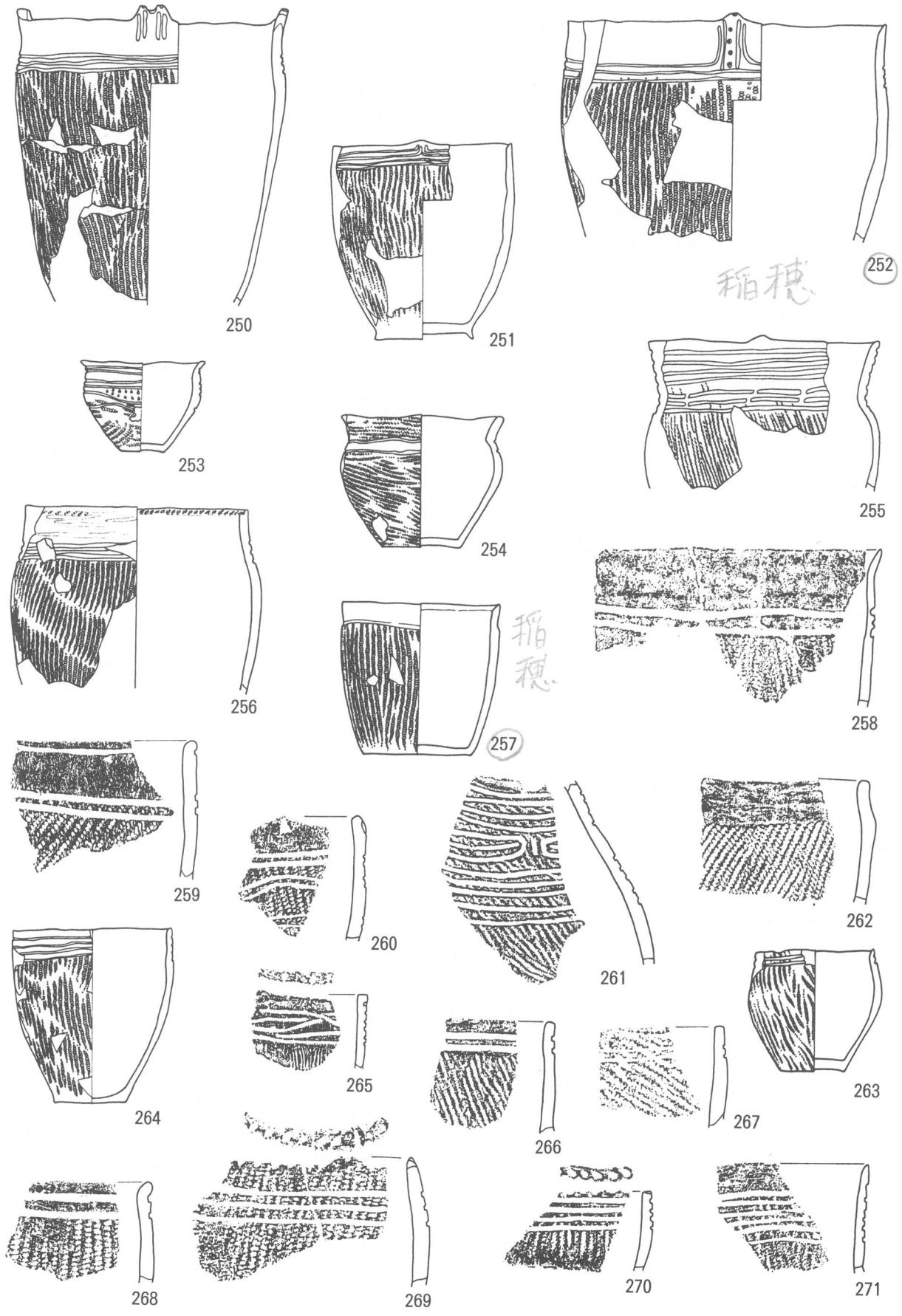
254は胴部が若干膨らみ口縁部の外反する深鉢形土器である。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は丸みをもつ。頚部には2条の横走沈線に挟まれた無文帯がめぐる。地文は横走する縄文である。底部は僅かに揚げ底となる。色調は外面は黒褐色，内面は黒褐色～茶褐色である。

255は胴部が張り出し，口縁部の開く深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁には山形の小突起が施される。口唇の断面形状は角形を呈する。文様は，口縁部には上から4条の横走沈線，2条の破線上の沈線，1条の横走沈線が巡る。胴部には撚糸文風の縄文が施される。色調は外面が暗褐色，内面が黒褐色である。

256は胴部の膨らむ深鉢型土器で，胴下部以下は欠損する。口縁は平縁で口唇には縄線文が巡る。口縁部は上部に無文帯，下部に沈線が3条めぐる。この，無文帯は沈線を施したものと同じ工具によって整形されたものと考えられる。なお，無文帯の一部には縄線文がかすかに残っており，前に施されていた縄線文を擦り消して無文帯としたものと考えられる。胴部には縦走縄文が施されている。色調は外面が茶褐色，内面は黒褐色である。

257は胴部が僅かに膨らむ深鉢形土器である。口縁は平縁，口唇の断面形状は三角である。口縁部は無文で口縁部と胴部との境目には沈線が巡る。胴部は縦走縄文が施されている。底部は平底である。色調は内外面ともに茶褐色を呈する。

258は無文帯の下位に2条の横走沈線に挟まれた列点文の巡るものである。259も口縁部に無文帯が形成されているもので，無文帯の上位には1条，下位には2条の横走沈線がめぐる。260は波状口縁となっ



図Ⅳ－14　包含層出土土器（14）

ているものであり，波頂部には刻みが施される。261は壷形土器の頸部と考えられる破片である。262は無文帯と地文の斜行縄文のみのものである。

263は胴部が若干張り出す深鉢形土器である。口縁は平縁と考えられるが一部内面からの押奈により凹んだ部分がある。口唇の断面形状は三角を呈する。文様は口縁部に2条の沈線文が巡る。胴部は撚り戻しの原体による縦走縄文が施される。底部は僅かに揚げ底である。色調は外面が暗褐色であり内面は暗褐色，底は黄褐色である。

264は胴部が開き口縁部が垂直に立ち上がる深鉢形土器である。口縁は平縁，口唇の断面形状は丸みを持つ。文様は口縁部に4条の横走沈線が巡り，胴部には，縦走縄文が施される。底部は僅かに丸みをもち，若干バランスが悪い。色調は内外面ともに茶褐色である。

266～274は横走沈線の施された口縁部破片で，266～268は2条，269は3条，270は4条，272は5条の沈線が巡る。373～375は間隔を開けて横走沈線が巡るものである。274には口縁に2個1組の山形の小突起が施されている。

276は口縁部が真っ直立ち上がる深鉢形土器である。胴部以下は欠損している。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は角形を呈する。口縁部には幅の狭い無文帯が2条，細い沈線が4条交互に巡らされ，その間の部分が隆起帯様を呈している。地文は縦走縄文が施される。色調は外面は茶褐色～褐色，内面は灰褐色である。277は口縁部に2条の幅の狭い無文帯が施されているものである。

279は口縁部の欠損した小型の深鉢形土器である。僅かにのこる口縁部には横走沈線が数条めぐる。胴部には縦走縄文が施される。底部は平底である。色調は外面が黄褐色～暗褐色。内面は褐色～黒褐色である。

280～293は縄線文の施されたものである。

280は比較的小型の深鉢形土器である。口縁は平縁，口唇の断面形状は丸みを持つ。口縁部には1条の縄線文が巡る。地文は縦走縄文である。底部は平底を呈する。色調は外面は褐色～茶褐色，内面は黒褐色で底は黄褐色である。

281～283は口縁部の破片で縄線文が1条巡るものである。

284は胴部が開き，口縁部が若干内湾したちあがる深鉢形土器である。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は三角を呈する。口縁部には縄線文が2条巡る。地文は縦走縄文である。内面には口縁部に横方向の調整痕が残る。

286～290・293は縄線文が2条認められるものである。286・289は縄線文の上位が無文帯であるもの，290は2条の縄線文の下位に段が巡るものである。

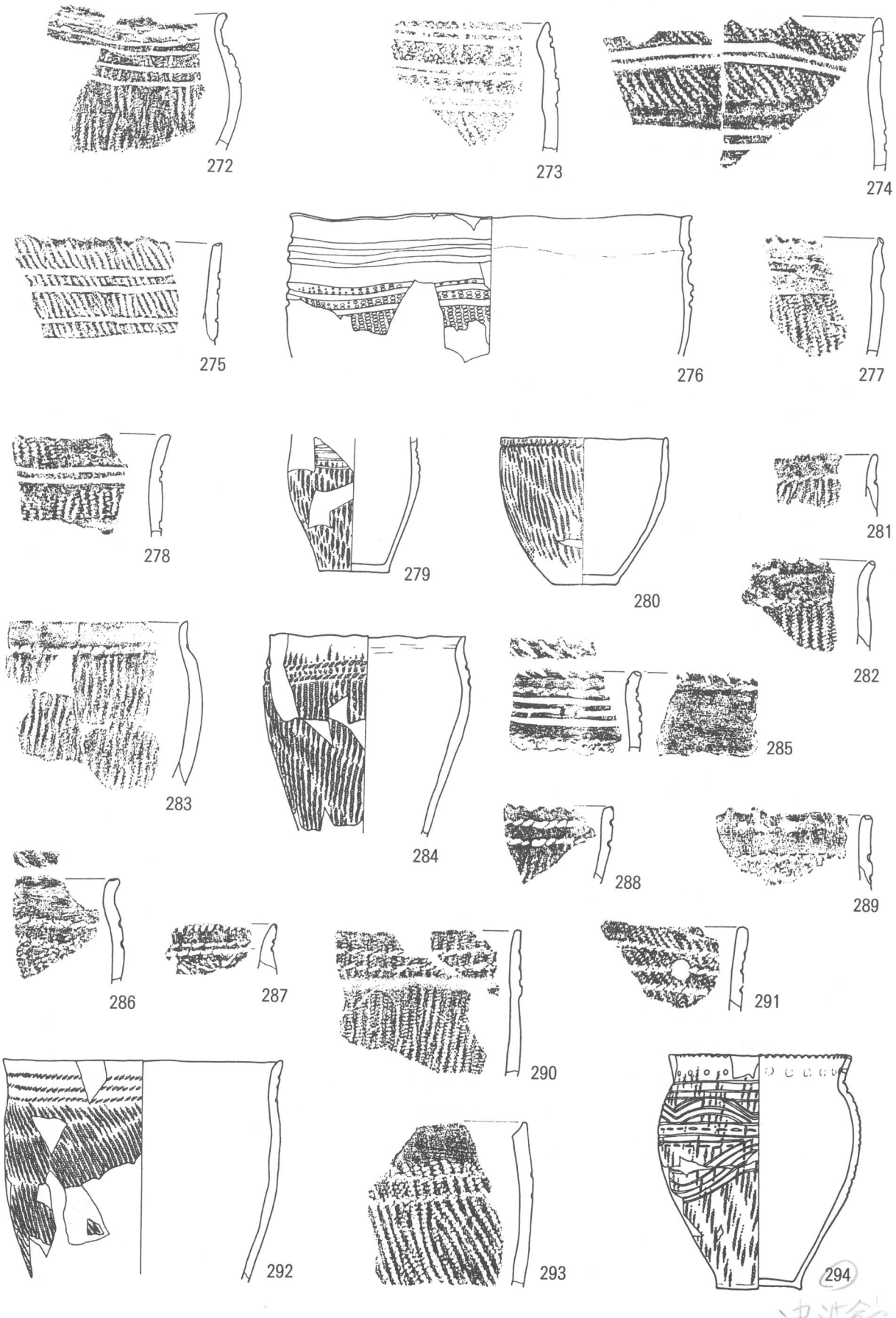
292は胴部から口縁部に向け，すんなりと立ち上がる深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁は平縁で，口唇の断面形状は角形を呈する。口縁部には3条の縄線文が巡り，胴部には斜行縄文が施されている。色調は外面は褐色，内面が黄褐色である。

294～322はＯＩの突瘤文の施されたものである。地文は縦走縄文と斜行縄文がある。

294は胴部が大きく張り出した甕形土器である。口縁は細かな波状を呈し，口唇は丸みをもつ。文様は口縁部には突瘤文が，胴部には，3条の横走沈線や波状の沈線文，破線と横走沈線との組み合わせによるモチーフが描かれる。地文は縦走縄文である。底部は揚げ底である。色調は内外面ともに茶褐色である。

295は突瘤文の下位に弧線文が描かれているもの。296 には斜位の沈線が描かれている。

297は胴部から口縁部に向けすんなりと立ち上がる深鉢形土器である。口縁には刻みを持つ山形の小突起が2つ並んで施される。口唇の断面形状は角形である。底部は欠損している。口縁部には太い棒状工具により，2本の横走沈線を施し，正面近くで2本の沈線を繋げて工字文ふうに描く。突瘤文は沈線を施したものと同じ工具により，沈線の上から施される。胴部には縦走縄文を施している。色調は内外



図Ⅳ－15　包含層出土土器（15）

津波館

面ともに褐色である。

298は胴部が膨らむ深鉢形土器である。口縁は細かい波状となっており，口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には2条の無文帯と4条の横走沈線が巡る。上位の無文帯には突瘤文が施されている。地文は縦走縄文である。色調は外面が黄褐色，内面が黄褐色～黒褐色である。

299・300は2条の横走沈線の施されているものである。301の刺突は貫通孔となる。

303は胴上部から口縁部に向け若干内湾する深鉢形土器で，器厚が他の土器と較べ厚い。底部は欠損している。口縁は平縁で，口唇の断面形状は丸みを持つ。口縁部には突瘤文が巡り，その下位には突瘤文を施したものと同様の工具で，3条の横走沈線が施される。地文は縦走縄文である。なお，胎土は他の土器に較べ弱干脆い。色調は外面が暗褐色，内面は黒褐色である。

304は胴部が若干張り出し，口縁部が僅かに外反する深鉢形土器と考えられる。胴中部以下は欠損している。口縁は平縁で口唇の断面形状は内削ぎぎみの角形を呈する。口縁部には3条の横走沈線が巡り，上位2本の沈線の間に突瘤文が巡る。地文は縦方向の縄文である。色調は外面が褐色，内面が黒褐色。

302・306は突瘤文の下位に3条の横走沈線が巡るもの。

308は横走沈線が2条ずつ間隔をあけて施されているもので，最上部の沈線上には突瘤文の替わりに貫通孔が巡らされている。309は2本の縄線文の巡るもので，突瘤文が上位の縄線の上から施される。310～314は斜行縄文の施されたものである。310・312は突瘤文が貫通孔となっているものである。311は口縁に太い刻みが巡る。315は横走する縄文の施されたもので，口唇には刻みが巡る。316～322は縦走縄文の施されたもの。318は口唇に斜め方向の刻みが巡り，細かな波状口縁を作出する。321にも細かな波状口縁が形成されている。

323～355はＩＯの突瘤文の施されたもので，地文は縦走縄文が殆どを占める。

323は胴部が若干張り出し，口縁部の外反する深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁は平縁で口縁上に縄文が施されている。口唇の断面形状は角形を呈する。文様は口縁部には内側からの突瘤文を施し，その下部には，沈線で長楕円形の文様を2段，工字文ふうに施し，胴部には2条の横走沈線を巡らす。地文は斜行縄文が施されているが，胴下部の縄文は若干縦走する。色調は外面は茶褐色～明黄褐色，内面は黒褐色～黄褐色である。

324は口縁部に沈線で長楕円形を施し，その上下に横走沈線を描いている。326は突瘤文の下部に上下各2条の横走沈線に挟まれた2本の平行沈線による鋸歯状の文様が描かれている。327は横走沈線と斜め方向の沈線が数条施される。

328は胴部から口縁部にかけてすんなりと立ち上がる深鉢形土器である。口縁は平縁であり，口唇の断面形状は三角である。口縁部は突瘤文のほか，2条の沈線が巡る。そのうち1条は突瘤文の施文後に施されている。地文は縦走縄文である。色調は外面が黄褐色，内面が灰褐色である。

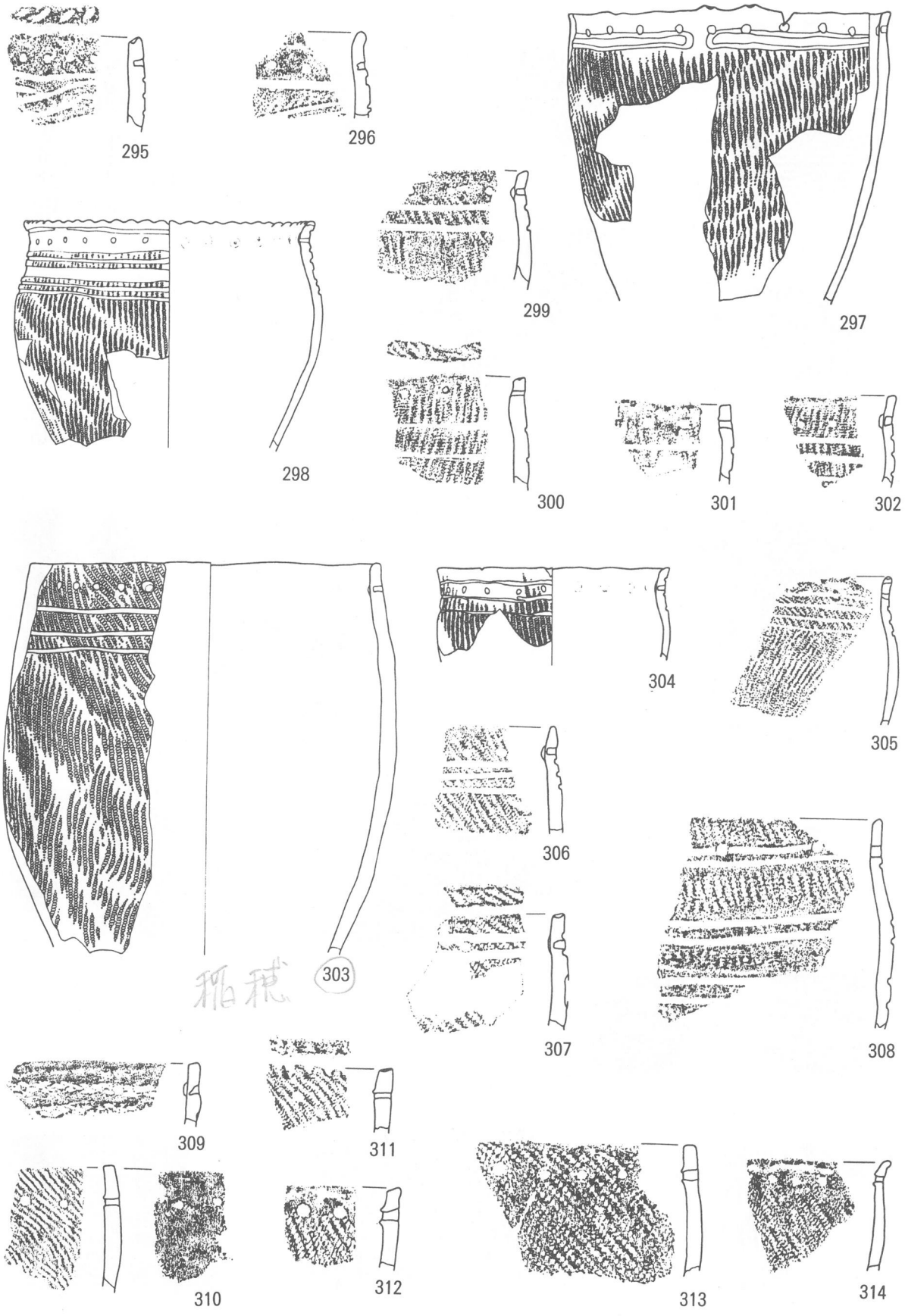
329～331も2条の横走沈線文の巡るものであるが，これらは全て突瘤文の下位に施されたもの。

333は胴部が開き口縁部が直線的に立ち上がる深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁には刻みが巡る。口唇の断面形状は内削ぎ状の角形である。口縁部には突瘤文の下位に3条の横走沈線が巡る。色調は外面が褐色，内面が黄褐色～黒褐色である。

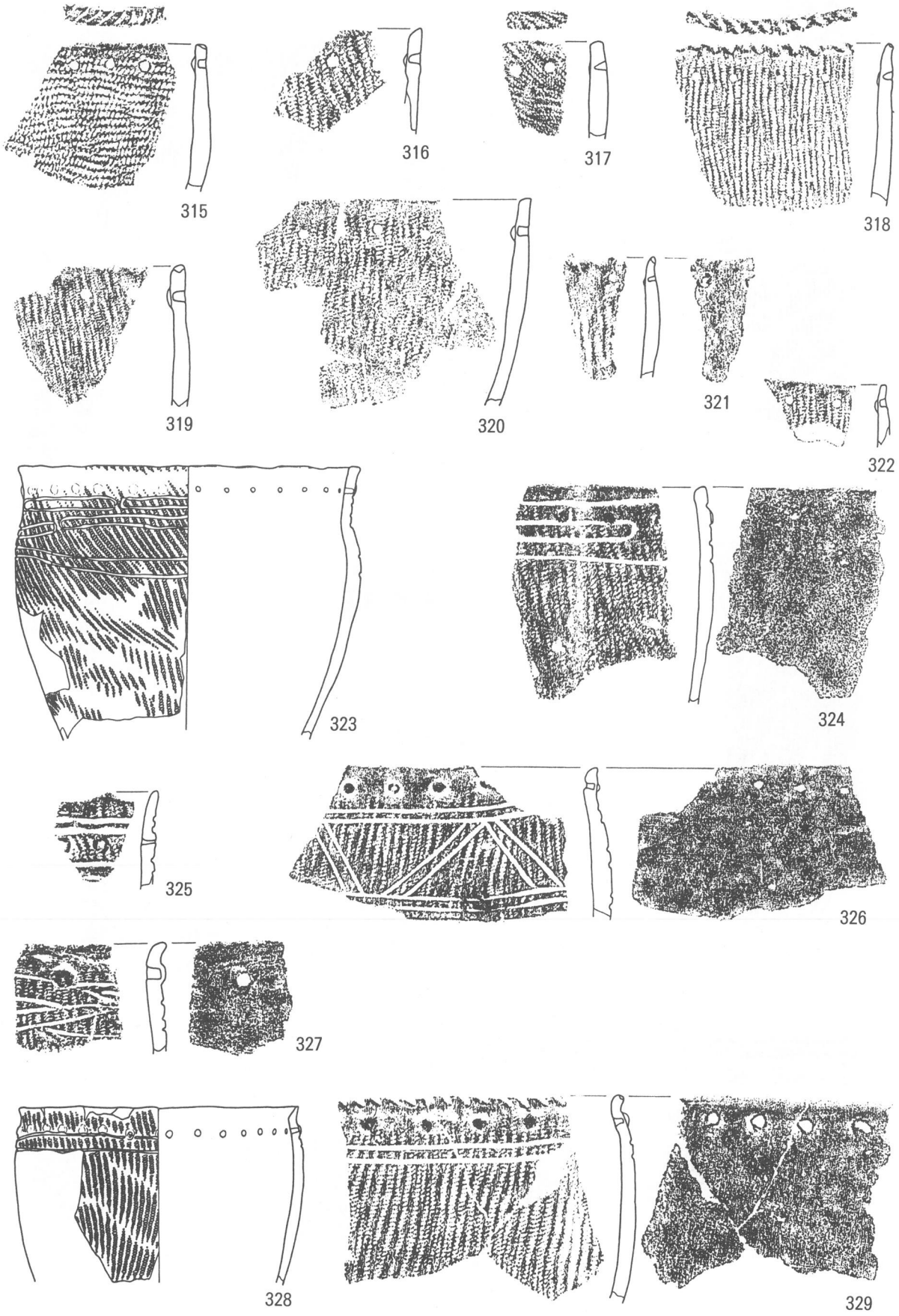
334は4条の横走沈線と幅の狭い無文帯の巡るものである。突瘤文は上位の無文帯の施文後に施されている。

336は胴部が張り出し，口縁部の外反する深鉢形土器である。胴下部以下は欠損する。口縁は細かい波状を呈し，口唇は丸みをもつ。口縁部は無文帯を形成し，そこに突瘤文が施される。胴部との境目には4条の横走沈線が巡る。胴部には撚り戻し原体による縄文が横方向に施されている。色調は外面は褐色～暗褐色，内面は褐色である。

335は無文帯を挟んで上下3条ずつの横走沈線が巡るものである。最上位の沈線は突瘤文の上から突



図Ⅳ－16　包含層出土土器（16）



図Ⅳ－17　包含層出土土器（17）

瘤の下半分を潰して巡る。

337は広い口縁部文様帯をもつもので，口唇直下には斜め方向の縄文の施された縄文帯が巡り，その下位には突瘤文，胴部との境目には4条の横走沈線が巡る。地文は縦走縄文である。338は縄線文が2条巡るもの。

339～355はＩＯの突瘤文と地文のみのものである。

341は胴部が張り出し，口縁部がわずかに内傾する深鉢型土器である。底部は欠損している。口縁は僅かに波状を呈し，口唇の断面形状は丸みをもつ。他の土器と較べ厚さがある。口縁部には突瘤文が巡る。地文は斜行縄文が施される。色調は外面が黄褐色，内面が灰黄褐色である。

342～344は斜行縄文の施されたものである。344 は口縁部の文様は斜行であるが，胴部に向かうにつれ縦走する。

347は口縁部が直線的に立ち上がる深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁は細かな波状を呈し，口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には突瘤文が施され，地文は縦走縄文である。色調は外面が黄褐色，内面が茶褐色である。

349は胴部が僅かに膨らむ深鉢型土器である。胴下部以下は欠損している。口縁は僅かに波状を呈し，口唇の断面形状は内削ぎ気味の角形である。口縁部には突瘤文が巡り，地文は撚糸文ふうの縄文が施される。色調は外面は黄褐色～茶褐色，内面は黒褐色である。

345・346・350～355は縦走縄文の施されたものである。351～353は口縁部が無文帯である。352は無文帯が段状にくびれており，口唇に斜め方向からの刻みが施されている。

356は胴部が大きく張り出し，口縁部が僅かに外反する深鉢型土器である。口縁は細かな波状を呈し，口唇の断面形状は丸みをもつ。文様は口縁部に施されたＯＩの突瘤文のみで，あとは無文である。器形や口縁の形状は298と似る。色調は外面は暗褐色，内面は黒褐色で，炭化物が多量に付着する。

357～372は地文のみのものである。

357は胴部から口縁部に向け，内湾し立ち上がる深鉢形土器で，底部は欠損している。口縁は僅かに波状を呈するが意図的であるかは定かではない。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には凹帯が巡り，その部分を含む口縁部は地文が磨消されている。地文は斜行縄文。色調は外面が灰褐色～褐色，内面は褐色で一部黒褐色である。

358は小型の壷形土器である。口縁は平縁であり，口唇の断面形状は外削ぎ状の角形を呈する。肩部には貫通孔の施された貼付瘤がある。地文は付加条の原体による斜行縄文が施されている。底部は僅かに揚げ底である。色調は内外面ともに赤褐色。

359は胴部から口縁部に向け，直線的に立ち上がる深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁は平縁で口唇の断面形状は三角である。色調は内外面ともに褐色である。

360は斜行縄文の施されたものである。器厚があり，傾きや胎土等が341に似る。361は口唇直下のみ縄文が施され，あとは無文となる。

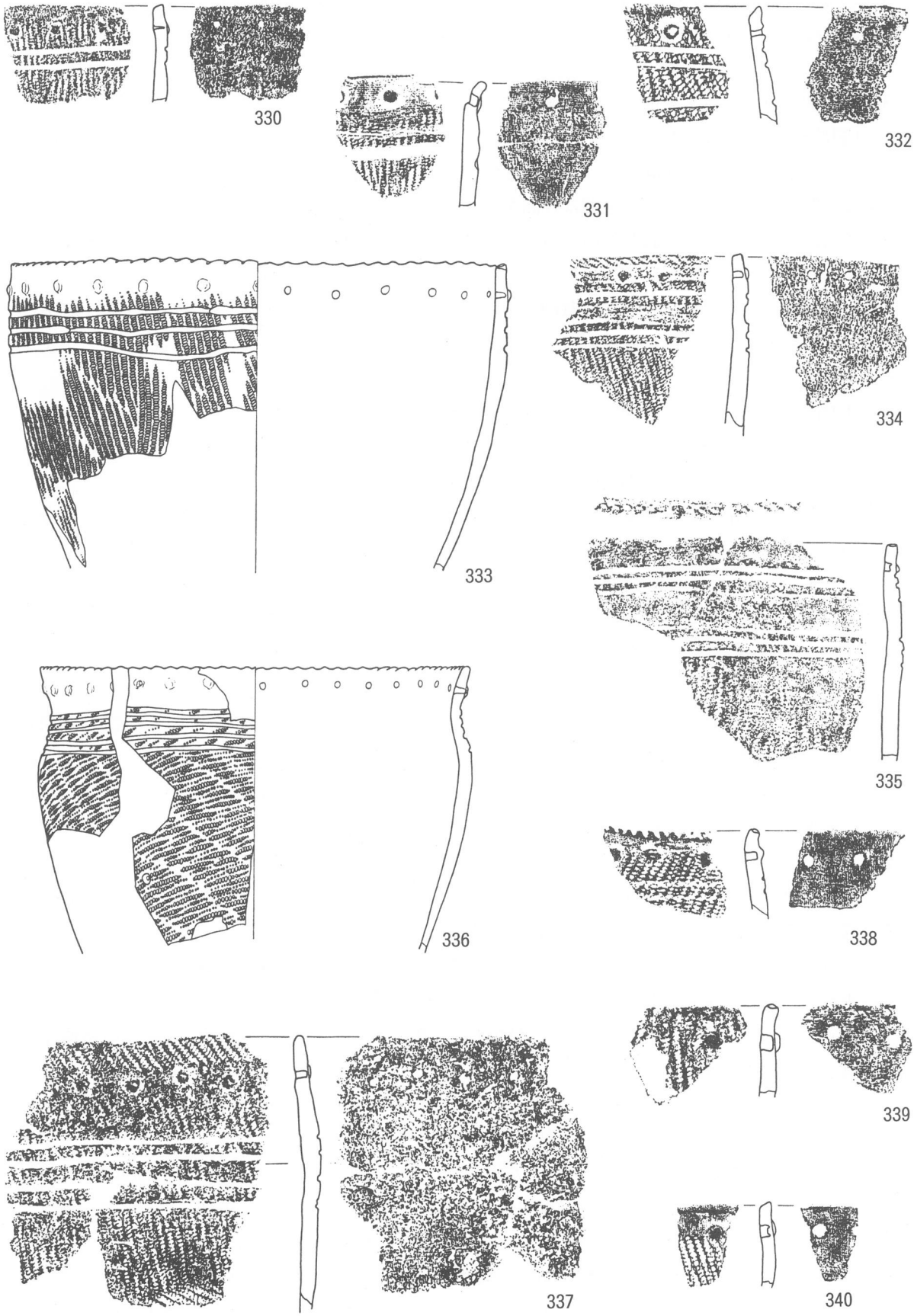
362は胴部が僅かに膨らむ小型の深鉢形土器である。口縁は平縁，口唇の断面形状は三角である。

口縁部は無文であり，胴部には僅かに斜行ないし横走する縄文が認められる。

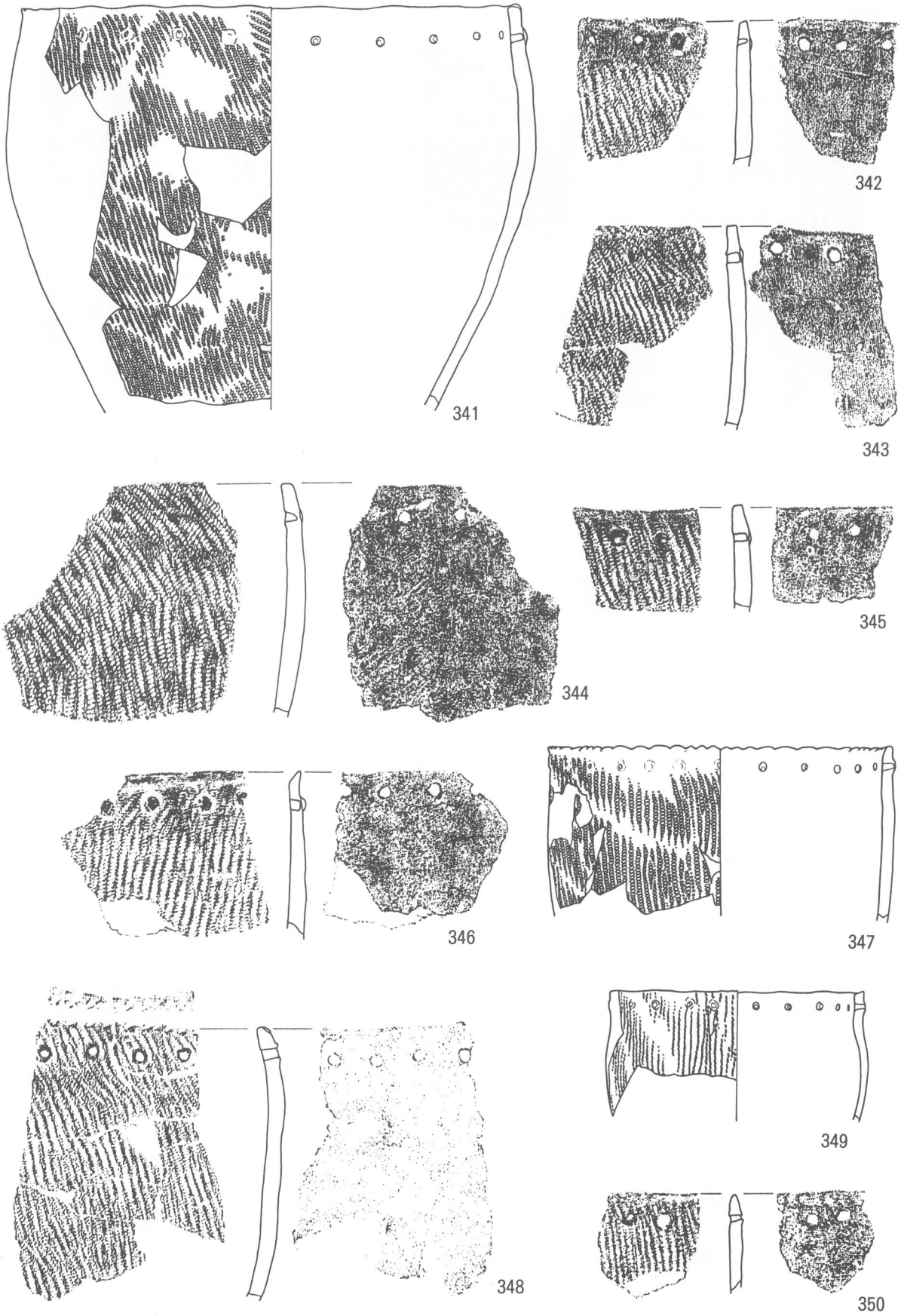
363は胴部が僅かに張り出す小型の深鉢形土器である。口縁は僅かに波状となるが意図的であるかは不明，口唇の断面形状は三角である。口縁部には横方向の整形痕がのこる。胴部には横走する縄文が施されている。色調は外面が黒褐色～茶褐色，内面は黒褐色で底部のみ黄褐色である。

366は胴部が僅かに張り出し，口縁部が開く深鉢形土器で，胴下部から底部にかけて欠損している。口縁は僅かに波状となり，口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部は斜位，胴部には縦位の撚糸文ふうの縄文を施す。色調は外面が褐色，内面が黄褐色である。

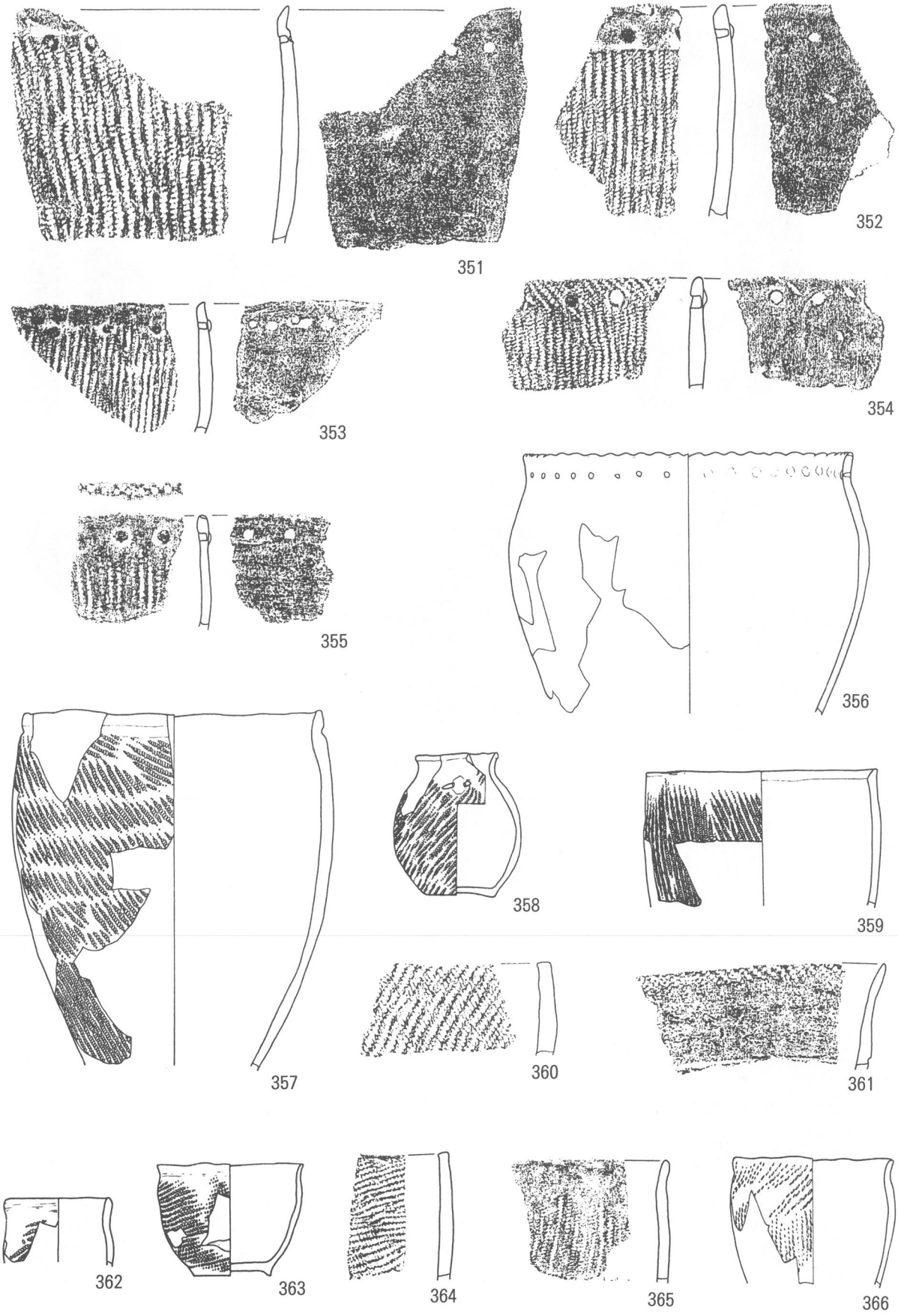
367は胴部の張り出す深鉢形土器である。口縁は細かな波状を呈し，口唇の断面形状は三角である。



図Ⅳ－18　包含層出土土器（18）



図Ⅳ－19　包含層出土土器（19）



図Ⅳ－20　包含層出土土器（20）

地文は縦走縄文。色調は外面は茶褐色，内面は黒褐色である。

368はは胴部の僅かに張り出す深鉢形土器と考えられる。胴中部以下は欠損している。口縁は緩やかな波状となり，口唇の断面形状は丸みをもつ。文様は撚糸文ふうの縄文が施されている。色調は外面が黒褐色，内面が褐色である。

369は胴部が張り出し，口縁部の外反する深鉢型土器である。口縁は平縁で，口唇の断面形状は三角である。口縁部は無文帯であり，胴部には撚糸文が施されている。底部は平底である。色調は外面が黄褐色で底部を中心に茶褐色，内面は底が黄褐色である他は黒褐色である。

370も地文が撚糸文のものである。371・372には縦走縄文が施されている。

2種：地文に帯縄文を伴うもの。

373は胴部が僅かに膨らむ深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は角形を呈する。口縁部は無文であり，胴部との境目には1条の沈線が巡る。胴部には縦位の帯縄文が施されている。色調は外面が黄褐色，内面が茶褐色である。

374は胴部が張り出し，口縁部が若干内傾する深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁は一部内面から指で押圧したと考えられる凹みがあり，口縁の接合破片が少ないため1ケ所しか認められないが，口縁を巡るものと考えられる。口唇の断面形状は三角である。口縁部には横走の帯縄文が巡り，胴部との境目には1条の横走沈線が施される。胴部には帯縄文が施され，胴上部にはその上から横走する帯縄文を1条巡らす。色調は外面が暗灰褐色～黄褐色，内面は黄褐色である。

375～382は沈線文の施こされたものである。375は肩部から胴部にかけて工字文ふうの文様が施される。380には鋸歯状の文様が認められる。382は列点文と縄線文の巡るものである。

383は胴部と口縁部との境目に2本の縄線文に挟まれた無文帯が，384は口縁部，385は胴部と口縁部の境目に1本の縄線文が巡る。

386～395は突瘤文の施されたもの。386・387はＯＩの突瘤の認められるもので，386は帯縄文に挟まれた無文帯，387は帯縄文の上位の無文帯に突瘤文を施す。

389～395はＩＯの突瘤文の巡るものである。

388は内面からの刺突を密に施しているが突瘤はあまり明瞭でない。

389は胴部以下の欠損したものであるが深鉢形土器と考えられる。口縁は太い棒状工具により斜め方向の刻みが施される。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には太い横走する帯縄文が施した後，突瘤文を巡らしている。胴部には縦走する帯縄文を施した後，横走する帯縄文を施す。色調は内外面ともに灰褐色である。

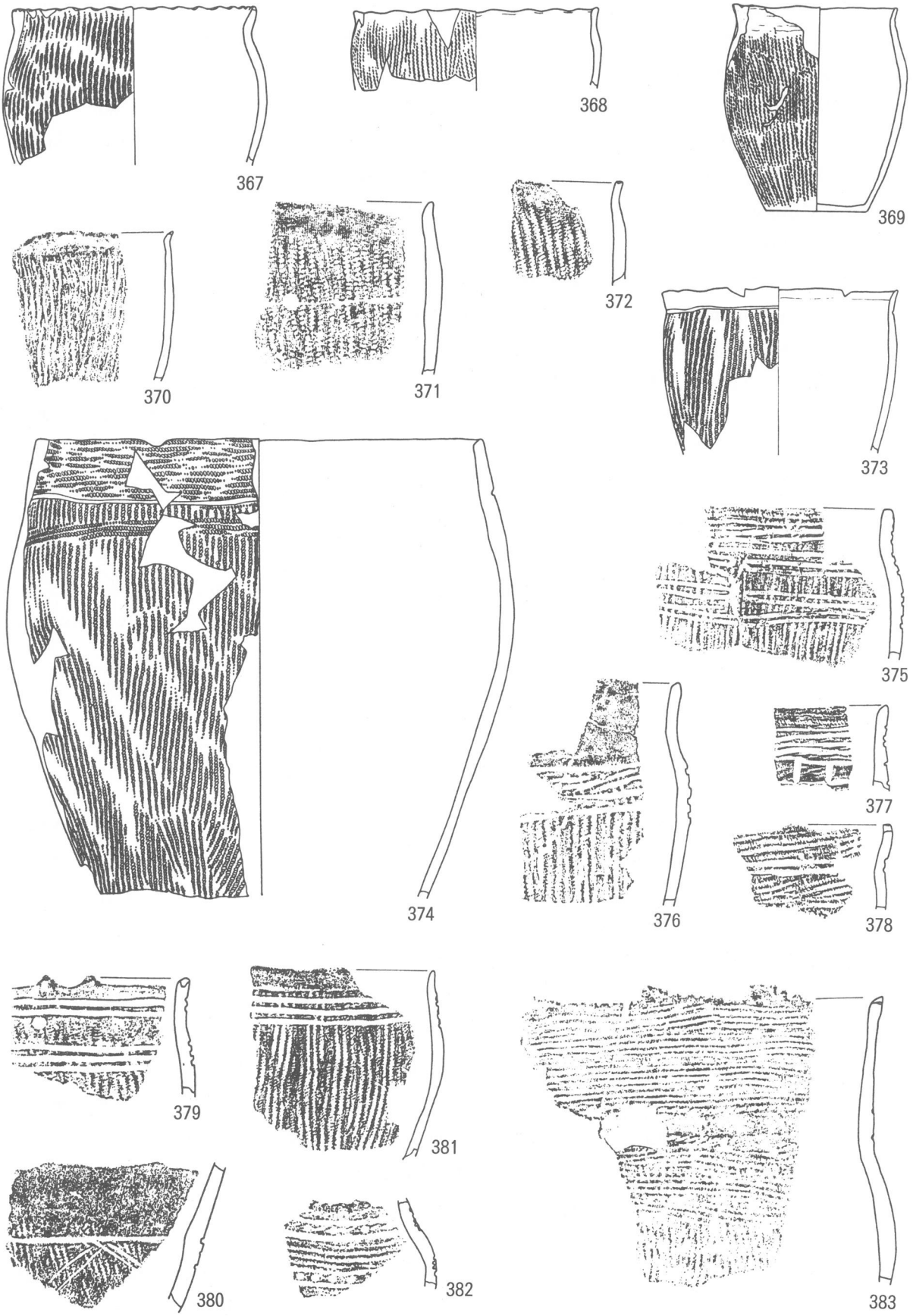
396～421は地文のみのものである。

396は胴部が膨らみ，口縁部の外反する深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁は緩やかな波状を呈し，口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には斜行縄文，胴部との境目に帯縄文，胴部には縦走縄文を施している。色調は外面が褐色，内面が黒褐色で煤が付着している。

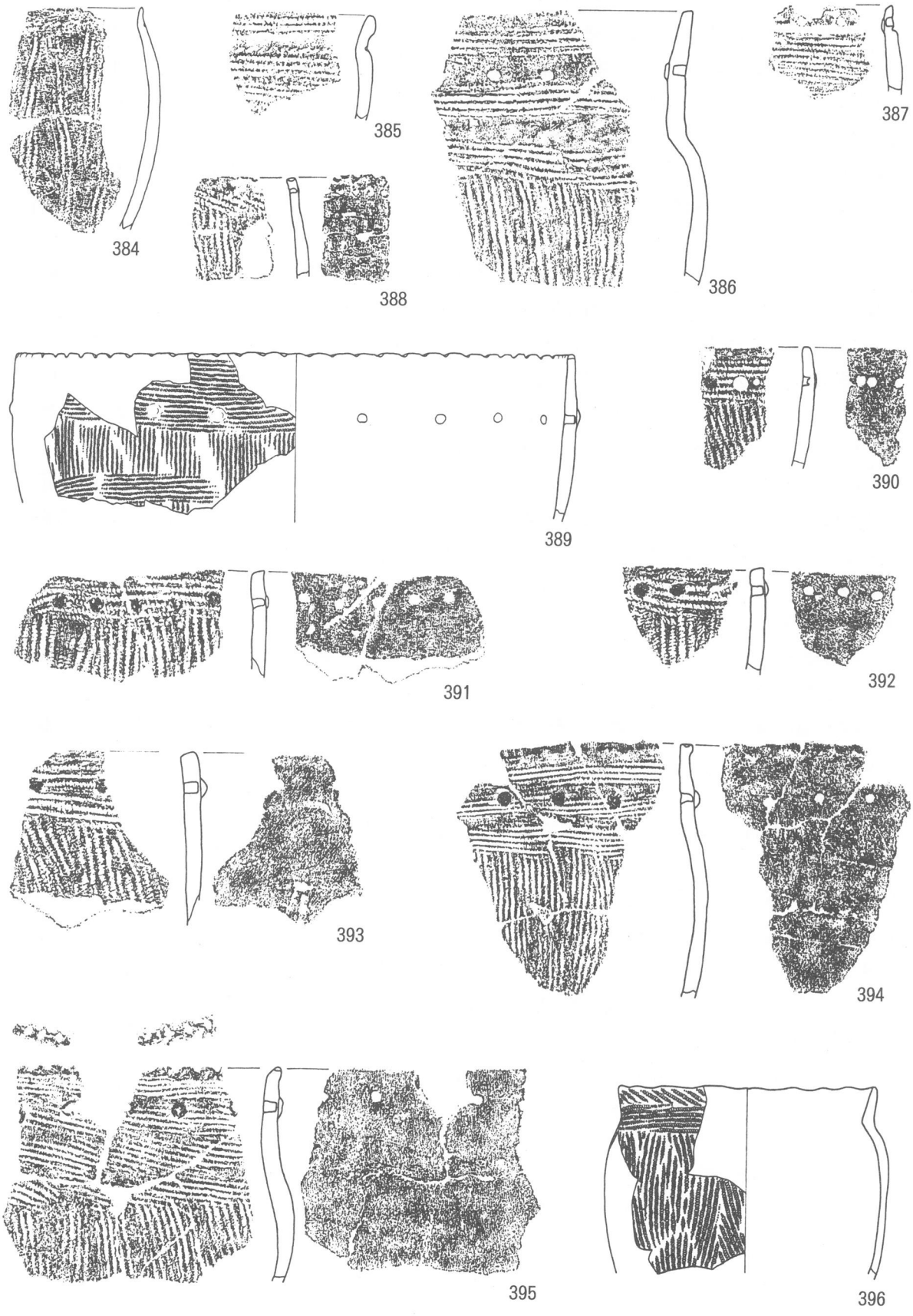
397は口縁部が直線的に立ち上がる深鉢形土器である。口唇の断面形状は丸みをもつ。横走縄文を帯状に施し，一部縦走縄文を横位に巡らす。底部は平底である。色調は内外面ともに茶褐色である。

398は胴部が若干膨らみ，口縁部が内傾する深鉢形土器である。口縁はほぼ平縁であるが，刻みが2つ施されている。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には横走，胴部は縦走する帯縄文が施される。色調は外面が暗褐色，内面が黒褐色である。

399は胴部から口縁部に向けすんなりと立ち上がる深鉢形土器で，胴下部以下は欠損する。口縁には山形の小突起が2つ認められ，頂部には刻みが巡る。口縁部は帯縄文が弧状に施されている。また胴部との境目には沈線が僅かに認められるが，これは一度沈線を施したものの上から縄文を施し，沈線を潰したものと考えられる。胴部は縦走縄文が施されている。色調は外面が暗褐色，内面が赤褐色である。



図Ⅳ－21　包含層出土土器（21）



図Ⅳ－22　包含層出土土器（22）

400も胴部が張り出す深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁には刻みをもつ山形の小突起が2対1組で施される。口唇の断面形状は平縁の部分は角形，小突起の部分は三角である。口縁部には横方向の帯縄文，胴部には縦走縄文が施されている。色調は外面が褐色，内面が灰褐色を呈する。

401は口縁部が僅かに内湾する深鉢形土器である。胴中部以下は欠損している。口縁は平縁，口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部の上位は帯縄文を弧状に施し，下位には横走する帯縄文が巡る。胴部には縦走縄文が施される。色調は外面が灰褐色，内面が黄褐色である。

402は胴部が大きく張り出す深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁は平縁，口唇の断面形状は鋭い三角を呈する。口縁部には帯縄文が弧状に施され，胴部には縦走縄文が施される。色調は外面は上部黒褐色で下部褐色，内面は黒褐色である。

403は胴部から口縁部に向けすんなり立ち上がる深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁はほぼ平縁であると考えられる。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には横走する帯縄文が1条巡らされている。胴部は縦走縄文である。色調は外面が黄褐色，内面が黒褐色である。

404は段状の肩部をもち，口縁部が僅かに内傾する深鉢形土器である。胴中部以下は欠損している。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は三角である。口縁部には横走，胴部には縦走する帯縄文が施されている。色調は外面が茶褐色，内面が黒褐色である。

405は胴部の僅かに膨らむ深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁は平縁で，口唇の断面形状は内削ぎ状の角形を呈する。文様は縦走縄文を施したのち，口縁部から胴中部にかけて横走する帯縄文を4条巡らす。色調は外面が茶褐色で内面が黒褐色である。

406は胴部から口縁部に向けすんなりと立ち上がる深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁はほぼ平縁で，口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には斜行縄文を施したのちに帯縄文を横方向に2～3段施す。胴部には縦走縄文が施される。また，内面の口縁部にはⅣ群b類1種に似た段が認められる。色調は外面が褐色～灰褐色，内面が暗褐色である。

407は胴下部の張り出す小型の甕形土器である。口縁は平縁，口唇の断面形状は三角である。器面には縦走縄文を施したのち，3条の横走する帯縄文を施す。色調は外面が褐色で内面が茶褐色。

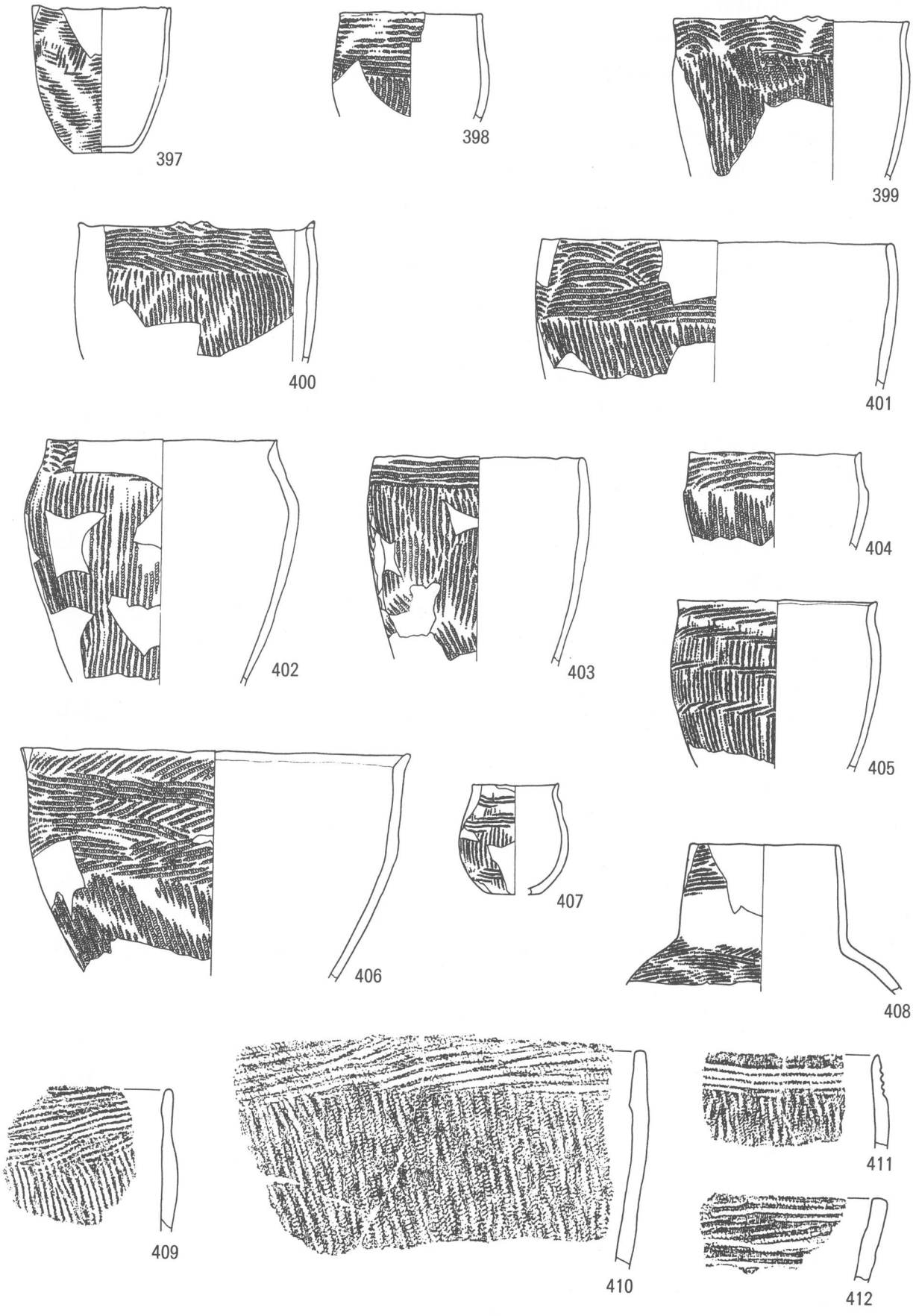
408は胴部以下が欠損する壷形土器で肩部，口縁部のみが復元した。口縁は平縁で口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部の上位には横走する帯縄文，口縁部の下位の無文帯を挟んで肩部には横走縄文を施している。色調は内外面ともに黄褐色である。

410・411は口縁部に1条の帯縄文が巡るもの。412・413は1条もしくは2条，414・417・420・422は2条の帯縄文が巡る。415は撚糸文ふうの縄文が施されているもの，419・420は無文帯の巡るものである。無文帯はそれぞれ，419は口縁部の上位，420は胴部との境目にめぐる。421・422は口縁に太い棒状工具による刻みが巡る。423は胴部の張り出すもので，器形，頚部に沈線に挟まれた無文帯が巡るなどはⅣ群b類に近い特徴を持つ。

424～426は底部で，424・426は揚げ底，425は平底である。

427は小型の壷形土器である。胴下部以下が欠損している。口縁は平縁，口唇の断面形状は丸みを持つ。色調は内外面ともに灰褐色である。

429は頚部が若干くびれる小型の浅鉢形土器である。口縁は平縁で，口唇の断面形状は角形（若干丸みを持つ）である。口縁下には1箇所，補修孔と考えられる孔が認められる。底部は平底である。色調は内外面ともに灰褐色である。



図Ⅳ－23　包含層出土土器（23）

b類土器　砂沢式・南川Ⅲ群・南川Ⅳ群など恵山系の土器に相当するもの

1種：砂沢式や南川Ⅲ群などに相当するもの

430・431・433は口縁部に縦位の沈線が巡るものである。429・431には内面に横走沈線が2条巡る。432は外面，435は内外面に横走沈線と弧状の沈線が施される。434は頸部に平行する沈線により鋸歯状の文様を施す。

436は胴部が張り出し頸部が内傾し，口縁部が外反する深鉢形土器である。胴中部以下は欠損する。口縁は正面に山形の小突起があり頂部には刻みが3つ施される。口唇の断面形状は角形である。口縁部には縦方向の縄文が施され，その上から1条の沈線や列点文が施される。頸部には上位に横走沈線や列点文が巡り，下位は無文帯となり，胴部との境目にはまた，横走沈線および列点文が巡る。

内面には口縁部に4条の横走沈線を施す。色調は外面が茶褐色，内面が黒褐色である。

437は口縁部に施された横走沈線の下位に弧状の沈線が描かれる。

438は胴上部が内傾し口縁部の外反する深鉢形土器である。胴中部以下は欠損している。口縁には刻みをもつ小突起があり，口縁の平坦部には細かい刻みが巡る。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には7条の横走沈線が巡り，胴上部は無文帯，その下位には列点文が1条，横走沈線が数条ほどめぐる。胴部における地文は縦走縄文である。内面には口縁部に胴部の地文と同じ原体による縄文が施されている。色調は外面は褐色～茶褐色，内面は褐色である。

439は胴部が張り出し頸部が僅かに内傾する深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁は平縁であるが指による押圧によるものと考えられる刻みのようなものが巡る。口縁の断面形状は丸みをもつ。口縁部から頸部にかけて3条の横走沈線が巡るが，沈線は部分的に押引文状となっている。頸部下位は無文帯となり，肩部との境目には1条の横走沈線がめぐる。肩部以下は若干帯状縦走縄文が施されている。440は肩部の張り出す器形のもので，肩部には弧状の沈線が巡るものである。

441は胴部の張り出し，頸部がおおきく内傾する深鉢形土器である。口縁部と底部は欠損している。頸部の上位には横走沈線が数条巡り，下位は無文帯となり，その下端には刻みが巡る。胴部は横走沈線が上位に5条，下位に4条巡らし，その間に弧状の沈線を描く。地文は縦走縄文である。色調は内外面ともに茶褐色である。

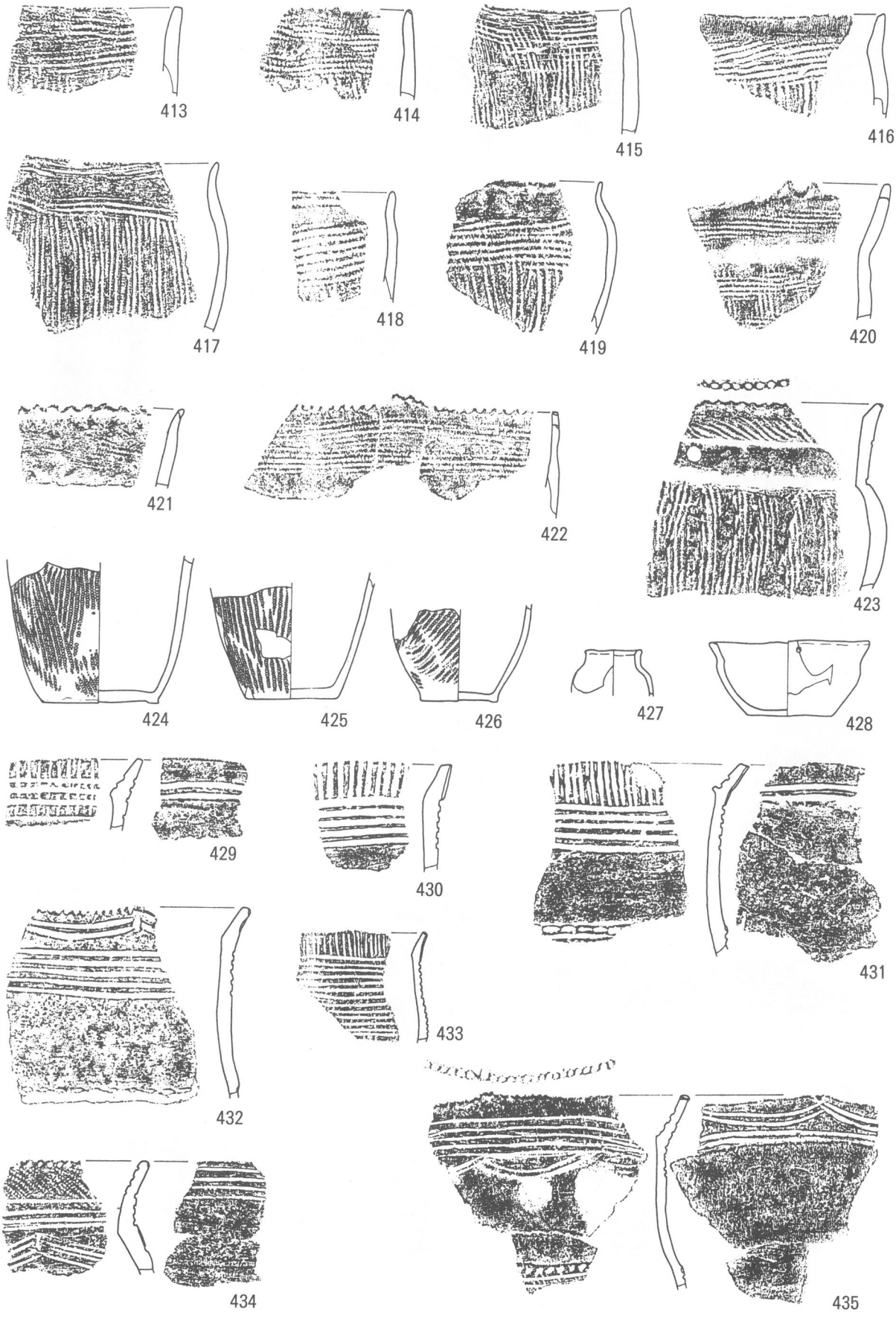
442～447は胴部の資料である。444は弧状の平行沈線が施されているもの。447は3本の波状の沈線が巡る。445は貼付瘤の施されているものである。

448は，頸部が若干内傾し口縁部のひらく深鉢形土器である。胴部以下は欠損している。口縁には山形の小突起が4基施され，刻みが巡らされている。口唇の断面形状は角形である。口縁部から頸部にかけて8条の横走沈線が巡り，頸部の下位は無文帯となる。肩部には横走沈線と列点文が巡る。内面には横走沈線が5条巡る。色調は外面が黒褐色，内面が茶褐色である。

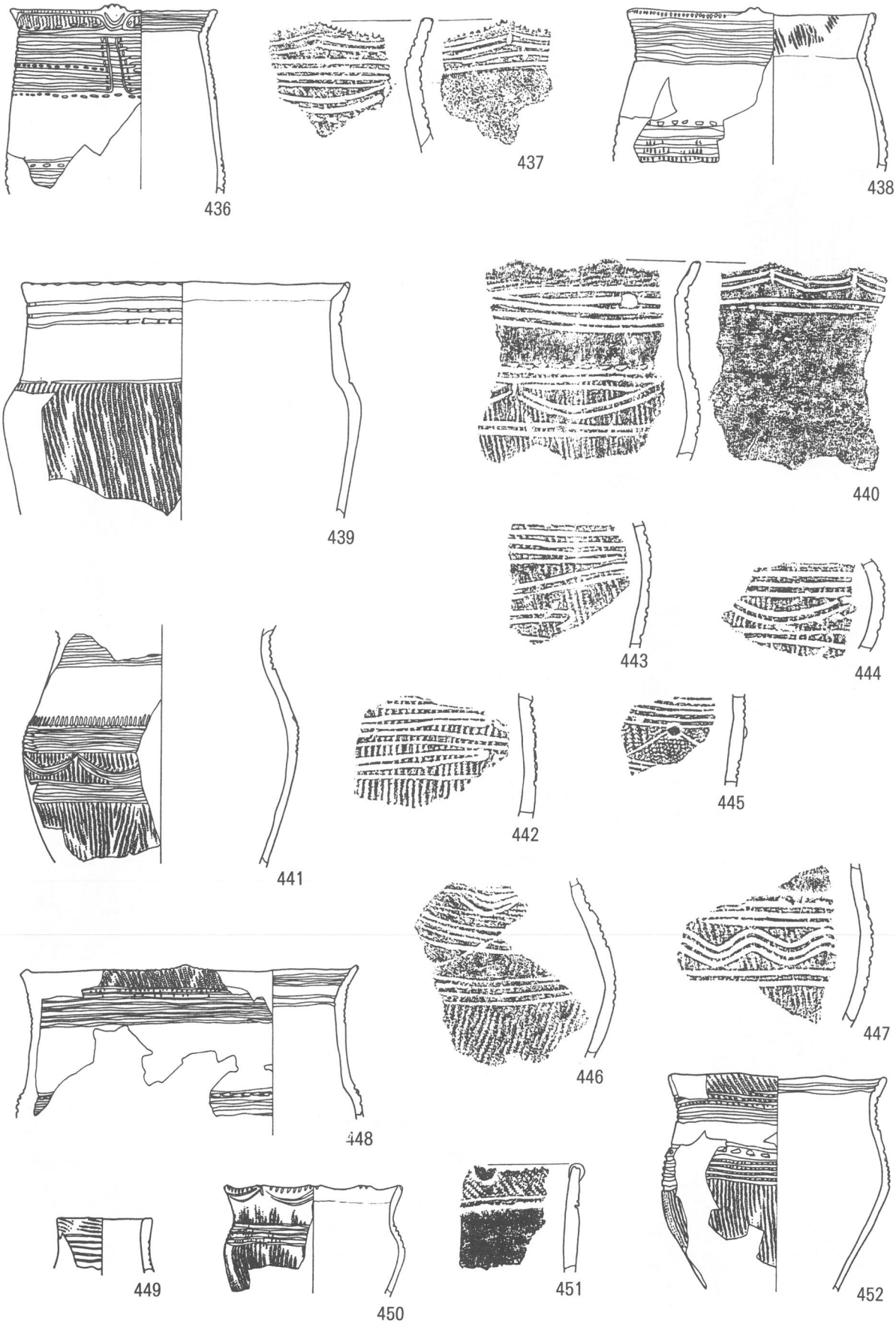
449は胴部以下の欠損した小型の土器である。口縁は平縁であり，口唇の断面形状は角形である。口縁部の上位には横走する縄文が施され，下位には横走沈線が数条巡る。色調は内外面ともに褐色である。

450は胴部が張り出し口縁部の外反する深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁は緩やかな波状を呈し，刻みが巡らされる。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部は波状口縁に沿って弧状の沈線を2本ずつ施し，胴上部には5条の横走沈線が巡る。地文は縦走縄文である。色調は外面が茶褐色で内面は褐色である。

452は胴部が膨らみ口縁部の外反する深鉢形土器で，底部は欠損している。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁から頸部にかけて横走沈線が施されているが数条の沈線が施されているのではなく，1本の沈線がコイル状にほどこされているものである。頸部の下位には幅の狭い無文帯が巡り，胴部には6条の横走沈線及び1条の列点文が巡る。胴部の地文は縦走縄文である。色調は外面が灰褐色～黄褐色，内面が黄褐色である。



図Ⅳ－24　包含層出土土器（24）



図Ⅳ－25　包含層出土土器（25）

453は胴部に斜位の沈線文が施され，453・456には無文帯との境目に列点文が，455には無文帯の下位に4条の横走沈線が巡る。

457は胴部が僅かに膨らみ，頸部が直立し，口縁部の外反する深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁は緩やかな波状を呈する。口縁部から頸部にかけて，7条の沈線が巡る。頸部の下位は無文帯となり，胴部には6～7条の横走沈線及び1条の列点文が巡る。胴部の地文は縦走縄文である。色調は外面は口縁部が黒褐色で胴部が褐色，内面は黒褐色である。

458は胴部が僅かに膨らみ口縁部の開く深鉢形土器である。胴下部以下は欠損する。口縁は緩やかな波状を呈する。口唇直下には刻みがめぐる。口縁部と胴部の境目には4条の横走沈線が巡り，胴上部は幅の広い無文帯となる。無文帯の下端には沈線が1条巡り，その下位には縦走縄文が施される。内面には波状口縁の波頂部に，1つずつ刻みが施される。

459は胴上部が内傾し口縁部の外反する深鉢形土器である。胴中部以下は欠損している。口縁は平縁で口唇の断面形状は角形である。口縁部には9条の横走沈線が巡り，胴上部は無文，その下位にも数条ほど横走沈線が巡る。色調は内外面ともに暗褐色である。

460は胴部が張り出し口縁部の外反する深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁には頂部に刻みをもつ2対の山形の小突起が6基巡り，突起部以外のところには刻みが巡る。口唇の断面形状は角形である。口縁部には6条の沈線が巡る。頸部には幅の広い無文帯，胴部には6条の沈線及び1条の列点文が巡る。胴中部以下に施された地文は斜行縄文で若干帯状を呈する。色調は外面が茶褐色～赤褐色，内面は褐色，一部黒褐色である。

461は胴上部が内傾し，口縁部が僅かに開く深鉢形土器である。胴中部以下は欠損している。口縁には斜め方向の刻みが巡る。口唇の断面形状は三角である。口縁部には3条に横走沈線が巡り，胴部には縦走縄文が認められる。色調は内外面ともに暗褐色である。

462は底部の欠損した壷形土器である。口縁は平縁で，口唇の断面形状は三角である。口縁部は無文であり，肩部には6条の横走沈線が巡る。胴部には縦走縄文が施されているが，摩耗した部分が多い。色調は内外面ともに黄褐色である。

465・466は口縁部に横走沈線を主体とする沈線の施されるもので，地文の縄文は認められない。467は口縁部に縄線文が1条巡る。

468は口縁部と底部の欠損したもので深鉢形土器と考えられる。頸部には無文帯が巡り，胴上部には5条の横走沈線と，1条の列点文が巡る。胴部の地文は縦走縄文である。色調は外面が茶褐色，内面が黒褐色である。

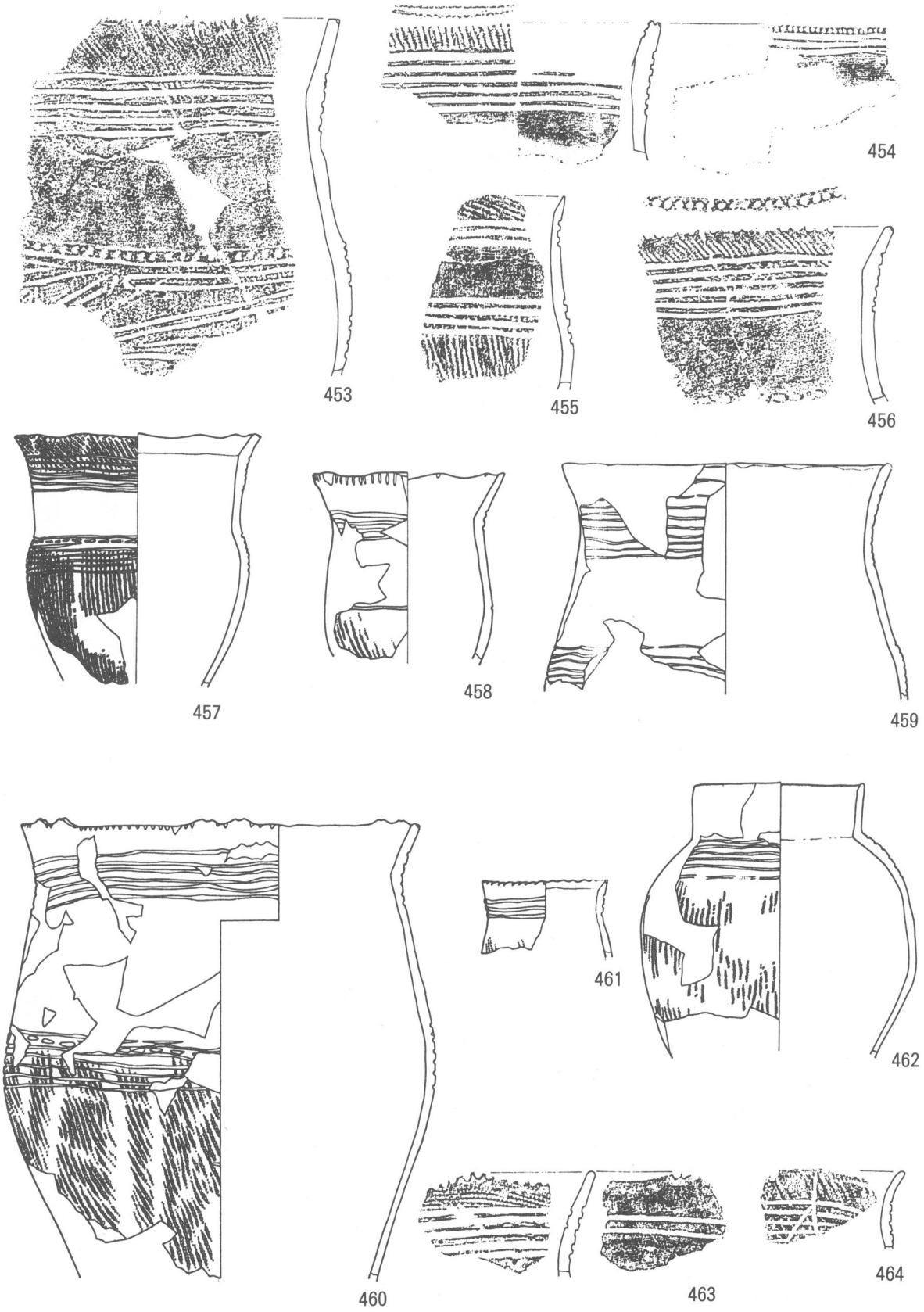
469は肩部から胴中部のみのものである。肩部には数条の横走沈線が巡る。地文は縦方向の帯縄文である。色調は外面が褐色，内面は黒褐色で煤が多量に付着している。

470・471は胴部の破片で，470は波状の平行沈線と列点文，471は横位の列点文と8条の横走沈線が巡る。

472は口頸部の欠損した小型の深鉢形土器である。頸部との境目には横走沈線が数条巡っているものと考えられる。胴部には縦方向の帯縄文が施される。色調は内外面ともに黒褐色である。

473は胴部が張り出し口縁部の外反する深鉢形土器で，胴中部以下は欠損する。口縁には刻みが巡る。口唇の断面形状は角形である。口縁部には6条，胴部には4条の横走沈線が巡る。地文は斜行縄文を綾杉状に施す。色調は外面が茶褐色で内面が黒褐色である。

474は小型の浅鉢形土器である。底部は丸底である。口縁は僅かに波状を呈し，口唇の断面形状は角形である。口縁部には波状口縁に合わせて3条1組の弧状の沈線を巡らし，波頂部の下位には刻みを施す。胴部から底部にかけては3条1組の沈線が波頂部から2組ずつ斜め方向に施す。地文は横走縄文である。内面には2条1組の弧状の沈線が巡る。色調は内外面ともに褐色である。



図Ⅳ－26　包含層出土土器（26）

475は胴部が僅かに張り出す深鉢形土器である。胴中部以下は欠損している。口縁は緩やかな波状を呈し，波頂部には刻みが施される。口唇の断面形状は角形を呈する。口縁部には波状口縁にあわせ，弧状の沈線が3本ずつ施される。口縁部の下位から胴部にかけては9条の横走沈線が巡る。地文は口縁部には斜行，胴部以下は縦走に近い縄文が施される。色調は外面が茶褐色，内面は褐色である。

476・479・480は波状口縁に沿って口縁部に弧状の沈線の巡るもので，地文に斜行縄文が施される。479・480は内面にも同様の文様が施される。口縁部と胴部との境目には476 は9条，478・481には6条，482には5条の横走沈線が巡る。483は地文のみのもので斜行縄文が施されている。

2種：南川Ⅳ群に相当するもの。

484は胴中部が膨らみ，口縁部の開く深鉢形土器がある。底部は欠損している。口縁は2基1組の山形の小突起が施され，全体に刻みが巡る。口唇の断面形状は角形を呈する。口縁部には沈線に縁取られた縦位の帯縄文，胴部には沈線に縁取られた2条の横位の帯縄文や，やはり沈線に縁取られた帯縄文による文様及び列点文がめぐる。胴下部には縦位の帯縄文が施される。色調は内外面ともに黄褐色である。

485は胴部が若干膨らみ，口縁部の大きく外反する深鉢形土器である。口縁は僅かに波状を呈し，口縁上には刻みが巡る。口唇の断面形状は角形である。口縁部には上位に横位の帯縄文が巡り，その下位には縦位の帯縄文が施される。胴部との境目には横走沈線が巡るが，場所により1条～4条となる。胴上部から中部にかけては帯縄文が網目状に巡り，一部沈線で縁取られている。胴下部には縦位の帯縄文が施される。色調は内外面ともに明黄褐色である。

486は胴部が僅かに膨らむ深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁には山形の小突起があり，刻みが巡らされている。口唇の断面形状は角形である。口縁部には上位に横位の帯縄文を施し，その上に沈線を雑に描き，下位には縦位の帯縄文を施す。胴部には2条の横位の帯縄文を施し，その間に帯縄文を網目状に施して一部分を沈線により括る。色調は内外面ともに暗褐色である。

487は頚部から口縁部のみのものである。口縁は平縁で口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には1条の貼付帯が巡り、その上には列点文が2段施される。色調は外面は黄褐色，内面は褐色を呈する。488～491は底部の資料である。488・489は揚げ底，490は平底である。491は高坏状の台がついたものである。

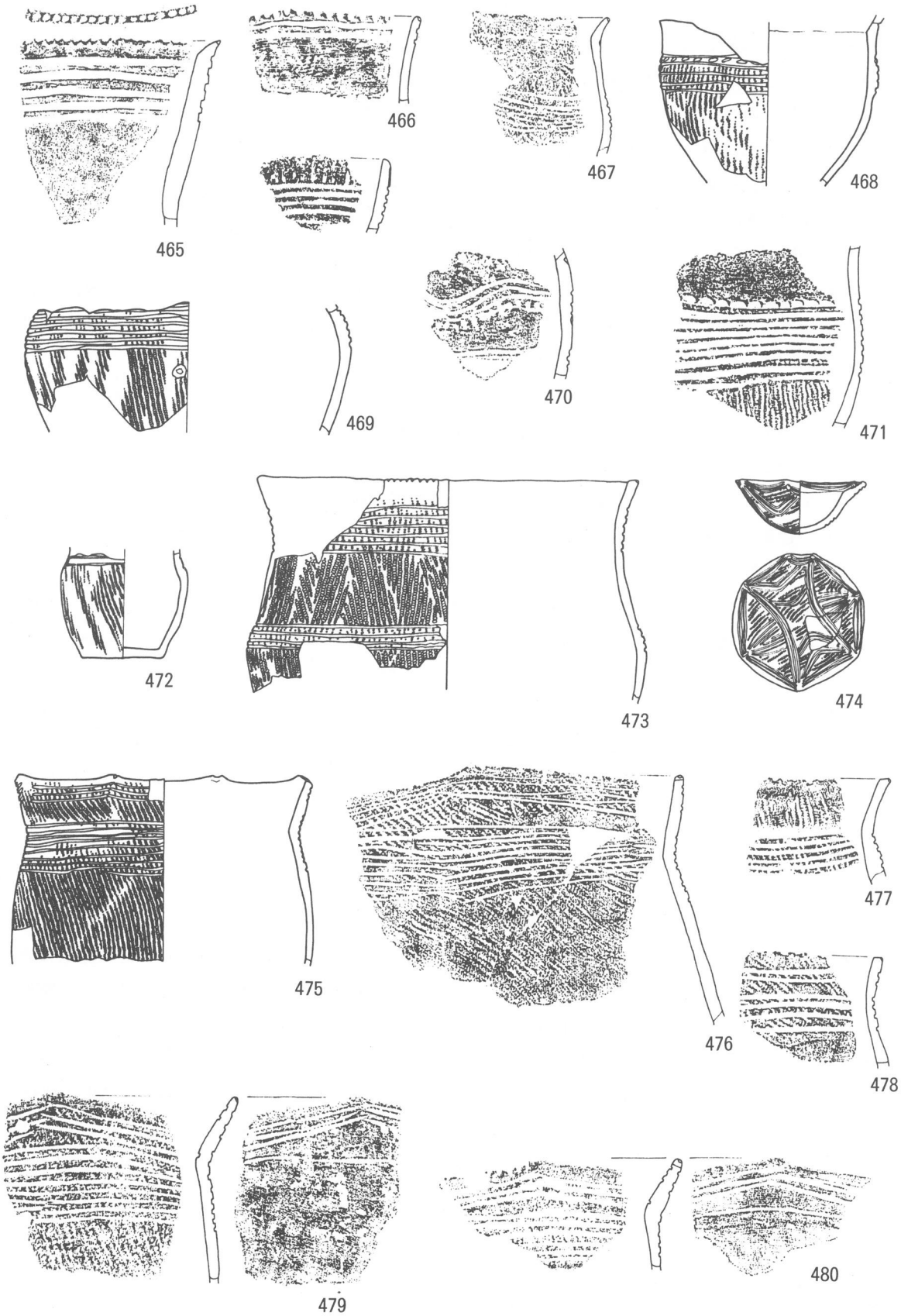
第Ⅴ群土器　擦文時代に相当するもの。

492は底部が張り出し胴部はすんなりと立ち上がり，口縁部の開く深鉢形土器である。口縁は平縁，口唇の断面形状は三角である。口縁部は上位に3条の横走沈線，その下位には3本1組の沈線による鋸歯状の文様が施されている。胴下位に縦位のヘラ削りの跡があり，底部付近では横方向のナデ整形の跡が認められる。色調は外面が灰褐色，内面は黄褐色～灰褐色である。

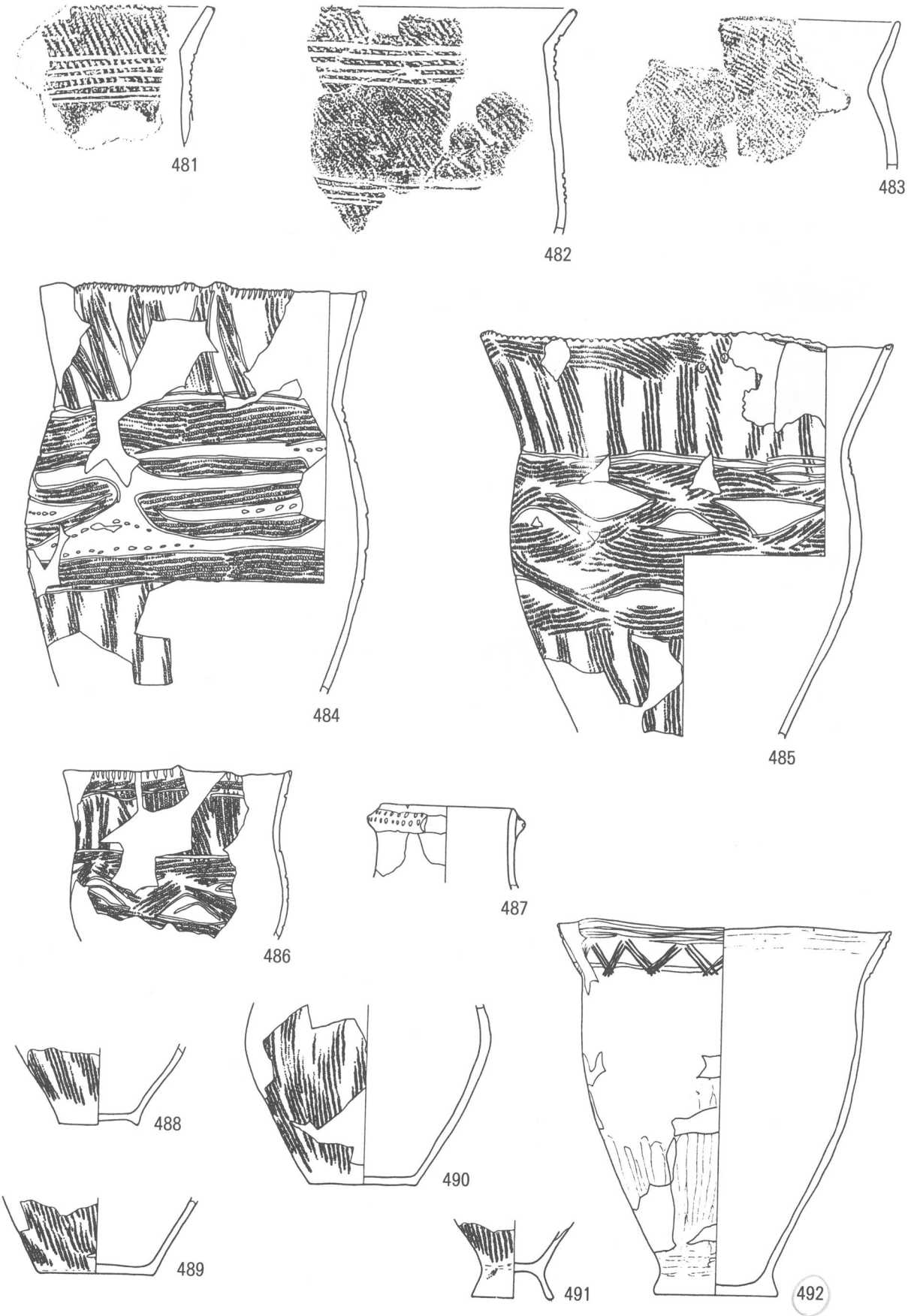
493～499は口縁部の破片である。493は3本1組の沈線により格子状の文様を描いたもの，495は刻線の認められるものである。494は口唇直下に1条，496は口縁部の上位と下位に1条ずつ横走沈線が巡る。497は壷形土器の破片である。器面にはハケメ状擦痕が認められ，口縁部及び頚部には太い横走沈線が巡る。498・499は坏の破片である。498は段が1段巡り，499には口縁部に2条の横走沈線が巡る。

500は底部が張り出し，口縁部の欠損した深鉢形土器である。胴部には縦位のヘラ削りのあとが認められる。色調は外面は褐色，内面は赤褐色～黒褐色である。

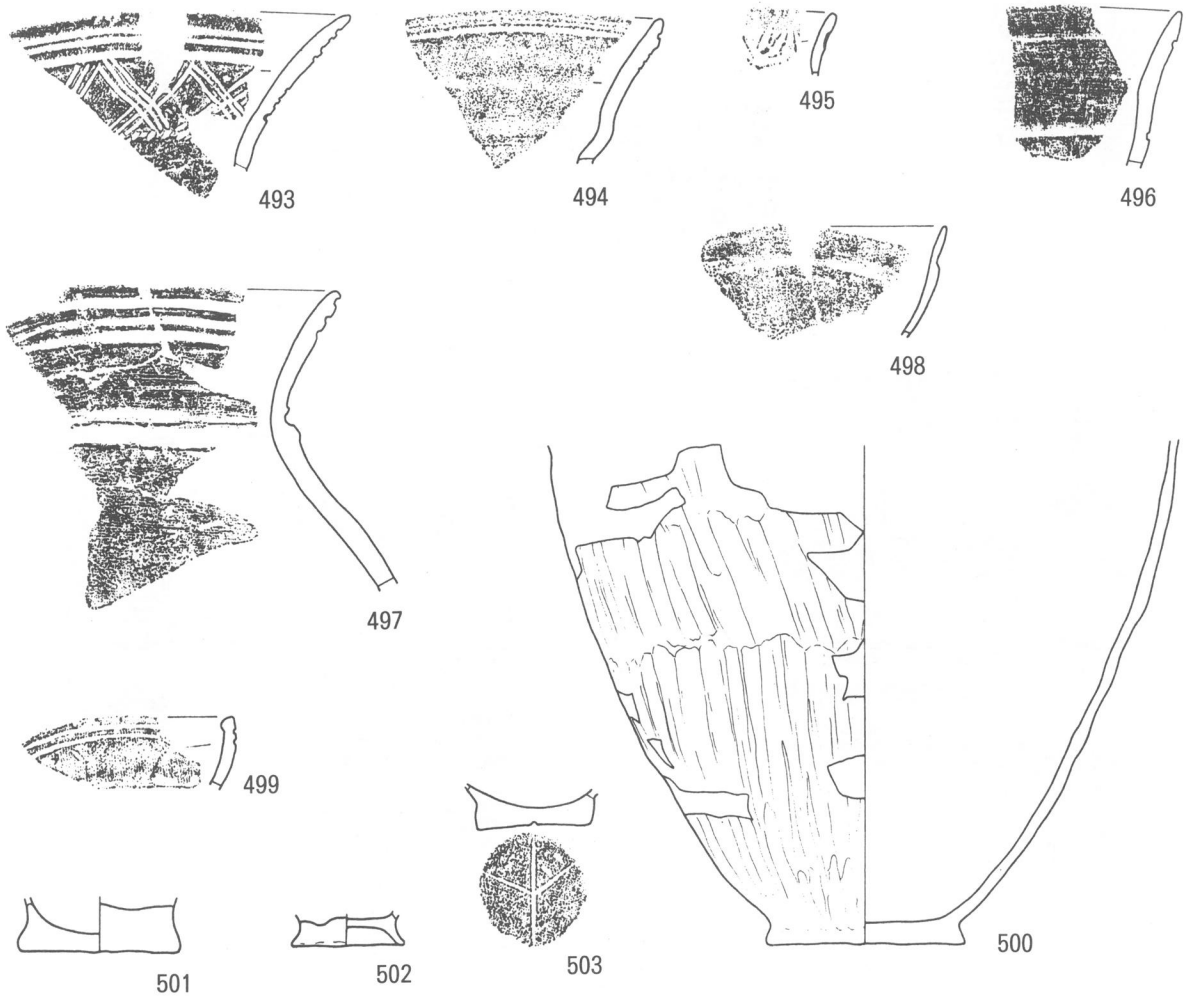
501～503は底部の資料である。502は揚げ底である。503 は底部に刻文が施されているもので，当遺跡唯一の資料である。



図Ⅳ－27　包含層出土土器（27）



図Ⅳ－28　包含層出土土器（28）



図Ⅳ－29　包含層出土土器（29）

表Ⅳ－１　復元土器一覧表（１）

No.	分類	層位	グリット名	器高(mm)	口径(mm)	胴径(mm)	底径(mm)	器厚(mm)	図番	備　考
1	Ⅲ	Ⅴ	A－4	219.8	187.9	184.7	71.9	8.1	3	
2	Ⅱb	Ⅴ	D－5		268.4	219.2		8.2	14	
3	Ⅱb	Ⅴ	E－4		314.8	219.5		11.6	21	
4	Ⅱb	Ⅴ	F－4　a－4	66.6	128.6	80.1	22.4	5.9	22	
5	Ⅱb	Ⅴ	A－4　a－5			109.8	53.4	4.0	23	
6	Ⅱb	Ⅴ	B－5　a－5			38.5		5.5	24	
7	Ⅱc	Ⅴ	A－6　d－3			129.6		5.2	71	
8	Ⅱc	Ⅳ	A－6　e－5	84.6	137.3	136.2	68.6	5.8	72	
9	Ⅱc	Ⅳ				129.2		5.0	76	
10	Ⅲa	Ⅳ	E－4　b－2		283.1	175.4		4.9	94	
11	Ⅲa	Ⅴ	E－3　d－1		281.6	252.8		4.4	95	
12	Ⅲa	Ⅴ	E－5　c－5		258.2	251.5		6.7	96	
13	Ⅲa	Ⅳ	E－3　a－5		262.1	258.6		5.3	108	
14	Ⅲa	Ⅲ	D－4　e－2		268.4	259.2		6.9	109	
15	Ⅲa	Ⅳ	C－1		386.3	361.8		5.1	114	
16	Ⅲa	Ⅳ	E－3	166.5	160.5	245.4	94.2	4.8	120	
17	Ⅲa	Ⅴ	D－6　a－1		450.0	454.0		6.1	121	
18	Ⅲa	Ⅳ	B－4　e－4		374.6	350.6		6.1	124	
19	Ⅲa	Ⅲ	B－1　e－2		379.7	331.9		7.3	127	
20	Ⅲa	Ⅳ	D－1		371.0	375.6		5.8	135	
21	Ⅲa	Ⅲ	E－4　b－4				101.6	4.4	140	
22	Ⅲa	Ⅳ	D－1　c－2				129.0	4.9	141	
23	Ⅲa	Ⅳ	D－3　a－2				97.9		142	
24	Ⅲa	Ⅳ	E－3　a－4				139.3	4.1	143	
25	Ⅲa	Ⅳ	D－4　c－2				96.0	4.5	144	
26	Ⅲa	Ⅳ	E－3	68.3	127.3	132.7	43.4	3.9	145	
27	Ⅲa			55.0		29.0			146	注口土器の注口部
28	Ⅲa	Ⅱ	A－3　a－2	35.7	97.3	94.5	71.5	5.2	179	
29	Ⅲa	Ⅳ	F－4　e－1			93.7	54.9	3.3	182	
30	Ⅲa	Ⅳ	E－4　d－2			187.9		5.3	183	
31	Ⅲa	Ⅴ	C－3　c－2		122.2	115.1		4.3	194	
32	Ⅲa	Ⅴ	D－4　c－3		351.8	335.1		7.0	198	
33	Ⅲa	Ⅳ	D－4　c－2		265.8	258.3		5.5	204	
34	Ⅲa	Ⅳ	D－4　e－1		252.1	245.3		4.9	208	
35	Ⅲa	Ⅳ	E－4　b－2		223.2	214.6		5.7	210	
36	Ⅲa	Ⅲ	C－4　a－1		195.8	190.8		4.0	211	
37	Ⅲa					196.7	74.0	7.1	213	
38	Ⅲa	Ⅱ				216.9		5.2	214	
39	Ⅲa	Ⅴ	D－6　a－1		98.6	95.8		4.5	215	
40	Ⅲa	Ⅴ	D－2　e－1		99.2	93.9	37.3	3.7	216	
41	Ⅲa	Ⅲ	F－4　c－1	60.5	200.0	183.0	60.0	5.1	217	
42	Ⅲa	Ⅳ	F－3　b－5		179.0	170.6		6.0	218	
43	Ⅲa	Ⅳ	C－3		257.0	244.0		4.7	219	
44	Ⅲa	Ⅳ		113.5	99.3	90.2	42.7	7.6	220	
45	Ⅲa	Ⅴ	C－5　a－3		137.5	143.6		5.5	222	
46	Ⅲa	Ⅴ	B－3　b－4			108.2	69.2	2.8	229	
47	Ⅲa			24.0		7.2			230	
48	Ⅲa	Ⅳ	E－4　d－1	63.8	125.0	120.5	50.2	3.3	231	
49	Ⅲa	Ⅲ	B－3　b－4	92.3	54.8	86.8		4.0	244	
50	Ⅲb	Ⅱ	C－5　b－4		261.7	275.2		6.2	249	
51	Ⅳa	Ⅱ	D－3　a－3		194.9	195.0		6.2	250	
52	Ⅳa	Ⅱ	A－4　c－2	141.8	128.0	130.3	70.1	6.2	251	
53	Ⅳa	Ⅱ	D－2　e－3		227.4	234.4		6.7	252	
54	Ⅳa	Ⅲ	C－1　d－4	65.4	89.1	84.0	30.7	6.5	253	

表Ⅳ－1　復元土器一覧表（2）

No.	分類	層位	グリット名	器高(mm)	口径(mm)	胴径(mm)	底径(mm)	器厚(mm)	図番	備　考
55	Ⅳa	Ⅱ	D－1　c－3	95.1	115.3	116.0	56.3	6.9	254	
56	Ⅳa	Ⅱ	A－4　d－3		170.0	171.0		4.5	255	
57	Ⅳa	Ⅲ	F－4　c－2		156.3	179.4		6.4	256	
58	Ⅳa	Ⅲ	A－2　b－3	108.0	113.6	112.8	78.7	6.8	257	
59	Ⅳa	Ⅲ	A－1　b－4	86.5	84.8	94.1	45.2	5.5	263	
60	Ⅳa	Ⅱ	C－4　d－1	124.8	112.5	114.6	51.3	5.3	264	
61	Ⅳa		E－3　c－3		289.4	288.7		5.3	276	
62	Ⅳa	Ⅱ	A－3　e－4			94.2	50.6	5.6	279	
63	Ⅳa	Ⅱ	D－3　b－1	106.2	120.6	119.1	46.6	5.7	280	
64	Ⅳa	Ⅱ	A－2　a－1		141.5	147.7		6.0	284	
65	Ⅳa	Ⅱ	A－2　a－2		200.1	201.3		6.4	292	
66	Ⅳa	Ⅲ	A－2　c－1	167.4	131.3	145.0	61.0	4.8	294	
67	Ⅳa	Ⅱ	B－2　d－2		226.0	222.0		7.8	297	
68	Ⅳa	Ⅱ	A－2　b－1		202.1	213.9		5.9	298	
69	Ⅳa	Ⅲ	C－2　a－2		243.5	272.8		11.1	303	
70	Ⅳa	Ⅱ	C－3		161.6	162.4		5.5	304	
71	Ⅳa	Ⅱ	C－4　a－1		240.7	244.5		9.9	323	
72	Ⅳa	Ⅲ	D－4　c－2		196.7	201.8		6.6	328	
73	Ⅳa	Ⅱ	D－4		343.2	331.9		9.9	333	
74	Ⅳa	Ⅲ	C－2　d－4		299.8	300.0		9.1	336	
75	Ⅳa	Ⅱ	E－4　b－4		347.1	368.3		11.3	341	
76	Ⅳa	Ⅱ	C－3		240.7	141.4		8.3	347	
77	Ⅳa	Ⅲ	A－1　b－2		176.9	184.1		6.7	349	
78	Ⅳa	Ⅱ	A－3　c－5		232.5	252.4		6.0	356	
79	Ⅳa	Ⅱ	B－2　c－4		210.7	226.1		11.8	357	
80	Ⅳa	Ⅱ	B－2　a－2	99.9	57.5	88.8	49.9	6.0	358	
81	Ⅳa	Ⅱ	A－2　d－2		163.2	167.7		5.6	359	
82	Ⅳa	Ⅱ	A－3　c－5		72.0	76.7		4.8	362	
83	Ⅳa			82.3	105.3	102.7	51.7	5.7	363	
84	Ⅳa	Ⅱ	B－3　e－2		113.5	115.8		5.0	366	
85	Ⅳa	Ⅱ	D－4　a－1		169.9	182.5		5.7	367	
86	Ⅳa	Ⅱ	C－2　b－1		171.9	173.8		5.4	368	
87	Ⅳa	Ⅱ	D－2	143.7	114.2	126.9	70.1	4.9	369	
88	Ⅳa	Ⅱ	A－2　d－3		164.8	162.4		5.1	373	
89	Ⅳa	Ⅱ	B－3		308.7	351.3		10.7	374	
90	Ⅳa	Ⅲ	B－1　a－5		383.3	376.8		9.3	389	
91	Ⅳa	Ⅱ	A－2　e－4		178.4	193.1		5.9	396	
92	Ⅳa	Ⅲ	A－1　c－2	100.9	98.5	95.8	42.1	4.3	397	
93	Ⅳa	Ⅱ	A－4　a－3		100.8	111.2		6.3	398	
94	Ⅳa	Ⅲ	A－3　d－1		168.3	167.4		5.8	399	
95	Ⅳa	Ⅱ	C－2　d－3		168.2	170.8		5.3	400	
96	Ⅳa	Ⅱ	B－3　a－3		249.2	253.5		7.1	401	
97	Ⅳa	Ⅱ	B－2　c－4		162.0	192.0		6.7	402	
98	Ⅳa	Ⅱ	C－3　a－1		149.4	155.6		8.4	403	
99	Ⅳa	Ⅱ	C－3　b－1		121.6	130.9		6.3	404	
100	Ⅳa	Ⅱ	B－5　c－5		140.0	147.8		7.1	405	
101	Ⅳa	Ⅲ	E－4　e－1		275.8	252.8		7.2	406	
102	Ⅳa	Ⅱ	C－2	76.6	61.1	75.7	39.2	4.6	407	
103	Ⅳa	Ⅱ	A－4　d－2		105.7	190.9		8.0	408	
104	Ⅳa	Ⅱ	D－2　a－5			129.2	83.5	6.2	424	
105	Ⅳa	Ⅱ	C－2　c－1				64.5	4.8	425	
106	Ⅳa		E－4　d－1				54.5	4.7	426	
107	Ⅳa	Ⅱ			40.5	58.1		3.6	427	
108	Ⅳa	Ⅱ	D－2　a－1	52.2	113.5	101.7	61.6	4.4	428	

表Ⅳ－１　復元土器一覧表（３）

No.	分類	層位	グリット名	器高(mm)	口径(mm)	胴径(mm)	底径(mm)	器厚(mm)	図番	備　　考
109	Ⅳb	Ⅱ	C－2　e－2		147.5	155.4		5.4	436	
110	Ⅳb	Ⅱ	F－4　b－1		175.6	192.1		5.6	438	
111	Ⅳb	Ⅱ	A－1　d－4		229.8	250.1		9.2	439	
112	Ⅳb	Ⅱ	D－2　a－2			192.2		7.8	441	
113	Ⅳb	Ⅱ	A－2　d－2		236.9	239.7		6.7	448	
114	Ⅳb	Ⅱ	E－4　e－1		155.2	159.3		5.2	452	
115	Ⅳb	Ⅱ	D－4　d－1		167.6	151.4		7.4	457	
116	Ⅳb	Ⅱ	D－4　d－3		128.3	109.4		5.3	458	
117	Ⅳb	Ⅱ	F－4　c－2		222.7	246.8		5.8	459	
118	Ⅳb	Ⅱ	D－1		268.6	290.4		6.3	460	
119	Ⅳb		E－4　d－4		84.2			4.6	461	
120	Ⅳb	Ⅲ	C－4　a－2		115.5	190.0		5.3	462	
121	Ⅳb	Ⅱ	E－3　c－5			150.0		5.2	468	
122	Ⅳb	Ⅱ	E－3　a－1			223.0		6.5	469	
123	Ⅳb	Ⅱ	A－3　b－1			85.9	55.7	4.7	472	
124	Ⅳb	Ⅱ	F－4　a－1		258.7	273.3		7.1	473	
125	Ⅳb	Ⅱ	E－4　e－1	36.1	89.3	75.3		4.8	474	蓋の可能性あり
126	Ⅳb	Ⅱ	D－4　c－1		203.0	200.9		6.9	475	
127	Ⅳb	Ⅱ	D－5		228.6	235.8		4.7	484	
128	Ⅳb	Ⅱ	A－2　a－3		291.1	245.4		6.8	485	
129	Ⅳb	Ⅱ	A－1　c－5		160.2	154.6		4.8	486	
130	Ⅳb	Ⅱ	A－3　e－5		92.4			5.1	487	
131	Ⅳb	Ⅱ	C－3　a－1				57.1	4.0	488	
132	Ⅳb	Ⅰ					52.8	4.1	489	
133	Ⅳb	Ⅱ	E－2　a－1			171.3	75.0	7.1	490	
134	Ⅳ		C－6　d－1				58.5	4.3	491	
135	Ⅴ	Ⅱ	D－5	258.5	234.7	196.5	87.2	5.9	492	
136	Ⅴ	Ⅱ	C－4　e－1			326.4	105.7	7.3	500	
137	Ⅴ	Ⅰ					85.0		501	

表Ⅲ－4　拓本土器一覧表（1）

No.	分類	層位	グリット名	部位	文様	図番	備考
1	Ⅰ	Ⅲ	D－6　a－3	口縁部	貼付文・撚糸圧痕文	1	
2	Ⅰ	Ⅴ	A－4　d－2	胴部	押引文・沈線文	2	
3	Ⅰ	Ⅰ	B－6	口縁部	縄線文・縄文・無文帯あり	4	
4	Ⅰ	Ⅴ	B－3　e－1	胴部	撚糸文	5	
5	Ⅰ	Ⅴ	D－5　a－5	口縁部	縄文・無文帯あり	6	
6	Ⅱa	Ⅴ	C－2　e－2	口縁部	沈線文	7	
7	Ⅱa	Ⅲ	D－1　d－4	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	8	
8	Ⅱa	Ⅴ	C－6　c－2	胴部	沈線文	9	
9	Ⅱa	Ⅰ	D－3	胴部	沈線文・縄文・無文帯あり	10	
10	Ⅱa	Ⅴ	C－3　c－1	胴部	沈線文・縄文・無文帯あり	11	
11	Ⅱb	Ⅴ	D－6　b－1	口縁部	沈線文・縄文	12	
12	Ⅱb	Ⅴ	D－5　b－5	胴部	沈線文・縄文・無文帯あり	13	
13	Ⅱb	Ⅳ	D－4　c－2	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	15	
14	Ⅱb	Ⅴ	C－4　a－1	口縁部	円形刺突文	16	
15	Ⅱb	Ⅳ	F－4　b－3	口縁部	円形刺突文	17	
16	Ⅱb	Ⅳ	B－5　a－3	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	18	
17	Ⅱb	Ⅴ	D－2　b－3	胴部	沈線文	19	
18	Ⅱb	Ⅳ	A－5　e－4	口縁部	沈線文・縄文	20	
19	Ⅱb	Ⅳ	A－4　a－2	口縁部	沈線文・縄文・刻み・無文帯あり	25	
20	Ⅱb	Ⅲ	A－4　a－3	口縁部	刻み・無文帯あり	26	
21	Ⅱb	Ⅴ	A－4　a－3	口縁部	円形刺突文・刻み・縄文	27	
22	Ⅱb	Ⅳ	E－2　b－2	口縁部	刻み・縄文	28	
23	Ⅱb	Ⅴ	C－5　a－1	口縁部	沈線文・刻み・縄文	29	
24	Ⅱb	Ⅳ	E－3　b－2	口縁部	刻み・縄文	30	
25	Ⅱb	Ⅳ	C－3　d－1	口縁部	刻み・縄文・無文帯あり	31	
26	Ⅱb	Ⅳ	A－6　b－5	口縁部	刻み・縄文	32	
27	Ⅱb	Ⅳ	C－3　a－4	胴部	沈線文・刻み・縄文	33	
28	Ⅱb	Ⅴ	B－3　d－4	胴部	沈線文・刻み・縄文・無文帯あり	34	
29	Ⅱb	Ⅴ	D－2　e－5	胴部	沈線文・刻み・縄文・無文帯あり	35	
30	Ⅱb	Ⅳ	F－4　b－2	胴部	沈線文・縄文・無文帯あり	36	
31	Ⅱb	Ⅳ	B－1　d－3	胴部	沈線文・縄文・無文帯あり	37	
32	Ⅱb	Ⅴ	A－6　e－5	口縁部	縄文	38	
33	Ⅱb	Ⅴ	B－3　d－4	口縁部	縄文	39	
34	Ⅱb	Ⅴ	D－4　b－5	口縁部	縄文	40	
35	Ⅱb	Ⅴ	C－2　d－1	口縁部	縄文	41	
36	Ⅱc	Ⅴ	D－5　c－3	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	42	
37	Ⅱc	Ⅳ	C－6　b－1	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	43	
38	Ⅱc	Ⅴ	C－6　a－1	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	44	
39	Ⅱc	Ⅳ	A－4　b－2	胴部	沈線文・縄文・無文帯あり	45	
40	Ⅱc	Ⅴ	C－2　e－5	胴部	沈線文・縄文・無文帯あり	46	
41	Ⅱc	Ⅴ	C－2　e－1	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	47	
42	Ⅱc	Ⅳ	A－6　d－3	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	48	
43	Ⅱc	Ⅳ	A－6　d－3	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	49	
44	Ⅱc	Ⅴ	A－5　a－3	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	50	
45	Ⅱc	Ⅴ	B－2　a－5	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	51	
46	Ⅱc	Ⅳ	A－4　a－2	口縁部	突瘤文・縄文	52	
47	Ⅱc	Ⅲ	B－1　c－2	口縁部	突瘤文・縄文	53	
48	Ⅱc	Ⅴ	D－5　b－3	口縁部	突瘤文・縄文	54	
49	Ⅱc	Ⅳ	A－6　d－3	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	55	
50	Ⅱc	Ⅴ	E－3　d－5	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	56	
51	Ⅱc	Ⅰ	C－3　c－4	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	57	
52	Ⅱc	Ⅴ	C－6　b－2	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	58	
53	Ⅱc	Ⅴ	C－2　c－1	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	59	
54	Ⅱc	Ⅲ	E－3　a－1	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	60	

表Ⅲ－4　拓本土器一覧表（2）

No.	分類	層位	グリット名	部　位	文　　様	図番	備　　考
55	Ⅱc	Ⅴ	A－6　d－3	口縁部	突瘤文・縄文	61	
56	Ⅱc	Ⅳ	C－3　e－1	口縁部	貼付文・縄文	62	
57	Ⅱc	Ⅴ	A－5　e－1	口縁部	突瘤文・縄文	63	
58	Ⅱc	Ⅴ	B－3　d－2	口縁部	突瘤文・縄文	64	
59	Ⅱc	Ⅳ	C－6　b－1	口縁部	沈線文・縄文	65	
60	Ⅱc	Ⅴ	C－3　e－3	口縁部	沈線文・縄文	66	
61	Ⅱc	Ⅳ	C－5　c－4	口縁部	沈線文・縄文	67	
62	Ⅱc	Ⅴ	B－1　c－3	口縁部	突瘤文・縄文	68	
63	Ⅱc	Ⅴ	C－6　e－1	胴　部	沈線文・縄文	69	
64	Ⅱc	Ⅴ	D－4　d－1	胴　部	沈線文・縄文	70	
65	Ⅱc	Ⅳ	A－6　d－3	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	73	
66	Ⅱc	Ⅳ	C－6　b－1	胴　部	沈線文・縄文・無文帯あり	74	
67	Ⅱc	Ⅴ	D－1　d－1	胴　部	沈線文・縄文・無文帯あり	75	
68	Ⅱc	Ⅴ	E－4　a－4	口縁部	貼付瘤・沈線文・縄文・無文帯あり	77	
69	Ⅱc	Ⅴ	D－3　e－1	胴　部	貼付瘤・沈線文・縄文	78	
70	Ⅱc	Ⅲ	A－4　e－5	胴　部	沈線文・縄文	79	貼付瘤の剥落した跡あり
71	Ⅱc	Ⅳ	E－3　d－4	胴　部	貼付瘤・沈線文・縄文・無文帯あり	80	
72	Ⅱc	Ⅰ	E－3	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	81	
73	Ⅲa	Ⅳ	A－6　e－5	口縁部	突瘤文・爪形文・沈線文・縄文	82	
74	Ⅲa	Ⅱ	A－4　b－1	口縁部	突瘤文・爪形文・沈線文・縄文	84	
75	Ⅲa	Ⅳ	A－6　d－5	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	85	
76	Ⅲa	Ⅴ	D－2　d－5	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	86	
77	Ⅲa	Ⅴ	C－3　e－1	口縁部	貼付文・爪形文・沈線文・縄文	87	
78	Ⅲa	Ⅴ	B－3　b－1	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	88	
79	Ⅲa	Ⅴ	C－4　e－2	口縁部	爪形文・縄文	89	
80	Ⅲa	Ⅳ	F－4　a－2	口縁部	爪形文・縄文	90	
81	Ⅲa	Ⅱ	D－4　c－1	口縁部	爪形文・縄文	91	
82	Ⅲa	Ⅲ	C－4　b－4	口縁部	爪形文・縄文	92	
83	Ⅲa	Ⅴ	C－3　d－1	胴　部	爪形文・沈線文・縄文	93	
84	Ⅲa	Ⅲ	D－5　b－5	口縁部	爪形文・縄文	97	
85	Ⅲa	Ⅱ	F－4　a－4	口縁部	爪形文・縄文	98	
86	Ⅲa	Ⅱ	D－3　e－4	口縁部	爪形文・縄文	99	
87	Ⅲa	Ⅴ	D－2　b－3	口縁部	爪形文・縄文	100	
88	Ⅲa	Ⅳ	E－3　a－4	口縁部	爪形文・縄文	101	
89	Ⅲa	Ⅲ	D－5　c－1	口縁部	爪形文・縄文	102	
90	Ⅲa	Ⅳ	E－4　e－3	口縁部	爪形文	103	
91	Ⅲa	Ⅲ	D－3　b－4	口縁部	爪形文・縄文	104	
92	Ⅲa	Ⅲ	B－3　d－5	口縁部	爪形文・縄文	105	
93	Ⅲa	Ⅴ	C－3　c－1	口縁部	爪形文・縄文	106	
94	Ⅲa	Ⅳ	E－3　a－4	口縁部	爪形文・縄文	107	
95	Ⅲa	Ⅳ	D－4　c－3	口縁部	爪形文・縄文	110	
96	Ⅲa	Ⅳ	B－1　d－4	口縁部	爪形文・縄文	111	
97	Ⅲa	Ⅴ	D－2　c－2	口縁部	爪形文・縄文	112	
98	Ⅲa	Ⅲ	B－1　c－3	口縁部	爪形文・縄文	113	
99	Ⅲa	Ⅳ	F－4　a－2	口縁部	爪形文・縄文	115	
100	Ⅲa	Ⅳ	D－4　e－1	口縁部	爪形文・縄文	116	
101	Ⅲa	Ⅳ	B－1	口縁部	爪形文・縄文	117	
102	Ⅲa	Ⅳ	D－3　a－1	口縁部	爪形文・縄文	118	
103	Ⅲa	Ⅳ	E－3　b－5	口縁部	爪形文・縄文	119	
104	Ⅲa	Ⅱ	D－1　e－3	口縁部	爪形文・縄文	122	
105	Ⅲa	Ⅳ	D－4　e－1	口縁部	爪形文・縄文	123	
106	Ⅲa	Ⅳ	D－2　e－5	口縁部	爪形文・縄文・無文帯あり	125	
107	Ⅲa	Ⅳ	F－3　a－5	口縁部	爪形文・縄文	126	
108	Ⅲa	Ⅳ	E－3　a－4	口縁部	爪形文・縄文・無文帯あり	128	

表Ⅲ－4　拓本土器一覧表（3）

No.	分類	層位	グリット名	部　位	文　　様	図番	備　　考
109	Ⅲa	Ⅳ	D－4　e－1	口縁部	爪形文・縄文	129	
110	Ⅲa	Ⅳ	E－3　d－3	口縁部	爪形文・縄文	130	
111	Ⅲa	Ⅲ	D－4　c－1	口縁部	爪形文・縄文	131	
112	Ⅲa	Ⅴ	E－3　b－4	口縁部	爪形文・縄文	132	
113	Ⅲa	Ⅲ	B－1　e－2	口縁部	爪形文・縄文	133	
114	Ⅲa	Ⅲ	E－2　c－4	口縁部	爪形文・縄文	134	
115	Ⅲa	Ⅲ	D－4　c－3	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	136	
116	Ⅲa	Ⅳ	D－4　c－1	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	137	
117	Ⅲa	Ⅴ	A－3　c－2	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	138	
118	Ⅲa	Ⅳ	E－3　a－3	胴　部	爪形文・縄文	139	
119	Ⅲa	Ⅰ	F－4	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	147	
120	Ⅲa	Ⅱ	B－1　c－5	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	148	
121	Ⅲa	Ⅲ	E－2　b－3	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	149	
122	Ⅲa	Ⅳ	D－4　e－3	口縁部	爪形文・縄文	150	
123	Ⅲa	Ⅳ	E－4　d－1	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	151	
124	Ⅲa	Ⅴ	D－5　a－1	口縁部	爪形文・縄文	152	
125	Ⅲa	Ⅳ	E－3　a－4	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	153	
126	Ⅲa	Ⅲ	E－3　a－4	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	154	
127	Ⅲa	Ⅳ	A－3　b－4	口縁部	爪形文・縄文	155	
128	Ⅲa	Ⅲ	D－4　d－2	口縁部	爪形文・縄文	156	
129	Ⅲa	Ⅲ	D－4　a－3	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	157	
130	Ⅲa	Ⅳ	D－3　c－1	口縁部	爪形文・縄文	158	
131	Ⅲa	Ⅳ		口縁部	爪形文・縄文	159	
132	Ⅲa	Ⅴ	D－5　b－3	口縁部	爪形文・縄文	160	
133	Ⅲa	Ⅳ	E－4　c－2	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	161	
134	Ⅲa	Ⅱ	D－4　d－2	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	162	
135	Ⅲa	Ⅴ	E－3　b－3	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	163	
136	Ⅲa	Ⅴ	E－4　a－5	胴　部	爪形文・沈線文・縄文	164	
137	Ⅲa	Ⅲ	D－3　a－3	胴　部	貼付瘤・爪形文・沈線文・縄文	165	
138	Ⅲa	Ⅳ	E－3　a－3	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	166	
139	Ⅲa	Ⅳ	D－3　a－4	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	167	
140	Ⅲa	Ⅳ	E－4　b－4	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	168	
141	Ⅲa	Ⅳ	C－5　d－2	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	169	
142	Ⅲa	Ⅲ	E－3　a－1	口縁部	沈線文・縄文	170	
143	Ⅲa	Ⅳ	D－2　b－2	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	171	
144	Ⅲa	Ⅳ	E－3　d－4	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	172	
145	Ⅲa	Ⅳ	D－1　a－1	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	173	
146	Ⅲa	Ⅲ	D－1　c－3	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	174	
147	Ⅲa	Ⅲ	E－3　a－2	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	175	
148	Ⅲa	Ⅱ	F－4　c－1	胴　部	爪形文・沈線文・縄文	176	
149	Ⅲa	Ⅳ	E－4　a－2	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	177	
150	Ⅲa	Ⅳ	E－5　a－2	口縁部	爪形文・沈線文・縄文	178	
151	Ⅲa	Ⅴ	F－4　c－1	口縁部	爪形文・沈線文	180	
152	Ⅲa	Ⅳ	C－6　e－2	口縁部	沈線文・列点文・縄文	181	
153	Ⅲa	Ⅲ	F－4　a－2	口縁部	沈線文・列点文・縄文	184	
154	Ⅲa	Ⅲ	D－4　e－5	口縁部	沈線文・列点文・縄文	185	
155	Ⅲa	Ⅲ	B－1　c－2	口縁部	沈線文・列点文・縄文	186	
156	Ⅲa	Ⅴ	D－1　d－2	口縁部	沈線文・縄文	187	
157	Ⅲa	Ⅳ	D－2　e－5	口縁部	沈線文・縄文	188	
158	Ⅲa	Ⅴ	C－3　c－2	口縁部	沈線文・縄文	189	
159	Ⅲa	Ⅳ	B－3　d－2	口縁部	沈線文・縄文	190	
160	Ⅲa	Ⅴ	B－2　e－5	口縁部	沈線文	191	
161	Ⅲa	Ⅳ	D－4　b－2	口縁部	爪形文・縄文	192	
162	Ⅲa	Ⅴ	E－3　b－5	胴　部	貼付文・沈線文・縄文	193	

表Ⅲ－4　拓本土器一覧表（4）

No.	分類	層位	グリット名	部　位	文　　様	図番	備　　考
163	Ⅲa	Ⅴ	C－6　e－1	口縁部	沈線文	195	突起部に貫通孔
164	Ⅲa	Ⅴ	F－1　c－5	口縁部	縄文・沈線文？	196	
165	Ⅲa	Ⅴ	D－1　e－3	口縁部	縄文	197	
166	Ⅲa	Ⅴ	A－2　e－1	口縁部	縄文	199	
167	Ⅲa	Ⅴ	C－3　d－2	口縁部	縄文	200	
168	Ⅲa	Ⅳ	C－3　c－5	口縁部	縄文	201	
169	Ⅲa	Ⅴ	B－3　e－2	口縁部	縄文	202	
170	Ⅲa	Ⅲ	E－4　b－2	口縁部	縄文	203	
171	Ⅲa	Ⅳ	E－3　a－5	口縁部	縄文	205	
172	Ⅲa	Ⅳ	D－4　d－2	口縁部	縄文	206	
173	Ⅲa	Ⅴ	D－3　e－1	口縁部	縄文	207	
174	Ⅲa	Ⅴ	F－2　b－4	口縁部	縄文	209	
175	Ⅲa	Ⅳ	A－4　e－2	口縁部	縄文	212	
176	Ⅲa	Ⅴ	D－5　e－1	口縁部	無文	221	
177	Ⅲa	Ⅴ	C－3　d－1	口縁部	沈線文	223	
178	Ⅲa	Ⅴ	A－4　e－2	口縁部	沈線文・縄文	224	
179	Ⅲa	Ⅴ	D－2　e－1	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	225	
180	Ⅲa	Ⅲ	F－2　b－2	胴　部	沈線文・縄文・無文帯あり	226	
181	Ⅲa	Ⅰ	C－3　c－4	胴　部	沈線文・縄文・無文帯あり	227	
182	Ⅲa	Ⅴ	D－5　b－1	胴　部	沈線文・縄文・無文帯あり	228	
183	Ⅲa	Ⅲ	E－4　b－2	口縁部	沈線文・縄文	232	
184	Ⅲa	Ⅱ	F－4　a－1	口縁部	沈線文・縄文	233	
185	Ⅲa	Ⅴ	C－5　d－4	口縁部	沈線文・縄文	234	
186	Ⅲa	Ⅲ	E－5　b－2	胴　部	沈線文・縄線文	235	
187	Ⅲa	Ⅳ	C－3　e－2	口縁部	沈線文・縄文	236	
188	Ⅲa	Ⅴ	C－2　d－5	口縁部	沈線文・縄文	237	
189	Ⅲa	Ⅴ	D－1　d－2	胴　部	沈線文	238	精製土器
190	Ⅲa	Ⅴ	B－1　c－3	口縁部	沈線文・縄文	239	
191	Ⅲa	Ⅲ	D－4　a－4	口縁部	沈線文	240	
192	Ⅲa	Ⅴ	C－5　d－4	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	241	
193	Ⅲa	Ⅲ	A－3　d－2		沈線文	242	土製品？
194	Ⅲa	Ⅳ	B－2　b－4	口縁部	沈線文・縄文	243	
195	Ⅲa	Ⅴ	B－3　e－1	口縁部	無文	245	
196	Ⅲa	Ⅲ	D－4　c－4	胴　部	沈線文	246	文様は焼成後に施す
197	Ⅲb	Ⅱ	A－2　e－5	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	247	
198	Ⅳa	Ⅳ	C－3　d－1	口縁部	沈線文・縄文	248	
199	Ⅳa	Ⅱ	A－2　c－4	口縁部	沈線文・貫通孔	258	
200	Ⅳa	Ⅲ	B－1　a－5	口縁部	沈線文・縄文	259	
201	Ⅳa	Ⅳ	D－3　b－5	口縁部	沈線文・縄文	260	
202	Ⅳa	Ⅳ	D－1　e－2	胴　部	沈線文・縄文	261	
203	Ⅳa	Ⅲ	E－4　b－2	口縁部	縄文・無文帯	262	
204	Ⅳa	Ⅱ	B－2　e－5	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	265	
205	Ⅳa	Ⅲ	A－2　c－1	口縁部	沈線文・縄文	266	
206	Ⅳa	Ⅴ	B－3　c－5	口縁部	沈線文・縄文	267	
207	Ⅳa	Ⅳ	A－1　b－2	口縁部	沈線文・縄文	268	
208	Ⅳa	Ⅱ	C－2　e－1	口縁部	沈線文・縄文	269	
209	Ⅳa	Ⅲ	C－2　d－5	口縁部	沈線文・縄文	270	
210	Ⅳa	Ⅱ	A－4　e－2	口縁部	沈線文・縄文	271	
211	Ⅳa	Ⅱ	D－2　d－2	口縁部	沈線文・縄文	272	
212	Ⅳa	Ⅲ	C－2　a－3	口縁部	沈線文・縄文	273	
213	Ⅳa	Ⅱ	E－4　a－1	口縁部	沈線文・縄文	274	
214	Ⅳa	Ⅲ	D－2　d－3	口縁部	沈線文・縄文	265	
215	Ⅳa	Ⅱ	C－3　b－2	口縁部	縄文・無文帯	277	
216	Ⅳa	Ⅳ	E－4　e－1	口縁部	縄線文・縄文	278	

表Ⅲ－4　拓本土器一覧表（5）

No.	分類	層位	グリット名	部　位	文　　様	図番	備　　考
217	Ⅳa	Ⅱ	F－4　a－1	口縁部	縄線文・縄文	281	
218	Ⅳa	Ⅱ	D－2　a－1	口縁部	縄線文・縄文・無文帯あり	282	
219	Ⅳa	Ⅲ	B－2　d－4	口縁部	縄線文・縄文・無文帯あり	283	
220	Ⅳa	Ⅱ	D－1　d－5	口縁部	縄線文・沈線文	285	
221	Ⅳa	Ⅳ	C－6　a－1	口縁部	縄線文・縄文	286	
222	Ⅳa	Ⅱ	C－1　b－3	口縁部	縄線文・縄文	287	
223	Ⅳa	Ⅴ	D－2　d－5	口縁部	縄線文・縄文	288	
224	Ⅳa	Ⅲ	D－3　d－1	口縁部	縄線文・縄文・無文帯あり	289	
225	Ⅳa	Ⅴ	C－4　a－2	口縁部	縄線文・縄文	290	
226	Ⅳa	Ⅱ	D－1　e－5	口縁部	縄線文・縄文	291	
227	Ⅳa	Ⅲ	B－2　c－2	口縁部	縄線文・縄文・無文帯あり	293	
228	Ⅳa	Ⅱ	D－1　c－5	口縁部	突瘤文・沈線文	295	
229	Ⅳa	Ⅳ	C－3　d－1	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	296	
230	Ⅳa			口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	299	
231	Ⅳa	Ⅱ	C－1　e－2	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	300	
232	Ⅳa	Ⅱ	C－1　d－3	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	301	
233	Ⅳa	Ⅲ	E－4　d－4	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	302	
234	Ⅳa	Ⅲ	A－2　d－2	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	305	
235	Ⅳa		C－2	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	306	
236	Ⅳa	Ⅰ		口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	307	
237	Ⅳa	Ⅱ	D－4　b－1	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	308	
238	Ⅳa	Ⅱ	D－1　c－2	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	309	
239	Ⅳa	Ⅴ	A－3　b－2	口縁部	突瘤文・縄文	310	
240	Ⅳa	Ⅱ	D－2　a－4	口縁部	突瘤文・縄文	311	
241	Ⅳa	Ⅱ	A－3　b－1	口縁部	突瘤文・縄文	312	
242	Ⅳa	Ⅱ	D－1　e－4	口縁部	突瘤文・縄文	313	
243	Ⅳa	Ⅱ	D－1　d－4	口縁部	突瘤文・縄文	314	
244	Ⅳa	Ⅴ	C－2　a－3	口縁部	突瘤文・縄文	315	
245	Ⅳa	Ⅱ	D－2　a－2	口縁部	突瘤文・縄文	316	
246	Ⅳa	Ⅳ	C－1　d－3	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	317	
247	Ⅳa	Ⅱ	D－4　e－3	口縁部	突瘤文・縄文	318	
248	Ⅳa	Ⅲ	D－3　b－3	口縁部	突瘤文・縄文	319	
249	Ⅳa	Ⅱ	B－2　a－5	口縁部	突瘤文・縄文	320	
250	Ⅳa	Ⅱ	C－3　a－1	口縁部	突瘤文・縄文	321	
251	Ⅳa	Ⅲ	A－2　b－4	口縁部	突瘤文・縄文	322	
252	Ⅳa	Ⅳ	C－3　d－1	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	324	
253	Ⅳa	Ⅱ	D－3　a－5	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	325	
254	Ⅳa	Ⅲ	B－1　b－2	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	326	
255	Ⅳa	Ⅳ	B－2　b－4	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	327	
256	Ⅳa	Ⅲ	C－1　e－2	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	329	
257	Ⅳa	Ⅱ	A－2　a－4	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	330	
258	Ⅳa	Ⅱ	A－3　c－2	口縁部	突瘤文・縄文	331	
259	Ⅳa	Ⅱ	D－1　d－4	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	332	
260	Ⅳa	Ⅲ	D－1　c－3	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文・無文帯あり	334	
261	Ⅳa	Ⅱ	B－2　b－4	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文・無文帯あり	335	
262	Ⅳa	Ⅲ	A－1　a－4	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	337	
263	Ⅳa	Ⅲ	A－1　e－4	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	338	
264	Ⅳa	Ⅲ	D－3　e－5	口縁部	突瘤文・縄文	340	
265	Ⅳa	Ⅱ	D－4　d－4	口縁部	突瘤文・縄文	342	
266	Ⅳa	Ⅰ	B－5	口縁部	突瘤文・縄文	343	
267	Ⅳa	Ⅱ	C－1　c－4	口縁部	突瘤文・縄文	344	
268	Ⅳa	Ⅱ	D－1　a－3	口縁部	突瘤文・縄文	345	
269	Ⅳa	Ⅱ	F－4　c－4	口縁部	突瘤文・縄文	346	
270	Ⅳa	Ⅳ	C－1　c－3	口縁部	突瘤文・縄文	348	

表Ⅲ－４　拓本土器一覧表（６）

No.	分類	層位	グリット名	部　位	文　　様	図番	備　　考
271	Ⅳａ	Ⅲ	Ｄ－１　ｃ－３	口縁部	突瘤文・縄文	350	
272	Ⅳａ	Ⅲ	Ｃ－３　ｂ－１	口縁部	突瘤文・縄文	351	
273	Ⅳａ	Ⅲ	Ｄ－１　ｄ－３	口縁部	突瘤文・縄文・無文帯あり	352	
274	Ⅳａ	Ⅱ	Ｂ－２　ｂ－５	口縁部	突瘤文・縄文・無文帯あり	353	
275	Ⅳａ	Ⅲ	Ｂ－２　ｄ－５	口縁部	突瘤文・縄文	354	
276	Ⅳａ	Ⅲ	Ｂ－２　ｅ－２	口縁部	突瘤文・縄文	355	
277	Ⅳａ	Ⅲ	Ａ－１　ｅ－２	口縁部	縄文	360	
278	Ⅳａ	Ⅳ	Ｅ－４　ｄ－２	口縁部	縄文・無文帯あり	361	
279	Ⅳａ	Ⅴ	Ｆ－２　ａ－２	口縁部	縄文	364	縄文時代後期の可能性もあり
280	Ⅳａ	Ⅱ	Ａ－２　ａ－２	口縁部	縄文	365	
281	Ⅳａ	Ⅱ	Ａ－４　ｅ－１	口縁部	撚糸文・無文帯あり	370	
282	Ⅳａ	Ⅲ	Ｃ－２　ａ－４	口縁部	縄文・無文帯あり	371	
283	Ⅳａ	Ⅲ	Ｄ－２　ｂ－４	口縁部	縄文・無文帯あり	372	
284	Ⅳａ	Ⅱ	Ｂ－３　ｅ－５	口縁部	沈線文・帯縄文	375	
285	Ⅳａ	Ⅲ	Ａ－１　ｂ－２	口縁部	沈線文・帯縄文・無文帯あり	376	
286	Ⅳａ	Ⅲ	Ｅ－４　ｂ－２	口縁部	沈線文・帯縄文	377	
287	Ⅳａ	Ⅱ	Ｃ－３　ａ－１	口縁部	沈線文・帯縄文	380	
288	Ⅳａ	Ⅱ	Ａ－２　ａ－２	口縁部	沈線文・帯縄文	379	
289	Ⅳａ	Ⅳ	Ｂ－４　ａ－３	胴　部	沈線文・帯縄文	380	
290	Ⅳａ		Ｃ－２	口縁部	沈線文・帯縄文	381	
291	Ⅳａ	Ⅱ	Ａ－１　ａ－２	口縁部	円形刺突文・沈線文・縄線文・帯縄文	382	
292	Ⅳａ	Ⅰ	Ｄ－５　ｃ－４	口縁部	縄線文・帯縄文・無文帯あり	383	
293	Ⅳａ	Ⅱ	Ａ－２　ａ－２	口縁部	縄線文・帯縄文	384	
294	Ⅳａ	Ⅱ	Ａ－３　ｃ－１	口縁部	縄線文・帯縄文・無文帯あり	385	
295	Ⅳａ	Ⅱ	Ａ－２　ａ－５	口縁部	突瘤文・帯縄文	386	
296	Ⅳａ	Ⅱ	Ａ－２　ｂ－５	口縁部	突瘤文・帯縄文	387	
297	Ⅳａ	Ⅲ	Ｂ－１　ａ－５	口縁部	突瘤文・帯縄文	388	
298	Ⅳａ		表　　採	口縁部	突瘤文・帯縄文	390	
299	Ⅳａ	Ⅳ	Ａ－４　ｅ－３	口縁部	突瘤文・帯縄文	391	
300	Ⅳａ	Ⅱ	Ｂ－３　ｅ－５	口縁部	突瘤文・帯縄文	392	
301	Ⅳａ	Ⅱ	Ｃ－３　ｃ－２	口縁部	突瘤文・帯縄文	393	
302	Ⅳａ	Ⅲ	Ａ－１　ｄ－２	口縁部	突瘤文・帯縄文	394	
303	Ⅳａ	Ⅱ	Ｂ－３　ｃ－１	口縁部	突瘤文・帯縄文	395	
304	Ⅳａ	Ⅱ	Ｄ－５　ｂ－３	口縁部	帯縄文	409	
305	Ⅳａ	Ⅱ	Ｂ－２　ｃ－４	口縁部	帯縄文	410	
306	Ⅳａ	Ⅱ	Ａ－４	口縁部	帯縄文	411	
307	Ⅳａ	Ⅱ	Ｂ－３　ｄ－１	口縁部	帯縄文	412	
308	Ⅳａ	Ⅲ	Ｂ－１　ｃ－３	口縁部	帯縄文	413	
309	Ⅳａ	Ⅱ	Ｃ－１　ｃ－４	口縁部	帯縄文	414	
310	Ⅳａ	Ⅱ	Ｂ－４　ｂ－３	口縁部	帯縄文	415	
311	Ⅳａ	Ⅱ	Ｂ－２　ｃ－５	口縁部	帯縄文	416	
312	Ⅳａ		Ｂ－３　ｄ－１	口縁部	帯縄文	417	
313	Ⅳａ	Ⅱ	Ｂ－３　ｄ－５	口縁部	帯縄文	418	
314	Ⅳａ		Ａ－１　ａ－２	口縁部	帯縄文	419	
315	Ⅳａ	Ⅲ	Ａ－１　ｂ－４	口縁部	帯縄文	420	
316	Ⅳａ	Ⅱ	Ｂ－１　ａ－５	口縁部	帯縄文	421	
317	Ⅳａ	Ⅲ	Ａ－１　ｂ－２	口縁部	帯縄文	422	
318	Ⅳａ	Ⅳ	Ａ－１　ｂ－２	口縁部	帯縄文・無文帯あり	423	
319	Ⅳｂ	Ⅱ	Ｃ－３　ｄ－２	口縁部	沈線文	429	
320	Ⅳｂ	Ⅲ	Ｃ－１　ｅ－３	口縁部	沈線文	430	
321	Ⅳｂ		Ｄ－３	口縁部	沈線文・列点文	431	
322	Ⅳｂ	Ⅲ	Ａ－１　ｅ－５	口縁部	沈線文・列点文	432	
323	Ⅳｂ	Ⅱ	Ｆ－４	口縁部	沈線文	433	
324	Ⅳｂ	Ⅱ	Ａ－３　ｅ－４	口縁部	沈線文・縄文	434	

表Ⅲ－４　拓本土器一覧表（７）

No.	分類	層位	グリット名	部　位	文　　様	図番	備　　考
325	Ⅳb	Ⅱ	E－4　e－1	口縁部	沈線文・列点文	435	
326	Ⅳb	Ⅱ	B－3　c－4	口縁部	沈線文	437	
327	Ⅳb	Ⅲ	C－2　e－3	口縁部	沈線文・列点文・縄文	440	
328	Ⅳb	Ⅲ	B－1　d－5	胴　部	沈線文・縄文	442	
329	Ⅳb	Ⅲ	A－7　d－1	胴　部	沈線文・縄文	443	
330	Ⅳb	Ⅱ	C－4　d－1	胴　部	沈線文・縄文	444	
331	Ⅳb	Ⅱ	E－4　e－1	胴　部	貼付瘤・沈線文・縄文	445	
332	Ⅳb	Ⅱ	A－3　d－2	胴　部	沈線文・縄文	446	
333	Ⅳb	Ⅳ	C－4　c－2	胴　部	沈線文・縄文	447	
334	Ⅳb	Ⅱ	A－3　b－4	口縁部	縄文・沈線文・無文帯あり	451	
335	Ⅳb	Ⅱ	D－2　b－2	口縁部	沈線文・縄文・列点文・無文帯あり	453	
336	Ⅳb	Ⅱ	D－1　b－4	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	454	
337	Ⅳb	Ⅱ	D－5　a－2	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	455	
338	Ⅳb	Ⅱ	A－4　d－1	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	456	
339	Ⅳb	Ⅰ	C－1	口縁部	沈線文・縄文	463	
340	Ⅳb	Ⅱ	D－1　b－3	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	464	
341	Ⅳb	Ⅲ	E－3　c－3	口縁部	沈線文・無文帯あり	465	
342	Ⅳb	Ⅱ	D－2　b－3	口縁部	沈線文・無文帯あり	466	
343	Ⅳb	Ⅴ	E－3　b－5	口縁部	沈線文・縄線文・縄文・無文帯あり	467	
344	Ⅳb	Ⅱ	D－5　a－2	胴　部	沈線文・列点文	470	
345	Ⅳb	Ⅱ	A－4　d－1	胴　部	沈線文・列点文・縄文・無文帯あり	471	
346	Ⅳb	Ⅰ	F－4	口縁部	沈線文・縄文	476	
347	Ⅳb	Ⅴ	D－2　e－2	口縁部	沈線文・縄文	477	Ⅳaの可能性あり
348	Ⅳb	Ⅱ	C－1　c－3	口縁部	沈線文・縄文	478	
349	Ⅳb	Ⅱ	D－4　d－3	口縁部	沈線文・縄文	479	
350	Ⅳb	Ⅱ	E－4　e－4	口縁部	沈線文・縄文	480	
351	Ⅳb	Ⅱ	D－5　a－4	口縁部	沈線文・縄文	481	
352	Ⅳb	Ⅲ	E－4　d－3	口縁部	沈線文・縄文	482	
353	Ⅳb	Ⅲ	D－4　b－2	口縁部	縄文	483	
354	Ⅴ	Ⅰ	C－2	口縁部	沈線文・刻線文	493	
355	Ⅴ	Ⅰ	A－6	口縁部	沈線文	494	
356	Ⅴ	Ⅱ	C－6　a－3	口縁部	刻線文	495	
357	Ⅴ	Ⅰ	E－4	口縁部	沈線文	496	
358	Ⅴ	Ⅱ	D－4　e－2	口縁部	沈線文	497	
359	Ⅴ	Ⅰ	D－3	口縁部	段あり	498	
360	Ⅴ	Ⅲ	E－3　a－1	口縁部	沈線文	499	
361	Ⅴ	Ⅰ	C－3	底　部	刻線文	503	

2節　石　　器

青苗Ｂ遺跡からは剥片類1179点，礫類79点の計1258点が出土している。剥片石器と礫石器との比率は礫石器が著しく少ない。剥片石器では機能の明瞭なものでは　削器が最も多いが，靴形や木葉形などの定型的なものは少なく，不定形な剥片の縁辺に刃部を作出しただけのものが多い。石鏃は有柄のものが殆どで，なかでも有柄凸基のものが最も多い。石錐は有柄で基端部の張り出すもの，石鏃の大きいものを石錐として扱った。石錐は剥片の一端に刃部を作出したのみのものと，つまみ部が明瞭に作出されたものがほぼ同数である。つまみ付きナイフは全点が剥片の縁辺のみを加工したもので，切り出し状の形態のものが多い。抉入石器は抉りの部分に使用の結果と考えられる潰れが確認される。掻器は削器にみられる靴形を呈する形態のものがあるのが特徴である。Ｒフレイクは剥片の縁辺のみを加工しているものであり，安山岩を使用しているものが比較的多い。

礫石器では石斧が最も多く出土している。石斧は扁平で片刃のものが多く含まれる。砥石は角柱状のものと扁平なものがあり，そのなかには割れた状態で出土した大型の砥石が１点出土した。石錘は有溝石錘と考えられるものが１点出土している。たたき石は端部に使用痕があるものであり，中には“トチむき石”状の使用痕を持つものもある。石皿は使用痕が明瞭なすりくぼみ状となっているものである。

石鏃

230点が出土している。石質は頁岩156点，黒曜石48点，チャート10点，安山岩各２点，玄武岩９点，メノウ３点，メノウ質頁岩１点である。形態別には有柄凸基81点，有柄平基65点，有柄凹基14点，無柄凹基８点，無柄平基７点，柳葉形６点，菱形２点である。未製品は22点であり形態が不明な破片は17点である。

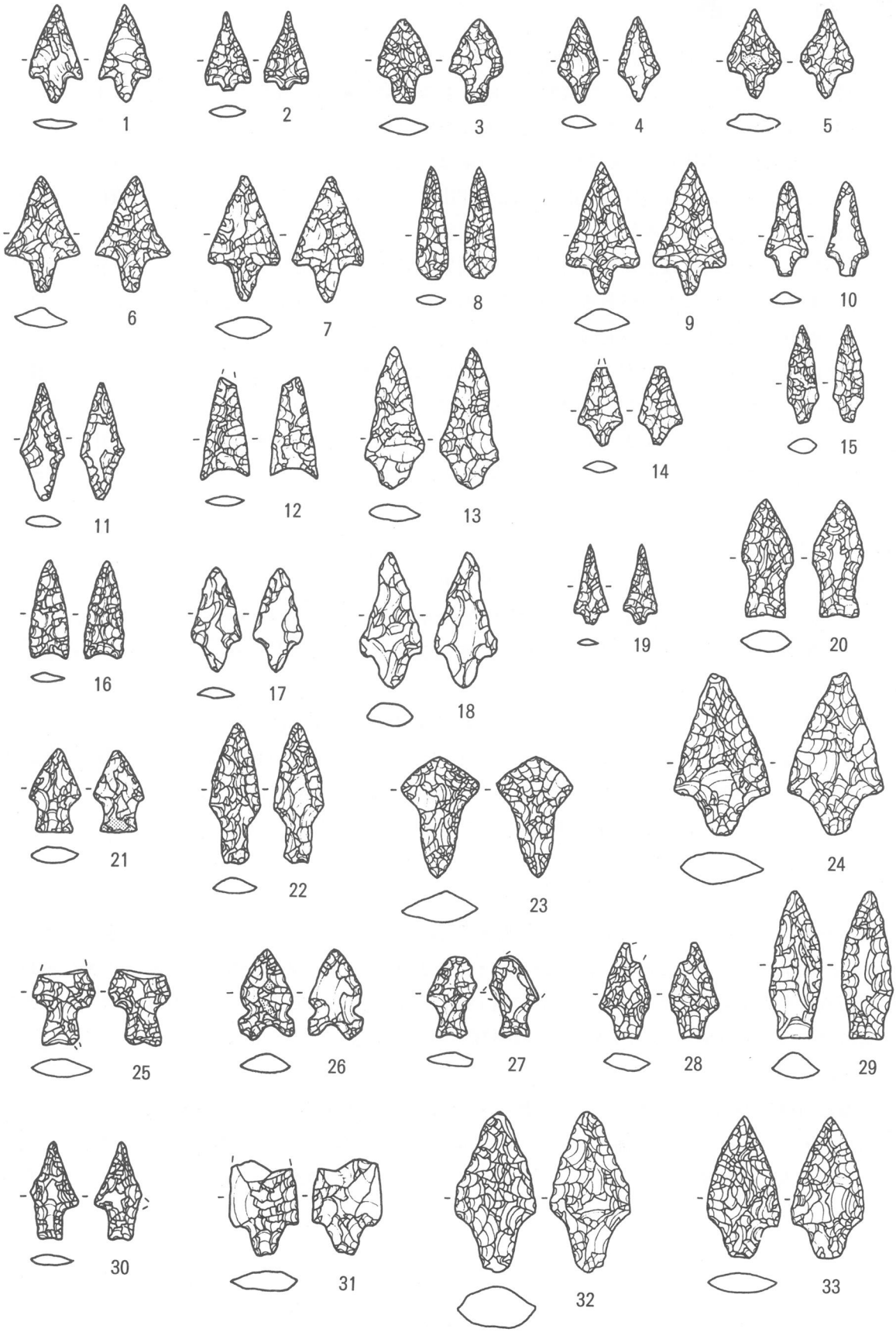
12・16は無柄凹基，３・５～７・９・18・19は有柄平基である。３は一方の基端部がやや短く作出されている。５は腹面に原石面が残る。４・８・11・13～15・17は有柄凸基であり，４は縁辺のみの加工である。１・２は有柄凹基であり，２は側縁が内湾し，先端が著しく先細るものである。

№91・100はいずれも有柄凸基であり柄部にアスファルトが付着しているものである。

石錐

22点が出土している。石質は頁岩14点，黒曜石２点，チャート２点，安山岩３点，形態別では，有柄凸基12点，柳葉形１点などである。20～23・25・27・28・30・32・33は有柄凸基であり20・21・25・27は柄端部の張り出すもの，20・25・27・30は柄下部の内湾するものである。24・31は有柄平基である。26は異形のものであり柄下部が内湾し，その両端が突起状に張り出す。29は柳葉状を呈している。21はタール状のものが付着している。

（石鏃と石錐との区分の基準は，１．有柄のもので基部が内湾し，基端部の張り出すもの，２．有柄で柄部が刺突部と較べて著しく細いもの，３．大型で有柄，刺突部が大きく外湾するもの，５．大型のもので柄部が大きく外湾するもの。５．大型のもの。以上の５つの条件を１つでも満たすものを石錐とした。



図Ⅳ－30　包含層出土石器（1）

表Ⅳ－11　石鏃一覧表（1）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅳ	A－5　e－3	1	22.3	13.6	4.9	0.9	頁　岩		有柄平基，先端欠損
2	Ⅳ	B－3　a－3	2	23.3	14.3	3.7	1.0	頁　岩		有柄平基，先端・基部欠損
3	Ⅳ	B－3　d－4	3	33.1	17.9	3.7	1.3	チャート	1	有柄凹基
4	Ⅳ	C－2　c－4	4	42.0	21.7	4.3	2.3	頁　岩		有柄平基
5	Ⅳ	C－2　d－2	5	31.6	16.9	5.3	2.2	頁　岩		有柄凸基
6	Ⅳ	C－2　d－3	6	25.1	11.4	3.5	0.7	黒曜石		有柄平基
7	Ⅳ	C－2　e－5	7	20.8	14.5	2.7	0.9	頁　岩		有柄平基，先端欠損，習作
8	Ⅳ	F－4　b－3	8	26.7	15.4	4.0	1.0	チャート	2	有柄凹基
9	Ⅴ	A－1　c－5	9	31.3	10.9	10.9	1.6	頁　岩		基部欠損
10	Ⅴ	A－2　c－1	10	31.4	11.8	4.1	1.1	頁　岩		有柄凸基
11	Ⅴ	A－2　e－2	11	28.3	18.3	5.3	2.2	頁　岩	3	有柄凸基
12	Ⅴ	A－4　a－1	12	25.6	16.0	4.2	1.2	黒曜石		有柄凸基，柄部欠損
13	Ⅴ	A－4　d－2	13	28.7	13.5	4.2	1.3	頁　岩	4	有柄凸基
14	Ⅴ	A－4　e－3	14	30.3	18.3	6.1	2.1	頁　岩	5	有柄平基
15	Ⅴ	B－1　c－3	15	29.0	15.3	5.9	1.5	頁　岩		有柄平基
16	Ⅴ	B－1　c－3	16	28.6	16.9	5.0	2.1	チャート		有柄凸基
17	Ⅴ	B－2　a－4	17	20.3	13.2	6.1	1.2	黒曜石		有柄平基
18	Ⅴ	B－2　e－5	18	33.4	15.4	5.0	1.8	頁　岩		有柄平基
19	Ⅴ	B－3　b－2	19	23.3	12.2	4.1	1.0	頁　岩		有柄凸基
20	Ⅴ	B－3　c－3	20	17.3	11.1	4.3	0.7	頁　岩		有柄凸基
21	Ⅴ	B－3　c－4	21	21.1	14.2	2.3	0.7	頁　岩		有柄凸基
22	Ⅴ	B－3　d－2	22	23.6	13.2	4.7	2.0	頁　岩		有柄平基
23	Ⅴ	B－3　d－4	23	32.5	16.6	4.9	2.0	頁　岩		有柄平基
24	Ⅴ	B－3　d－4	24	26.0	11.4	3.1	0.7	頁　岩		有柄平基
25	Ⅴ	B－3　d－4	25	24.3	13.2	3.9	0.9	頁　岩		有柄平基
26	Ⅴ	B－3　d－5	26	24.0	16.6	4.7	1.7	頁　岩		先端・基部欠損
27	Ⅴ	B－4　b－2	27	30.2	16.3	4.4	1.2	頁　岩		未製品
28	Ⅴ	B－4　c－1	28	24.7	11.2	3.6	0.7	頁　岩		有柄凸基
29	Ⅴ	B－4　d－1	29	19.3	13.8	3.1	0.6	黒曜石		有柄凹基，先端・基部欠損
30	Ⅴ	B－4　d－1	30	26.9	12.9	4.1	1.0	頁　岩		有柄凸基，柄部欠損
31	Ⅴ	B－4　e－2	31	24.3	14.7	4.8	1.2	チャート		有柄凸基
32	Ⅴ	B－5　d－1	32	33.9	12.8	4.7	1.7	頁　岩		有柄凸基
33	Ⅴ	B－5　e－1	33	26.3	12.5	4.2	1.1	頁　岩		有柄凸基，柄部欠損
34	Ⅴ	B－6	34	20.3	15.2	6.3	1.6	頁　岩		有柄凸基，柄部欠損
35	Ⅴ	C－1　a－3	35	39.2	25.4	6.9	3.3	頁　岩	6	有柄平基
36	Ⅴ	C－1　d－1	36	43.1	24.5	7.7	4.7	頁　岩	7	有柄平基
37	Ⅴ	C－2　e－2	37	26.8	19.0	2.9	1.3	頁　岩		有柄平基，習作
38	Ⅴ	C－3　a－2	38	16.6	13.2	3.8	0.7	頁　岩		有柄凸基，先端・基部欠損
39	Ⅴ	C－3　b－1	39	25.4	10.1	2.7	0.6	頁　岩		先端のみ
40	Ⅴ	C－3　b－1	40	28.2	17.1	5.0	1.9	頁　岩		有柄凸基
41	Ⅴ	C－3　c－1	41	16.3	16.2	2.3	0.6	頁　岩		有柄凸基，先端欠損
42	Ⅴ	C－3　d－1	42	19.1	10.1	3.7	0.6	頁　岩		有柄平基，柄部欠損
43	Ⅴ	C－4　c－2	43	26.3	15.5	3.0	1.3	頁　岩		有柄凹基，先端・柄部欠損
44	Ⅴ	C－4　d－1	44	25.7	14.6	3.9	1.1	頁　岩		有柄凸基，先端欠損
45	Ⅴ	C－4　d－1	45	20.6	15.4	6.6	1.8	頁　岩		未製品
46	Ⅴ	C－4　d－1	46	23.7	11.8	2.8	0.6	頁　岩		有柄凸基，先端欠損
47	Ⅴ	C－4　d－1	47	28.3	13.6	5.5	1.2	頁　岩		有柄平基
48	Ⅴ	C－5　a－3	48	26.0	11.9	5.9	1.4	黒曜石		有柄凸基，先端欠損
49	Ⅴ	C－5　b－1	49	39.1	14.9	3.9	2.0	頁　岩		有柄凸基，習作
50	Ⅴ	D－1　a－4	50	35.4	14.4	4.1	1.3	頁　岩		有柄平基
51	Ⅴ	D－1　b－3	51	21.5	15.7	4.2	1.2	頁　岩		菱形
52	Ⅴ	D－1　e－3	52	30.0	12.3	4.8	1.1	頁　岩		有柄平基，両側縁に抉りあり
53	Ⅴ	D－1　e－4	53	15.7	11.1	3.7	0.5	黒曜石		有柄平基，先端欠損
54	Ⅴ	D－2　a－2	54	28.5	13.0	3.7	1.5	頁　岩		有柄凸基，柄部欠損

表Ⅳ－12　石鏃一覧表（2）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
55	Ⅴ	D－2　b－3	55	38.8	17.9	8.4	5.5	安山岩		有柄凸基
56	Ⅴ	D－2　b－3	56	26.7	14.2	3.7	1.2	チャート		有柄平基
57	Ⅴ	D－2　d－5	57	36.4	24.2	7.8	5.8	頁　岩		有柄凸基
58	Ⅴ	D－3　b－1	58	51.1	19.5	10.2	8.3	頁　岩		有柄凸基
59	Ⅴ	D－3　c－1	59	25.3	15.1	3.5	0.9	頁　岩		有柄平基，先端欠損
60	Ⅴ	D－3　c－4	60	28.4	15.5	5.2	1.2	頁　岩		有柄凸基
61	Ⅴ	D－3　e－3	61	28.8	16.0	5.9	1.9	黒曜石		有柄平基，先端・基部欠損
62	Ⅴ	D－4　b－1	62	38.0	10.7	3.7	1.4	頁　岩	8	有柄凸基
63	Ⅴ	D－4　b－1	63	29.5	18.3	6.9	2.9	黒曜石		有柄凹基
64	Ⅴ	D－4　b－3	64	42.5	18.3	8.7	4.9	頁　岩		有柄凸基
65	Ⅴ	D－5　c－1	65	24.0	16.9	3.5	1.1	頁　岩		有柄平基，先端欠損
66	Ⅴ	D－5　c－3	66	20.0	14.5	4.7	1.0	頁　岩		有柄平基，先端柄部欠損
67	Ⅴ	D－5　d－1	67	21.3	13.3	4.7	1.1	頁　岩		有柄凸基
68	Ⅴ	D－5　d－5	68	20.9	13.5	4.3	0.9	頁　岩		有柄平基，先端・柄部欠損
69	Ⅴ	E－1　b－4	69	19.3	12.6	4.0	0.8	黒曜石		有柄凸基，花十勝を使用
70	Ⅴ	E－3　b－1	70	37.3	18.7	3.8	3.0	頁　岩		有柄凹基
71	Ⅴ	E－3　c－3	71	45.4	25.3	8.3	5.2	頁　岩	9	有柄平基
72	Ⅴ	E－4　a－2	72	30.0	17.8	5.1	2.7	玄武岩		有柄凸基，先端欠損
73	Ⅴ	E－4　a－2	73	14.7	15.2	5.9	1.4	黒曜石		有柄凸基，先端欠損
74	Ⅴ	E－4　a－4	74	17.6	17.8	2.6	0.8	頁　岩		有柄平基，先端欠損
75	Ⅴ	F－1　b－5	75	19.3	12.4	4.6	0.8	黒曜石		有柄凸基
76	Ⅴ	F－1　b－5	76	35.1	22.2	4.0	2.0	頁　岩		未製品
77	Ⅴ	F－1　b－5	77	19.8	15.6	4.9	1.1	玄武岩		有柄平基，先端欠損
78	Ⅴ	F－1　c－5	78	21.1	16.7	4.9	1.1	頁　岩		有柄平基，先端欠損
79	Ⅴ	F－1　b－4	79	24.5	14.5	5.2	1.0	頁　岩		有柄平基
80	Ⅳ	A－2　c－2	80	25.6	16.9	5.1	1.7	頁　岩		有柄凸基，柄部欠損
81	Ⅳ	A－4　e－3	81	35.6	20.9	6.0	4.4	頁　岩		有柄凸基，先端・柄部欠損
82	Ⅳ	B－2　c－4	82	26.2	12.0	4.0	0.8	頁　岩		有柄平基
83	Ⅳ	B－4　a－3	83	26.9	13.9	3.9	0.7	チャート		有柄凸基
84	Ⅳ	B－4　a－4	84	25.3	15.3	4.9	1.5	黒曜石		有柄平基，柄部欠損
85	Ⅳ	B－5　e－1	85	20.4	14.1	2.3	0.4	頁　岩		有柄凹基，柄部欠損
86	Ⅳ	B－6	86	26.5	15.1	3.8	1.4	頁　岩		無柄凹基
87	Ⅳ	B－6	87	29.1	14.1	5.5	2.0	頁　岩		未製品，横長剥片を使用
88	Ⅳ	C－1　c－4	88	18.7	12.8	4.2	1.0	黒曜石		有柄平基
89	Ⅳ	C－1　c－4	89	21.2	12.9	4.8	1.1	黒曜石		有柄凸基，柄部欠損
90	Ⅳ	C－2　a－5	90	30.8	16.5	6.7	2.7	黒曜石		有柄平基，柄部欠損
91	Ⅳ	C－2　e－5	91	45.8	19.5	11.1	8.4	頁　岩		有柄凸基，柄部アスファルト着
92	Ⅳ	C－4　a－1	92	19.8	13.0	3.6	0.6	頁　岩		有柄平基
93	Ⅳ	C－4　c－1	93	21.6	12.1	4.6	1.1	黒曜石		有柄凸基，先端欠損
94	Ⅳ	C－5　c－4	94	29.1	19.9	7.2	3.5	頁　岩		有柄凸基，先端欠損
95	Ⅳ	D－1　b－4	95	16.3	15.0	4.8	1.1	黒曜石		有柄凸基，先端・基部欠損
96	Ⅳ	D－1　d－4	96	25.5	14.1	3.8	1.9	頁　岩		有柄平基
97	Ⅳ	D－3　a－4	97	29.2	16.1	3.2	1.5	黒曜石		無柄平基
98	Ⅳ	D－3　a－4	98	20.4	16.2	6.9	2.0	頁　岩		有柄平基，先端欠損
99	Ⅳ	D－3　a－4	99	28.1	12.4	5.0	1.5	頁　岩		有柄平基，柄部欠損
100	Ⅳ	D－3　a－5	100	30.1	18.1	6.8	2.6	頁　岩		有柄凸基，柄部アスファルト着
101	Ⅳ	D－3　e－3	101	36.8	20.5	5.2	4.1	頁　岩		未製品
102	Ⅳ	D－4　d－1	102	23.7	13.1	3.9	0.8	頁　岩		基部欠損
103	Ⅳ	D－4　d－2	103	37.5	13.5	6.2	2.8	頁　岩		有柄平基
104	Ⅳ	D－4　e－1	104	34.2	16.4	7.1	2.8	黒曜石		無柄凹基
105	Ⅳ	D－4　e－4	105	50.0	23.5	11.4	10.6	安山岩		有柄凸基
106	Ⅳ	E－1　a－4	106	10.6	9.7	3.4	0.3	黒曜石		柄部片？
107	Ⅳ	E－2　d－2	107	29.1	11.4	2.7	1.0	玄武岩		有柄凸基
108	Ⅳ	E－3　a－5	108	37.6	16.5	6.3	2.6	頁　岩		有柄平基，未製品

表Ⅳ－13　石鏃一覧表（3）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
109	Ⅳ	E－3　a－5	109	29.5	14.4	6.7	2.2	ﾒﾉｳ質頁岩		有柄凸基，未製品
110	Ⅳ	E－4　a－1	110	35.5	15.5	8.1	3.3	黒曜石		有柄凸基
111	Ⅳ	E－4　a－1	111	25.2	14.1	3.3	1.0	メノウ		有柄平基
112	Ⅳ	E－4　a－1	112	29.8	12.8	4.7	1.4	頁　岩		菱形
113	Ⅳ	E－4　a－2	113	27.5	16.1	4.3	1.9	頁　岩		有柄凸基，先端欠損
114	Ⅳ	E－4　a－2	114	32.6	14.5	3.8	1.5	頁　岩		有柄凹基，両側縁に抉りあり
115	Ⅳ	E－4　a－2	115	25.8	12.5	4.2	1.0	黒曜石		有柄凹基，柄部欠損
116	Ⅳ	E－4　a－2	116	33.5	17.1	6.7	3.1	頁　岩		有柄凸基，柄部欠損
117	Ⅳ	E－4　a－2	117	26.2	12.8	4.3	1.3	頁　岩		有柄凸基，未製品
118	Ⅳ	E－4　c－2	118	31.3	16.6	5.0	2.3	玄武岩		有柄凸基，先端欠損
119	Ⅳ	E－4　d－1	119	19.2	15.4	3.7	0.7	頁　岩		有柄平基
120	Ⅳ	E－4　d－1	120	27.0	16.1	6.7	2.1	黒曜石		有柄凸基，先端欠損
121	Ⅳ	E－4　e－1	121	30.1	17.9	6.2	2.9	頁　岩		有柄平基，先端・基部欠損
122	Ⅳ	E－4　e－3	122	49.1	16.6	9.6	6.9	頁　岩		有柄凸基，先端欠損
123	Ⅳ	F－4　a－3	123	23.9	10.8	3.9	0.8	黒曜石		有柄凹基
124	Ⅳ	F－4　c－3	124	34.5	14.3	5.6	2.0	頁　岩		有柄平基
125	Ⅲ	A－4　a－1	125	32.3	14.8	5.2	2.0	頁　岩		未製品
126	Ⅲ	A－4　b－1	126	25.4	13.9	3.4	1.3	頁　岩		未製品
127	Ⅲ	A－4　d－3	127	31.0	15.6	4.0	1.9	頁　岩		基部欠損
128	Ⅲ	A－4　d－4	128	19.0	18.8	2.9	2.0	頁　岩		先端欠損
129	Ⅲ	A－4　e－2	129	40.1	19.9	4.6	3.2	頁　岩		未製品
130	Ⅲ	B－1　a－2	130	52.0	21.5	6.6	6.0	頁　岩		未製品
131	Ⅲ	B－2　a－1	131	18.5	12.8	4.2	1.0	チャート		基部欠損
132	Ⅲ	B－2　b－1	132	39.9	16.3	4.8	2.7	頁　岩		柳葉形
133	Ⅲ	B－3　b－1	133	31.1	12.7	6.1	2.7	頁　岩		柳葉形
134	Ⅲ	B－3　e－1	134	37.0	19.0	6.9	4.1	頁　岩		有柄平基，未製品
135	Ⅲ	B－3　e－2	135	31.9	14.1	3.4	1.1	頁　岩	10	有柄平基
136	Ⅲ	B－5　e－1	136	39.8	14.9	3.8	1.8	頁　岩	11	有柄凸基
137	Ⅲ	C－3　c－4	137	26.7	16.9	5.9	2.9	頁　岩		基部欠損
138	Ⅲ	C－4　e－4	138	24.2	16.3	3.4	1.3	頁　岩		未製品
139	Ⅲ	D－1　d－2	139	27.8	15.6	4.0	1.7	頁　岩		有柄凸基
140	Ⅲ	D－1　d－5	140	18.6	8.9	2.7	0.4	頁　岩		有柄平基，先端欠損
141	Ⅲ	D－1　d－5	141	20.5	14.6	5.1	1.6	頁　岩		有柄凸基，先端・柄部欠損
142	Ⅲ	D－1　e－1	142	35.4	18.2	6.9	3.8	黒曜石		無柄平基
143	Ⅲ	D－1　e－2	143	24.6	14.3	4.2	1.5	黒曜石		無柄平基，先端欠損
144	Ⅲ	D－3　a－4	144	26.8	11.9	3.8	1.3	頁　岩		基部欠損
145	Ⅲ	D－3　b－1	145	30.1	12.9	2.9	1.1	頁　岩		木葉形
146	Ⅲ	D－3　e－2	146	25.3	12.2	7.2	2.0	頁　岩		有柄凹基
147	Ⅲ	D－4　b－2	147	28.1	13.0	4.6	1.3	黒曜石		未製品
148	Ⅲ	D－4　d－2	148	16.8	7.9	2.4	0.3	黒曜石		習作
149	Ⅲ	D－4　e－3	149	15.0	11.3	3.1	0.4	黒曜石		有柄平基，先端欠損
150	Ⅲ	D－4　e－3	150	23.7	15.8	6.1	1.4	黒曜石		有柄平基，先端欠損
151	Ⅲ	E－2　a－1	151	45.9	14.3	4.6	2.3	頁　岩		柳葉形
152	Ⅲ	E－3　a－2	152	29.5	18.4	3.9	1.8	黒曜石		基部欠損
153	Ⅲ	E－3　b－1	153	26.4	12.0	3.0	0.8	頁　岩		有柄平基，柄部欠損
154	Ⅲ	E－4　a－3	154	22.5	13.7	4.0	1.1	頁　岩		有柄平基，先端欠損
155	Ⅲ	E－4　b－2	155	32.8	18.2	9.5	3.4	黒曜石		有柄凸基
156	Ⅲ	E－4　b－2	156	23.1	2.0	4.7	1.1	黒曜石		有柄途付き，先端・基部欠損
157	Ⅲ	E－4　c－3	157	48.5	23.0	10.0	8.7	頁　岩		有柄凸基
158	Ⅲ	E－4　c－3	158	29.8	16.7	5.1	1.9	頁　岩		有柄平基
159	Ⅲ	E－4　e－2	159	44.5	19.1	9.2	4.0	頁　岩		有柄凸基
160	Ⅲ	E－5　c－1	160	22.6	16.1	2.3	0.6	頁　岩		有柄平基
161	Ⅲ	E－5　d－1	161	25.6	10.1	3.6	0.7	頁　岩		有柄凸基
162	Ⅱ	A－2　a－2	162	45.1	16.0	5.3	4.3	頁　岩		柳葉形

表Ⅳ－14　石鏃一覧表（4）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
163	Ⅱ	A－2　b－4	163	25.6	16.9	5.1	1.7	頁　岩		有柄凸基，柄部欠損
164	Ⅱ	A－3　a－2	164	33.9	16.2	3.5	1.6	頁　岩	12	有柄凹基，柄部欠損
165	Ⅱ	A－3　b－1	165	47.7	20.0	6.6	4.1	頁　岩	13	有柄凸基
166	Ⅱ	A－3　b－1	166	28.4	14.5	5.0	2.3	頁　岩		柳葉形，先端欠損
167	Ⅱ	A－3　c－2	167	26.3	14.8	3.9	6.4	チャート	14	有柄凸基
168	Ⅱ	A－2　c－5	168	47.7	22.6	5.3	6.4	頁　岩		未製品
169	Ⅱ	A－3　d－2	169	19.4	14.3	2.9	0.7	頁　岩		有柄平基，先端欠損
170	Ⅱ	A－4　b－1	170	27.8	16.4	3.4	1.2	頁　岩		未製品
171	Ⅱ	B－1　a－5	171	15.3	10.8	2.4	0.8	頁　岩		先端部のみ
172	Ⅱ	B－1　d－4	172	20.3	11.0	3.0	0.9	黒曜石		有柄凸基，先端・柄部欠損
173	Ⅱ	B－1　d－4	173	31.7	18.4	3.4	2.3	頁　岩		未製品
174	Ⅱ	B－2　d－4	174	22.1	15.5	3.7	1.0	頁　岩		有柄平基
175	Ⅱ	B－3　d－3	175	36.7	22.5	6.6	4.1	頁　岩		木葉形
176	Ⅱ	B－4　a－1	176	25.0	15.2	8.8	2.6	頁　岩		有柄凸基，先端欠損
177	Ⅱ	B－4　a－1	177	28.7	13.4	5.2	1.7	玄武岩		有柄凸基，先端欠損
178	Ⅱ	B－4　d－3	178	26.7	11.5	4.3	1.5	黒曜石		未製品
179	Ⅱ	B－4　e－3	179	46.2	23.5	6.3	5.6	頁　岩		無柄凹基
180	Ⅱ	B－6　e－5	180	26.7	10.1	2.5	0.5	頁　岩		柳葉形
181	Ⅱ	C－2　b－4	181	19.8	13.8	4.1	0.7	頁　岩		有柄平基，先端欠損
182	Ⅱ	C－3　a－1	182	35.2	18.0	5.3	3.0	黒曜石		無柄平基
183	Ⅱ	C－3　b－1	183	28.9	15.8	4.7	2.3	頁　岩		先端・基部欠損
184	Ⅱ	C－3　b－1	184	28.5	19.3	5.1	2.2	頁　岩		無柄平基
185	Ⅱ	C－5　a－3	185	33.1	10.1	5.0	1.5	頁　岩	15	有柄凸基
186	Ⅱ	C－5　b－1	186	33.2	13.0	2.9	1.1	黒曜石	16	無柄凹基
187	Ⅱ	C－5　b－4	187	26.2	18.2	5.5	1.2	頁　岩		有柄平基，先端欠損
188	Ⅱ	C－5　b－4	188	50.8	20.3	8.7	6.3	頁　岩		有柄凸基，先端欠損
189	Ⅱ	C－6　e－2	189	31.0	17.2	5.9	2.8	安山石		有柄凸基
190	Ⅱ	C－6　e－2	190	24.5	13.9	4.4	1.4	黒曜石		有柄凸基，先端・背面加工
191	Ⅱ	C－7　c－1	191	31.3	16.1	6.1	2.5	頁　岩		有柄凸基，先端欠損
192	Ⅱ	D－1　a－3	192	21.2	11.5	2.8	0.6	黒曜石		無柄平基
193	Ⅱ	D－2　b－5	193	20.3	19.7	2.8	0.9	黒曜石		未製品
194	Ⅱ	D－2　b－4	194	24.4	17.7	4.0	1.4	メノウ		無柄平基
195	Ⅱ	D－3　e－4	195	34.8	19.8	7.2	5.0	黒曜石		未製品
196	Ⅱ	D－4　c－1	196	37.5	17.9	4.2	2.8	メノウ		未製品
197	Ⅱ	D－4　e－4	197	21.9	12.1	3.7	0.7	頁　岩		有柄凸基
198	Ⅱ	E－3　a－5	198	28.0	20.0	6.1	2.4	頁　岩		未製品
199	Ⅱ	E－4　a－1	199	35.3	16.3	4.1	1.9	玄武岩	17	有柄凸基
200	Ⅱ	E－4　a－2	200	42.9	21.0	5.2	3.7	頁　岩		未製品
201	Ⅱ	E－4　a－2	201	37.9	18.3	4.3	2.6	玄武岩		有柄平基
202	Ⅱ	E－4　d－1	202	46.3	21.4	7.9	6.3	玄武岩	18	有柄平基
203	Ⅱ	E－4　e－1	203	15.7	15.4	3.2	0.6	頁　岩		基部欠損
204	Ⅱ	E－5　b－3	204	24.7	15.9	3.4	1.0	頁　岩		有柄凹基，先端・柄部欠損
205	Ⅱ	E－5　d－1	205	32.3	13.8	5.1	1.6	頁　岩		木葉形
206	Ⅱ	F－4　a－3	206	42.2	23.1	7.8	7.1	チャート		未製品
207	Ⅱ	F－4　b－2	207	22.9	14.2	5.2	1.0	頁　岩		有柄凹基
208	Ⅱ	F－4　c－5	208	27.2	11.8	4.0	0.8	チャート	19	有柄平基
209	Ⅰ	B－5	209	23.1	9.5	4.0	0.9	黒曜石		有柄凸基
210	Ⅰ	B－6	210	35.9	21.4	5.9	4.9	頁　岩		未製品
211	Ⅰ	C－1	211	43.5	17.3	7.1	4.5	頁　岩		有柄平基，柄部欠損
212	Ⅰ	C－3	212	29.4	13.0	3.0	1.1	頁　岩		有柄平基
213	Ⅰ	C－3	213	16.1	15.7	2.9	0.6	黒曜石		有柄凸基，先端・基部欠損
214	Ⅰ	C－3	214	19.2	12.3	3.4	0.7	頁　岩		有柄凸基
215	Ⅰ	C－3	215	30.6	15.9	7.4	3.2	頁　岩		有柄凸基
216	Ⅰ	D－1	216	17.2	9.9	1.8	0.4	頁　岩		無柄凹基，習作

表Ⅳ－15　石鏃一覧表（5）

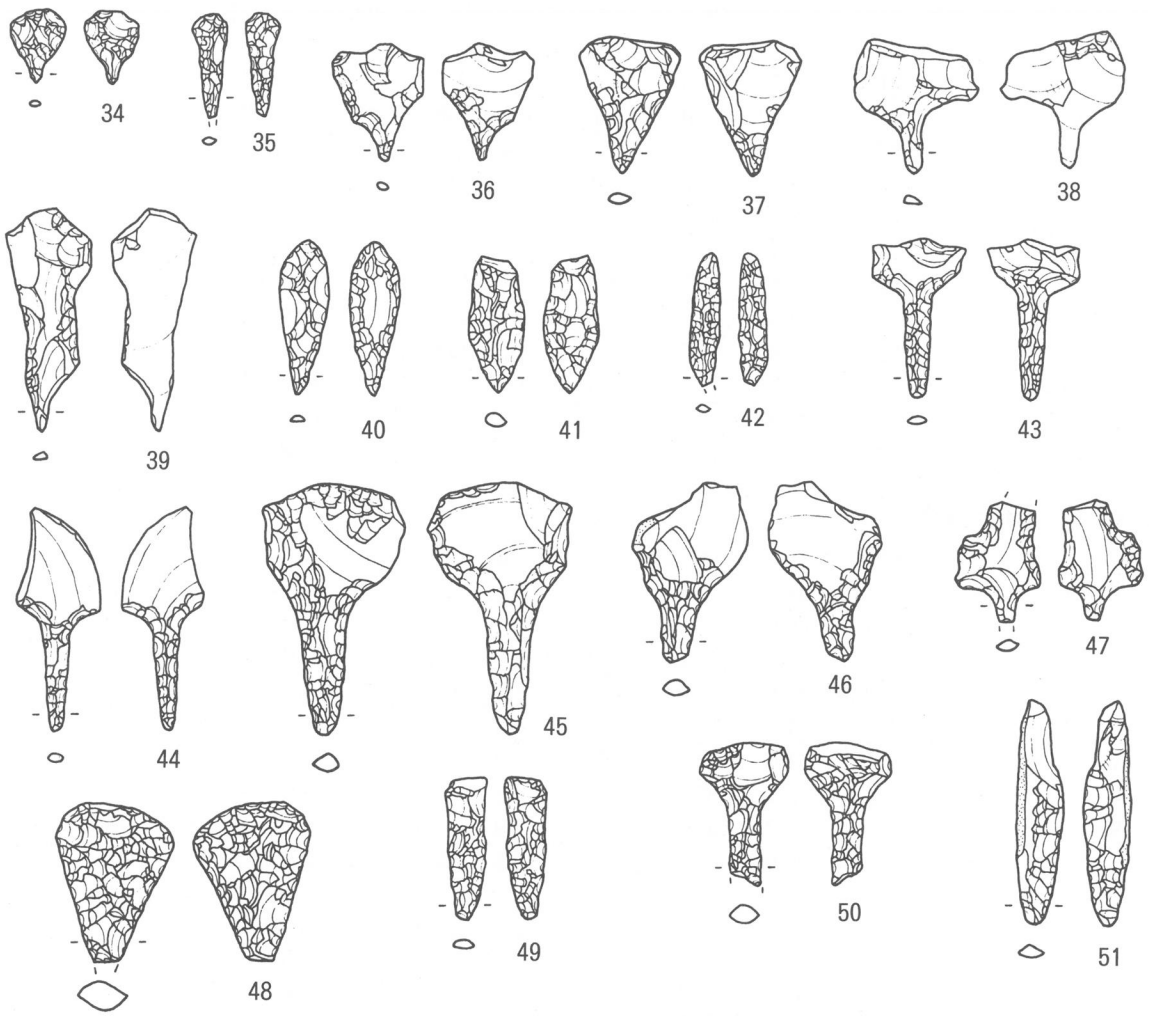
No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
217	Ⅰ	D－3	217	32.3	11.3	3.0	0.8	頁　岩		有柄平基
218	Ⅰ	D－5	218	23.3	14.5	3.6	1.1	頁　岩		有柄凹基
219	Ⅰ	E－1	219	33.1	13.0	2.7	0.9	黒曜石		無柄凹基
220	Ⅰ	E－1	220	32.1	18.6	5.2	2.4	頁　岩		有柄凸基
221	Ⅰ	E－2	221	18.2	13.2	3.0	0.5	黒曜石		未製品
222	Ⅰ	E－3	222	23.4	15.8	5.3	1.7	黒曜石		有柄凸基，一側縁欠損
223	Ⅰ	E－4	223	40.4	16.1	6.1	3.8	黒曜石		有柄凸基
224	Ⅰ	F－3	224	20.4	12.0	3.0	0.9	玄武岩		未製品
225	Ⅰ	F－5	225	39.8	14.1	6.2	2.2	頁　岩		有柄平基
226	Ⅰ	F－5	226	28.8	11.7	5.2	1.3	黒曜石		有柄平基，柄部欠損
227		表　採	227	31.1	14.2	3.5	1.2	頁　岩		習作
228		表　採	228	23.2	12.9	3.7	1.2	頁　岩		有柄凸基，先端欠損
229		表　採	229	22.9	17.2	2.8	1.1	頁　岩		未製品

表Ⅳ－16　石錐一覧表

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅴ	A－4　b－4	230	39.6	17.1	7.1	4.5	頁　岩	20	有柄凸基，柄部張り出す
2	Ⅴ	B－2　e－2	231	28.6	17.2	6.0	2.4	頁　岩	21	有柄凸基，柄部に付着物
3	Ⅴ	B－2　e－4	232	47.5	17.2	6.4	4.3	頁　岩	22	有柄凸基
4	Ⅴ	B－3　b－5	233	22.5	15.5	6.9	2.5	頁　岩		基部のみ
5	Ⅴ	B－3　c－3	234	34.1	22.4	9.2	6.3	頁　岩		有柄凹基，先端欠損
6	Ⅴ	B－4　d－1	235	41.0	25.9	9.2	8.0	頁　岩	23	有柄凸基
7	Ⅴ	C－2　e－5	236	55.0	33.0	11.5	16.7	頁　岩	24	有柄平基
8	Ⅴ	C－3　c－5	237	24.9	21.2	6.2	2.9	頁　岩	25	有柄凸基，柄部張り出す
9	Ⅴ	D－4　b－1	238	30.0	19.1	6.0	2.8	黒曜石	26	異形鏃（柄部2基）
10	Ⅴ	E－4　b－3	239	27.1	16.5	5.3	2.3	黒曜石	27	有柄凸基，柄部張り出す
11	Ⅴ	F－1　a－5	240	32.8	17.1	5.9	2.4	頁　岩	28	有柄凸基
12	Ⅳ	A－6　d－3	241	50.1	17.6	9.1	7.2	チャート	29	柳葉形
13	Ⅳ	B－4　a－4	242	33.3	16.1	4.5	1.8	頁　岩	30	有柄凸基
14	Ⅳ	C－2　c－1	243	43.5	21.6	8.6	5.2	頁　岩		有柄凸基
15	Ⅲ	A－6　e－5	244	32.9	23.9	7.7	5.4	頁　岩	31	有柄平基，先端欠損
16	Ⅲ	D－4　e－2	245	51.2	21.2	6.6	7.1	安山岩		有柄平基
17	Ⅲ	E－4　e－2	246	53.8	34.8	9.7	14.7	安山岩		有柄平基
18	Ⅱ	A－3　c－4	247	34.6	17.8	5.2	4.0	安山岩		未製品，柄部張り出す
19	Ⅱ	D－1　e－3	248	60.0	25.8	8.9	16.3	玄武岩		有柄凸基，先端欠損
20	Ⅱ	D－3　d－1	249	36.8	23.1	7.6	5.9	チャート		有柄平基，柄部欠損
21	Ⅱ	D－3　e－1	250	54.3	27.0	13.0	15.4	頁　岩	32	有柄凸基
22	Ⅱ	E－2　b－2	251	47.9	24.5	6.8	7.2	頁　岩	33	有柄凸基

石錐

55点が出土している。石質は頁岩が47点，黒曜石2点，玄武岩2点，チャート2点，メノウ1点である。形態別では有柄のもの42点，棒状のもの11点，剥片に刃部を作り出しているもの2点である。有柄のものなかで明瞭な柄部を持ち，刃部の長いものは43～47・50など16点，有柄のうち刃部の短いものは34・36～38・39などの19点である。また，無柄のものではV字状の刺突部をもつものが5点出土している。



図Ⅳ－31　包含層出土石器（2）

表Ⅳ－17　石錐一覧表（1）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅴ	A－2　e－1	252	24.4	13.2	9.8	2.5	頁　岩		有柄，刃部欠損
2	Ⅴ	A－3　c－2	253	19.5	14.9	6.9	1.6	チャート	34	有柄，刃部つぶれ
3	Ⅴ	A－4　d－2	254	24.9	19.7	7.2	2.9	頁　岩		有柄，刃部欠損
4	Ⅴ	A－4　e－3	255	27.9	21.3	5.3	4.0	頁　岩		有柄
5	Ⅴ	A－4　e－3	256	26.9	8.7	4.2	0.8	黒曜石	35	有柄
6	Ⅴ	B－1　c－3	257	29.5	28.2	7.9	7.5	頁　岩		有柄，刃部欠損
7	Ⅴ	B－3　c－4	258	31.1	24.3	5.8	4.0	頁　岩	36	有柄，刃部つぶれ
8	Ⅴ	B－3　d－4	259	35.1	26.4	10.9	7.9	頁　岩	37	有柄，刃部つぶれ
9	Ⅴ	B－3　e－1	260	27.9	22.4	7.4	4.5	頁　岩		有柄，刃部つぶれ
10	Ⅴ	B－4　d－1	261	34.2	28.3	8.3	8.0	頁　岩		有柄
11	Ⅴ	C－3　a－1	262	37.1	31.2	6.1	5.8	頁　岩		有柄，刃部つぶれ
12	Ⅴ	C－3　e－2	263	17.1	13.3	2.7	0.8	頁　岩		有柄
13	Ⅴ	C－4　b－2	264	36.1	32.6	9.2	6.9	頁　岩	38	
14	Ⅴ	C－5　d－2	265	21.8	8.6	3.5	0.6	黒曜石		棒状
15	Ⅴ	C－5　b－3	266	39.2	22.4	9.9	7.2	頁　岩		未製品
16	Ⅴ	C－5　d－1	267	22.3	17.6	5.1	1.7	頁　岩		有柄，刃部つぶれ
17	Ⅴ	C－5　e－2	268	58.9	21.8	9.1	9.4	頁　岩	39	有柄
18	Ⅴ	C－5　e－4	269	38.8	20.3	5.5	5.8	頁　岩		有柄，刃部欠損
19	Ⅴ	C－6　c－2	270	31.3	22.2	7.9	3.2	頁　岩		有柄，刃部つぶれ

表Ⅳ－18　石錐一覧表（2）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
20	Ⅴ	C－6　d－2	271	15.9	13.2	3.7	0.8	頁　岩		有柄，刃部欠損
21	Ⅴ	D－1　a－4	272	40.7	13.4	8.8	3.3	頁　岩	40	棒状
22	Ⅴ	D－1　e－4	273	35.9	14.3	10.8	5.5	頁　岩	41	棒状
23	Ⅴ	D－5　a－5	274	47.2	24.2	10.8	10.7	頁　岩		有柄，刃部欠損
24	Ⅴ	D－5　c－2	275	26.6	16.0	4.9	1.9	頁　岩		有柄，刃部つぶれ
25	Ⅴ	E－1　a－2	276	34.9	7.5	4.8	1.3	頁　岩	42	有柄，刃部欠損
26	Ⅴ	E－2　b－3	277	25.8	19.2	5.5	3.1	頁　岩		有柄，刃部欠損
27	Ⅴ	E－5　c－5	278	41.8	24.4	6.8	3.8	頁　岩	43	有柄，刃部つぶれ
28	Ⅳ	B－2　c－4	279	58.9	21.6	4.5	4.3	頁　岩	44	有柄，刃部つぶれ
29	Ⅳ	B－4　a－4	280	30.0	25.8	7.9	4.6	頁　岩		有柄，刃部つぶれ
30	Ⅳ	C－2　e－2	281	33.7	19.7	7.1	3.1	頁　岩		有柄，刃部欠損
31	Ⅳ	C－3　b－1	282	29.9	12.8	4.1	1.5	頁　岩		有柄
32	Ⅳ	C－3　c－3	283	30.6	14.2	6.6	2.6	頁　岩		有柄，刃部つぶれ
33	Ⅳ	C－3　e－5	284	66.2	37.6	11.2	19.8	頁　岩	45	有柄，刃部つぶれ
34	Ⅳ	D－1　e－4	285	34.4	17.9	8.1	4.0	頁　岩		有柄，刃部欠損
35	Ⅳ	D－3　b－5	286	48.2	30.1	10.7	10.2	頁　岩	46	有柄，刃部欠損
36	Ⅳ	D－4　e－1	287	31.5	22.1	7.2	4.3	頁　岩	47	有柄，刃部欠損
37	Ⅳ	E－1　b－4	288	22.9	13.8	8.4	1.9	頁　岩		有柄，未製品
38	Ⅳ	E－1　b－1	289	31.6	16.0	7.5	3.3	頁　岩		有柄
39	Ⅳ	E－4　a－1	290	41.5	31.1	11.2	12.5	頁　岩	48	有柄，刃部欠損
40	Ⅲ	A－1　c－3	291	37.5	11.4	6.2	3.0	頁　岩	49	棒状，刃部つぶれ
41	Ⅲ	A－2　d－1	292	28.6	7.4	4.0	0.8	頁　岩		棒状
42	Ⅲ	E－4　b－3	293	39.5	23.4	6.5	3.0	頁　岩		有柄，刃部欠損
43	Ⅲ	E－4　b－4	294	56.4	20.4	7.0	10.6	玄武岩		棒状，刃部つぶれ
44	Ⅱ	A－3　b－1	295	21.2	11.3	3.0	0.9	チャート		有柄，未使用
45	Ⅱ	A－3　c－5	296	32.7	23.7	5.3	4.0	頁　岩		有柄，刃部つぶれ
46	Ⅱ	A－3　d－2	297	33.9	17.2	9.0	3.0	頁　岩		有柄，刃部欠損
47	Ⅱ	C－3　b－1	298	32.5	21.5	6.2	2.9	頁　岩		有柄，刃部つぶれ
48	Ⅱ	D－1　b－2	299	23.9	9.8	4.3	1.1	メノウ		有柄，刃部つぶれ
49	Ⅱ	E－3　a－5	300	38.5	23.4	9.1	4.8		50	有柄，刃部欠損
50	Ⅱ	E－4　a－2	301	36.4	21.6	5.5	3.1	玄武岩		有柄
51	Ⅰ	B－3	302	59.0	11.9	8.0	6.0	頁　岩	51	棒状，刃部つぶれ
52	Ⅰ	F－3	303	32.8	13.4	7.0	2.9	頁　岩		有柄
53		表　採	304	48.2	12.1	5.8	4.0	頁　岩		棒状
54		表　採	305	35.6	15.6	4.8	2.8	頁　岩		有柄，刃部欠損
55		表　採	306	41.8	13.3	7.9	4.1	頁　岩		棒状，刃部つぶれ

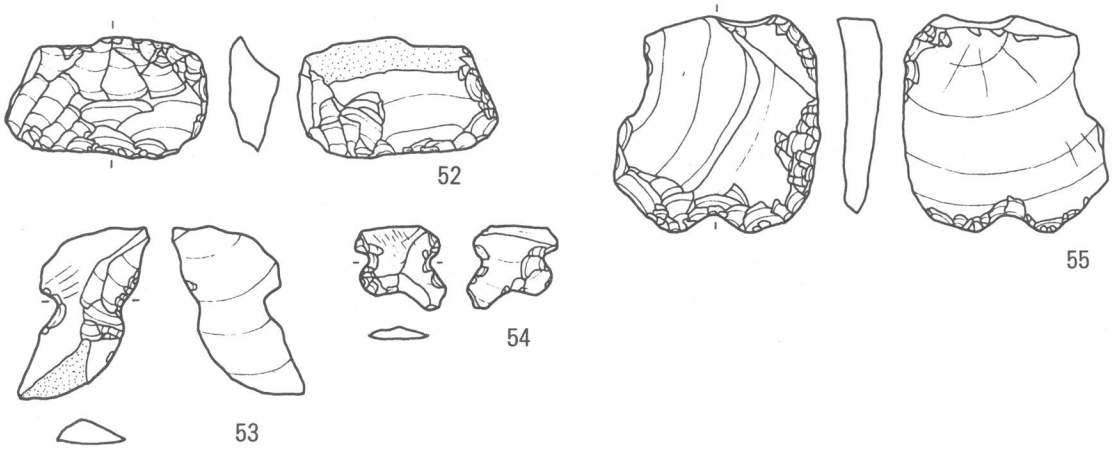
楔形石器

3点が出土している。石質はいずれも頁岩である。No.2は三辺に階段状の剥離がみられ断面は楔形を呈している。52は上端と下端に階段上の剥離が見られる。断面は楔形を呈する。No.3は上端のみに階段状の剥離がみられ，断面は楔形，側縁に原石面が残る。

抉入石器

13点が出土している。石質は頁岩が12点，黒曜石1点である。縦長剥片の一側縁に抉りをもつものは6点であり，No.2は一側縁に抉りが3箇所あるものである。また，両側縁に抉りをもつものは53・54など4点である。先端部に抉りをもつものは2点，抉り部分が潰れているものは9点である。抉り2箇所以上もつもので抉りが潰れているものは1点である。53・54は両側縁に1箇所ずつ抉りがあり，53は1箇所が，54は2箇所が潰れている。55は剥片の先端に1箇所の抉りをもつものであり，抉り部分は潰れ

ている。№6は三叉状を呈し，両側縁，先端にそれぞれ1箇所ずつ抉りをもつものであり，いずれも潰れているもので石製品である可能性がある。



図Ⅳ－32　包含層出土石器（3）

表Ⅳ－19　楔形石器一覧表

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅲ	E－2　a－1	307	33.3	53.5	18.4	28.2	頁　岩	52	基部・先端つぶれ
2	Ⅰ	C－3	308	42.2	44.6	19.5	19.5	頁　岩		基部つぶれ，先端欠損
3	Ⅰ	F－5	309	34.3	38.1	9.1	14.0	頁　岩		基部・先端つぶれ

表Ⅳ－20　抉入石器一覧表

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅴ	A－4　d－2	310	54.4	24.9	10.6	9.7	頁　岩	53	両側縁に抉り1箇所，つぶれ
2	Ⅴ	C－2　b－5	311	57.8	26.2	14.2	15.9	頁　岩		一側縁に抉り3箇所
3	Ⅴ	C－2　e－1	312	36.2	26.1	7.6	9.8	頁　岩		一側縁に抉り1箇所
4	Ⅴ	C－3　a－1	313	26.9	22.1	5.1	4.0	黒曜石	54	両側縁に抉り1箇所，つぶれ
5	Ⅴ	C－3　c－1	314	54.6	52.8	6.6	38.0	頁　岩	55	先端に抉り1箇所，つぶれ
6	Ⅴ	C－5　c－1	315	35.2	24.4	5.6	4.2	頁　岩		三叉状，抉り3箇所
7	Ⅴ	C－6　d－2	316	20.1	16.1	3.8	2.2	頁　岩		一側縁に抉り1箇所，つぶれ
8	Ⅳ	C－1　b－5	317	46.3	53.4	16.1	3.4	頁　岩		両側縁に抉り2箇所，つぶれ
9	Ⅳ	D－1　e－3	318	35.9	49.4	10.2	19.4	頁　岩		一側縁に抉り1箇所，つぶれ
10	Ⅳ	D－3　a－4	319	54.8	51.0	8.2	22.0	頁　岩		両側縁に抉り1箇所，つぶれ
11	Ⅱ	A－2　a－2	320	33.6	14.5	6.5	3.0	頁　岩		一側縁に抉り1箇所
12	Ⅱ	A－3　b－1	321	33.1	25.7	7.3	3.6	頁　岩		一側縁に抉り1箇所，つぶれ
13	Ⅰ	C－1	322	50.8	39.8	22.4	60.0	頁　岩		先端に抉り1箇所，つぶれ

つまみ付きナイフ

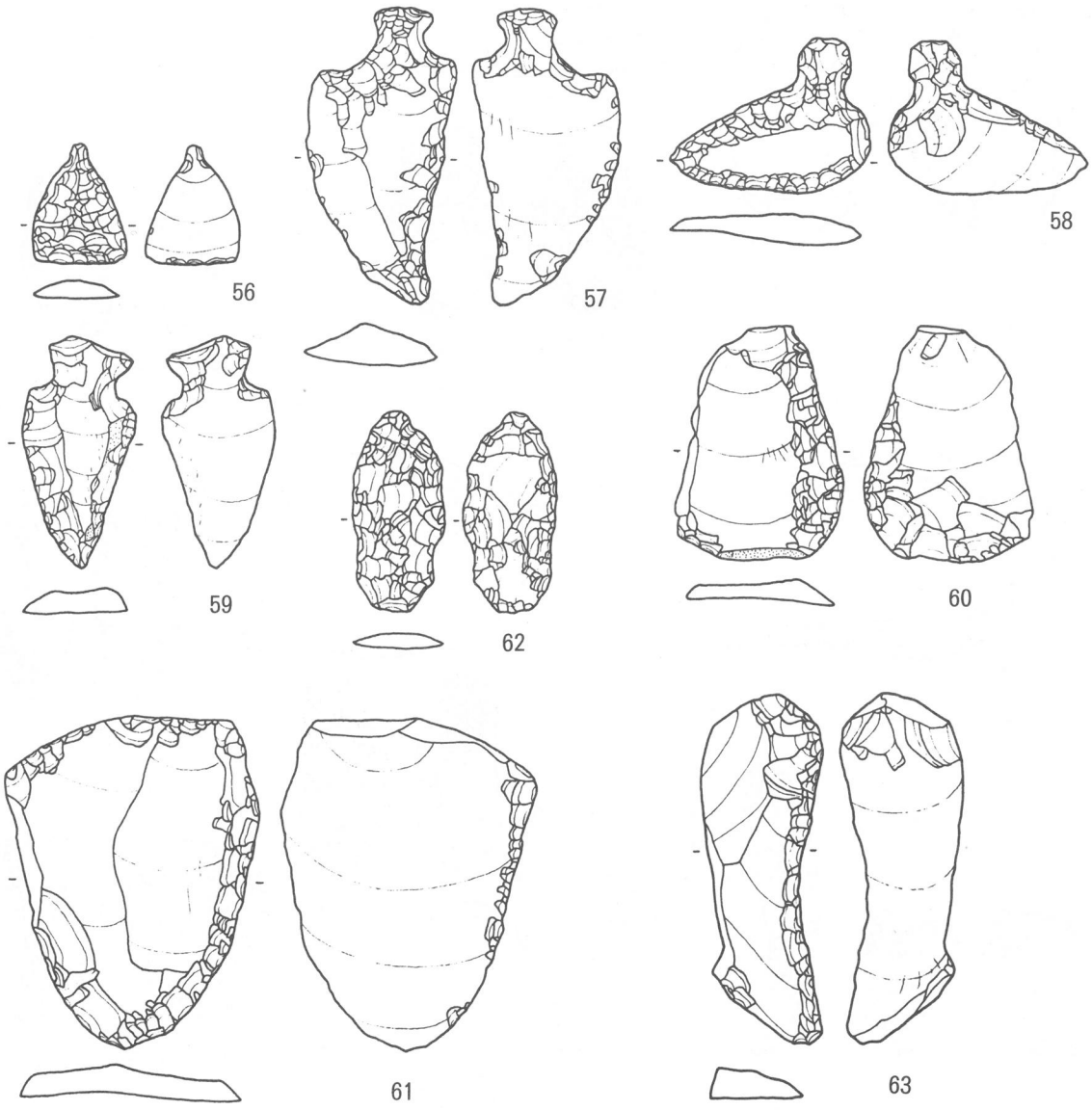
32点が出土している。石質はいずれも頁岩である。殆どが背面の縁辺のみの2次加工で刃部が作出されているものであり，切り出し状を呈するものが多く含まれている。縦長剥片の一側縁のみの加工されているものは6点，両側縁が加工されているものが13点，両側縁及び先端が加工されているもの3点である。背面が全面2次加工されているもの1点，両面の加工されているもの1点である。このほか切り出し状のもの6点，縦長のもの11点，横長のものは58など2点となっている。両側縁の加工されているものでは一側縁の加工が急峻な角度をもって形成されているのに対し，一方の側縁の加工は浅く微細な

ものにとどまるものが多い。この側縁の剥離は角度も浅いことから深い方の側縁は刃部にあたり，一方の側縁の浅い加工は刃潰しにあたると推察される。

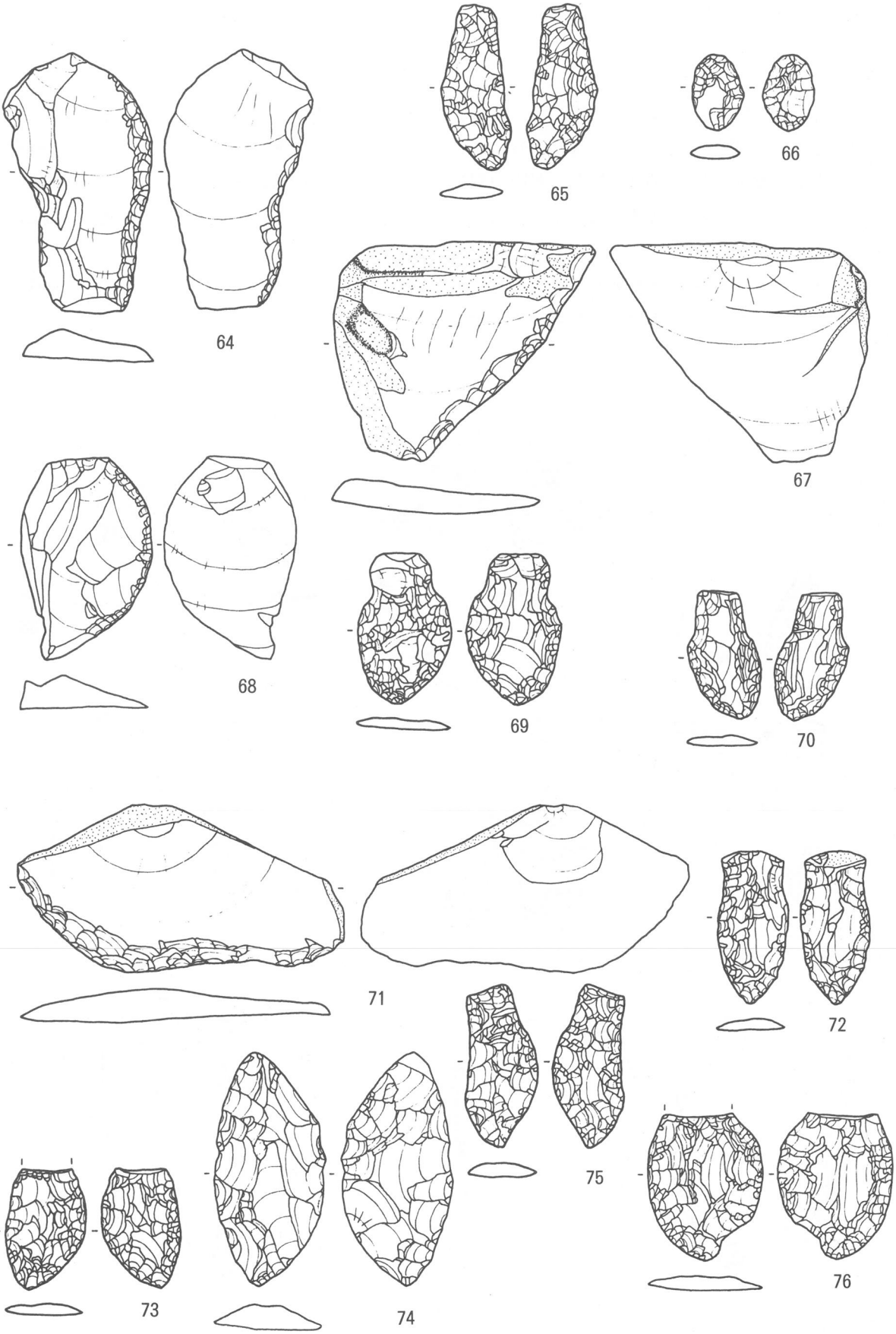
削器

261点が出土している。石質は頁岩205点，安山岩35点，メノウ１点，メノウ質頁岩１点，チャート９点，泥岩２点，黒曜石３点である。頁岩以外の石質では安山岩が最も多く使用されている。靴形や木葉形などの定型的なものは比較的少なく，剥片の側縁を２次加工した削器が多く出土している。65・69・70・75・80～82・85・87・94は靴形を呈するものであり12点が出土している。№246を除きいずれも両面加工である。

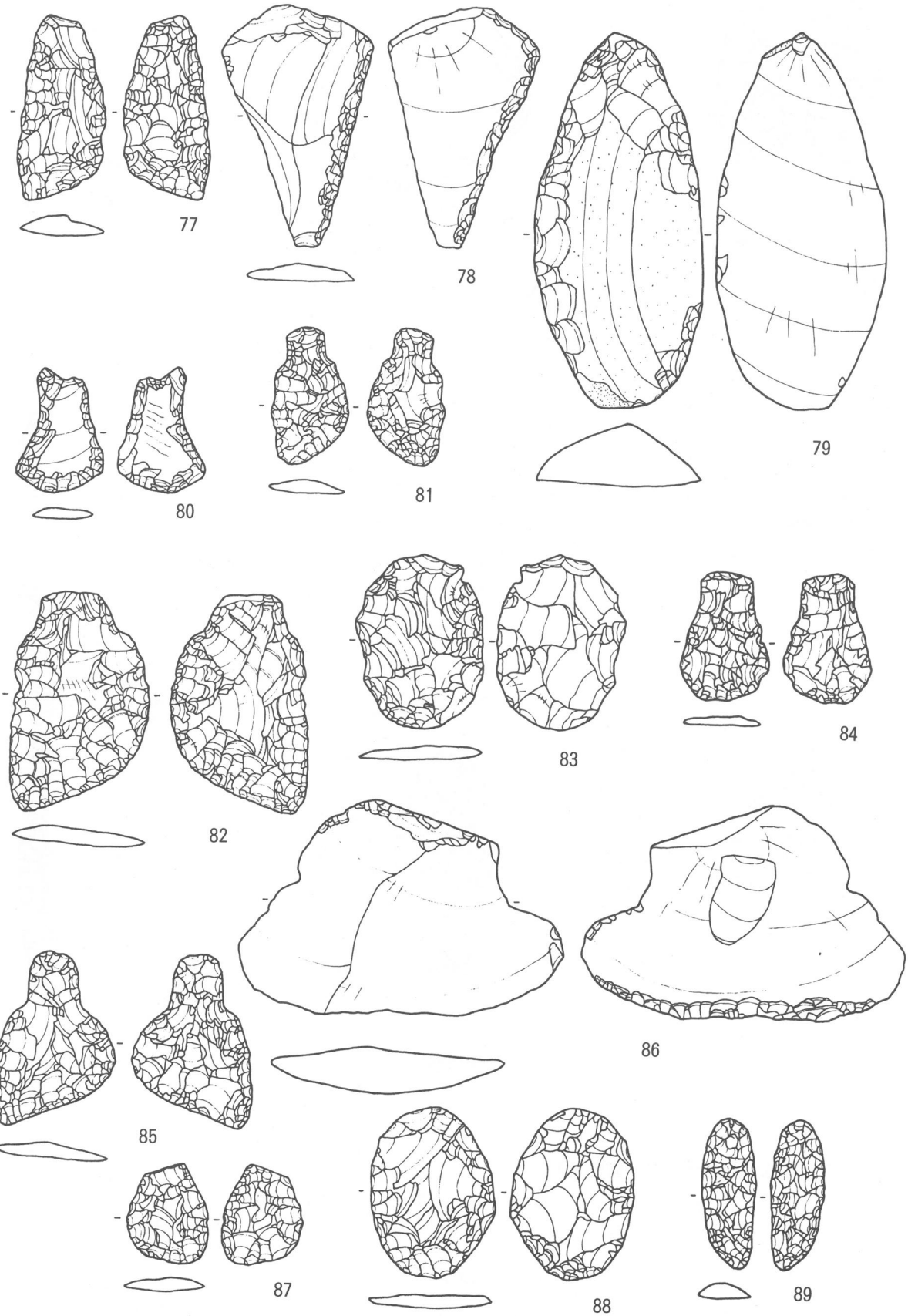
62・66・72～74・83・88は木葉形を呈するもので11点が出土している。67・71・78・86・91～93は安山岩を用い剥片の縁辺のみを加工したもので35点が出土している。



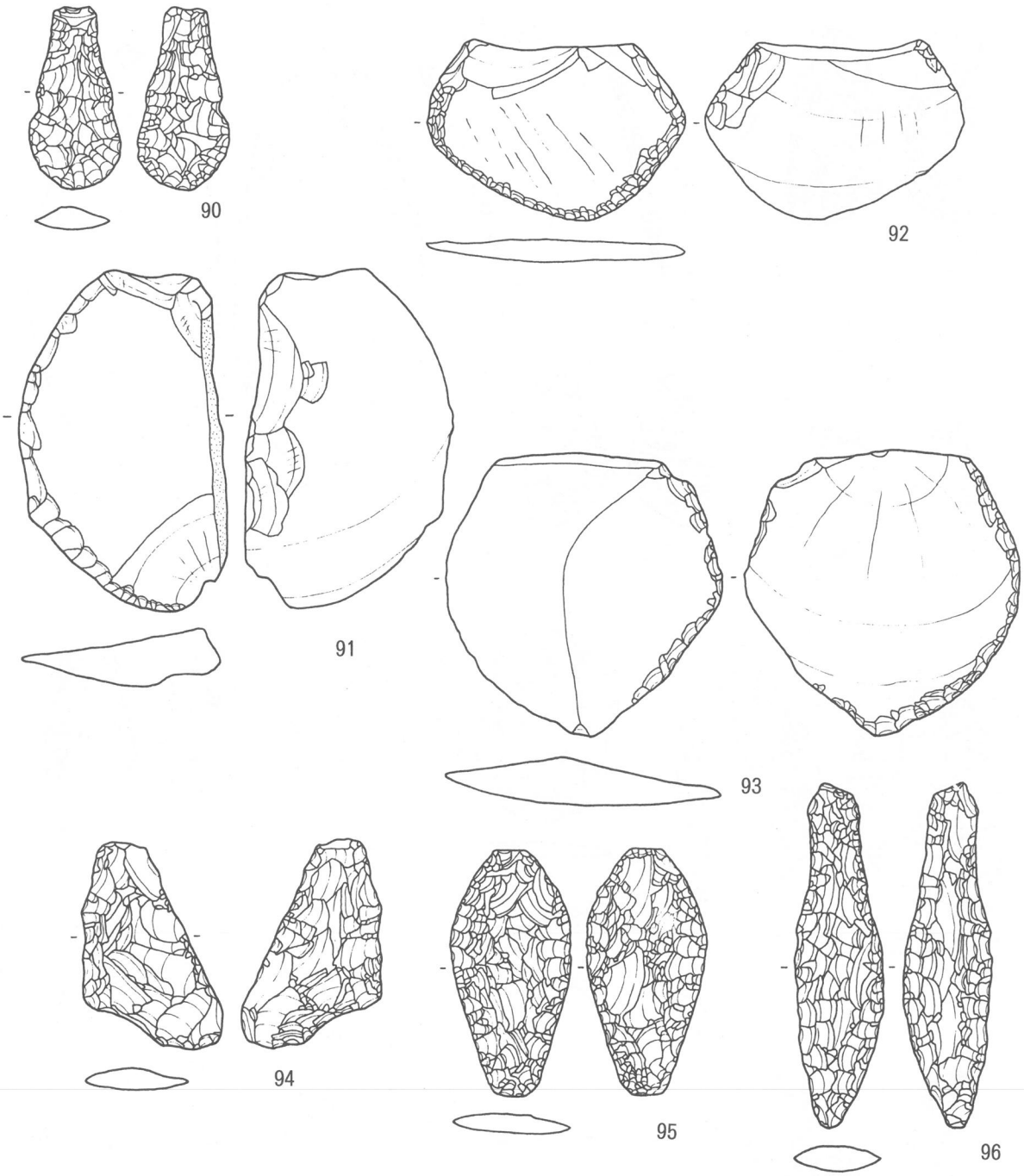
図Ⅳ－33　包含層出土石器（４）



図Ⅳ－34　包含層出土石器（5）



図Ⅳ－35　包含層出土石器（6）



図Ⅳ－36　包含層出土石器（7）

表Ⅳ－21　つまみ付きナイフ一覧表（1）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅳ	C－3　a－4	323	67.6	49.7	11.9	33.7	頁　岩		両側縁背面加工
2	Ⅳ	C－2　c－3	324	32.8	25.4	5.1	4.3	頁　岩	56	両側縁，先端背面加工
3	Ⅴ	B－2　e－2	325	63.1	27.6	12.9	18.0	頁　岩		両側縁背面加工
4	Ⅴ	B－4　b－1	326	62.9	28.4	9.7	18.2	頁　岩		一側縁背面加工
5	Ⅴ	B－4　e－2	327	81.3	38.7	12.0	32.8	頁　岩	57	一側縁背面加工
6	Ⅴ	B－5　e－3	328	70.6	30.0	11.7	25.8	頁　岩		両側縁背面加工，先端欠損
7	Ⅴ	B－5　e－3	329	59.3	49.5	10.2	31.7	頁　岩		両側縁・先端背面加工
8	Ⅴ	C－4　d－3	330	55.1	20.6	6.4	5.8	頁　岩		一側縁背面加工

表Ⅳ－22　つまみ付きナイフ一覧表（2）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
9	Ⅴ	C－5　b－1	331	37.4	17.5	10.9	7.3	頁　岩		一側縁両面・一側縁腹面加工
10	Ⅴ	C－6　a－1	332	74.8	32.8	12.8	28.9	頁　岩		両側縁背面加工
11	Ⅴ	C－6　b－2	333	74.2	53.4	17.4	55.5	頁　岩		一側縁背面加工
12	Ⅴ	D－3　b－1	334	23.6	29.2	9.3	7.0	頁　岩		摘み部のみ，両側縁両面加工
13	Ⅴ	D－5　d－5	335	71.2	31.5	8.9	16.8	頁　岩		両側縁背面加工
14	Ⅳ	A－1　e－4	336	35.8	16.6	7.3	4.5	頁　岩		摘み部欠損，両側縁背面加工
15	Ⅳ	A－2　b－4	337	52.4	29.0	7.6	10.5	頁　岩		一側縁欠損，背面加工
16	Ⅳ	A－4　e－2	338	43.8	24.9	6.2	8.4	頁　岩		一側縁背面加工
17	Ⅳ	A－6　b－5	339	59.9	32.5	8.1	14.4	頁　岩		一側縁・先端背面加工
18	Ⅳ	B－6	340	78.5	24.3	7.2	17.8	頁　岩		両側縁背面加工
19	Ⅳ	C－2　e－4	341	85.6	38.8	13.7	32.8	頁　岩		一側縁背面加工
20	Ⅳ	D－3　c－2	342	50.0	21.5	4.5	6.5	頁　岩		両側縁背面加工
21	Ⅳ	D－4　d－3	343	77.2	48.2	7.0	29.7	泥　岩		一側縁背面加工
22	Ⅳ	D－4　e－2	344	53.2	23.3	7.6	9.9	頁　岩		一側縁背面加工
23	Ⅳ	E－1　b－4	345	21.9	33.6	9.2	7.1	頁　岩		基部片，一側縁両面加工
24	Ⅲ	A－1　c－3	346	52.3	24.2	7.7	10.6	頁　岩		両側縁両面加工
25	Ⅱ	A－1　d－5	347	32.6	19.0	6.0	4.1	頁　岩		切り出し状，両側縁背面加工
26	Ⅱ	A－2　b－2	348	36.4	16.0	7.1	4.0	頁　岩		一側縁背面加工
27	Ⅱ	A－3　b－2	349	40.8	55.0	10.2	19.3	頁　岩	58	両側縁背面加工
28	Ⅰ	A－3	350	61.0	20.0	7.6	11.7	頁　岩		両側縁背面加工
29	Ⅰ	A－6	351	62.8	30.6	7.1	15.8	頁　岩	59	一側縁両面・一側縁背面加工
30	Ⅰ	B－5	352	58.6	36.7	11.5	20.9	頁　岩		両側縁・先端背面加工
31	Ⅰ	C－5	353	28.6	43.3	8.1	10.3	頁　岩		摘み部のみ，一側縁両面加工
32	Ⅰ	E－4	354	63.0	27.7	9.4	18.3	頁　岩		両側縁背面加工

表Ⅳ－23　削器一覧表（1）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅵ	B－2　c－1	355	57.9	61.5	11.6	27.4	頁　岩		横長，先端背面加工
2	Ⅵ	B－2　d－1	356	63.7	46.6	8.2	32.8	頁　岩	60	一側縁両面・先端腹面加工
3	Ⅵ	C－2　b－5	357	68.6	77.7	25.0	97.0	頁　岩		横長・先端腹面加工
4	Ⅵ	C－2　c－3	358	104.6	56.0	22.1	148.0	泥　岩		一側縁背面加工
5	Ⅵ	C－2　d－2	359	60.0	36.4	13.1	24.0	頁　岩		先端欠損，両側縁背面加工
6	Ⅵ	C－2　d－4	360	54.2	28.3	5.9	8.5	頁　岩		両側縁両面加工
7	Ⅴ	A－3　c－2	361	93.6	35.6	13.8	42.0	頁　岩		一側縁腹面加工
8	Ⅴ	A－3　d－3	362	37.3	47.0	10.6	14.0	頁　岩		横長，先端・一側縁背面加工
9	Ⅴ	A－3　d－3	363	77.4	44.8	9.4	40.0	頁　岩		一側縁背面加工
10	Ⅴ	A－4　a－1	364	21.1	19.1	4.5	2.6	頁　岩		一側縁背面，両側縁腹面加工
11	Ⅴ	A－4　a－5	365	28.1	45.7	10.2	12.0	頁　岩		横長，先端背面加工
12	Ⅴ	A－4　b－1	366	107.0	86.2	14.5	120.0	頁　岩		両側縁背面加工
13	Ⅴ	A－4　b－4	367	57.1	64.5	12.0	57.0	頁　岩		両側縁腹面加工
14	Ⅴ	A－4　b－4	368	42.2	40.5	9.7	13.6	頁　岩		一側縁背面加工，先端欠損
15	Ⅴ	A－4　e－2	369	46.9	16.3	11.1	5.9	頁　岩		一側縁背面加工
16	Ⅴ	A－4　e－2	370	58.1	93.3	12.3	56.0	頁　岩		横長，一側縁・先端背面加工
17	Ⅴ	A－4　e－3	371	55.3	43.3	13.9	24.5	頁　岩		一側縁，先端両面加工
18	Ⅴ	B－1　b－4	372	90.1	70.0	12.1	77.1	頁　岩	61	一側縁背面加工
19	Ⅴ	B－1　b－3	373	98.6	44.1	15.9	66.3	頁　岩		両側縁背面加工
20	Ⅴ	B－2　a－1	374	64.8	47.5	14.4	39.1	頁　岩		両側縁腹面悪口，基部欠損
21	Ⅴ	B－2　d－1	375	34.5	23.1	8.4	6.0	頁　岩		両側縁両側加工
22	Ⅴ	B－2　d－5	376	51.5	41.2	13.9	33.8	チャート		一側縁背面加工
23	Ⅴ	B－2　e－1	377	73.0	37.5	12.0	30.5	頁　岩		一側縁背面加工
24	Ⅴ	B－2　e－2	378	38.9	27.1	7.3	7.0	頁　岩		両側縁両面加工
25	Ⅴ	B－2　e－4	379	49.4	33.1	8.7	10.4	頁　岩		一側縁背面加工
26	Ⅴ	B－2　e－5	380	41.1	59.0	11.6	33.1	頁　岩		横長，先端背面加工
27	Ⅴ	B－2　e－5	381	51.4	34.4	10.3	20.0	頁　岩		一側縁背面加工

表Ⅳ－24　削器一覧表（2）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
28	V	B－3　b－4	382	48.9	37.9	7.5	18.0	頁　岩		一側縁背面加工
29	V	B－3　b－4	383	48.3	26.3	12.2	12.7	頁　岩		一側縁腹面加工
30	V	B－3　c－4	384	40.9	35.1	9.5	13.3	頁　岩		一側縁背面加工
31	V	B－3　d－2	385	51.7	26.8	10.5	12.0	頁　岩		木葉形，両側縁両面加工
32	V	B－3　d－4	386	46.8	39.0	8.5	20.0	頁　岩		両側縁背面加工
33	V	B－3　d－5	387	77.0	31.4	6.8	16.0	頁　岩		一側縁両面加工
34	V	B－4　c－1	388	62.8	50.3	13.2	33.1	頁　岩		先端部片，一側縁背面加工
35	V	B－5　d－4	389	50.6	32.3	9.6	15.0	頁　岩		両側縁背面加工
36	V	B－5　d－4	390	53.6	32.6	5.6	10.0	頁　岩	62	木葉形，両側縁両面加工
37	V	B－5　e－1	391	63.8	21.2	7.9	10.0	頁　岩		一側縁背面・両側縁腹面加工
38	V	B－6　e－2	392	31.6	26.8	8.6	6.0	頁　岩		一側縁腹面・両側縁背面加工
39	V	C－2　b－1	393	29.1	35.0	5.0	3.6	頁　岩		一側縁背面加工，先端欠損
40	V	C－2　b－4	394	44.1	25.5	6.0	9.1	頁　岩		一側縁背面加工
41	V	C－2　b－4	395	52.0	43.8	9.2	15.0	頁　岩		一側縁背面加工
42	V	C－2　c－3	396	41.8	33.1	10.6	10.0	頁　岩		一側縁背面加工
43	V	C－2　d－1	397	81.8	54.8	7.5	45.3	頁　岩		先端・両側縁背面加工
44	V	C－2　d－1	398	47.6	33.5	7.9	13.8	頁　岩		木葉形，両側縁両面加工
45	V	C－2　e－1	399	74.9	49.0	16.2	62.8	頁　岩		一側縁背面加工
46	V	C－3　a－2	400	85.9	31.4	14.4	43.9	頁　岩	63	一側縁背面加工
47	V	C－3　b－1	401	24.7	15.5	5.3	2.0	頁　岩		一側縁背面加工
48	V	C－3　b－2	402	29.6	25.8	8.9	8.5	頁　岩		側縁部片，背面加工
49	V	C－3　b－3	403	42.0	55.6	5.4	11.5	頁　岩		一側縁・先端背面加工
50	V	C－3　c－1	404	42.3	35.7	8.8	16.0	頁　岩		一側縁背面加工
51	V	C－3　c－2	405	37.8	22.6	8.1	7.1	頁　岩		一側縁・先端欠損，背面加工
52	V	C－3　d－1	406	71.6	45.4	13.3	48.9	頁　岩	64	一側縁背面・一側縁腹面加工
53	V	C－3　d－1	407	39.0	46.1	10.8	18.8	頁　岩		一側縁背面加工
54	V	C－3　d－2	408	57.6	45.0	4.2	15.0	頁　岩		一側縁背面加工
55	V	C－3　d－3	409	35.7	22.3	9.3	10.0	頁　岩		両側縁腹面加工
56	V	C－3　d－3	410	39.7	19.6	8.5	7.9	頁　岩		両側縁腹面加工
57	V	C－3　e－2	411	39.5	28.9	8.8	9.0	頁　岩		一側縁背面加工
58	V	C－4　c－1	412	30.0	56.2	7.9	20.0	頁　岩		先端両面加工
59	V	C－4　a－1	413	42.3	22.8	8.5	8.0	頁　岩		両側縁背面・一側縁腹面加工
60	V	C－4　c－2	414	55.0	26.7	5.1	6.9	頁　岩	65	靴形，両側縁両面加工
61	V	C－4　d－1	415	45.6	35.9	7.0	16.9	頁　岩		両側縁腹面加工
62	V	C－4　d－4	416	44.1	25.4	11.4	16.2	頁　岩		一側縁背面加工
63	V	C－5　a－1	417	72.7	66.3	12.3	79.6	頁　岩		一側縁背面加工
64	V	C－5　a－2	418	72.8	58.6	14.3	68.6	頁　岩		一側縁・先端腹面加工
65	V	C－5　a－3	419	50.7	35.7	7.7	11.9	頁　岩		両側縁背面加工
66	V	C－5　a－3	420	50.6	24.3	9.5	10.0	頁　岩		一側縁背面加工
67	V	C－5　a－3	421	78.2	54.2	18.5	100.0	頁　岩		一側縁背面加工
68	V	C－5　d－2	422	61.6	33.8	20.0	36.8	頁　岩		一側縁背面加工
69	V	C－5　e－1	423	64.5	37.8	9.1	22.3	頁　岩		一側縁背面加工
70	V	C－5　e－1	424	46.9	25.8	7.9	7.4	頁　岩		両側縁背面加工
71	V	C－6　e－1	425	53.0	31.2	14.3	22.4	頁　岩		一側縁背面加工
72	V	D－1　a－3	426	58.7	41.6	9.5	28.0	頁　岩		一側縁背面加工
73	V	D－1　d－3	427	68.1	65.8	15.3	64.0	頁　岩		一側縁背面加工，基部欠損
74	V	D－2　b－2	428	26.4	17.9	7.8	4.0	頁　岩	66	木葉形，一側縁両面加工
75	V	D－2　c－2	429	103.5	68.1	14.9	102.0	安山岩	67	一側縁腹面加工
76	V	D－2　c－4	430	27.0	18.0	7.0	3.0	頁　岩		切り出し状，両側縁両面加工
77	V	D－2　c－4	431	67.6	43.3	13.1	33.6	頁　岩		一側縁腹面加工
78	V	D－2　d－4	432	70.5	63.0	15.6	97.0	頁　岩		一側縁背面加工
79	V	D－3　c－4	433	89.1	76.1	9.4	74.1	安山岩		一側縁腹面加工
80	V	D－3　c－4	434	35.8	35.8	14.7	20.0	頁　岩		一側縁背面加工
81	V	D－3　e－3	435	55.4	24.1	5.3	8.0	頁　岩		靴形，側縁背面加工

表Ⅳ－25　削器一覧表（3）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
82	Ⅴ	D－4　d－1	436	41.6	51.6	9.4	16.2	頁　岩		先端背面加工
83	Ⅴ	D－4　c－5	437	58.0	43.2	13.4	38.5	頁　岩		一側縁腹面加工
84	Ⅴ	D－4　d－2	438	44.2	38.7	9.4	22.0	頁　岩		一側縁背面加工
85	Ⅴ	D－5　e－1	439	72.5	69.1	15.1	74.0	安山岩		三叉状，両面加工
86	Ⅴ	D－5　a－5	440	32.0	28.8	5.4	10.0	頁　岩		両側縁背面加工
87	Ⅴ	D－5　e－2	441	49.1	56.1	12.0	38.0	安山岩		両側縁腹面・先端背面加工
88	Ⅴ	D－6　a－1	442	97.8	66.1	18.9	96.0	安山岩		両側縁背面加工
89	Ⅴ	E－1　b－1	443	77.4	96.8	13.7	66.8	頁　岩		横長，両側縁背面加工
90	Ⅴ	E－1　d－4	444	28.2	51.0	9.0	15.0	頁　岩		一側縁背面加工
91	Ⅴ	E－2　b－3	445	42.3	37.4	12.1	19.0	頁　岩		両側縁背面加工
92	Ⅴ	E－3　b－1	446	67.0	60.2	13.4	62.0	安山岩		一側縁腹面加工
93	Ⅴ	E－3　b－3	447	55.9	32.1	6.9	15.0	頁　岩		一側縁両面・一側縁腹面加工
94	Ⅳ	A－4　e－3	448	85.4	41.4	13.5	49.7	頁　岩		一側縁背面加工
95	Ⅳ	A－4　e－4	449	83.0	61.8	10.3	61.4	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
96	Ⅳ	A－5　a－2	450	61.2	47.6	11.3	43.9	チャート		両側縁背面加工
97	Ⅳ	A－6　d－3	451	56.5	37.4	7.2	17.4	チャート		一側縁背面加工
98	Ⅳ	A－6　d－3	452	73.8	30.0	10.6	22.3	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
99	Ⅳ	A－6　d－3	453	54.6	37.5	7.9	16.0	頁　岩		両側炎背面加工
100	Ⅳ	A－6　d－3	454	48.5	26.5	8.5	10.4	頁　岩		両側縁背面加工，先端欠損
101	Ⅳ	A－6　d－3	455	31.6	52.1	11.2	16.1	頁　岩		横長，先端背面加工
102	Ⅳ	B－2　a－2	456	53.1	25.8	10.5	13.1	頁　岩		両側縁両面加工
103	Ⅳ	B－4　a－4	457	28.7	25.5	6.2	4.4	頁　岩		両側縁・先端背面加工
104	Ⅳ	B－5　d－4	458	36.6	25.4	9.5	8.7	頁　岩		両側縁背面加工
105	Ⅳ	B－5　d－5	459	38.6	33.6	9.4	19.0	頁　岩		一側縁背面加工
106	Ⅳ	B－5　e－5	460	70.2	35.2	11.9	31.1	頁　岩		一側縁背面加工
107	Ⅳ	B－6	461	61.7	45.6	14.0	36.6	頁　岩	68	一側縁背面加工
108	Ⅳ	C－1　a－2	462	77.4	62.7	12.5	47.2	頁　岩		一側縁背面加工
109	Ⅳ	C－1　d－4	463	52.0	37.7	27.1	50.0	頁　岩		一側縁背面加工
110	Ⅳ	C－2　e－2	464	91.1	55.6	15.0	79.2	頁　岩		両側縁背面加工
111	Ⅳ	C－3　d－1	465	32.4	51.7	6.3	11.1	頁　岩	69	靴形，両側縁両面加工
112	Ⅳ	C－3　e－3	466	46.0	24.6	8.5	13.4	安山岩		両側縁両面加工
113	Ⅳ	C－4　a－1	467	38.9	44.0	6.9	15.0	頁　岩		一側縁背面加工
114	Ⅳ	C－4　a－1	468	51.5	40.8	8.5	20.0	頁　岩		先端背面加工
115	Ⅳ	C－5　a－3	469	48.6	26.6	5.4	8.0	頁　岩		両側縁背面加工
116	Ⅳ	C－5　a－4	470	49.3	93.7	11.6	67.7	泥　岩		横長，先端背面加工
117	Ⅳ	D－2　c－5	471	43.6	32.6	8.1	18.0	頁　岩		一側縁両面加工
118	Ⅳ	D－3　c－5	472	70.3	50.2	14.4	48.0	安山岩		一側縁背面加工
119	Ⅳ	D－3　e－1	473	149.9	98.4	15.8	225.0	安山岩		一側縁腹面加工
120	Ⅳ	D－3　e－2	474	28.3	46.4	9.8	13.7	頁　岩		先端背面加工
121	Ⅳ	D－1　d－1	475	60.3	103.6	12.8	108.0	安山岩		横長，先端腹面加工
122	Ⅳ	D－1　d－1	476	51.7	20.6	5.4	6.2	頁　岩		両側縁両面加工
123	Ⅳ	E－1　b－2	477	75.9	42.4	13.1	50.0	チャート		一側縁背面加工
124	Ⅳ	E－1　c－2	478	42.5	25.2	6.5	6.9	頁　岩	70	靴形，両側縁背面加工
125	Ⅳ	E－2　c－4	479	53.4	28.5	6.8	6.7	頁　岩		一側縁背面，一側縁腹面加工
126	Ⅳ	E－3　a－2	480	105.2	73.0	30.8	178.0	チャート		一側縁背面加工
127	Ⅳ	E－4　a－2	481	54.2	74.9	4.9	56.2	安山岩		一側縁背面加工
128	Ⅳ	E－4　a－2	482	70.4	83.5	7.0	62.0	頁　岩		一側縁先端背面加工
129	Ⅳ	E－4　b－2	483	83.3	66.2	15.7	77.8	安山岩		一側縁背面加工
130	Ⅳ	E－4　c－2	484	85.7	70.7	14.9	96.0	安山岩		一側縁背面加工
131	Ⅳ	F－4　b－3	485	114.4	57.0	13.5	100.0	安山岩	71	両側縁背面加工
132	Ⅲ	A－1	486	64.1	39.5	8.3	22.0	頁　岩		先端背面加工
133	Ⅲ	A－1　b－4	487	43.6	15.0	4.7	3.6	頁　岩		切り出し状，両面縁両面加工
134	Ⅲ	A－2　d－2	488	18.1	18.1	3.4	1.6	頁　岩		靴形，両側縁背面加工
135	Ⅲ	A－2　c－4	489	48.2	26.2	6.5	9.0	頁　岩		一側縁背面加工

表Ⅳ－26　削器一覧表（4）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
136	Ⅲ	A－4　a－3	490	64.7	27.2	13.2	20.7	頁　岩		一側縁背面加工
137	Ⅲ	A－4　b－1	491	40.0	18.0	6.5	4.0	ﾒﾉｳ室頁岩		基部欠損，両側縁両面加工
138	Ⅲ	A－4　b－3	492	34.2	24.0	4.4	3.8	頁　岩		基部欠損，両面加工
139	Ⅲ	A－4　d－3	493	40.4	30.3	4.5	5.5	頁　岩		一側縁・先端背面加工
140	Ⅲ	A－7　e－1	494	35.5	24.3	5.1	5.0	頁　岩		基部欠損，両側縁背面加工
141	Ⅲ	B－1　c－2	495	45.3	26.2	5.8	8.8	頁　岩		基部欠損，両側縁背面加工
142	Ⅲ	B－3　b－1	496	35.6	21.1	3.9	3.3	頁　岩		基部欠損，両側縁背面加工
143	Ⅲ	B－3　c－2	497	25.7	31.2	5.7	6.1	頁　岩		基部欠損，両側縁両面加工
144	Ⅲ	B－3　c－5	498	52.5	24.0	6.7	9.3	頁　岩	72	木葉形，両側縁両面加工
145	Ⅲ	B－4　a－3	499	35.5	19.5	4.5	2.0	頁　岩		一側縁両面加工
146	Ⅲ	B－4　a－3	500	42.5	25.6	9.0	8.1	頁　岩		一側縁両面加工
147	Ⅲ	B－4　b－4	501	54.0	41.5	8.8	18.6	頁　岩		横長，先端背面加工
148	Ⅲ	B－4　c－5	502	52.9	61.2	10.8	37.5	頁　岩		一側縁背面加工
149	Ⅲ	B－4　e－2	503	77.8	63.2	15.2	70.0	頁　岩		一側縁背面加工
150	Ⅲ	B－4　e－3	504	46.2	36.3	10.2	20.0	頁　岩		一側縁・先端背面加工
151	Ⅲ	C－2　b－2	505	40.1	26.7	5.3	7.2	頁　岩	73	木葉形，両側縁両面加工
152	Ⅲ	C－2　c－5	506	50.3	25.5	4.0	6.0	頁　岩		両側縁背面加工
153	Ⅲ	C－3　a－5	507	28.1	20.0	2.5	2.1	黒曜石		両側縁両面加工
154	Ⅲ	C－3　a－5	508	54.5	27.0	4.8	9.2	頁　岩		両側縁両面加工
155	Ⅲ	C－3　c－5	509	30.4	20.4	6.7	4.0	頁　岩		側縁部片，背面加工
156	Ⅲ	C－3　d－1	510	81.6	33.6	10.8	36.3	安山岩		一側縁腹面加工
157	Ⅲ	C－4　a－3	511	80.7	38.0	8.8	27.2	頁　岩	74	木葉形，両側縁両面加工
158	Ⅲ	C－4　a－4	512	46.2	29.6	10.0	15.8	頁　岩		一側縁背面加工
159	Ⅲ	C－4　b－2	513	36.6	32.0	8.3	8.8	チャート		一側縁先端背面加工
160	Ⅲ	C－4　b－3	514	62.7	39.2	13.3	30.3	頁　岩		一側縁腹面加工
161	Ⅲ	C－4　e－4	515	47.7	32.8	7.6	12.9	頁　岩		基部欠損，一側縁背面加工
162	Ⅲ	C－4　e－4	516	30.2	21.9	5.4	5.0	頁　岩		一側縁両面加工
163	Ⅲ	C－5　e－1	517	46.3	28.2	10.8	12.6	頁　岩		一側縁両面加工
164	Ⅲ	D－1　c－5	518	45.6	30.5	7.9	9.0	頁　岩		先端欠損，両側縁両面加工
165	Ⅲ	D－1　d－2	519	76.1	28.6	6.5	15.9	安山岩		一側縁背面加工
166	Ⅲ	D－1　d－2	520	53.5	29.1	5.3	8.3	ﾒﾉｳ室頁岩	75	靴形，両側縁両面加工
167	Ⅲ	D－2　d－2	521	49.5	39.0	5.0	12.0	頁　岩	76	両側縁両面加工
168	Ⅲ	D－3　d－2	522	61.8	35.9	10.7	30.0	頁　岩		一側縁腹面加工
169	Ⅲ	D－3　c－3	523	63.4	27.6	7.3	16.0	頁　岩	77	両側縁両面加工
170	Ⅲ	D－3　c－3	524	60.2	22.2	10.4	10.0	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
171	Ⅲ	D－3　c－3	525	96.1	48.4	7.6	40.0	安山岩		切り出し状，一側縁腹面加工
172	Ⅲ	D－3　e－3	526	64.9	62.7	10.9	41.6	安山岩		一側縁背面加工
173	Ⅲ	D－4　a－4	527	78.4	48.4	20.7	82.0	頁　岩		一側縁背面加工
174	Ⅲ	D－4　b－3	528	28.5	17.8	4.9	2.0	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
175	Ⅲ	D－4　b－4	529	38.9	22.2	5.7	4.0	頁　岩		基部欠損，両側縁両面加工
176	Ⅲ	D－4　b－3	530	72.2	70.7	10.7	62.1	頁　岩		一側縁背面加工
177	Ⅲ	D－4　b－3	531	65.8	71.2	11.2	37.0	頁　岩		先端背面加工
178	Ⅲ	D－4　b－4	532	114.1	57.3	21.1	162.0	安山岩		一側縁腹面加工
179	Ⅲ	D－4　e－1	533	59.9	33.3	6.3	16.0	頁　岩		両側縁背面加工
180	Ⅲ	D－4　e－1	534	49.2	23.2	6.0	10.8	頁　岩		両側縁両面加工
181	Ⅲ	D－4　e－1	535	38.8	16.5	4.1	2.0	頁　岩		両側縁背面加工
182	Ⅲ	D－4　e－3	536	81.4	49.8	9.7	38.0	安山岩	78	一側縁腹面・一側縁背面加工
183	Ⅲ	D－5　c－3	537	99.5	54.3	14.1	82.0	安山岩		一側縁・先端腹面加工
184	Ⅲ	D－5　c－3	538	59.7	33.5	7.2	17.0	頁　岩		木葉形，両側縁両面加工
185	Ⅲ	D－5　c－3	539	60.3	77.2	11.2	51.5	安山岩		一側縁・先端背面加工
186	Ⅲ	D－5　c－4	540	65.4	47.4	18.6	46.5	頁　岩		先端腹面加工
187	Ⅲ	D－5　c－4	541	120.0	108.1	18.0	106.0	安山岩		両側縁背面加工
188	Ⅲ	D－5　d－3	542	123.8	38.3	10.0	90.0	安山岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
189	Ⅲ	E－2　a－1	543	68.1	14.9	44.1	41.3	安山岩		一側縁背面・一側縁腹面加工

表Ⅳ－27　削器一覧表（5）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
190	Ⅲ	E－2　b－3	544	70.0	102.8	13.1	87.6	安山岩		横長，一側縁背面加工
191	Ⅲ	E－2　b－3	545	128.4	55.4	19.9	139.0	頁　岩	79	両側縁背面加工
192	Ⅲ	E－2　d－4	546	54.5	60.0	11.5	34.3	頁　岩		一側縁腹面加工
193	Ⅲ	E－2　d－5	547	38.6	29.7	10.5	9.5	黒曜岩		一側縁背面加工
194	Ⅲ	E－2　d－5	548	42.9	29.7	4.9	6.6	頁　岩	80	一側縁・先端両面加工
195	Ⅲ	E－3　a－2	549	55.3	102.2	11.1	67.4	安山岩		一側縁背面加工
196	Ⅲ	F－2　c－2	550	43.8	36.5	5.5	7.2	頁　岩	81	靴形，両側縁・先端両面加工
197	Ⅲ	F－2　c－2	551	73.5	49.0	6.1	23.1	黒曜岩	82	靴形，両側縁・先端両面加工
198	Ⅱ	A－2　b－4	552	60.5	39.4	12.4	40.0	頁　岩		両側縁・先端に波状刃
199	Ⅱ	A－2　b－5	553	30.1	20.8	8.3	3.3	頁　岩		一側縁背面加工
200	Ⅱ	A－2　d－2	554	60.1	17.5	8.6	8.9	頁　岩		一側縁背面加工
201	Ⅱ	A－2　e－5	555	66.1	24.8	12.5	12.6	頁　岩		切り出し状，両側縁背面加工
202	Ⅱ	A－3　a－2	556	54.6	25.3	8.1	11.0	頁　岩		靴形，両側縁背面加工
203	Ⅱ	A－3　a－5	557	36.7	22.3	7.2	6.0	頁　岩		一側縁背面加工・先端欠損
204	Ⅱ	A－3　c－4	558	81.0	82.3	12.4	59.8	安山岩		先端腹面加工
205	Ⅱ	A－3　c－5	559	53.3	19.8	8.4	7.0	頁　岩		切り出し状，両側縁背面加工
206	Ⅱ	A－3　e－4	560	64.1	35.3	8.0	22.0	頁　岩		両側縁背面加工
207	Ⅱ	A－4　b－2	561	58.8	41.5	5.4	19.0	頁　岩	83	木葉形，両側縁両面加工
208	Ⅱ	A－4　b－2	562	55.9	36.9	6.7	16.8	頁　岩		一側縁・先端に波状刃
209	Ⅱ	B－2　a－5	563	44.3	38.7	4.7	11.6	頁　岩		両側縁両面加工，基部欠損
210	Ⅱ	B－3　a－5	564	43.9	29.1	4.3	6.7	頁　岩	84	両側縁両面加工
211	Ⅱ	B－3　d－1	565	53.6	31.8	6.8	12.1	頁　岩		両側縁両面加工
212	Ⅱ	B－3　d－4	566	49.8	17.3	6.3	7.8	頁　岩		両側縁両面加工
213	Ⅱ	B－3　d－4	567	44.5	22.1	5.7	6.2	頁　岩		両側縁両面加工，先端欠損
214	Ⅱ	B－4　b－2	568	28.1	17.2	5.0	4.0	頁　岩		両側縁両面加工
215	Ⅱ	B－4　c－1	569	31.9	57.5	7.1	17.2	頁　岩		横長，基部背面・先端腹面加工
216	Ⅱ	B－4　d－3	570	86.2	36.9	10.2	24.6	頁　岩		木葉形，両側縁両面加工
217	Ⅱ	C－1　c－3	571	27.2	21.9	5.7	5.1	頁　岩		両側縁両面加工
218	Ⅱ	C－1　c－4	572	33.6	24.9	6.0	5.0	頁　岩		両側縁両面加工，先端欠損
219	Ⅱ	C－1　c－4	573	49.3	40.6	7.2	14.2	頁　岩		両側縁両面加工，基部欠損
220	Ⅱ	C－2　d－5	574	36.9	15.4	7.1	3..8	頁　岩		一側縁背面加工
221	Ⅱ	C－2　e－4	575	34.3	35.7	7.2	10.4	頁　岩		両側縁両面加工
222	Ⅱ	C－3　d－4	576	61.4	38.3	7.0	15.4	頁　岩	85	靴形，両側縁両面加工
223	Ⅱ	C－4　b－1	577	27.8	33.2	6.6	7.0	頁　岩		両側縁両面加工
224	Ⅱ	C－4　b－3	578	45.7	20.8	6.5	6.0	安山岩		両側縁両面加工，基部欠損
225	Ⅱ	C－4　c－2	579	65.0	84.6	9.2	48.6	安山岩		横長，一側縁背面加工
226	Ⅱ	C－5　a－5	580	78.5	52.6	13.6	44.2	安山岩		一側縁背面加工
227	Ⅱ	C－5　c－3	581	52.5	32.0	9.4	18.2	頁　岩		両側縁背面加工
228	Ⅱ	C－6　a－2	582	67.7	83.9	9.3	46.0	頁　岩		横長，先端背面加工
229	Ⅱ	D－2　a－1	583	47.3	29.6	7.6	7.9	頁　岩		一側縁両面・一側縁背面加工
230	Ⅱ	D－2　a－2	584	63.2	37.7	11.2	24.5	チャート		両側縁両面加工
231	Ⅱ	D－2　b－4	585	38.9	21.4	5.9	6.0	頁　岩		両側縁両面加工
232	Ⅱ	D－2　d－3	586	21.0	20.5	3.7	1.6	黒曜岩		両側縁両面加工
233	Ⅱ	D－3　a－5	587	63.9	21.4	9.3	12.0	頁　岩		一側縁背面加工
234	Ⅱ	C－3　b－4	588	42.1	25.9	10.0	11.9	メノウ		一側縁背面加工
235	Ⅱ	D－4　c－1	589	77.2	109.8	22.4	100.0	安山岩	86	横長，先端腹面加工
236	Ⅱ	D－4　c－3	590	43.9	15.8	7.3	4.0	頁　岩		両側縁両面加工
237	Ⅱ	D－4　d－1	591	38.6	20.4	6.8	5.0	頁　岩		両側縁両面加工
238	Ⅱ	D－4　e－4	592	33.9	26.7	5.0	5.1	頁　岩	87	靴形，両側縁両面加工
239	Ⅱ	D－4　e－5	593	58.5	42.2	8.2	22.3	メノウ質頁岩	88	木葉形，両側縁両面加工
240	Ⅱ	E－2　b－5	594	43.7	44.2	7.1	18.9	頁　岩		両側縁・先端両面加工
241	Ⅱ	E－2　b－5	595	58.3	25.6	10.0	15.1	安山岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
242	Ⅱ	E－4　a－2	596	27.1	18.8	4.3	2.0	頁　岩		両側縁・先端背面加工
243	Ⅱ	E－4　b－2	597	40.6	22.5	6.1	6.6	頁　岩		一側縁両面・一側縁背面加工

表Ⅳ－28　削器一覧表（6）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
244	Ⅱ	E－4　e－1	598	51.5	18.2	7.0	7.0	頁　岩	89	両側縁両面加工
245	Ⅱ	F－4　a－1	599	55.7	28.0	7.6	11.3	頁　岩	90	両側縁両面加工
246	Ⅱ	F－4　c－1	600	101.9	63.9	16.2	128.0	安山岩	91	両側縁，先端背面加工
247	Ⅱ	F－4　c－4	601	78.4	54.3	7.2	38.4	安山岩	92	両側縁，先端背面加工
248	Ⅰ	A－3	602	47.4	22.2	5.8	9.0	頁　岩		両側縁背面加工
249	Ⅰ	B－2	603	30.9	17.5	5.8	3.2	頁　岩		両側縁両面加工，基部欠損
250	Ⅰ	B－6	604	79.5	45.7	8.8	42.0	頁　岩		両側縁両面加工
251	Ⅰ	C－1	605	30.0	31.5	5.5	5.9	頁　岩		一側縁背面加工
252	Ⅰ	C－1	606	34.6	17.4	3.4	2.0	頁　岩		両側縁背面加工
253	Ⅰ	C－1	607	38.2	24.8	6.0	6.1	頁　岩		一側縁両面加工
254	Ⅰ	C－2	608	86.4	85.2	14.2	109.4	安山岩	93	一側縁背面・一側縁腹面加工
255	Ⅰ	C－2	609	46.5	30.6	8.2	12.4	チャート		一側縁背面加工
256	Ⅰ	C－3	610	31.3	14.2	4.5	2.0	メノウ		両側縁背面加工
257	Ⅰ	D－2	611	38.5	33.4	9.8	9.0	頁　岩		両側縁両面加工，基部欠損
258	Ⅰ	F－3	612	68.6	37.3	6.8	21.2	頁　岩	94	靴形，両側縁，先端両面加工
259	Ⅰ	F－5	613	75.3	35.7	5.8	19.0	頁　岩	95	両側縁両面加工
260		表　採	614	67.1	40.8	12.1	34.7	頁　岩		一側縁両面・一側縁背面加工
261		表　採	615	106.5	27.3	10.3	27.1	チャート	96	縦長，両側縁両面加工

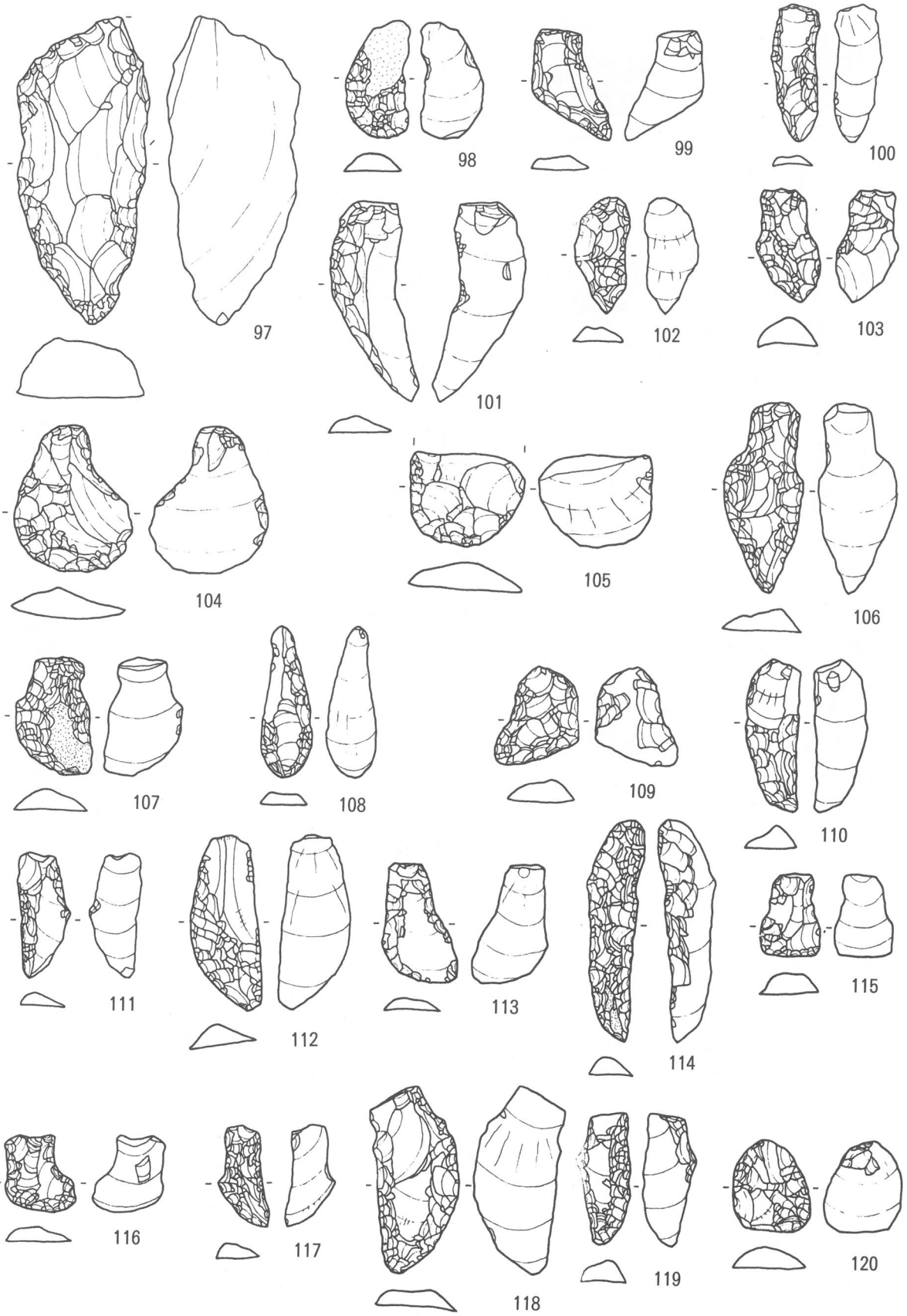
掻器

89点が出土している。石質は頁岩69点，黒曜石８点，チャート７点，メノウ１点，メノウ質頁岩２点である。形態的にはラウンドスクレイパー，靴形のスクレイパーが多い。本遺跡で特徴的なものは太い柄部の作出されている靴形のものであり24点が出土している。靴形のものは削器に分類したものと似た形態のものが多く明瞭な区別をしがたいが，加工が片面のみで剥片が反り，あるいはねじれているものを掻器に分類した。この他剥片の縁辺や先端に刃部をもつものを，それぞれサイドスクレイパー，エンドスクレイパーとした。

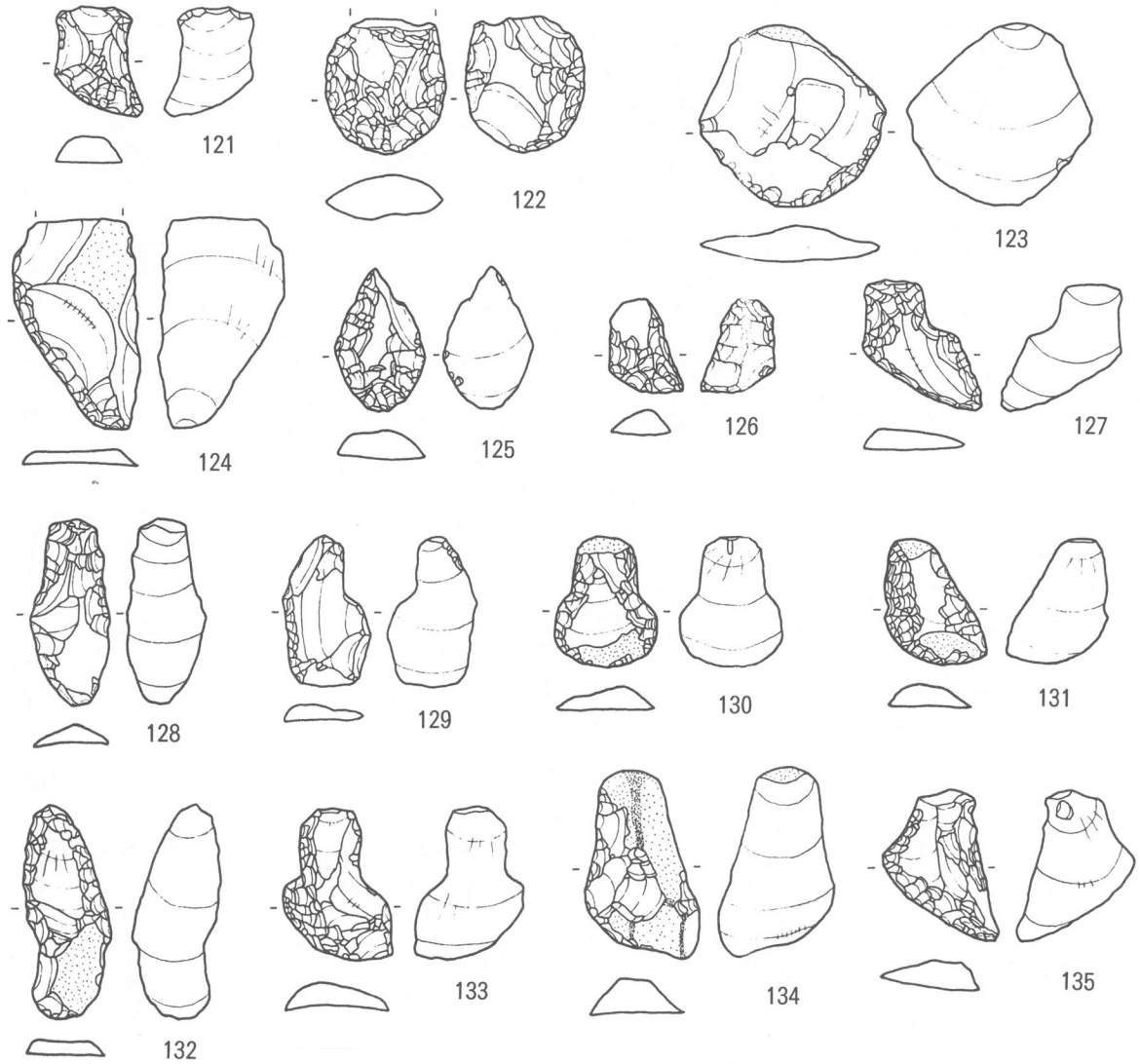
靴形を呈する掻器は刃部が右に傾いているものが多い。また，片面加工のため器体が反ったりねじれたりしているものが多い。これらは柄部をもって使用すると切ることを目的とした前後運動では刃部は物に接しにくく，削器としては不適当な形態である。これに対し上下運動は刃部の対象物に接するため上下運動に適した形態であるといえる。

99・120・103・106・107・109・112～114・116～118・121・126・127・131～135 は靴形を呈するものである。これらの中で109が刃部が左に傾いている以外の全てが刃部が右に傾いている。

また109・116・121・126など７点を除く11点は反りあるいはねじれのある剥片を使用している。靴形のなかで柄の部分の明瞭のものは103・106・109・116・117・127・130・133などであり，不明瞭なものは99・102・112・114・121・131・132・134・135などである。刃部の形態がほぼ直線を呈するものは99・109・115・127・132・135，刃部が弧状を呈するものは107・110・112・116・121・126・128・130・131・133であり，刃部が木葉形を呈するものは103・106である。102は刃部を再生したもの，134は未製品である。



図Ⅳ－37　包含層出土石器（8）



図Ⅳ－38　包含層出土石器（9）

表Ⅳ－29　掻器一覧表（1）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅵ	A－4　e－2	616	64.6	25.1	8.6	16.0	チャート		一側縁背面・一側縁腹面加工
2	Ⅵ	B－3　c－2	617	104.8	42.9	16.7	90.0	頁　岩	97	両側縁・先端背面加工
3	Ⅵ	B－3　e－1	618	54.2	40.2	11.0	26.0	頁　岩		一側縁背面加工
4	Ⅵ	C－2　c－1	619	43.9	24.9	15.6	15.8	頁　岩		両側縁背面加工
5	Ⅵ	C－6　b－1	620	39.8	31.5	11.7	16.0	頁　岩		一側縁背面加工
6	Ⅵ	D－4　b－1	621	28.1	35.2	8.2	10.0	頁　岩		一側縁背面加工
7	Ⅴ	D－5　a－3	622	39.8	29.0	7.1	9.1	頁　岩		両側縁背面加工
8	Ⅴ	F－2　b－3	623	55.2	30.8	8.3	14.1	頁　岩		一側縁背面加工
9	Ⅴ	F－2　b－3	624	39.4	19.6	8.8	10.0	チャート	98	一側縁・先端背面加工
10	Ⅴ	A－1　a－3	625	43.4	19.3	5.8	5.4	頁　岩	99	靴形，両側縁・先端背面加工
11	Ⅴ	B－4　e－3	626	47.1	15.0	4.7	4.6	メノウ質頁岩	100	両側縁両面・先端背面加工
12	Ⅴ	B－5　c－3	627	36.6	16.3	12.0	8.0	頁　岩		両側縁背面加工
13	Ⅴ	B－5　e－2	628	44.8	31.2	10.4	13.0	頁　岩		一側縁背面加工
14	Ⅴ	B－6	629	70.4	21.1	9.0	15.9	頁　岩	101	一側縁先端背面加工
15	Ⅴ	C－2　c－2	630	39.2	16.6	8.9	4.5	頁　岩	102	靴形，両側縁背面加工
16	Ⅴ	C－5　b－4	631	21.9	8.8	4.5	1.2	黒曜石		一側縁背面加工
17	Ⅴ	C－5　c－4	632	27.9	13.1	7.4	3.0	黒曜石		両側縁背面加工

表Ⅳ－30　掻器一覧表（2）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
18	Ⅳ	D－4　e－1	633	64.3	28.8	15.4	32.0	頁　岩		両側縁背面加工
19	Ⅲ	A－1　c－2	634	36.9	18.9	11.3	9.8	頁　岩	103	靴形，両側縁両面加工
20	Ⅲ	A－1　c－5	635	50.9	35.7	10.3	20.0	頁　岩	104	一側縁・先端背面加工
21	Ⅲ	A－1　e－3	636	27.8	31.7	8.7	10.6	頁　岩	105	一側縁・先端背面加工
22	Ⅲ	A－1　e－5	637	63.4	46.4	8.1	20.8	頁　岩		両側縁・先端背面加工
23	Ⅲ	A－4　a－2	638	51.3	21.0	8.1	6.0	頁　岩		両側縁背面加工
24	Ⅲ	A－4　d－3	639	46.3	42.1	7.1	17.4	頁　岩		一側縁両面加工
25	Ⅲ	A－4　e－2	640	40.7	15.2	4.6	4.0	黒曜石		両側縁背面加工
26	Ⅲ	A－6　d－2	641	48.8	19.7	10.6	11.0	頁　岩		一側縁背面加工
27	Ⅲ	B－1　a－2	642	65.2	26.4	9.6	19.3	チャート	106	靴形，両側縁両面加工
28	Ⅲ	B－1　a－5	643	35.4	24.0	7.1	6.0	黒曜石		一側縁腹面加工
29	Ⅲ	B－2　a－2	644	39.9	23.7	8.2	10.0	頁　岩	107	靴形，両側縁・先端背面加工
30	Ⅲ	B－2　d－2	645	39.0	22.8	10.3	10.0	頁　岩		一側縁背面加工
31	Ⅲ	B－3　c－2	646	51.5	16.4	7.7	5.9	頁　岩	108	両側縁背面加工
32	Ⅲ	B－4　a－5	647	61.5	35.1	14.3	28.9	チャート		一側縁背面加工
33	Ⅲ	C－3　b－5	648	27.7	18.0	4.9	2.0	頁　岩		両側縁両面加工
34	Ⅲ	C－4　c－2	649	13.6	23.7	4.8	1.8	黒曜石		両側縁・先端背面加工
35	Ⅲ	D－2　c－3	650	29.0	23.3	6.4	4.8	頁　岩		両側縁・先端背面加工
36	Ⅲ	D－3　c－3	651	36.2	23.7	10.1	10.0	頁　岩	109	靴形，両側縁背面加工
37	Ⅲ	D－4　c－2	652	51.4	15.4	11.4	10.0	頁　岩	110	靴形，両側縁・先端背面加工
38	Ⅲ	D－4　d－2	653	30.5	30.2	10.1	10.6	頁　岩		両側縁背面加工
39	Ⅲ	D－4　b－3	654	88.3	40.1	8.1	20.5	泥　岩		一側縁背面加工
40	Ⅲ	E－2　a－4	655	41.9	18.0	6.1	4.4	ﾒﾉｳ質頁岩	111	両側縁背面加工
41	Ⅲ	E－2　b－4	656	35.1	28.4	4.9	4.1	頁　岩		両側縁・先反背面加工
42	Ⅲ	E－2　b－5	657	28.9	20.0	4.8	3.0	頁　岩		一側縁背面加工
43	Ⅲ	E－2　b－5	558	39.5	21.9	9.1	5.9	頁　岩		一側縁背面加工
44	Ⅲ	E－2　c－5	558	58.3	24.5	8.5	11.2	頁　岩	112	靴形，両側縁背面加工
45	Ⅲ	E－2　e－5	659	60.2	48.0	8.2	17.8	メノウ		一側縁背面加工
46	Ⅲ	E－4　b－3	660	44.3	32.2	7.2	10.0	頁　岩		先端背面加工
47	Ⅱ	A－1　b－3	661	30.2	15.6	6.4	4.0	頁　岩		両側縁背面加工
48	Ⅱ	A－3　a－2	662	42.8	22.7	6.3	8.0	チャート	113	靴形，両側縁・先端背面加工
49	Ⅱ	A－3　a－2	663	75.2	17.5	7.9	12.0	頁　岩	114	靴形，一側縁両面・一側縁背面加工
50	Ⅱ	A－3　b－1	664	27.0	19.2	8.2	5.0	頁　岩	115	両側縁・先端背面加工
51	Ⅱ	A－3　b－4	665	26.8	22.0	7.8	4.8	頁　岩	116	靴形，一側縁・先端背面加工
52	Ⅱ	A－3　c－4	666	35.5	14.3	7.2	4.3	頁　岩	117	靴形，両側縁背面加工
53	Ⅱ	A－3　c－4	667	37.7	28.6	7.4	10.0	頁　岩		先端背面加工
54	Ⅱ	A－3　c－5	668	34.5	14.0	6.3	4.3	頁　岩		両側縁背面加工
55	Ⅱ	A－3　d－2	669	32.9	17.8	7.9	4.8	頁　岩		両側縁両面加工
56	Ⅱ	A－3　d－2	670	60.6	12.1	9.5	8.0	頁　岩		両側縁背面加工
57	Ⅱ	A－3　e－3	671	36.5	23.3	7.8	6.3	頁　岩		一側縁背面加工
58	Ⅱ	B－2　b－5	672	64.6	27.8	6.4	13.4	頁　岩	118	靴形，両側縁背面加工
59	Ⅱ	B－2　c－5	673	36.1	15.3	6.2	4.0	頁　岩		両側縁背面加工
60	Ⅱ	B－3　d－1	674	47.2	29.7	7.3	7.5	頁　岩		両側縁背面加工
61	Ⅱ	B－3　d－4	675	43.9	18.3	10.0	6.9	頁　岩	119	両側縁背面加工
62	Ⅱ	B－3　e－5	676	30.6	24.4	7.5	6.0	黒曜石	120	両側縁・先端背面加工
63	Ⅱ	B－3　e－5	677	47.0	27.2	9.5	10.8	頁　岩		両側縁背面加工
64	Ⅱ	B－4　d－3	678	27.3	19.4	8.7	6.0	頁　岩	121	靴形，両側縁・先端背面加工
65	Ⅱ	B－4　d－5	679	36.0	31.4	10.0	10.6	頁　岩	122	木葉形，一側縁背面加工
66	Ⅱ	C－1　b－5	680	35.8	24.5	6.4	6.8	黒曜石		両側縁背面加工
67	Ⅱ	C－3　d－2	681	45.5	40.8	11.6	20.6	頁　岩	123	一側縁背面加工
68	Ⅱ	C－4　a－1	682	42.4	32.7	10.3	11.0	チャート		両側縁背面加工
69	Ⅱ	D－2　a－4	683	56.6	36.0	7.5	15.1	頁　岩	124	一側縁背面加工
70	Ⅱ	D－2　b－1	684	36.5	27.6	6.2	4.2	頁　岩		一側縁・先端背面加工
71	Ⅱ	D－3　a－5	685	31.3	20.5	10.7	10.0	頁　岩		両側縁・先端背面加工

表Ⅳ－31　掻器一覧表（3）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
72	Ⅱ	D－3　b－1	686	38.3	23.7	7.6	6.1	頁　岩	125	靴形，両側縁・先端背面加工
73	Ⅱ	D－3　b－2	687	46.0	21.1	5.0	4.5	黒曜石		一側縁・先端背面加工
74	Ⅱ	D－3　b－5	688	43.1	22.8	6.1	9.0	チャート		両側縁背面加工
75	Ⅱ	D－3　c－5	689	32.7	24.6	7.2	6.0	頁　岩		先端背面加工
76	Ⅱ	D－3　e－1	690	27.3	16.4	7.3	4.0	頁　岩	126	靴形，両側縁背面加工
77	Ⅱ	D－3　e－5	691	39.9	19.4	6.9	6.0	頁　岩		両側縁背面加工
78	Ⅱ	D－4　c－1	692	44.5	19.4	8.4	8.0	頁　岩	127	靴形，両側縁・先端背面加工
79	Ⅱ	D－4　c－1	693	51.0	20.2	8.3	6.6	メノウ質頁岩		一側縁背面加工
80	Ⅱ	D－5　b－4	694	50.5	19.4	7.6	8.2	頁　岩	128	両側縁背面加工
81	Ⅱ	E－1　b－2	695	40.5	24.7	7.9	6.6	頁　岩	129	靴形，両側縁背面加工
82	Ⅱ	E－1　b－5	696	34.9	27.5	8.0	8.0	頁　岩	130	一側縁背面加工
83	Ⅱ	E－2　b－5	697	37.2	15.7	4.4	3.5	頁　岩		両側縁背面加工
84	Ⅱ	E－3　a－3	698	34.1	26.8	9.1	8.7	頁　岩	131	靴形，両側縁背面加工
85	Ⅱ	E－3　a－5	699	56.3	26.3	8.5	11.8	頁　岩	132	靴形，両側縁・先端背面加工
86	Ⅱ	E－4　b－1	700	41.9	28.3	9.2	10.3	頁　岩	133	靴形，両側縁背面加工
87	Ⅱ	F－4　a－1	701	35.0	20.7	6.7	4.0	頁　岩		一側縁背面加工
88	Ⅰ	C－2	702	52.5	27.7	13.6	21.1	頁　岩	134	靴形，両側縁背面加工
89	Ⅰ	D－1	703	39.7	33.3	10.9	10.9	頁　岩	135	靴形，先端背面加工

Rフレイク

398点が出土している。石質は頁岩306点，チャート22点，黒曜石15点，安山岩42点，メノウ質頁岩4点，泥岩4点，メノウ1点である。不定形な剥片で二次加工が一部に施されているもの，あるいは器種を特定できない各種石器の未製品・破損品を含む。全体的には剥片の縁辺に二次加工を施したものが最も多い。この中には安山岩製のものが他の器種と比較して多く含まれている。削器に分類したものに剥片の縁片を加工した安山岩製のものがあるが，このRフレイクはこの安山岩製の削器と同一の目的で利用された可能性がある。

Uフレイク

45点出土している。石質は頁岩38点，チャート3点，黒曜石・安山岩各2点，メノウ質頁岩1点である。いずれも剥片の縁片に刃こぼれ状の剥離の見られるものである。

表Ⅳ－32　Rフレイク一覧表（1）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅵ	B－3　d－3	704	105.0	80.0	17.1	138.0	泥　岩		一側縁背面加工
2	Ⅵ	C－2　b－5	705	58.4	39.1	12.2	26.0	頁　岩		一側縁背面加工
3	Ⅵ	C－2　d－3	706	44.8	27.2	7.4	9.0	頁　岩		一側縁背面加工
4	Ⅵ	D－2　c－2	707	73.6	38.7	7.1	20.0	頁　岩		一側縁背面加工
5	Ⅵ	E－1　b－2	708	64.2	45.0	7.3	30.0	頁　岩		両側縁背面加工
6	Ⅵ	E－1　b－2	709	67.0	41.1	10.0	37.0	頁　岩		両側縁背面加工
7	Ⅵ	F－4　a－2	710	93.8	36.5	14.0	43.4	頁　岩		両側縁背面加工
8	Ⅵ	F－4　b－4	711	49.6	34.7	3.9	11.8	頁　岩		一側縁・基部腹面加工
9	Ⅴ	A－1　d－4	712	61.5	49.8	10.2	29.5	頁　岩		一側縁背面・先端面加工
10	Ⅴ	A－1　e－5	713	35.9	16.6	3.4	2.0	チャート		一側縁両面加工
11	Ⅴ	A－3　c－2	714	32.6	18.6	4.3	2.0	頁　岩		一側縁背面加工
12	Ⅴ	A－3　d－3	715	45.3	27.0	4.8	10.0	チャート		一側縁背面加工
13	Ⅴ	A－4　b－4	716	55.1	51.0	18.2	41.7	頁　岩		一側縁両面加工
14	Ⅴ	A－4　b－4	717	42.3	35.7	7.3	12.5	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工

表Ⅳ－33　Rフレイク一覧表（2）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
15	V	A－4　c－2	718	45.0	26.4	7.7	10.0	頁　岩		一側縁背面加工
16	V	A－4　c－2	719	71.3	36.7	10.9	30.0	頁　岩		一側縁両面加工
17	V	A－4　b－1	720	58.5	43.3	8.3	17.0	頁　岩		一側縁両面加工
18	V	B－1　d－5	721	71.4	48.2	6.2	26.0	安山岩		一側縁背面加工
19	V	B－1　d－5	722	31.1	20.3	11.9	5.0	頁　岩		一側縁腹面加工
20	V	B－2　e－1	723	97.2	67.0	14.5	74.3	安山岩		一側縁・先端背面加工
21	V	B－2　e－2	724	37.3	25.4	5.3	4.7	頁　岩		一側縁背面加工
22	V	B－3　b－1	725	26.1	46.2	10.3	14.0	チャート		両側縁背面加工
23	V	B－3　b－1	726	24.8	31.1	6.3	6.0	頁　岩		一側縁腹面加工
24	V	B－3　b－5	727	31.2	27.7	8.0	7.5	頁　岩		両側縁背面加工
25	V	B－3　c－2	728	73.3	45.7	13.0	39.1	頁　岩		両側縁背面加工
26	V	B－3　c－2	729	30.3	21.8	6.7	3.0	頁　岩		両側縁両面加工
27	V	B－3　c－3	730	47.3	51.2	10.4	30.0	頁　岩		一側縁背面加工
28	V	B－3　d－5	731	39.8	52.0	13.5	30.0	頁　岩		一側縁背面加工
29	V	B－3　e－3	732	45.9	38.9	11.6	28.0	頁　岩		先端背面加工
30	V	B－3　e－4	733	58.2	24.8	7.7	12.0	頁　岩		一側縁背面加工
31	V	B－4　a－1	734	42.2	22.4	4.4	3.6	頁　岩		一側縁両面加工
32	V	B－4　a－1	735	38.0	21.1	5.5	4.0	頁　岩		両側縁両面加工
33	V	B－4　a－1	736	29.2	16.4	10.8	4.0	頁　岩		両側縁両面加工
34	V	B－4　c－1	737	20.3	14.2	2.2	0.6	頁　岩		一側縁両面・一側縁背面加工
35	V	B－5　e－1	738	46.3	40.0	16.0	30.0	頁　岩		一側縁背面加工
36	V	B－5　e－5	739	34.8	20.1	2.4	2.0	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
37	V	B－6　e－2	740	49.2	31.3	8.9	10.3	頁　岩		両側縁背面加工
38	V	B－6　e－2	741	21.0	30.8	7.1	6.0	チャート		一側縁背面加工
39	V	C－2　c－5	742	19.6	16.3	7.0	2.0	頁　岩		両側縁両面加工
40	V	C－2　e－1	743	67.9	52.4	13.6	44.6	頁　岩		先端腹面加工
41	V	C－2　e－1	744	23.3	21.9	3.1	2.0	黒曜石		両側縁両面加工
42	V	C－3　a－5	745	17.5	15.3	4.1	1.4	頁　岩		一側縁背面加工
43	V	C－3　b－1	756	53.3	41.4	8.7	22.8	頁　岩		一側縁背面加工
44	V	C－3　c－1	757	24.5	47.0	6.3	8.0	頁　岩		一側縁背面加工
45	V	C－3　c－1	758	39.3	21.6	4.9	5.0	頁　岩		両側縁背面加工
46	V	C－3　c－2	759	51.9	40.1	8.7	22.0	頁　岩		一側縁背面加工
47	V	C－3　e－1	760	21.5	20.8	3.3	2.0	頁　岩		一側縁両面加工
48	V	C－3　c－2	761	15.8	10.9	4.8	1.4	黒曜石		両側縁両面加工
49	V	C－3　e－2	762	28.4	43.5	9.3	8.6	頁　岩		先端腹面加工
50	V	C－4　b－1	763	45.4	23.9	8.0	10.0	頁　岩		一側縁背面加工
51	V	C－4　c－3	764	43.6	31.8	11.6	11.2	頁　岩		両側縁背面加工
52	V	C－4　e－2	765	31.0	24.6	11.2	5.4	頁　岩		一側縁背面加工
53	V	C－5　a－2	766	26.0	20.0	5.0	2.1	頁　岩		両側縁両面加工
54	V	C－5　a－3	767	48.8	23.2	6.6	7.7	チャート		一側縁背面加工
55	V	C－5　b－2	768	24.7	20.3	3.7	2.0	頁　岩		一側縁両面加工
56	V	C－5　c－1	769	43.9	33.3	4.8	7.4	頁　岩		一側縁背面加工
57	V	C－5　c－1	770	52.9	34.9	12.0	20.0	頁　岩		一側縁腹面加工
58	V	C－5　d－2	771	19.1	35.9	3.2	3.2	頁　岩		一側縁背面加工
59	V	C－5　e－2	772	42.3	37.8	6.4	15.5	頁　岩		先端背面加工
60	V	C－5　e－3	773	59.7	53.7	10.9	26.6	頁　岩		一側縁背面加工
61	V	C－5　e－5	774	43.5	16.6	3.5	2.2	頁　岩		一側縁腹面加工
62	V	C－6　b－2	775	35.6	20.1	9.0	6.0	頁　岩		一側縁両面加工
63	V	C－6　e－1	776	26.7	28.8	7.6	6.0	頁　岩		一側縁背面加工
64	V	D－1　e－4	777	31.6	23.1	4.8	2.9	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
65	V	D－2　a－2	778	54.5	86.0	17.9	71.4	頁　岩		先端背面加工
66	V	D－2　a－2	779	21.3	25.1	8.4	5.3	頁　岩		両側縁背面・先端腹面加工
67	V	D－2　a－2	780	40.7	25.2	11.8	10.0	チャート		両側縁背面加工
68	V	D－2　b－1	781	45.3	33.6	8.1	14.0	頁　岩		一側縁背面加工

表Ⅳ－34　Rフレイク一覧表（3）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
69	Ⅴ	D－2　b－2	378	44.2	39.0	5.5	13.3	チャート		一側縁背面加工
70	Ⅴ	D－2　d－3	379	41.2	32.0	6.2	9.0	頁　岩		両側縁背面加工
71	Ⅴ	D－2　d－3	784	36.4	28.4	11.4	12.0	頁　岩		両側縁背面加工
72	Ⅴ	D－2　d－3	785	73.2	50.0	14.7	62.0	頁　岩		一側縁背面加工
73	Ⅴ	D－2　e－3	786	69.3	42.9	8.2	19.0	頁　岩		一側縁背面加工
74	Ⅴ	D－2　e－5	787	33.2	31.9	7.3	9.0	安山岩		両側縁腹面加工
75	Ⅴ	D－3　a－1	788	68.4	41.1	11.6	33.0	頁　岩		一側縁腹面加工
76	Ⅴ	D－3　a－1	789	30.3	39.7	7.6	8.0	頁　岩		両側縁背面加工
77	Ⅴ	D－3　a－1	790	103.1	50.7	16.7	85.0	頁　岩		一側縁背面加工
78	Ⅴ	D－3　b－1	791	39.9	48.6	11.4	4.0	頁　岩		一側縁背面加工
79	Ⅴ	D－3　b－4	792	31.6	19.5	5.3	4.0	頁　岩		一側縁両面加工
80	Ⅴ	D－3　c－4	793	32.5	16.2	3.8	2.0	頁　岩		両側縁背面加工
81	Ⅴ	D－3　c－4	794	35.9	48.9	8.1	18.0	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
82	Ⅴ	D－3　d－1	795	71.4	57.4	16.7	74.0	頁　岩		一側縁・先端腹面加工
83	Ⅴ	D－3　d－3	796	44.7	26.0	9.2	10.0	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
84	Ⅴ	D－3　d－3	797	71.4	60.4	12.4	50.0	頁　岩		先端両面加工
85	Ⅴ	D－3　e－4	798	23.6	17.9	3.6	2.0	頁　岩		基部両面・一側縁背面加工
86	Ⅴ	D－4　a－2	799	47.6	39.1	10.3	16.0	チャート		両側縁・先端背面加工
87	Ⅴ	D－4　a－3	800	49.3	21.5	11.2	10.0	頁　岩		一側縁背面加工
88	Ⅴ	D－4　a－3	801	36.3	30.1	6.8	6.0	頁　岩		両側縁背面加工
89	Ⅴ	D－4　d－1	802	57.8	61.9	17.4	42.0	頁　岩		一側縁背面加工
90	Ⅴ	D－4　b－2	803	60.8	40.4	8.5	26.0	チャート		一側縁背面加工
91	Ⅴ	D－4　b－5	804	72.2	69.6	15.4	80.0	頁　岩		一側縁背面加工
92	Ⅴ	D－5　a－3	805	33.2	13.5	5.7	3.0	黒曜石		両側縁背面加工、焼け
93	Ⅴ	D－5　b－5	806	55.8	57.1	12.2	42.0	頁　岩		一側縁背面加工
94	Ⅴ	D－5　d－1	807	33.0	28.4	5.4	4.0	黒曜石		両側縁両面加工
95	Ⅴ	D－5　e－5	808	20.8	26.1	6.2	4.0	頁　岩		一側縁背面加工
96	Ⅴ	D－6　a－1	809	81.6	63.2	19.1	84.1	頁　岩		一側縁背面加工
97	Ⅴ	E－1　b－2	810	93.2	44.9	12.5	46.0	頁　岩		先端背面加工
98	Ⅴ	E－1　b－2	811	44.1	48.5	11.4	28.0	頁　岩		先端腹面加工
99	Ⅴ	E－2　c－4	812	34.8	25.3	9.7	10.0	頁　岩		一側縁背面加工
100	Ⅴ	E－3　b－4	813	102.3	42.6	8.9	42.0	安山岩		先端腹面加工
101	Ⅴ	E－3　b－4	814	39.6	34.2	9.5	14.0	安山岩		一側縁背面加工
102	Ⅴ	E－4　e－1	815	34.1	13.6	3.5	1.8	頁　岩		両側縁両面加工
103	Ⅴ	E－4　e－1	816	35.0	30.4	7.9	9.1	安山岩		一側縁腹面加工
104	Ⅴ	F－1　b－5	817	29.9	15.4	2.4	1.2	頁　岩		両側縁背面加工
105	Ⅴ	F－1　c－5	818	53.4	41.3	7.4	20.0	頁　岩		両側縁背面加工
106	Ⅴ	F－1　c－5	819	49.7	33.7	9.0	11.7	チャート		一側縁背面加工
107	Ⅴ	F－1　c－5	820	29.2	16.6	5.8	3.0	頁　岩		両側縁両面加工
108	Ⅴ	F－1　c－5	821	17.7	25.6	4.7	2.6	頁　岩		両側縁両面加工
109	Ⅴ	F－2　a－1	822	48.0	35.9	13.8	17.9	頁　岩		一側縁背面加工
110	Ⅴ	F－2　b－5	823	90.0	41.0	9.7	40.0	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
111	Ⅴ	F－2　c－1	824	36.6	44.1	13.8	26.5	チャート		一側縁・基部両面加工
112	Ⅴ	F－2　c－1	825	41.5	25.9	8.5	8.7	頁　岩		一側縁両面・一側縁腹面加工
113	Ⅳ	A－1　b－4	826	29.4	25.7	9.7	6.0	頁　岩		一側縁腹面加工
114	Ⅳ	A－1　d－3	827	50.9	32.4	7.7	12.0	ﾒﾄｳ質頁岩		一側縁両面加工
115	Ⅳ	A－1　e－2	828	33.7	23.1	4.2	4.2	頁　岩		一側縁背面加工
116	Ⅳ	A－1　e－2	829	27.9	21.1	6.3	4.0	頁　岩		一側縁背面加工
117	Ⅳ	A－1　e－2	830	40.1	34.8	7.6	10.0	頁　岩		一側縁・先端背面加工
118	Ⅳ	A－2　c－2	831	55.7	69.7	8.4	23.2	頁　岩		一側縁背面加工
119	Ⅳ	A－4　a－2	832	38.2	27.5	7.1	6.0	頁　岩		一側縁両面加工
120	Ⅳ	A－4　a－2	833	23.2	14.2	4.9	2.0	頁　岩		一側縁背面加工
121	Ⅳ	B－2　a－1	834	45.6	26.4	12.0	10.0	チャート		一側縁背面加工
122	Ⅳ	B－4　e－3	835	55.1	34.3	10.2	22.2	チャート		一側縁背面加工

表Ⅳ－35　Rフレイク一覧表（4）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
123	Ⅳ	B－5　e－2	836	28.9	30.8	4.6	6.0	頁　岩		両側縁両面加工
124	Ⅳ	B－5　e－5	837	40.3	34.7	8.4	11.6	頁　岩		一側縁背面加工
125	Ⅳ	B－6	838	44.6	30.4	9.2	12.0	頁　岩		一側縁背面加工
126	Ⅳ	B－6	839	26.3	23.9	5.4	4.0	頁　岩		一側縁両面加工
127	Ⅳ	B－6	840	27.4	6.4	4.3	1.0	頁　岩		一側縁両面加工
128	Ⅳ	C－1　a－2	841	31.9	34.5	9.9	12.0	頁　岩		両側縁両面加工
129	Ⅳ	C－1　c－3	842	33.9	47.4	10.6	13.3	頁　岩		一側縁背面加工
130	Ⅳ	C－1　c－3	843	33.9	21.7	3.9	3.6	黒曜石		両側縁背面加工
131	Ⅳ	C－1　d－3	844	61.2	39.5	12.7	26.0	安山岩		一側縁背面加工
132	Ⅳ	C－1　d－3	845	45.5	49.7	10.9	32.0	頁　岩		一側縁両面加工
133	Ⅳ	C－2　a－5	846	48.1	37.1	6.1	15.7	安山岩		一側縁腹面加工
134	Ⅳ	C－2　a－5	847	61.7	56.8	14.4	35.4	安山岩		一側縁背面加工
135	Ⅳ	C－3　a－1	848	19.2	15.7	6.1	2.0	頁　岩		両側縁背面加工
136	Ⅳ	C－3　a－2	849	56.0	28.7	12.2	20.0	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
137	Ⅳ	C－3　c－3	849	17.7	11.9	2.4	0.9	頁　岩		両側縁両面加工
138	Ⅳ	C－3　e－4	850	43.0	42.1	10.7	20.0	頁　岩		一側縁背面加工
139	Ⅳ	C－3　e－5	851	65.1	39.3	13.7	35.5	安山岩		一側縁背面加工
140	Ⅳ	C－3　e－5	852	32.7	19.5	4.3	2.0	頁　岩		両側縁背面加工
141	Ⅳ	C－4　c－2	853	34.7	21.4	7.5	6.5	頁　岩		両側縁両面加工
142	Ⅳ	C－4　c－3	854	57.4	36.1	8.5	16.0	頁　岩		両側縁背面加工
143	Ⅳ	C－4　e－2	855	34.4	42.9	7.8	17.0	頁　岩		先端背面・一側縁腹面加工
144	Ⅳ	C－5　b－3	856	47.5	36.4	12.5	19.8	安山岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
145	Ⅳ	C－5　d－4	857	31.6	15.9	7.9	4.7	頁　岩		一側縁腹面加工
146	Ⅳ	C－6　b－4	858	25.2	20.3	4.4	3.0	頁　岩		両側縁両面加工
147	Ⅳ	D－1　e－5	859	33.2	38.2	9.7	10.5	頁　岩		基部腹面加工
148	Ⅳ	D－2　a－2	860	121.1	68.4	8.2	62.1	安山岩		両側縁背面加工
149	Ⅳ	D－2　a－3	861	79.6	44.4	12.7	54.0	安山岩		一側縁・先端背面加工
150	Ⅳ	D－2　c－3	862	35.5	20.0	6.5	4.2	安山岩		一側縁両面加工
151	Ⅳ	D－2　d－5	863	27.7	19.6	8.2	5.0	頁　岩		両側縁背面加工
152	Ⅳ	D－3　a－1	864	46.5	25.2	8.2	7.2	頁　岩		一側縁背面加工
153	Ⅳ	D－3　a－1	865	49.1	33.8	7.9	20.0	頁　岩		一側縁・先端背面加工
154	Ⅳ	D－4　d－1	866	71.1	45.7	13.0	28.0	頁　岩		両側縁背面加工
155	Ⅳ	D－4　d－2	867	30.6	13.5	4.5	2.0	頁　岩		両側縁両面加工
156	Ⅳ	D－4　d－2	868	56.4	74.3	19.8	80.0	チャート		一側縁背面加工
157	Ⅳ	D－4　d－2	869	42.4	26.5	9.9	7.3	頁　岩		一側縁両面加工
158	Ⅳ	D－4　d－3	870	51.7	28.7	7.4	10.2	頁　岩		一側縁背面加工
159	Ⅳ	D－4　e－1	871	109.4	94.0	15.3	172.0	安山岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
160	Ⅳ	D－4　e－1	872	38.7	12.4	5.7	3.0	頁　岩		両側縁背面加工
161	Ⅳ	D－4　e－2	873	45.1	63.6	11.5	18.0	頁　岩		先端背面加工
162	Ⅳ	D－4　e－3	874	51.3	45.2	41.1	20.0	頁　岩		一側縁腹面加工
163	Ⅳ	E－1　b－5	875	18.2	15.4	4.7	1.2	頁　岩		両側縁両面加工
164	Ⅳ	E－1　d－4	876	58.8	39.0	8.7	26.0	頁　岩		一側縁背面加工
165	Ⅳ	E－2　a－3	877	23.9	15.9	5.2	2.1	黒曜石		両側縁両面加工
166	Ⅳ	E－2　b－2	878	63.3	88.2	11.8	55.3	安山岩		一側縁両面加工
167	Ⅳ	E－2　b－4	879	50.1	36.4	5.7	8.9	頁　岩		先端背面加工
168	Ⅳ	E－4　a－1	880	37.3	27.7	10.9	12.0	頁　岩		両側縁両面加工
169	Ⅳ	E－4　a－1	881	49.3	29.1	15.6	21.5	チャート		両側縁両面加工
170	Ⅳ	E－4　a－1	882	55.7	60.3	12.6	53.4	安山岩		一側縁背面加工
171	Ⅳ	E－4　a－1	883	55.9	48.5	15.2	28.0	安山岩		先端腹面加工
172	Ⅳ	E－4　a－1	884	26.0	13.1	4.1	1.4	安山岩		両側縁両面加工
173	Ⅳ	E－4　c－2	885	45.1	34.4	11.1	22.0	安山岩		一側縁背面加工
174	Ⅳ	F－3　a－5	886	39.6	21.3	5.4	4.0	頁　岩		一側縁背面加工
175	Ⅳ	F－4　a－4	887	52.9	32.4	11.8	20.0	頁　岩		一側縁両面加工
176	Ⅳ	F－4　b－2	888	38.1	66.7	15.8	50.0	頁　岩		一側縁背面加工

表Ⅳ－36　Rフレイク一覧表（5）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
177	Ⅳ	F－4　c－3	889	42.0	30.8	6.2	10.0	頁　岩		一側縁両面・先端背面加工
178	Ⅳ	F－4　d－2	890	27.7	40.9	8.8	10.0	頁　岩		先端背面加工
179	Ⅲ	A－1　a－2	891	33.7	29.4	6.6	10.0	メノウ		一側縁両面加工
180	Ⅲ	A－1　a－3	892	61.4	22.5	4.7	7.6	頁　岩		一側縁背面加工
181	Ⅲ	A－1　a－4	893	37.4	42.9	7.1	14.0	チャート		両側縁両面加工
182	Ⅲ	A－1　a－4	894	42.8	26.2	5.6	8.0	頁　岩		両側縁両面加工
183	Ⅲ	A－1　c－3	895	38.9	44.5	10.5	19.3	頁　岩		両側縁両面加工
184	Ⅲ	A－1　c－4	896	32.1	18.0	3.6	2.0	頁　岩		両側縁背面加工
185	Ⅲ	A－2　c－3	897	38.7	34.8	6.9	20.0	チャート		一側縁腹面加工
186	Ⅲ	A－2　c－4	898	29.7	25.7	7.7	6.0	頁　岩		一側縁両面加工
187	Ⅲ	A－3　b－5	899	32.0	15.1	2.6	3.0	頁　岩		両側縁背面加工
188	Ⅲ	A－5　b－2	900	24.7	15.6	6.0	2.0	頁　岩		一側縁両面加工
189	Ⅲ	A－6　a－4	901	58.7	34.4	9.3	10.6	頁　岩		一側縁背面加工
190	Ⅲ	A－6　d－2	902	31.6	23.2	8.3	6.0	頁　岩		両側縁両面加工
191	Ⅲ	A－6　e－5	903	25.1	16.5	5.3	2.1	頁　岩		一側縁両面・一側縁背面加工
192	Ⅲ	A－6　d－3	904	26.1	17.4	6.2	2.5	頁　岩		一側縁両面・一側縁腹面加工
193	Ⅲ	A－6　e－5	905	27.7	30.9	9.3	4.5	頁　岩		先端背面加工
194	Ⅲ	A－7　d－1	906	52.7	23.8	4.9	6.0	頁　岩		一側縁背面加工
195	Ⅲ	B－1　b－2	907	63.8	32.7	9.8	19.0	頁　岩		一側縁背面加工
196	Ⅲ	B－1　e－2	908	34.1	16.9	7.0	4.9	黒曜石		先端両面加工
197	Ⅲ	B－2　a－5	909	48.1	21.9	6.9	6.9	頁　岩		両側縁両面加工
198	Ⅲ	B－2　b－1	910	76.4	61.4	14.8	70.0	頁　岩		周縁に粗い加工
199	Ⅲ	B－3　c－1	911	20.1	19.1	6.5	2.4	頁　岩		両側縁両面加工
200	Ⅲ	B－3　d－1	912	49.2	26.9	8.9	14.0	頁　岩		両側縁両面加工
201	Ⅲ	B－4　a－4	913	68.2	44.6	13.5	40.9	頁　岩		一側縁背面加工
202	Ⅲ	B－4　c－2	914	45.5	11.9	6.6	4.0	頁　岩		一側縁背面加工
203	Ⅲ	B－4　e－2	915	32.0	22.4	5.1	5.0	頁　岩		両側縁腹面加工
204	Ⅲ	B－4　e－2	916	68.7	44.1	16.1	26.0	頁　岩		両側縁背面加工
205	Ⅲ	C－1　b－2	917	26.0	19.9	5.5	2.0	黒曜石		両側縁両面加工
206	Ⅲ	C－2　a－4	918	53.4	28.7	13.0	18.0	頁　岩		両側縁背面加工
207	Ⅲ	C－2　a－5	919	44.6	23.6	7.6	9.8	頁　岩		一側縁両面加工
208	Ⅲ	C－2　e－5	920	45.1	27.5	11.1	14.3	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
209	Ⅲ	C－3　a－5	921	39.6	32.3	8.4	12.0	頁　岩		一側縁背面加工
210	Ⅲ	C－4　a－2	922	44.6	26.9	12.6	18.0	安山岩		両側縁両面加工
211	Ⅲ	C－4　a－3	923	43.1	27.9	5.6	5.2	頁　岩		両側縁両面加工
212	Ⅲ	C－4　b－3	924	30.1	18.6	7.3	5.0	頁　岩		一側縁腹面加工
213	Ⅲ	C－4　b－4	925	63.9	48.5	25.5	50.0	頁　岩		一側縁加工
214	Ⅲ	C－5　d－5	926	33.2	19.4	4.9	2.7	頁　岩		両側縁両面加工
215	Ⅲ	D－1　a－3	927	20.9	23.3	5.5	3.0	頁　岩		両側縁両面加工
216	Ⅲ	D－1　a－3	928	22.5	19.4	6.3	3.1	頁　岩		一側縁背面加工
217	Ⅲ	D－1　e－3	929	26.0	21.7	3.1	1.8	頁　岩		両側縁両面加工
218	Ⅲ	D－1　c－4	930	33.6	27.8	10.6	9.9	頁　岩		一側縁両面加工
219	Ⅲ	D－1　e－1	931	47.0	16.0	6.2	3.0	頁　岩		一側縁背面加工
220	Ⅲ	D－1　e－1	932	47.0	19.7	6.9	8.0	頁　岩		側縁部片・両側加工
221	Ⅲ	D－1　e－5	933	35.8	25.9	6.1	9.0	頁　岩		先端背面加工
222	Ⅲ	D－2　c－2	934	30.8	21.7	5.9	4.7	頁　岩		両側縁両面加工
223	Ⅲ	D－2　c－3	935	44.1	33.2	9.4	13.7	頁　岩		両側縁両面加工
224	Ⅲ	D－2　c－3	936	58.7	37.5	9.9	24.0	頁　岩		両側縁両面加工
225	Ⅲ	D－2　c－3	937	73.3	27.3	14.0	23.0	頁　岩		先端背面加工
226	Ⅲ	D－2　d－2	938	44.2	24.3	10.3	12.9	頁　岩		両側縁背面加工
227	Ⅲ	D－3　a－2	939	24.5	14.7	6.0	1.7	頁　岩		両側縁両面加工
228	Ⅲ	D－3　b－3	940	62.1	37.8	8.9	24.0	安山岩		一側縁背面加工
229	Ⅲ	D－3　b－4	941	47.6	65.0	7.8	32.0	安山岩		先端背面加工
230	Ⅲ	D－3　c－2	942	59.3	35.1	9.5	18.0	安山岩		一側縁背面加工

表Ⅳ－37　Rフレイク一覧表（6）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
231	Ⅲ	D－3　d－1	943	17.8	22.3	4.1	2.0	頁　岩		両側縁両面加工
232	Ⅲ	D－3　d－5	944	55.4	39.8	7.2	20.0	安山岩		一側縁腹面加工
233	Ⅲ	D－3　e－5	945	56.3	31.7	9.2	11.7	チャート		一側縁背面加工
234	Ⅲ	D－3　e－5	946	61.3	30.8	14.6	23.0	頁　岩		一側縁背面加工
235	Ⅲ	D－3　e－5	947	33.0	17.3	4.4	2.0	頁　岩		両側縁背面加工
236	Ⅲ	D－4　a－2	948	54.4	111.7	13.9	74.9	安山岩		一側縁・先端背面加工
237	Ⅲ	D－4　a－3	949	30.5	42.1	9.1	18.0	ﾒﾉｳ質頁岩		両側縁両面加工
238	Ⅲ	D－4　a－4	950	28.7	19.6	3.1	2.0	黒曜石		一側縁両面・一側縁腹面加工
239	Ⅲ	D－4　c－3	951	23.8	30.3	4.8	4.0	頁　岩		両側縁両面加工
240	Ⅲ	D－4　c－4	952	40.8	30.7	3.9	6.0	頁　岩		一側縁両面加工
241	Ⅲ	D－4　d－1	953	37.3	41.7	11.4	25.0	頁　岩		一側縁両面加工
242	Ⅲ	D－4　e－1	954	44.8	39.4	8.3	17.7	頁　岩		一側縁両面加工
243	Ⅲ	D－4　e－1	955	39.2	11.8	5.5	4.0	頁　岩		両側縁背面加工
244	Ⅲ	D－4　e－2	956	34.7	20.6	6.4	4.0	頁　岩		両側縁背面加工
245	Ⅲ	D－4　e－2	957	35.2	41.8	8.4	14.0	頁　岩		両側縁両面加工
246	Ⅲ	D－4　e－2	958	41.8	28.7	5.2	10.0	安山岩		一側縁背面加工
247	Ⅲ	D－4　e－2	959	40.4	29.1	8.5	10.0	頁　岩		一側縁背面加工
248	Ⅲ	D－4　e－3	960	49.6	30.9	9.6	10.7	安山岩		一側縁背面加工
249	Ⅲ	D－4　e－3	961	29.8	59.2	8.7	10.2	泥　岩		一側縁背面加工
250	Ⅲ	D－4　e－4	962	33.1	23.5	6.3	5.0	安山岩		両側縁両面加工
251	Ⅲ	D－4　c－3	963	41.4	25.6	12.2	12.0	泥　岩		一側縁背面加工
252	Ⅲ	D－5　b－4	964	93.5	136.7	24.5	246.0	安山岩		一側縁背面加工
253	Ⅲ	D－5　b－4	965	66.0	72.8	18.1	108.0	安山岩		一側縁背面加工
254	Ⅲ	D－5　b－5	966	118.7	79.9	20.5	190.0	安山岩		一側縁背面加工
255	Ⅲ	D－5　b－5	967	74.8	40.2	11.1	16.0	安山岩		一側縁背面加工
256	Ⅲ	D－5　c－3	968	57.6	50.0	16.2	42.0	安山岩		一側縁背面加工
257	Ⅲ	D－5　c－4	969	35.1	21.5	7.4	6.0	頁　岩		基部・先端腹面加工
258	Ⅲ	E－1　a－4	970	35.6	13.3	4.5	2.2	頁　岩		一側縁両面加工
259	Ⅲ	E－2　a－1	971	45.5	38.9	13.4	20.8	頁　岩		両側縁両面加工
260	Ⅲ	E－2　a－1	972	29.0	28.7	6.5	6.0	頁　岩		両側縁・先端背面加工
261	Ⅲ	E－2　a－1	973	53.5	36.2	6.1	15.0	頁　岩		一側縁両面加工
262	Ⅲ	E－2　b－2	974	47.6	26.5	7.9	8.9	頁　岩		両側縁背面加工
263	Ⅲ	E－2　b－4	975	15.0	28.7	3.6	1.8	頁　岩		一側縁背面・一側縁両面加工
264	Ⅲ	E－2　b－5	976	26.2	20.0	6.4	3.6	ﾒﾉｳ質頁岩		一側縁背面加工
265	Ⅲ	E－2　b－5	977	51.6	32.4	8.8	19.1	安山岩		一側縁背面加工
266	Ⅲ	E－2　b－5	978	46.0	35.5	6.0	10.0	頁　岩		両側縁・先端背面加工
267	Ⅲ	E－2　e－5	979	52.6	67.0	10.4	29.0	頁　岩		一側縁背面加工
268	Ⅲ	E－3　a－1	980	47.6	30.9	10.7	14.8	頁　岩		一側縁両面・一側縁背面加工
269	Ⅲ	E－3　a－4	981	31.7	15.7	3.4	1.7	チャート		一側縁両面加工
270	Ⅲ	E－3　a－4	982	27.3	42.1	10.4	13.0	頁　岩		両側縁背面加工
271	Ⅲ	E－4　a－3	983	8.5	7.8	5.9	0.3	黒曜石		両側縁両面加工
272	Ⅲ	E－4　a－3	984	24.7	12.0	8.9	2.2	黒曜石		両側縁両面加工
273	Ⅲ	E－4　b－2	985	65.1	23.6	11.4	18.0	頁　岩		一側縁背面加工
274	Ⅲ	E－4　b－3	986	25.3	19.7	9.0	4.2	安山岩		両側縁両面加工
275	Ⅲ	E－4　b－3	987	31.6	14.1	6.9	2.3	頁　岩		両側縁両面加工
276	Ⅲ	E－4　b－4	988	25.4	15.1	4.1	2.0	頁　岩		両側縁両面加工
277	Ⅲ	E－4　b－4	989	26.8	20.6	2.9	2.0	チャート		一側縁背面加工
278	Ⅲ	E－4　c－3	990	27.1	22.6	4.6	4.0	頁　岩		一側縁・先端背面加工
279	Ⅲ	E－5　d－1	991	34.8	23.4	7.3	5.8	頁　岩		一側縁両面加工
280	Ⅲ	E－5　d－1	992	21.8	15.5	5.0	1.3	頁　岩		両側縁両面加工
281	Ⅲ	F－3　b－4	993	41.4	17.4	7.0	4.0	頁　岩		両側縁両面加工
282	Ⅲ	F－3　c－1	994	30.8	21.9	5.2	4.0	頁　岩		一側縁背面加工
283	Ⅲ	F－4　a－2	995	80.6	48.3	21.2	55.2	頁　岩		一側縁両面加工
284	Ⅱ	A－1　b－3	996	40.2	25.4	11.4	6.9	頁　岩		両側縁両面加工

表Ⅳ－38　Rフレイク一覧表（7）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
285	Ⅱ	A－2　b－1	997	50.0	38.3	7.6	15.0	頁　岩		両側縁両面加工
286	Ⅱ	A－2　b－2	998	22.9	13.5	5.4	2.0	頁　岩		一側縁・先端背面加工
287	Ⅱ	A－2　c－5	999	27.0	21.2	4.6	3.0	頁　岩		一側縁背面加工
288	Ⅱ	A－2　c－5	1000	35.5	21.6	5.5	4.0	頁　岩		一側縁背面加工
289	Ⅱ	A－2　e－5	1001	48.6	36.8	14.3	22.3	頁　岩		一側縁背面加工
290	Ⅱ	A－3　a－2	1002	28.0	10.1	3.0	1.4	頁　岩		両側縁両面加工
291	Ⅱ	A－3　a－5	1003	38.2	32.8	8.2	12.3	頁　岩		一側縁両面加工
292	Ⅱ	A－3　a－5	1004	54.7	37.8	11.5	18.0	チャート		一側縁背面加工
293	Ⅱ	A－3　b－1	1005	27.9	19.0	10.7	6.0	頁　岩		一側縁腹面加工
294	Ⅱ	A－3　b－1	1006	32.7	18.0	2.9	2.1	頁　岩		一側縁背面加工
295	Ⅱ	A－3　b－4	1007	30.6	19.7	5.8	2.0	頁　岩		一側縁背面加工
296	Ⅱ	A－3　b－4	1008	22.2	22.0	5.1	3.0	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
297	Ⅱ	A－3　c－4	1009	88.9	74.7	30.4	17.0	頁　岩		周縁に粗い加工
298	Ⅱ	A－3　c－4	1010	39.3	23.4	6.0	7.0	頁　岩		一側縁両面加工
299	Ⅱ	A－3　c－5	1011	48.9	48.9	16.8	50.0	頁　岩		一側縁・先端腹面加工
300	Ⅱ	A－3　c－5	1012	60.1	37.3	8.8	20.0	頁　岩		両側縁両面加工
301	Ⅱ	A－3　c－5	1013	38.1	30.0	4.3	6.3	頁　岩		両側縁両面加工
302	Ⅱ	A－3　c－5	1014	25.4	13.3	4.8	1.6	頁　岩		両側縁両面加工
303	Ⅱ	A－3　d－2	1015	18.4	15.4	3.2	1.4	頁　岩		両側縁背面加工
304	Ⅱ	A－4　c－2	1016	66.3	33.7	9.7	24.0	頁　岩		一側縁両面・一側縁背面加工
305	Ⅱ	A－4　c－2	1017	26.3	47.3	16.2	20.0	頁　岩		一側縁背面加工
306	Ⅱ	A－4　d－4	1018	23.9	21.9	6.2	4.0	頁　岩		一側縁背面加工
307	Ⅱ	A－4　e－3	1019	27.7	19.6	7.0	4.1	黒曜石		両側縁両面加工
308	Ⅱ	A－4　e－5	1020	22.0	27.1	8.3	4.0	頁　岩		一側縁背面加工
309	Ⅱ	A－2　a－5	1021	55.0	38.5	14.9	27.6	頁　岩		両側縁両面加工
310	Ⅱ	B－2　a－5	1022	28.1	29.2	4.5	6.0	頁　岩		両側縁両面加工
311	Ⅱ	B－2　a－5	1023	52.4	26.8	14.3	20.0	頁　岩		一側縁背面加工
312	Ⅱ	B－2　b－3	1024	41.8	19.7	5.1	3.3	頁　岩		両側縁背面加工
313	Ⅱ	B－2　b－3	1025	30.3	21.2	5.8	4.0	黒曜石		両側縁両面加工
314	Ⅱ	B－2　b－5	1026	15.6	19.0	5.0	2.0	頁　岩		両側縁両面加工
315	Ⅱ	B－2　c－4	1027	30.5	23.5	6.6	5.0	頁　岩		両側縁両面加工
316	Ⅱ	B－2　c－4	1028	41.8	30.2	6.4	7.0	頁　岩		両側縁背面加工
317	Ⅱ	B－2　c－5	1029	70.5	45.4	11.4	28.8	頁　岩		一側縁両面加工
318	Ⅱ	B－3　c－1	1030	33.9	23.9	6.2	6.0	頁　岩		両側縁両面加工
319	Ⅱ	B－3　c－3	1031	34.7	9.6	2.9	1.0	頁　岩		両側縁背面加工
320	Ⅱ	B－3　d－1	1032	75.6	49.6	14.1	46.4	頁　岩		両側縁両面加工
321	Ⅱ	B－3　d－1	1033	35.9	49.5	11.7	20.0	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
322	Ⅱ	B－3　d－1	1034	54.9	43.7	14.2	39.9	頁　岩		周縁に粗い加工
323	Ⅱ	B－3　d－2	1035	25.5	16.3	7.8	3.0	黒曜石		一側縁背面・一側縁腹面加工
324	Ⅱ	B－4　c－1	1036	53.5	28.4	10.7	17.0	頁　岩		一側縁背面加工
325	Ⅱ	C－4　b－4	1037	53.0	31.3	7.2	12.6	頁　岩		両側縁両面加工
326	Ⅱ	C－1　c－3	1038	28.1	3.0	3.4	2.0	頁　岩		一側縁背面加工
327	Ⅱ	C－1　c－3	1039	31.3	19.6	4.8	3.0	頁　岩		一側縁両面加工
328	Ⅱ	C－3　e－3	1040	58.1	47.9	12.3	46.0	頁　岩		両側縁両面加工
329	Ⅱ	C－2　c－1	1041	41.4	31.0	6.3	8.0	安山岩		一側縁腹面加工
330	Ⅱ	C－3　a－4	1042	37.2	27.2	7.2	7.0	頁　岩		両側縁両面加工
331	Ⅱ	C－4　c－1	1043	30.6	23.8	10.5	6.9	頁　岩		一側縁背面加工
332	Ⅱ	C－6　c－1	1044	56.2	47.7	22.3	45.0	泥　岩		一側縁背面加工
333	Ⅱ	C－6　e－1	1045	19.6	31.2	6.8	4.6	頁　岩		一側縁両面加工
334	Ⅱ	D－2　a－5	1046	28.7	13.8	4.2	2.2	頁　岩		両側縁両面加工
335	Ⅱ	D－1　c－2	1047	24.9	19.1	5.7	4.0	黒曜石		両側縁両面加工
336	Ⅱ	D－1　c－3	1048	72.5	53.7	12.0	53.0	安山岩		一側縁背面加工
337	Ⅱ	D－2　e－3	1049	52.5	31.6	16.5	10.0	頁　岩		両側縁・先端両面加工
338	Ⅱ	D－2　e－4	1050	40.5	36.8	5.1	9.8	頁　岩		一側縁両面・一側縁背面加工

表Ⅳ－39　Rフレイク一覧表（8）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
339	Ⅱ	D－3　b－5	1051	39.9	24.5	5.9	6.0	頁　岩		両側縁背面加工
340	Ⅱ	D－3　d－1	1052	58.4	80.4	15.5	66.6	頁　岩		先端背面加工
341	Ⅱ	D－3　e－5	1053	47.8	20.8	6.9	6.0	安山岩		一側縁背面加工
342	Ⅱ	D－4　d－1	1054	20.6	13.7	4.4	1.3	頁　岩		一側縁両面加工
343	Ⅱ	D－4　d－2	1055	45.5	24.2	6.4	10.0	安山岩		両側縁両面加工
344	Ⅱ	D－5　a－4	1056	94.2	49.2	16.1	64.0	安山岩		先端背面加工
345	Ⅱ	D－5　c－3	1057	32.3	20.0	4.7	4.6	頁　岩		両側縁背面加工
346	Ⅱ	D－6　a－1	1058	61.6	34.6	9.2	14.5	頁　岩		一側縁背面加工
347	Ⅱ	D－6　a－1	1059	40.4	14.1	3.7	2.0	安山岩		一側縁両面加工
348	Ⅱ	E－1　b－5	1060	21.6	15.6	4.4	1.4	頁　岩		両側縁両面加工
349	Ⅱ	E－2　c－4	1061	32.4	22.5	2.7	2.0	頁　岩		一側縁背面加工
350	Ⅱ	E－2　d－4	1062	26.5	41.2	10.9	10.0	頁　岩		一側縁背面加工
351	Ⅱ	E－3　a－2	1063	48.1	30.5	13.2	20.4	チャート		両側縁・先端背面加工
352	Ⅱ	E－3　a－2	1064	13.8	33.6	4.1	1.0	頁　岩		一側縁背面加工
353	Ⅱ	E－3　a－3	1065	23.6	12.1	5.5	1.3	頁　岩		一側縁両面加工
354	Ⅱ	E－3　a－5	1066	51.9	43.2	12.0	22.0	頁　岩		一側縁両面加工
355	Ⅱ	E－4　a－1	1067	29.1	22.4	6.3	2.9	頁　岩		両側縁両面加工
356	Ⅱ	E－4　a－1	1068	24.6	21.3	6.2	3.5	頁　岩		両側縁両面加工
357	Ⅱ	E－4　a－3	1069	53.1	53.3	11.5	22.0	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
358	Ⅱ	E－4　a－4	1070	39.9	27.1	8.6	8.4	頁　岩		一側縁背面加工
359	Ⅱ	E－4　a－2	1071	30.6	21.5	4.9	3.0	頁　岩		両側縁・先端背面加工
360	Ⅱ	E－4　b－2	1072	30.4	16.6	5.9	3.0	頁　岩		一縁縁背面加工
361	Ⅱ	E－4　b－4	1073	37.5	26.4	9.0	6.0	頁　岩		先端背面加工
362	Ⅱ	E－4　c－1	1074	45.6	31.8	9.1	14.0	頁　岩		一側縁背面加工
363	Ⅱ	E－4　c－3	1075	42.7	30.9	5.2	7.7	頁　岩		一側縁・先端背面加工
364	Ⅱ	E－4　d－1	1076	39.4	24.1	7.8	10.0	頁　岩		両側縁両面加工
365	Ⅱ	E－4　d－2	1077	58.6	40.0	10.1	19.0	頁　岩		一側縁背面加工
366	Ⅱ	E－5　a－2	1078	53.3	31.6	10.1	11.7	頁　岩		一側縁・基部両面加工
367	Ⅱ	E－5　a－2	1079	38.9	20.6	7.6	3.5	頁　岩		一側縁・基部両面加工
368	Ⅱ	E－5　a－3	1080	65.3	41.3	17.3	34.0	頁　岩		一側縁腹面加工
369	Ⅱ	E－5　d－1	1081	23.9	24.9	7.6	5.0	頁　岩		両側縁両面加工
370	Ⅱ	F－4　a－1	1082	46.2	26.4	9.6	10.0	頁　岩		一側縁両面加工
371	Ⅱ	F－4　a－1	1083	48.0	46.9	11.2	30.0	頁　岩		両側縁両面加工
372	Ⅱ	F－4　a－1	1084	34.0	21.7	2.9	3.0	頁　岩		両側縁背面加工
373	Ⅱ	F－4　a－1	1085	35.6	17.4	7.4	6.0	頁　岩		一側縁両面加工
374	Ⅱ	F－4　b－1	1086	56.3	35.8	18.1	27.0	頁　岩		一側縁背面加工
375	Ⅱ	F－4　c－4	1087	33.6	25.2	13.5	16.0	頁　岩		一側縁背面加工
376	Ⅰ	A－1	1088	40.2	25.4	11.4	6.9	頁　岩		両側縁両面加工
377	Ⅰ	B－3	1089	69.0	35.9	13.8	30.3	頁　岩		両側縁背面加工
378	Ⅰ	B－5	1090	32.9	24.8	7.2	6.0	頁　岩		両側縁背面加工
379	Ⅰ	C－1	1091	31.7	24.9	9.5	9.3	頁　岩		一側縁両面加工
380	Ⅰ	C－1	1092	30.1	24.0	8.2	8.2	頁　岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
381	Ⅰ	C－1	1093	24.0	15.3	3.5	1.3	安山岩		両側縁両面加工
382	Ⅰ	C－1	1094	20.2	12.6	2.7	1.4	頁　岩		一側縁・先端背面加工
383	Ⅰ	C－2	1095	26.5	12.6	3.7	1.6	頁　岩		一側縁両面・一側縁背面加工
384	Ⅰ	C－3	1096	59.7	31.1	19.3	30.0	頁　岩		一側縁腹面加工
385	Ⅰ	C－3	1097	28.0	24.6	4.5	3.0	頁　岩		一側縁両面加工
386	Ⅰ	C－3	1098	52.8	24.0	8.9	10.0	頁　岩		両側縁背面加工
387	Ⅰ	C－5	1099	33.7	29.7	5.3	5.9	頁　岩		一側縁背面加工
388	Ⅰ	C－5	1100	30.3	14.5	4.4	2.0	ﾒﾉｳ質頁岩		両側縁両面加工
389	Ⅰ	E－4	1101	49.5	32.4	9.2	16.2	頁　岩		両側縁背面加工
390	Ⅰ	F－3	1102	32.2	26.8	9.6	6.0	頁　岩		先端背面加工
391		表　採	1103	48.9	36.3	11.8	20.0	頁　岩		一側縁腹面加工
392		表　採	1104	88.1	62.7	26.5	100.0	頁　岩		両側縁両面加工

表Ⅳ－40　Rフレイクー覧表（9）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
393		表　　採	1105	30.6	15.7	6.3	2.0	頁　岩		一側縁背面加工
394		表　　採	1106	23.3	35.7	5.0	3.6	頁　岩		一側縁背面加工
395		表　　採	1107	35.5	14.4	1.2	2.1	頁　岩		一側縁両面加工
396		表　　採	1108	39.2	29.1	11.2	12.0	頁　岩		両側縁両面加工

表Ⅳ－41　Uフレイクー覧表

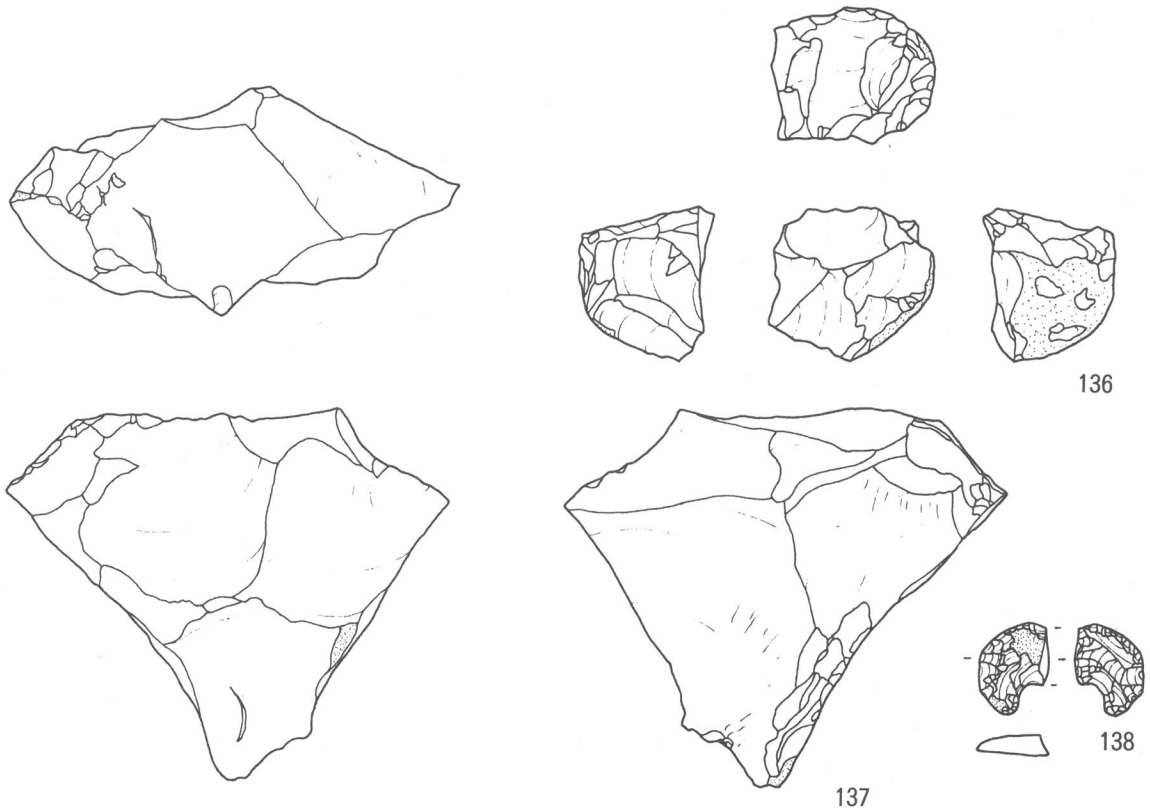
No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅴ	A－4　a－1	1109	32.4	21.0	5.2	4.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
2	Ⅴ	A－4　c－2	1111	48.7	47.2	15.5	34.2	頁　岩		一側縁・先端に刃こぼれ状剥離
3	Ⅴ	B－4　a－3	1111	49.3	30.3	8.8	6.2	頁　岩		一側縁・先端に刃こぼれ状剥離
4	Ⅴ	B－4　d－1	1112	60.6	28.9	10.5	16.5	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
5	Ⅴ	B－4　e－2	1113	37.8	22.1	4.5	4.0	頁　岩		両側縁に刃こぼれ状の剥離
6	Ⅴ	C－3　e－4	1114	53.3	32.9	11.5	20.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
7	Ⅴ	C－4　a－3	1115	91.2	61.7	15.5	114.0	ﾒﾉｳ質頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
8	Ⅴ	C－5　a－3	1116	59.9	27.9	6.5	10.8	チャート		一側縁に刃こぼれ状の剥離
9	Ⅴ	C－5　b－3	1117	51.9	42.1	7.9	20.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
10	Ⅴ	C－5　d－2	1118	41.5	21.0	9.9	10.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
11	Ⅴ	C－6　c－2	1119	59.5	26.2	13.6	20.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
12	Ⅴ	D－4　e－3	1120	28.1	28.5	7.8	4.0	頁　岩		一側縁・先端に刃こぼれ状剥離
13	Ⅴ	D－4　b－1	1121	28.1	20.5	7.4	2.0	黒曜石		両側縁に刃こぼれ状の剥離
14	Ⅳ	A－4　d－3	1122	24.4	47.7	10.9	10.2	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
15	Ⅳ	A－6　d－3	1123	51.3	40.3	8.6	20.0	頁　岩		一側縁・先端に刃こぼれ状剥離
16	Ⅳ	B－2　a－5	1124	40.0	26.9	8.7	10.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
17	Ⅳ	B－2　a－5	1125	31.5	20.8	5.5	4.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
18	Ⅳ	C－4　c－1	1126	17.5	23.7	5.2	2.0	頁　岩		一側縁・先端に刃こぼれ状剥離
19	Ⅳ	C－6　a－1	1127	47.1	34.7	18.0	20.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
20	Ⅳ	C－6　b－1	1128	36.6	35.1	9.8	10.6	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
21	Ⅳ	E－2　a－1	1129	44.5	58.8	10.9	26.0	安山岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
22	Ⅳ	E－4　a－1	1130	40.5	67.1	11.5	22.4	安山岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
23	Ⅳ	E－4　b－1	1131	22.9	17.9	5.0	2.4	頁　岩		先端に刃こぼれ状の剥離
24	Ⅲ	A－2　c－4	1132	51.7	35.6	6.0	10.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
25	Ⅲ	A－4　b－1	1133	38.9	19.6	8.0	6.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
26	Ⅲ	B－4　e－2	1134	42.8	41.9	10.4	20.2	チャート		先端に刃こぼれ状の剥離
27	Ⅲ	C－3　a－3	1135	37.7	35.7	7.8	8.6	頁　岩		一側縁・先端に刃こぼれ状の剥離
28	Ⅲ	D－1　d－3	1136	26.8	23.2	3.7	4.0	頁　岩		両側縁に刃こぼれ状の剥離
29	Ⅲ	D－1　d－3	1137	17.1	17.4	2.9	1.0	黒曜石		両側縁に刃こぼれ状の剥離
30	Ⅲ	D－2　b－1	1138	30.8	34.6	11.0	8.7	頁　岩		先端に刃こぼれ状の剥離
31	Ⅲ	D－4　d－1	1139	75.8	42.3	6.5	20.0	頁　岩		先端に刃こぼれ状の剥離
32	Ⅲ	E－2　b－4	1140	47.4	52.1	15.4	25.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
33	Ⅲ	E－3　d－4	1141	26.2	18.1	3.4	1.3	頁　岩		両側縁・先端に刃こぼれ状剥離
34	Ⅲ	E－4　d－4	1142	28.1	17.7	3.6	2.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
35	Ⅱ	B－2　d－1	1143	40.5	29.5	8.0	6.4	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
36	Ⅱ	D－1　e－5	1144	48.9	23.9	9.6	10.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
37	Ⅱ	D－4　d－1	1145	38.5	21.9	11.2	9.6	頁　岩		先端に刃こぼれ状の剥離
38	Ⅱ	E－3　a－2	1146	46.9	22.7	7.6	5.2	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
39	Ⅱ	E－4　a－1	1147	25.6	18.2	3.5	2.0	頁　岩		両側縁に刃こぼれ状の剥離
40	Ⅱ	E－4　a－4	1148	38.3	15.9	4.8	2.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
41	Ⅱ	E－4　a－4	1149	37.7	22.3	9.0	8.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
42	Ⅱ	E－5　b－3	1150	55.5	34.2	2.8	8.0	頁　岩		一側縁・先端に刃こぼれ状の剥離
43	Ⅱ	F－4　a－2	1151	42.1	18.4	3.5	4.0	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
44	Ⅰ	A－2　a－5	1152	48.9	23.8	4.8	4.8	頁　岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
45	Ⅰ	B－5	1153	39.3	65.6	5.7	10.8	チャート		先端に刃こぼれ状の剥離

石核

29点が出土している。石質はいずれも頁岩である。不定形な剥片を剥離するものであり，特定の技法などは確認できない。

石製品

5点が出土している。石質は黒曜石4点，チャート1点である。いずれも剥片を細かく調整した異形石器と呼ばれているものである。138 は本来半円状のものであったと考えられる。



図Ⅳ－39　包含層出土石器（10）

表Ⅳ－42　石核一覧表（1）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅴ	D－3　e－1	1154	39.9	63.1	49.8	124.0	頁　岩		二面に原石面を残す
2	Ⅴ	D－5　b－5	1155	51.7	72.6	59.3	310.0	頁　岩		三面に原石面を残す
3	Ⅴ	E－3　c－5	1156	42.2	52.0	30.5	118.0	頁　岩		三面に原石面を残す
4	Ⅳ	D－4　b－2	1157	32.6	52.7	31.1	64.0	頁　岩		三面に原石面を残す
5	Ⅳ	E－3　b－4	1158	44.8	45.8	48.2	200.0	頁　岩		一面に原石面を残す
6	Ⅳ	F－4　b－2	1159	27.8	35.5	36.6	72.0	頁　岩		二面に原石面を残す
7	Ⅲ	A－1　c－3	1160	12.9	51.4	13.4	15.2	頁　岩		一面に原石面を残す
8	Ⅲ	A－1　c－3	1161	49.2	56.0	21.3	43.0	頁　岩		一面に原石面を残す
9	Ⅲ	A－4　a－3	1162	46.2	62.2	53.8	223.0	頁　岩		二面に原石面を残す
10	Ⅲ	C－2　b－5	1163	53.1	87.5	39.2	226.0	頁　岩		三面に原石面を残す
11	Ⅲ	D－3　b－3	1164	46.4	74.4	44.6	376.0	頁　岩		二面に原石面を残す
12	Ⅲ	D－4　c－5	1165	42.1	55.0	22.6	70.0	頁　岩		二面に原石面を残す

表Ⅳ－43　石核一覧表（2）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
13	Ⅲ	D－4　d－3	1166	44.5	91.8	30.8	103.0	頁　岩		一面に原石面を残す
14	Ⅲ	D－5　b－4	1167	26.9	48.0	21.7	38.7	頁　岩		一面に原石面を残す
15	Ⅲ	R－3　b－2	1168	38.0	50.2	51.6	392.0	頁　岩		二面に原石面を残す
16	Ⅱ	C－1　d－3	1169	28.8	46.8	27.1	60.0	頁　岩		一面に原石面を残す
17	Ⅱ	C－4　c－1	1170	53.9	86.9	31.0	200.0	頁　岩		二面に原石面を残す
18	Ⅱ	C－4　d－1	1171	40.8	52.6	31.4	123.0	頁　岩		一面に原石面を残す
19	Ⅱ	C－5　c－2	1172	58.8	50.3	41.1	154.0	頁　岩		三面に原石面を残す
20	Ⅱ	D－3　d－3	1173	101.0	99.0	63.9	690.0	頁　岩		二面に原石面を残す
21	Ⅱ	D－4　c－1	1174	43.4	44.9	34.3	60.0	頁　岩		四面に原石面を残す
22	Ⅱ	D－4　d－1	1175	70.5	86.3	32.7	150.0	頁　岩		一面に原石面を残す
23	Ⅱ	D－4　d－1	1176	36.6	48.1	26.2	88.0	頁　岩		二面に原石面を残す
24	Ⅱ	D－4　d－2	1177	60.1	54.0	25.6	85.0	頁　岩		三面に原石面を残す
25	Ⅱ	D－4　d－4	1178	30.0	33.0	36.3	75.0	頁　岩	136	三面に原石面を残す
26	Ⅱ	E－3　a－3	1179	82.2	119.4	72.5	351.0	頁　岩	137	二面に原石面を残す
27	Ⅱ	F－4　c－1	1180	52.7	62.7	61.2	444.0	頁　岩		二面に原石面を残す
28	Ⅰ	D－5	1181	28.0	43.2	15.8	26.0	頁　岩		二面に原石面を残す
29	Ⅰ	F－5	1182	26.3	55.6	34.0	64.0	頁　岩		一面に原石面を残す

表Ⅳ－44　石製品一覧表

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅴ	B－4　a－1	1183	21.7	18.7	7.9	2.0	黒曜石		異形石器
2	Ⅴ	D－4　a－1	1184	19.8	30.9	5.7	3.0	黒曜石		異形石器
3	Ⅴ	E－1　d－2	1185	30.6	17.7	9.7	4.0	黒曜石		異形石器
4	Ⅱ	A－1　d－5	1186	43.4	32.0	14.8	16.0	黒曜石		異形石器
5	Ⅱ	E－4　a－5	1187	24.3	17.6	5.8	2.5	チャート	138	異形石器

石斧

27点が出土している。石質は緑色泥岩23点，安山岩２点である。形態は扁平なものが多く，その多くの刃部は片刃である。139・144・145・147～149・153は扁平片刃のものであり９点出土している。

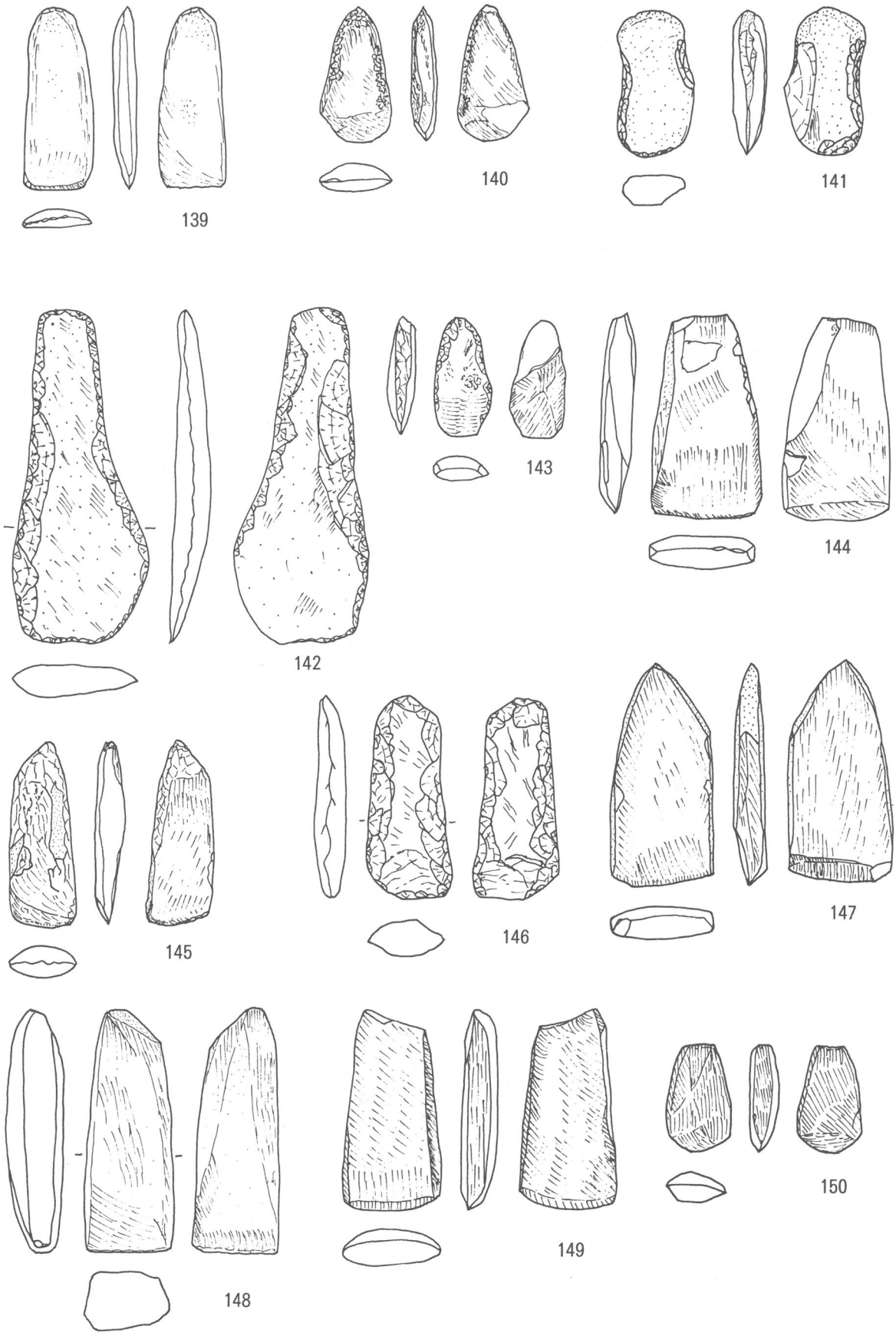
また，基部が傾斜しているものもあり６点が出土している。142・146は安山岩製の打製石器と考えられるものであり，いずれも安山岩の縁片を剥離加工したものである。No.２には擦り切り痕が残る。

すり石

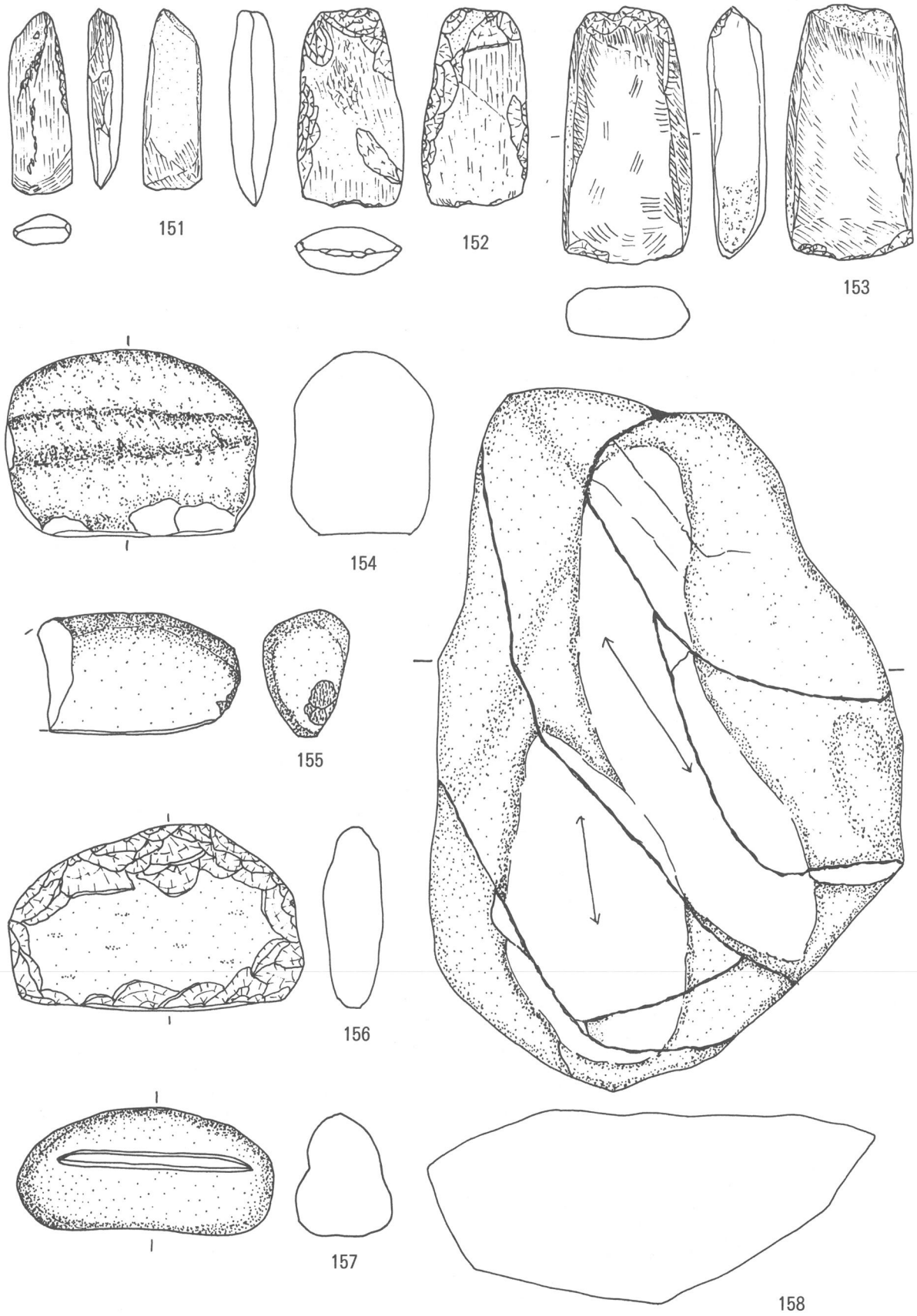
３点が出土している。石質は安山岩２点，花崗閃緑岩１点である。156は半円状扁平打製石器であり，154は北海道式石冠であり機能面が広いものである。155は断面三角形のものである。

砥石

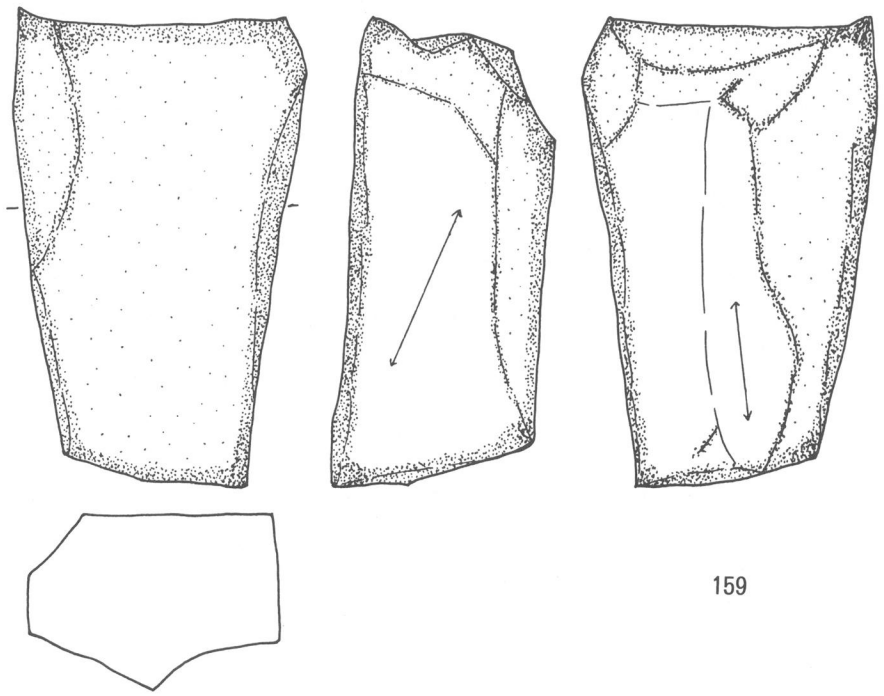
４点が出土している。石質は砂岩３点，泥岩１点である。157はＶ字断面の溝状の使用痕を持つ。157・158は二面を使用しているものであり，158は角柱状を呈する。



図Ⅳ－40　包含層出土石器（11）



図Ⅳ－41　包含層出土石器（12）



図Ⅳ－42　包含層出土石器（13）

表Ⅳ－44　石製品一覧表

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅵ	C－2　e－5	1188	92.7	33.0	9.4	48	緑色泥岩	139	偏平片刃
2	Ⅴ	D－1　a－3	1189	37.7	27.5	6.8	10	緑色泥岩		石斧片，擦り切り痕残る
3	Ⅴ	D－1　d－2	1190	68.7	36.5	11.2	40	緑色泥岩	140	片刃，敲打調整痕残る
4	Ⅴ	D－3　c－4	1191	37.6	39.1	8.1	20	緑色泥岩		両刃
5	Ⅳ	B－5　e－5	1192	72.0	37.7	16.4	76	緑色泥岩	141	両刃
6	Ⅳ	D－2　d－4	1193	170.6	68.2	17.0	182	安山岩	142	打製石斧
7	Ⅳ	D－3　c－5	1194	60.6	26.2	11.5	30	緑色泥岩	143	両刃，剥離調整痕残る
8	Ⅳ	E－4　b－4	1195	25.9	13.8	2.6	2	緑色泥岩		石斧片
9	Ⅲ	A－1　d－5	1196	28.5	17.2	4.6	3	緑色泥岩		石斧片
10	Ⅲ	B－1　c－2	1197	44.3	43.4	8.4	17	緑色泥岩		石斧片
11	Ⅲ	C－2　a－5	1198	103.9	54.4	13.9	140	緑色泥岩	144	偏平片刃
12	Ⅲ	D－3　a－1	1199	28.2	23.4	5.6	5	緑色泥岩		石斧片
13	Ⅲ	D－3　a－1	1200	93.4	32.3	13.8	64	緑色泥岩	145	偏平片刃
14	Ⅲ	D－3　c－2	1201	103.2	43.1	15.7	88	安山岩	146	打製石斧
15	Ⅲ	D－3　c－4	1202	113.2	53.5	14.0	170	緑色泥岩	147	偏平片刃，剥離調整痕残る
16	Ⅲ	F－2　c－3	1203	62.1	40.4	9.6	50	緑色泥岩		基部欠損，偏平片刃
17	Ⅱ	A－3　e－5	1204	76.2	40.8	10.4	70	緑色泥岩		偏平片刃
18	Ⅱ	A－4　b－3	1205	80.5	37.5	19.2	110	緑色泥岩		先端欠損
19	Ⅱ	B－1　c－2	1206	24.6	42.4	26.5	290	緑色泥岩	148	偏平片刃
20	Ⅱ	B－3　c－3	1207	82.9	64.2	40.6	366	緑色泥岩		擦り切り残片
21	Ⅱ	B－3　d－1	1208	101.3	48.0	16.8	158	緑色泥岩	149	偏平片刃
22	Ⅱ	B－5　d－2	1209	54.6	33.4	14.2	42	緑色泥岩	150	両刃，円刃
23	Ⅱ	D－1　c－2	1210	92.2	31.3	14.6	80	緑色泥岩	151	片刃
24	Ⅱ	D－1　d－2	1211	100.9	52.5	21.9	162	緑色泥岩	152	両刃，剥離調整痕残る
25	Ⅱ	E－3　a－1	1212	57.8	41.6	20.3	84	緑色泥岩		基部片
26	Ⅱ	E－4　c－1	1213	93.6	46.6	14.5	112	緑色泥岩		偏平片刃
27	Ⅰ	E－4	1214	124.3	65.7	27.6	462	緑色泥岩	153	偏平片刃，敲打調整痕残る

表Ⅳ－46　すり石一覧表

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅳ	E－3　b－2	1215	121.3	94.2	73.6	1500	安山岩	154	北海道武石冠
2	Ⅲ	E－3　b－4	1216	120.5	59.3	42.0	400	花崗閃緑岩	155	断面三角形
3	Ⅱ	C－4　c－3	1217	147.0	94.5	30.1	620	安山岩	156	半円状偏平打製石器

表Ⅳ－47　砥石一覧表

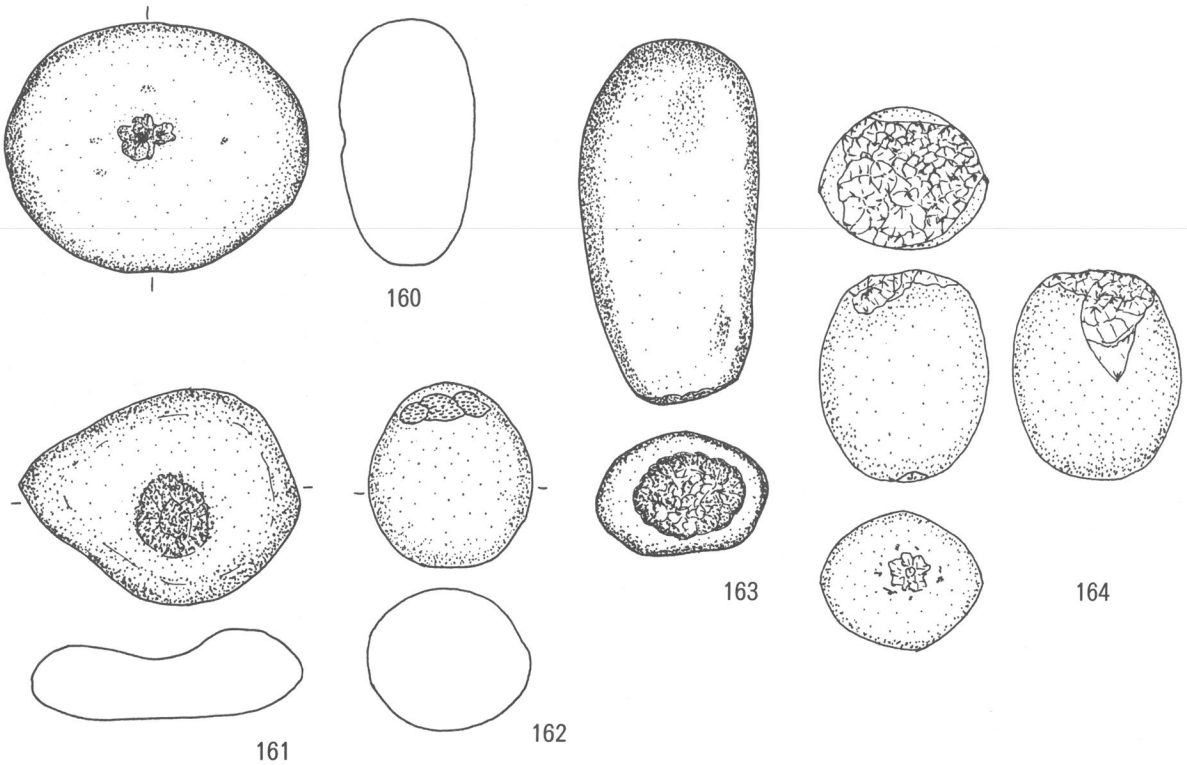
No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅲ	D－3	1218	365.0	255.0	87.8	7800	砂　岩	158	
2	Ⅲ	F－2　c－3	1219	185.0	93.7	60.9	1740	泥　岩	159	
3	Ⅱ	B－1　d－5	1220	43.5	37.4	25.6	550	砂　岩		破片，三面に使用痕
4	Ⅱ	D－1　d－2	1221	132.4	61.6	47.5	372	砂　岩	157	Ｖ字状の使用痕

たたき石

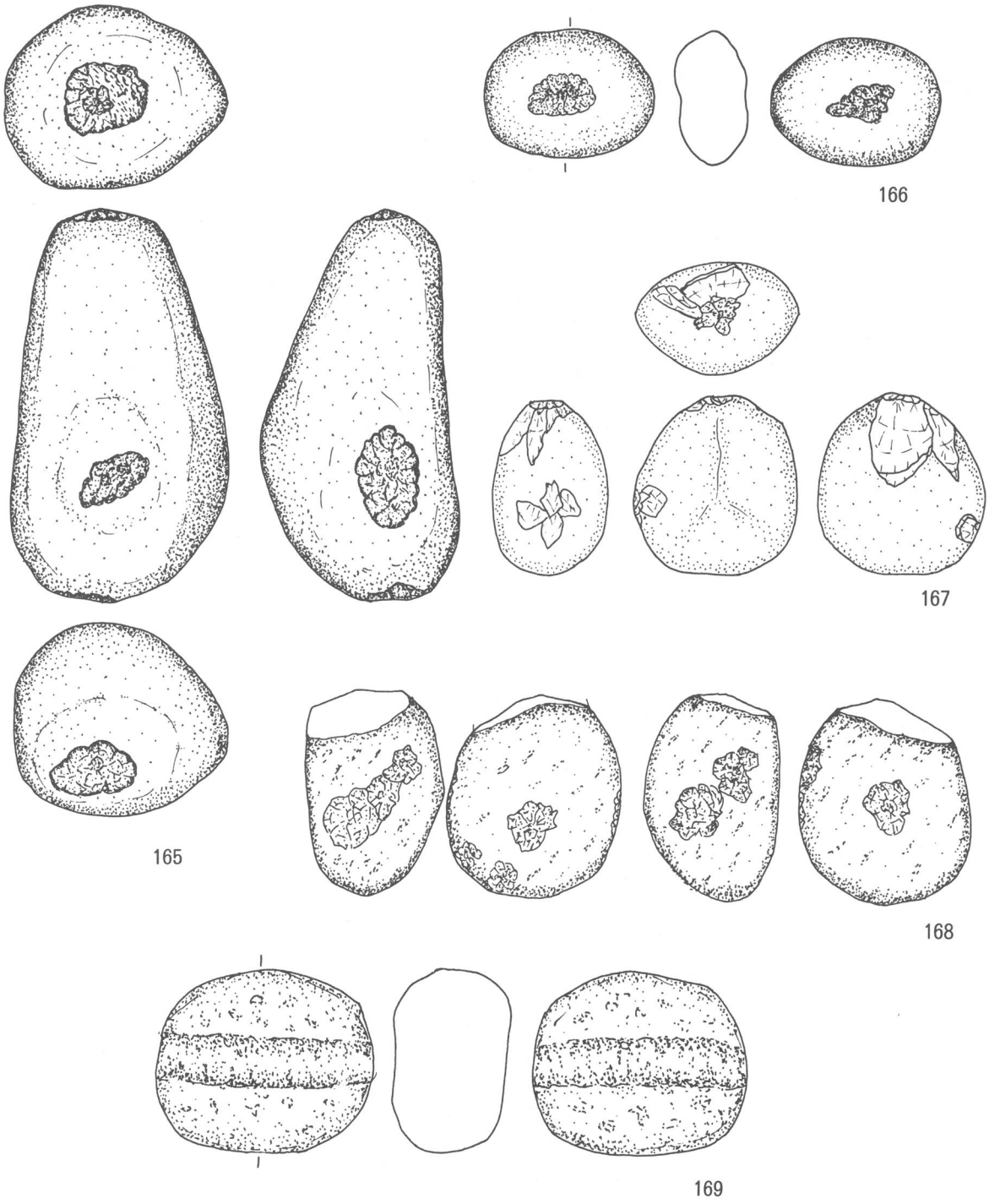
22点が出土している。石質は花崗閃緑岩19点，泥岩３点である。162～164は端部を使用しているもので12点，160・166は面部を使用しているものである。側縁を使用しているものは５点，168は面・側縁に使用痕をもつものである。165・167は端部・側縁に使用痕をもつものである。161はくぼみ石とよばれるものである。

石錘

安山岩製のものが１点出土している。全面が敲打調整されている。また，胴部に溝状の加工が成されているものである。形状は北海道式石冠に類似する。



図Ⅳ－43　包含層出土石器（14）



図Ⅳ－44　包含層出土石器（15）

表Ⅳ－48　たたき石一覧表（1）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅵ	Ｆ－4　ｂ－4	1223	119.7	97.3	52.5	890	花崗閃緑岩	160	一面に敲打痕
2	Ⅴ	Ａ－4　ｅ－2	1224	108.7	86.2	39.3	470	泥　岩	161	くぼみ石
3	Ⅳ	Ａ－5　ｅ－3	1225	142.8	69.7	44.2	730	花崗閃緑岩	163	一端に敲打痕
4	Ⅳ	Ｂ－4　ａ－3	1226	100.9	59.3	43.6	370	花崗閃緑岩		両端に敲打痕
5	Ⅳ	Ｂ－5　ｄ－4	1227	82.1	64.4	56.5	440	泥　岩	164	両端に敲打痕
6	Ⅳ	Ｃ－4　ｃ－2	1228	92.4	70.9	42.8	360	花崗閃緑岩		両端に敲打痕

表Ⅳ－49　たたき石一覧表（2）

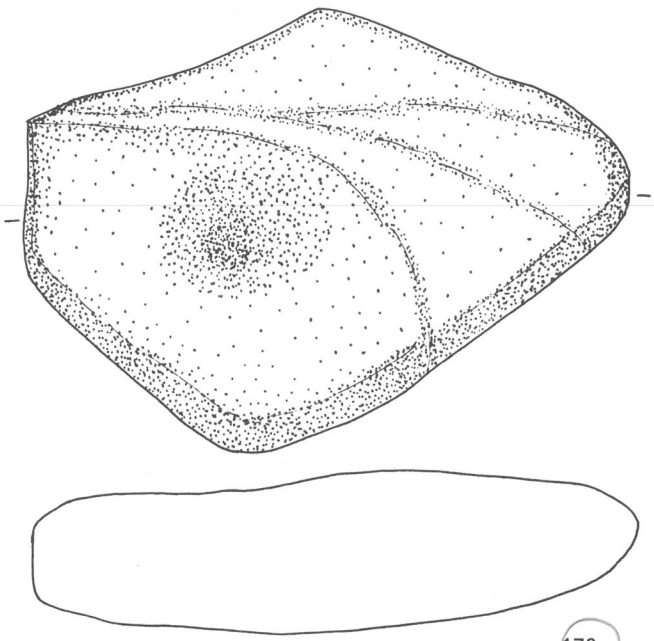
No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
7	Ⅲ	B－4　d－3	1229	79.4	60.8	55.2	380	花崗閃緑岩		側縁に敲打痕
8	Ⅲ	C－1　c－2	1230	73.2	62.7	54.9	350	花崗閃緑岩	162	一端に敲打痕
9	Ⅲ	C－4　a－2	1231	74.6	72.2	52.3	440	花崗閃緑岩		側縁に敲打痕
10	Ⅲ	C－4　e－3	1232	118.0	76.3	49.3	660	花崗閃緑岩		両即縁に敲打痕
11	Ⅲ	E－1　a－4	1233	185.0	94.9	81.4	2250	花崗閃緑岩	165	一端・両側縁に敲打痕
12	Ⅱ	A－2　b－1	1234	78.6	59.9	33.6	210	花崗閃緑岩	166	両面に敲打痕
13	Ⅱ	A－3　b－1	1235	76.8	64.8	44.1	300	花崗閃緑岩		一端に敲打痕
14	Ⅱ	A－4　b－3	1236	85.1	64.4	60.5	480	花崗閃緑岩		一端に敲打痕
15	Ⅱ	A－4　d－1	1237	74.0	86.6	55.1	640	花崗閃緑岩	168	両面・両側縁に敲打痕
16	Ⅱ	A－4　d－4	1238	87.8	53.1	47.9	330	花崗閃緑岩		側縁に敲打痕
17	Ⅱ	C－5　b－5	1239	75.4	55.3	38.2	230	花崗閃緑岩		両端に敲打痕
18	Ⅱ	D－2　b－3	1240	100.3	65.1	51.1	520	花崗閃緑岩		側縁に敲打痕
19	Ⅱ	D－4　b－1	1241	65.8	60.4	40.7	250	花崗閃緑岩		両端に敲打痕
20	Ⅱ	E－1　b－5	1242	83.0	74.9	53.5	420	泥　岩	167	一端・両側縁に敲打痕
21	Ⅱ	E－4　B－1	1243	83.2	68.3	63.2	510	花崗閃緑岩		側縁に敲打痕
22		表　　採	1244	93.7	62.8	29.7	210	花崗閃緑岩		一端に敲打痕

表Ⅳ－50　石錘一覧表

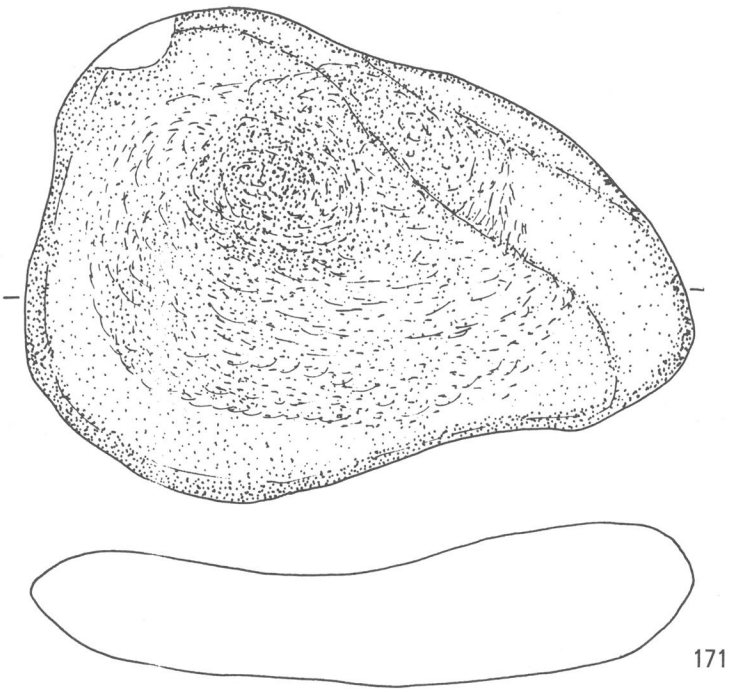
No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1		C－4　c－3	1222	97.8	86.4	51.5	740	安山岩	169	

石皿

4点が出土している。石質は花崗閃緑岩3点，安山岩1点である。いすれも擦り凹んだ使用痕をもつものである。



図Ⅳ－45　包含層出土石器（16）



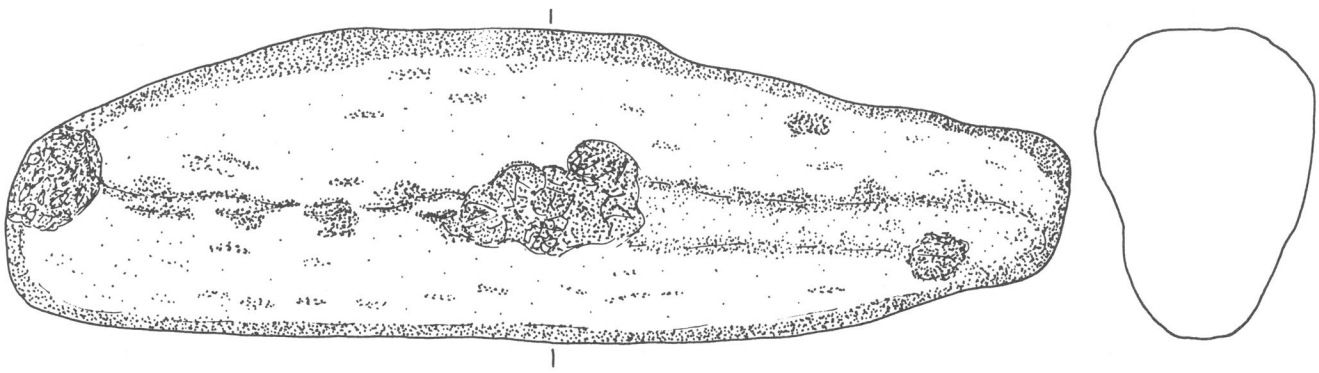
図Ⅳ－46　包含層出土石器（17）

表Ⅳ－49　たたき石一覧表（2）

No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅵ	C－2　e－1	1245	240	165	52	2140	花崗閃緑岩	170	一面に擦り凹み
2	Ⅱ	D－4	1246	348	195	85	6500	安山岩	171	一面に擦り凹み
3		F－3	1247	260	200	53	2580	花崗閃緑岩		一面に擦り凹み
4		表　　採	1248	122	97	58	810	花崗閃緑岩		一面に擦り凹み

台石

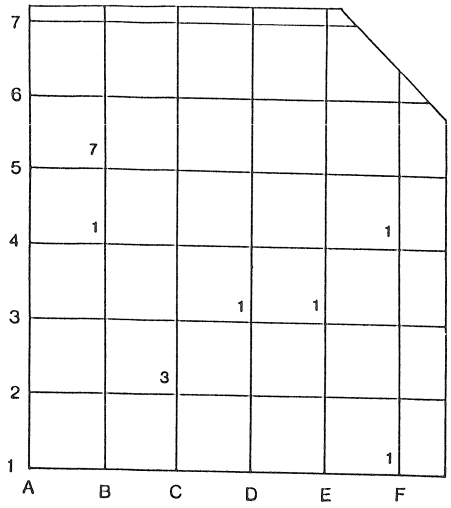
18点が出土している。石質はいずれも花崗閃緑岩である。明瞭な使用痕はみとめられないが出土の状況から台石とし，平坦な面を使用面とした。



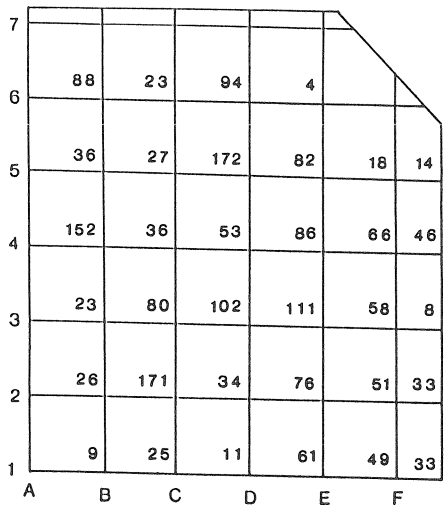
図Ⅳ－49　包含層出土石器（18）

表Ⅳ－52　台石一覧表

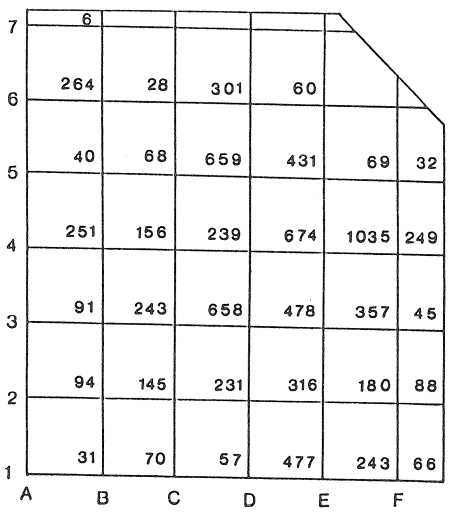
No.	層位	グリット名	遺物番号	長　さ	幅	厚　さ	重　量	石　質	図番	備　　考
1	Ⅴ	C－2　c－1	1249	200	120	53	1760	花崗閃緑岩		一面に使用痕
2	Ⅴ	C－2	1250	324	240	360	15000	花崗閃緑岩		一面に使用痕
3	Ⅳ	C－3　e－5	1251	240	173	70	4500	花崗閃緑岩		一面に使用痕
4	Ⅳ	F－4	1252	230	145	58	3800	花崗閃緑岩		一面に使用痕
5	Ⅲ	C－4　b－5	1253	178	107	51	1370	花崗閃緑岩		一面に使用痕
6	Ⅲ	C－4　d－4	1254	300	194	85	5500	花崗閃緑岩		一面に使用痕
7	Ⅲ	D－3　b－5	1255	278	195	27	2030	花崗閃緑岩		一面に使用痕
8	Ⅲ	D－3　c－4	1256	500	320	100	13500	花崗閃緑岩		一面に使用痕
9	Ⅲ	D－4	1257	233	158	130	5580	花崗閃緑岩		一面に使用痕
10	Ⅲ	E－3	1258	133	122	41	810	花崗閃緑岩		一面に使用痕
11	Ⅱ	B－3	1259	345	120	107	5800	花崗閃緑岩		一面に使用痕
12	Ⅱ	C－3　a－1	1260	224	210	86	6700	花崗閃緑岩		一面に使用痕
13	Ⅱ	D－1　b－1	1261	165	113	78	1530	花崗閃緑岩		一面に使用痕
14	Ⅱ	D－1　e－5	1262	295	155	123	8800	花崗閃緑岩		一面に使用痕
15	Ⅱ	E－4	1263	415	150	85	5500	花崗閃緑岩	172	一面に使用痕
16	Ⅱ	E－4　a－3	1264	260	150	72	2550	花崗閃緑岩		一面に使用痕
17	Ⅱ	E－4　d－2	1265	133	103	68	1450	花崗閃緑岩		一面に使用痕
18	Ⅱ	E－4　d－2	1266	370	238	78	5300	花崗閃緑岩		一面に使用痕
19	Ⅰ	C－1	1267	234	112	81	2050	花崗閃緑岩		一面に使用痕



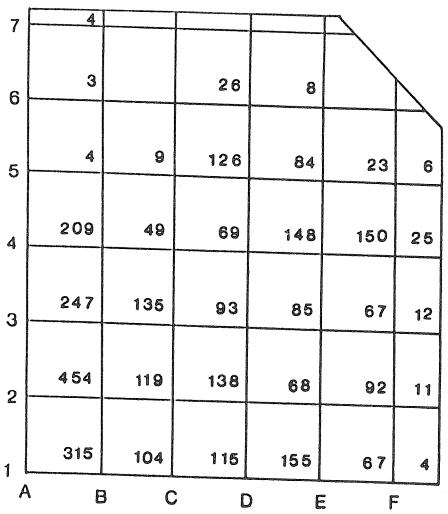
Ⅰ群土器



Ⅱ群土器

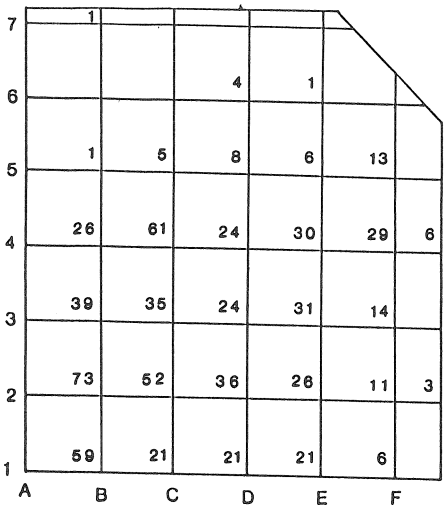


Ⅲ群土器

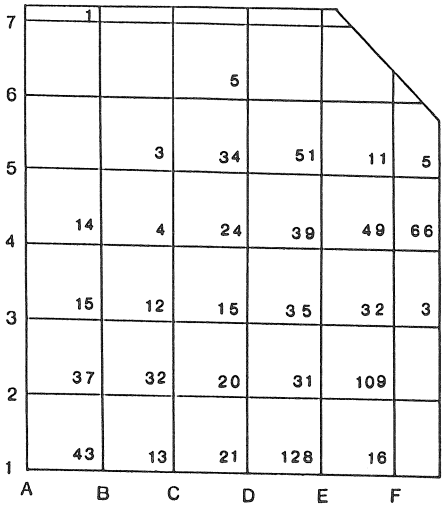


Ⅳ群土器

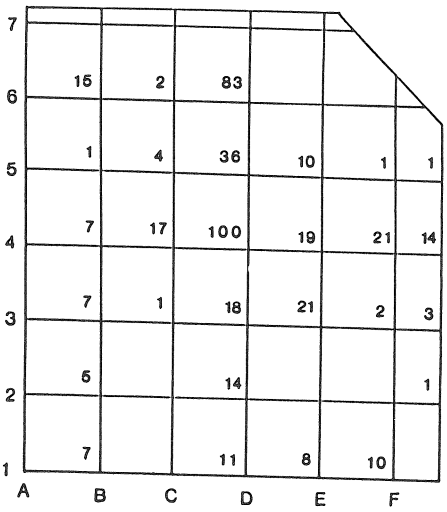
図Ⅳ－48　包含層遺物分布（1）



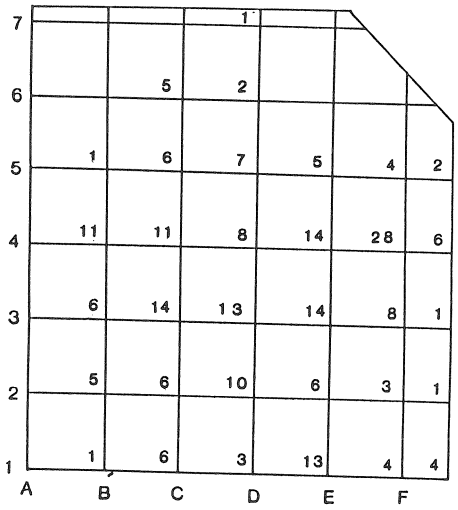
石銛



石錐

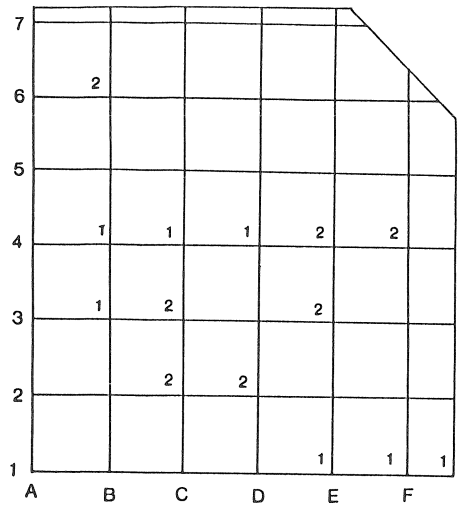


楔石器

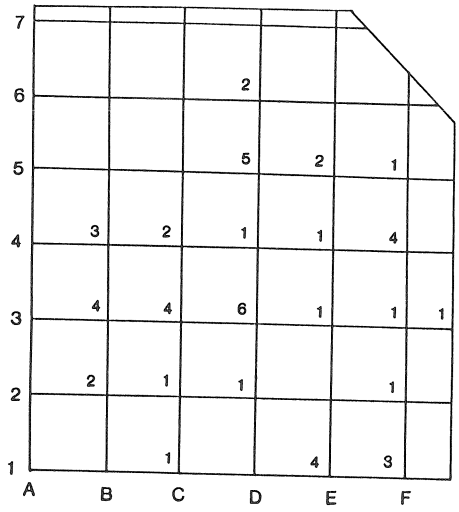


抉入石器

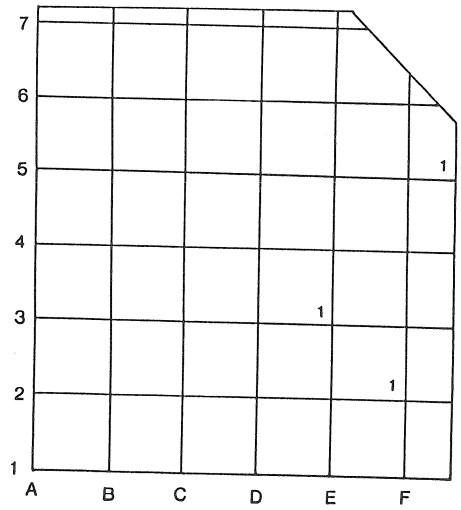
図Ⅳ－49　包含層遺物分布（2）



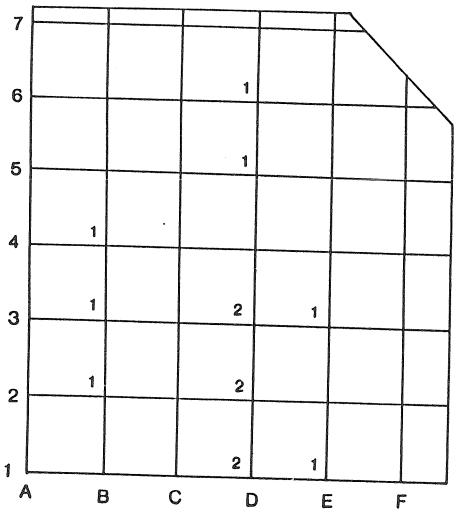
Ⅳ群 a 類土器



Ⅳ群 b 類土器

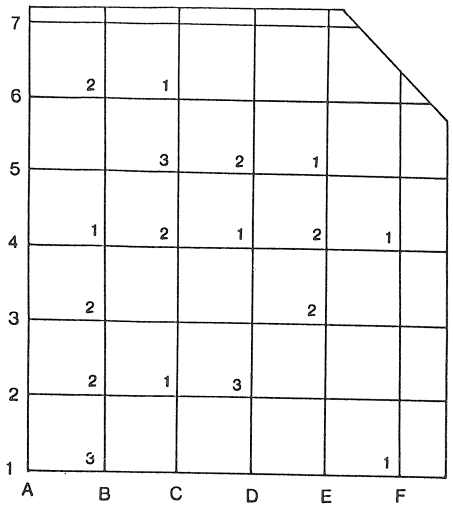


Ⅴ群土器

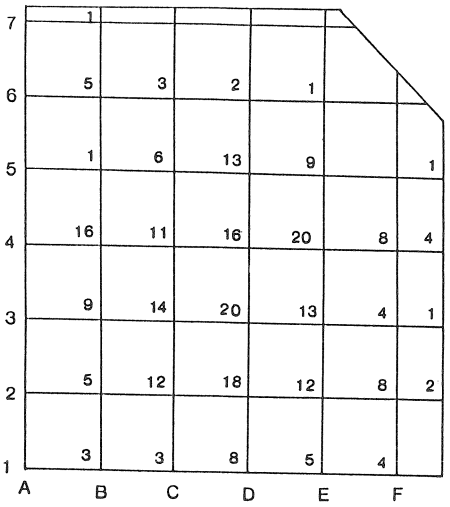


石鏃

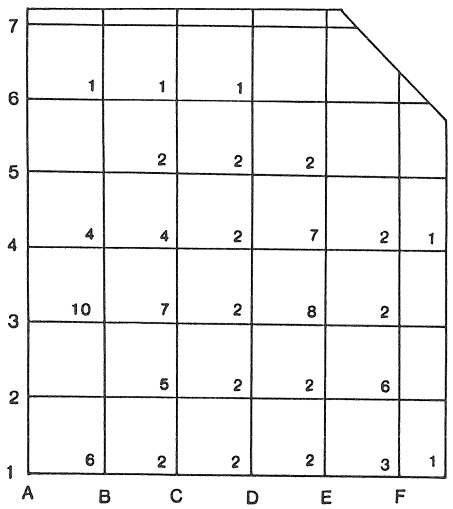
図Ⅳ－50　包含層遺物分布（3）



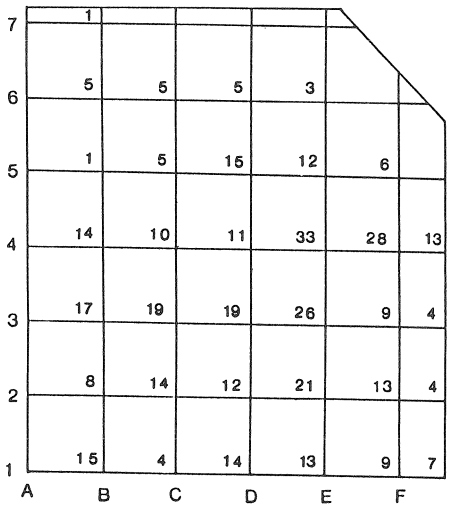
つまみ付きナイフ



削器

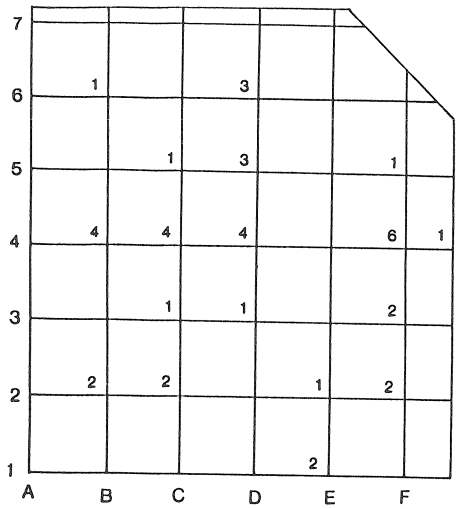


掻器

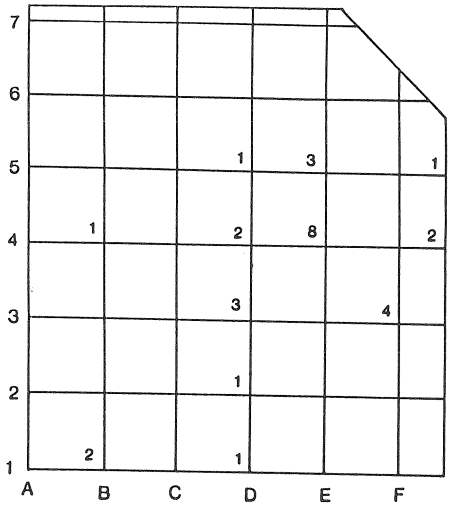


Rフレイク

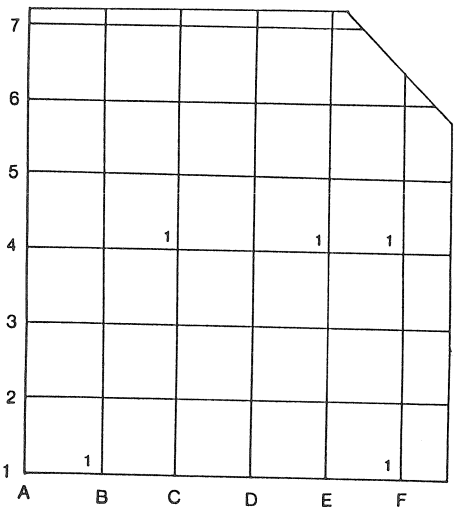
図Ⅳ－51　包含層遺物分布（4）



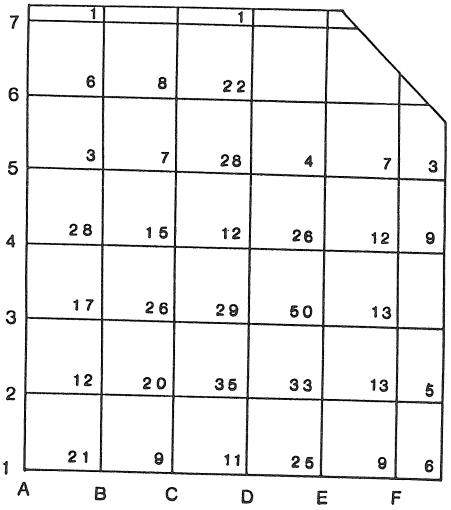
Uフレイク



石核

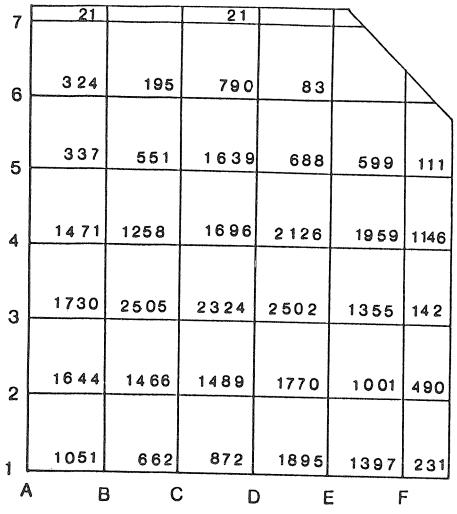


石製品

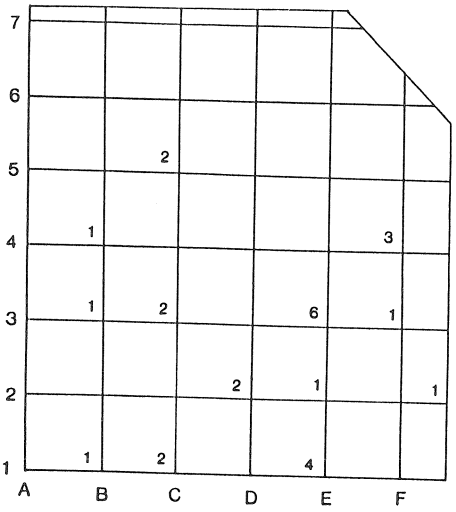


原石

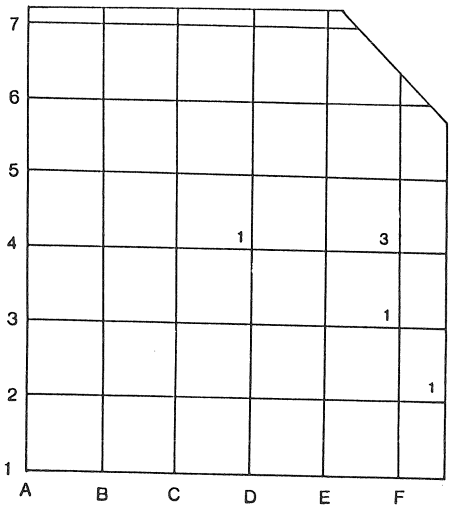
図Ⅳ－52　包含層遺物分布（5）



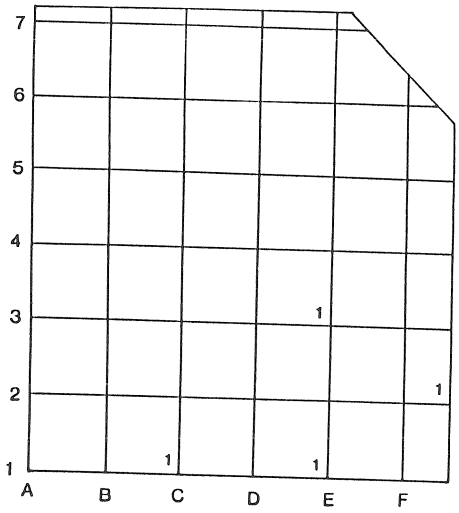
フレイク・チップ



石斧

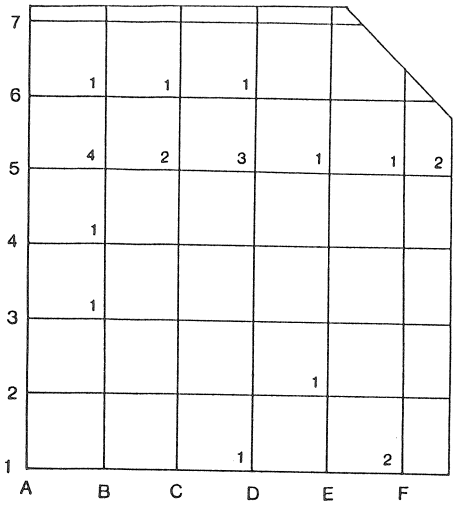


すり石

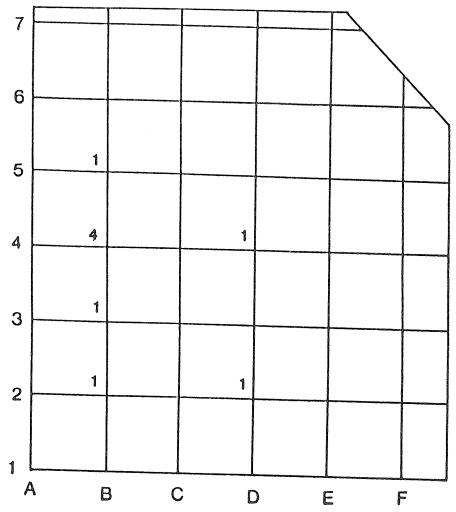


砥石

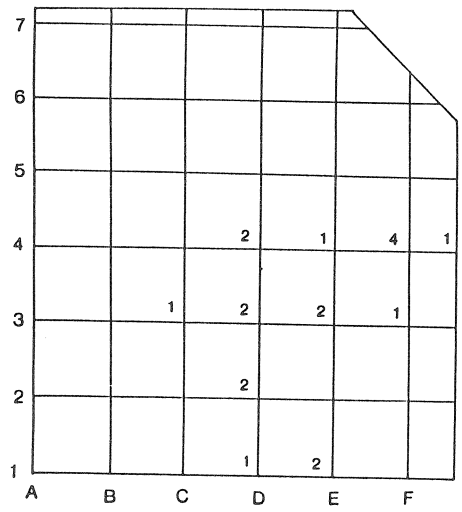
図Ⅳ－53　包含層遺物分布（6）



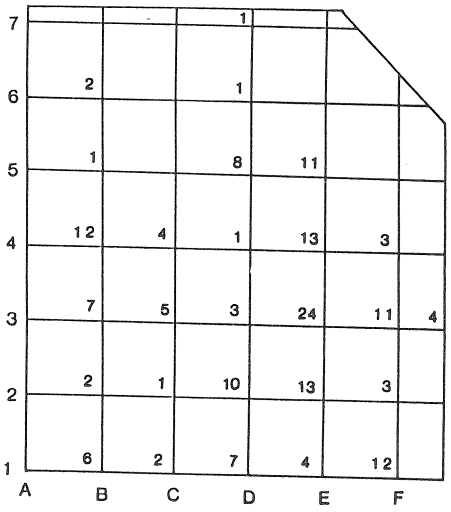
たたき石



石皿



台石



焼礫

図Ⅳ－54　包含層遺物分布（7）

第V章　関　連　科　学

青苗B遺跡から出土した炭化種子について

＊吉崎昌一・＊＊椿坂恭代

1）遺跡の調査の概要

遺跡の名称：青苗B遺跡
遺跡の所在地：奥尻町字青苗
調査期間：平成9年5月6日～同年7月4日
調査主体：奥尻町教育委員会
担当者：木村　哲朗
遺跡の年代：縄文時代後期，縄文時代晩期，続縄文時代初頭～前葉，擦文時代.

2）扱った資料

分析資料として依頼された炭化植物は，続縄文時代初頭から前葉に編年される大狩部式，兜野式，恵山式を伴う骨片集中地点B－10・11・13に関連するものである。これらの地点は，いずれも砂丘状に位置しているため，間層を挟んで上下に明確に異なった土器形式の差を認めることは困難であるらしい。

検出された各骨片集中遺構からは土壌は採取され，フローテーション法で処理されている。その後，第1次選別作業で種子以外のものを除去し，残りの植物種子が分析用として送付されてきた。これを分類し，実態顕微鏡と走査型電子顕微鏡で観察と撮影をおこなった。各遺構から出土した炭化種子は極めて少量であった。伴出遺構，層準，時期，種類，数量などの情報を加えて一覧表に作成しておいた（図V－1）。

3）分析結果

分析に耐えた植物種子は図V－1に示すように，破片を入れて15個しかない。形態その他で分類してみると，ヒエ属Echinochloa Beauv.種子がB－11から1粒，マタタビ属Actinidia Iindl.種子の破片がB－13から1点，ウルシ属Rhus L.の種子の破片がB－11から1点，ブドウ属Vitis L.の完形のものがB－11から1粒と破片が10点，他に破片がB－10から1片抽出された。

4）ヒエ属種子の問題

検出されたヒエ属の種子（図版－1，1a～c）を見ると，形態的にはイヌビエEchinochloa crus-galli Brauv.と異なり，胴部が膨らんだタイプで，側面から観察するとその厚さはイヌビエより厚い。

資料は1例しかないので明確な結論を得るのは難しいかも知れぬが，形態的にはいわゆる縄文ヒエより後世のヒエEchinochioa utilis Ohwi et Yabuno.に類似するものである（椿坂：1993）。大きさは長さ1.5㎜，幅は1.3㎜，厚さは0.7㎜を計る。同属のヒエは，北海道埋蔵文化財センターが発掘した渡島管内の上磯町茂別遺跡で続縄文時代前半のものに伴出した（吉崎・椿坂：1998）。東北地方では，北海道の大狩部式相当期の直前と思われる土器形式（砂沢式土器，東北地方の専門家は弥生文化に属する，と考えている）を出土した青森県八戸市八幡遺跡12号住居においてイネ，アワ，キビ，コムギ，オオムギなどの栽培種とともに検出されている（吉崎：1992）。こうした状況を考慮すれば，北海道西南部の続

縄文文化は，北辺の弥生文化として位置ずけられるのではないか。土器の形態や文用の類似などからも，そう考えるのが合理的である。

続縄文文化や北辺の弥生文化の実態分析を通じて，概念の再検討が必要なのであろう。

引用文献

椿坂恭代

1993：アワ・ヒエ・キビの同定．“先史学と関連科学”261～281．吉崎昌一先生還暦記念論週刊行会

吉崎昌一

1992：青森県八幡遺跡12号立て穴から検出された雑穀類とコメほかの植物種子．小笠原善範　編集　八戸市埋蔵文化財報告書第47集　“八幡遺跡発掘報告書Ⅱ平成４年度”59－73，八戸市教育委員会

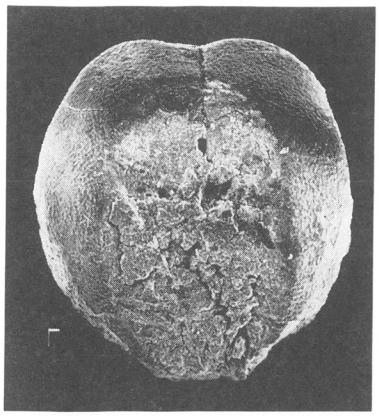
吉崎昌一・椿坂恭代

1998：茂別遺跡より出土した炭化植物種子について．㈶北海道埋蔵文化財センター調査報告書　第121集“上磯町　茂別遺跡”第２分冊　84－99．財団法人　北海道埋蔵文化財センター

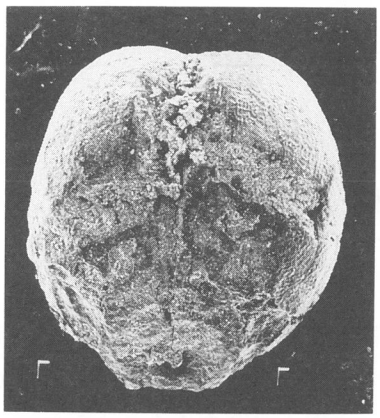
＊札幌国際大学　＊＊北海道大学埋蔵文化財調査室

表Ⅴ－1　青苗Ｂ遺跡出土炭化種子表

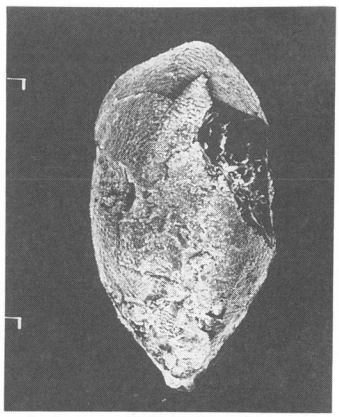
土壌採取遺構	層位	時期	ヒエ属（粒）	マタタビ属（片）	ウルシ属（片）	ブドウ属（粒）	ブドウ属（片）
骨片集中範囲－10（石組炉）	Ⅱ層下位	縄文時代初頭～前葉					1
骨片集中範囲－11	Ⅱ層	縄文時代初頭～前葉	1		1	1	1
骨片集中範囲－13	Ⅱ層	縄文時代初頭～前葉		1			
			1	1	1	1	11



1a　ヒエ属 背面



1b　ヒエ属 腹面



1c　ヒエ属 側面

2a　ブドウ属 背面　　2b　腹面

第Ⅵ章　総　　括

本遺跡からは，極めて多くの遺構・遺物が出土した。そこで，各時代毎にその状況を見てゆきたい。

１．縄文時代中期

本遺跡に於て最も古い時期の遺物として円筒上層の図Ⅳ－１の１が認められるが　摩耗が著しく，もともとこの地点にあったものであるかどうかは疑わしい。それに対し，明らかに当地点に持ち込まれたものとしては図Ⅳ－１の３がある。この土器は突瘤文と内面に施された縄文を特徴とするもので北筒式ないし余市式に近いものと考えられる。時期的にはノダップⅡ式～レンガ台式などに相当するものと考えられる。当該期の遺跡である青苗遺跡Ｃ地区，Ｆ地区では多量のノダップⅡ式，レンガ台式など在地系の土器が検出されているが，本遺跡では破片で２・３点ほどしか出土していない。遺跡全体からすれば一部分の調査のためで明確なことは言えないが，この土器の所有者が何らかの理由で伝統的な生活の場である段丘上を避け，砂丘上に住み分けするかたちで居住していた可能性がある。

２．縄文時代後期

この時期は前葉では遺物は数少なく，入江式の破片が散見される程度であるが，中葉になると俄かに遺物量が増える。図Ⅳ－１の14は手稲式と考えられる土器で底部以外はほぼ完形となったものである。この他，当時期と考えられるもので16・17のような円形刺突文を施したものも認められている。

それに続くホッケマ式相当期ではかなりの遺物がＶ層を中心に検出されている。Ｖ層は他の層位と異なる特徴として石鏃や石銛が多いが，比較的フレイク・チップは少ない。また，土器片は多いものの復元個体は余り多くない。唯一の完形土器は図Ⅳ－２の22がある。この当りを含むＥ・Ｆ－４グリットには当時期の遺構が残っており，焼土２ケ所を始め，炭化物集中範囲１ケ所，台石１点が認められ，周辺に骨片も散在している。場の状況などから動物を解体加工する作業場の可能性がある。また，遺跡の中央部を走る沢状の地形の認められる辺り（図Ⅱ－３）からは，多くのホッケマ式土器片や，未製品を含めた石鏃・石銛・抉入石器が出土している。このことは，当時この地点が狩猟生活における重要なスポットであったことを物語っているものといえよう。

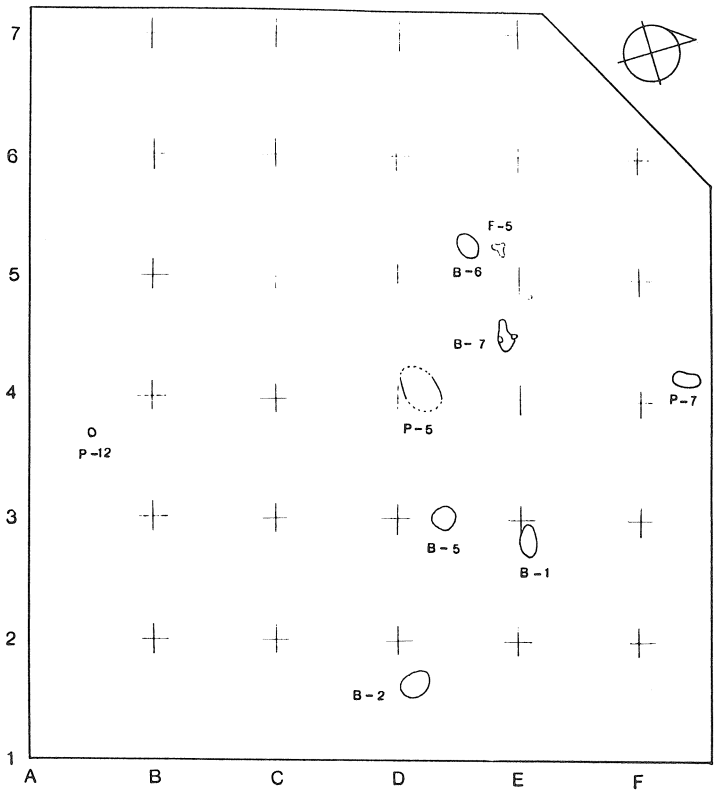
縄文時代後期後葉では，堂林式，御殿山式などが散見されるが，その多くは破片であり少量がⅣ・Ｖ層から検出されている。

３．縄文時代晩期

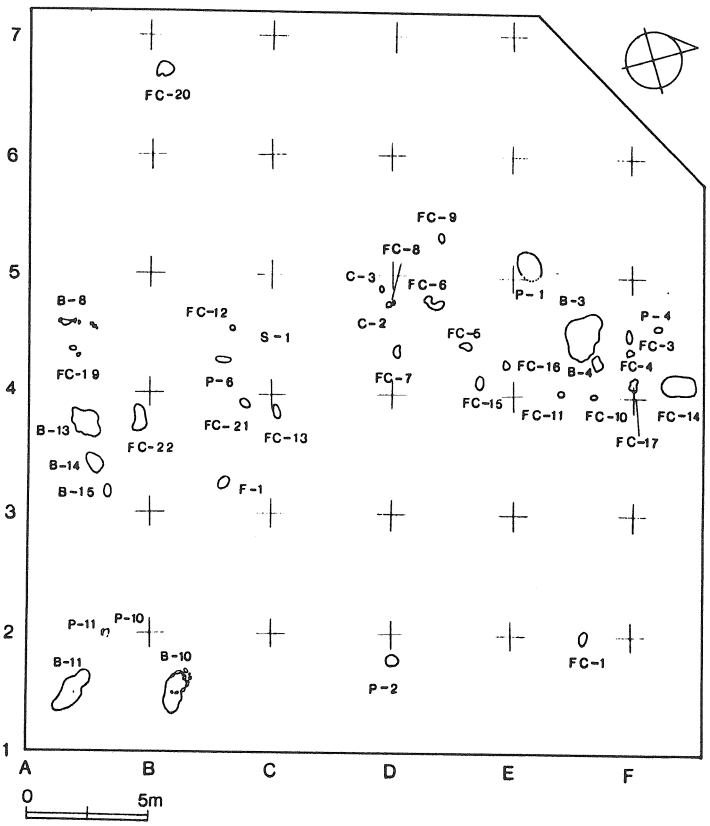
当時期では多くの，遺構，遺物が検出されている。その大半が縄文時代晩期前葉の１種，つまり上ノ国式に属するものである。遺構は５基の骨片集中範囲が確認された。そのうち，４基からは大型の礫が伴い，それぞれ，台石のような役割を担っていた可能性がある。骨片は比較的細かいものが多い。Ｂ－７では，その南側に接して焼土が１ケ所検出され，何らかの関わりが考えられる。なお，これらの骨片集中のなかで最も骨片の遺存度の高かったのはＢ－６であり，土器も多量に出土，骨片は土器片の下などに沢山検出され，一括廃棄したものである可能性がある。出土した骨片の種類はＢ－１が鳥骨，Ｂ－５・６がアシカ科の海獣骨，Ｂ－７でホッケ骨が多く出土する傾向があり，なんらかの，場の使い分けがなされていたのかもしれない。なお，これらの遺構は沢状の地形（図Ⅱ－１）に沿って分布しており（図Ⅵ－１），当時の遺構が沢水と密接に関わっていたことを物語る。

同時期の２種，つまり大洞Ｂ式相当の土器も本遺跡では少なからず見つかっている。分布は発掘区体にまばらに認められ，分布上の偏りは明確に認められない。遺構は明確に判断できるものはないが，Ｐ－７から同２種の破片と考えられる土器が発見されていること，形状が大洞式を伴う土壙墓の形状に似て

縄文時代晩期



続縄文時代



図Ⅵ－１　時期別遺構分布図

いること，西隣のグリットから図Ⅳ－13の231が出土していることなどから，Ｐ－７が２種に伴う遺構の可能性がある。

４．続縄文時代

この時期は遺構，遺物ともに最も多くが検出されている。遺構は土壙５基，骨片集中範囲９ケ所，フレイク・チップ集中範囲20ケ所である。当時期の土器はⅣ群ａ類（青苗Ｂ式，大狩部式，兜野式，トニカ式，東歌別式など）と，ｂ類（砂沢式相当のものや，南川Ⅲ群・Ⅳ群）であり，遺構もほぼこの時期に該当するものである。なお，ａ類とｂ類の層位的な差は明確に捉えることができなかった。

当時期の特徴は９ケ所もの骨片集中範囲と20ケ所ものフレイク・チップ集中範囲があることで，当時期のこの地点が海産物や剥片石器類の加工を行う作業場であったことを物語っている。

骨片集中範囲はＡ－１グリットにＢ－11，Ａ－３グリットにＢ－13，14，15，Ａ－４グリットにＢ－８，９，Ｂ－１グリットにＢ－10，Ｅ－４グリットにＢ－３，４が検出されている。特徴的なことは，沢状の地形を境に南側は７ケ所が分布し，北側には２基のみである（図Ⅵ－１）ことである。また，南側では石組の伴うもの１基，ほぼ円形の焼土の伴うものが３基認められている。出土した骨片についても，南側のものからはＢ－10からはアイナメが，Ｂ－11・13についてはカレイ類が特徴的で，カサゴ類が少ない。これに対し，北側のＢ－３は石組，焼土は認められず，骨片はカサゴ類が目立ち，アイナメやカレイ類が認められないという違いがある。カサゴ類が磯魚で沿岸で磯釣りの対象となっているのに対し，カレイ類が砂底，礫底で捕る魚であることを考えると，南側の骨片集中範囲を遺したのは少なくとも船をだして漁をする集団である可能性が高いと考えられる。

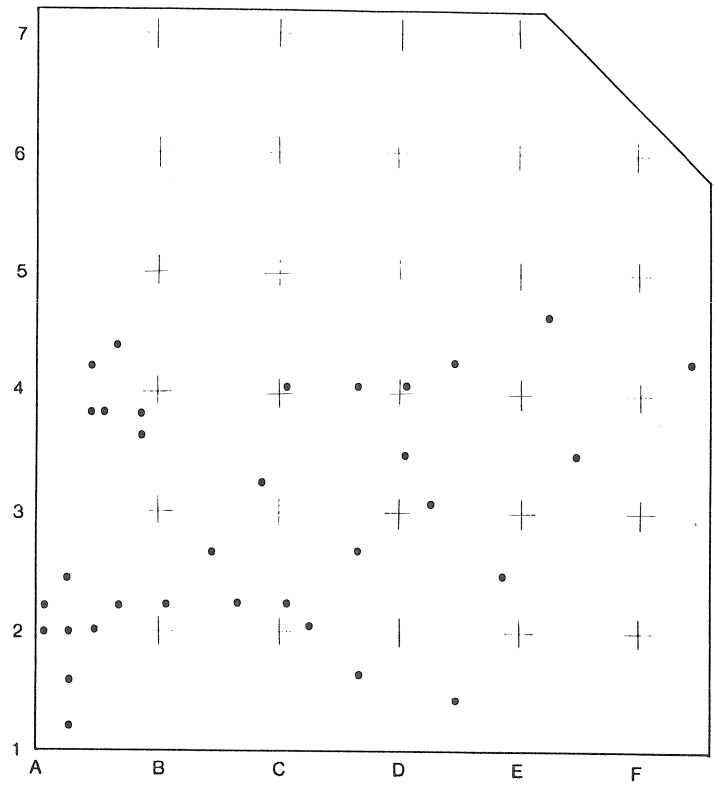
一方，フレイク・チップ集中範囲も，沢状の地形を境に分布状況が異なる傾向が認められる。

北側では，Ｆ・Ｃ－１・３～11・14～17が分布する。Ｆ・Ｃ－１を除くとＤ－４～６グリットやＥ・Ｆ－４グリットに分布が集中し，計14ケ所もの集中範囲が認められる（図Ⅵ－１）。この地区での各集中範囲は粗いフレイクが出土する地点から，細かいチップが出土するなど様々な段階のものが存在し，各集中範囲により場を使い分けていたものと考えられる。各集中範囲のフレイク・チップは一塊に接合するものはなく，Ｆ・Ｃ－７のものが原石面のあるフレイクを中心に部分的に接合したにすぎなかった。Ｆ・Ｃ－７は原石面を剥がし取る作業を行っていたと考えられるが，他のフレイク・チップ集中範囲においても一部のフレイクどうしが接合したのみであることから，本遺跡の作業場である程度の調整を行ったのち，本体はもち出されたものと考えられる。恐らく，ここで奥尻特産の頁岩の原石を利用しやすいように加工し，本体を“輸出”していたものと推測される。なお，この中にあってＦ・Ｃ－４は若干状況が異なる。ここでは細かいチップが多く，頁岩に対し黒曜石の比率が高い。このことから４は石器の細部調整をおこなった場所と考えられ，他の地点とは逆に，輸入した黒曜石のフレイクなどから，何らかの石器を作っていたと考えられる。また，Ｆ・Ｃ－４の属するＥ－４区やＦ－４区のⅡ層からは安山岩製のフレイクが集中て出土している。この安山岩も，奥尻産のものであり，ここで何らかの加工を行っていた可能性がある。Ｄ－４～６区やＥ・Ｆ－４区は奥尻特産の頁岩や安山岩の原石を加工し，輸入した黒曜石を二次加工するなど，石器の素材をめぐる交易と加工の場と位置付けられよう。

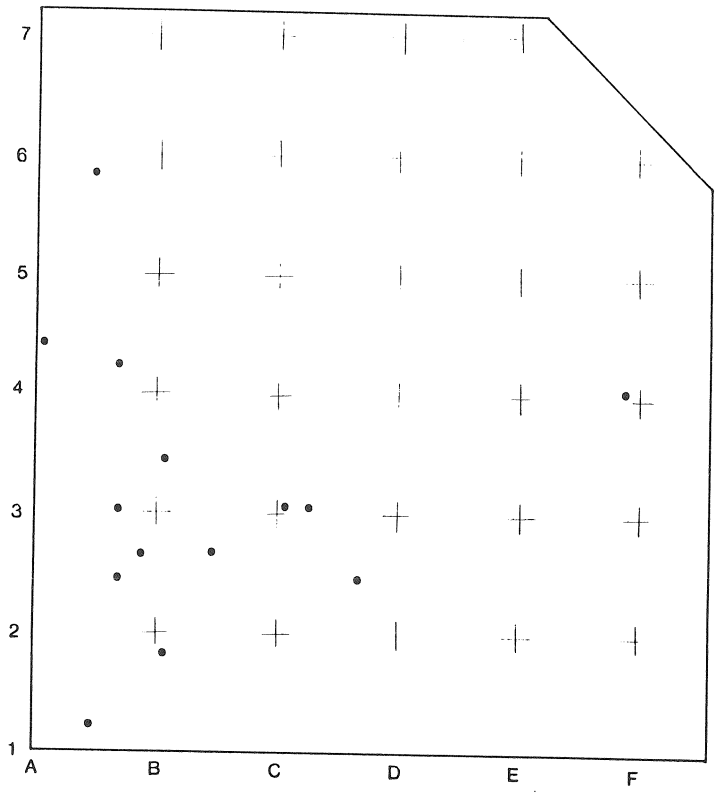
一方，南側は，Ｆ・Ｃ－12・13・19・21・22が認められる（図Ⅵ－１）が，Ｆ・Ｃ－12は同じ位の大きさのフレイクが１ケ所にまとめて置かれていた状況であり，19は極めて小範囲，22は，唯一骨片集中範囲から復元土器が出土し，一括廃棄場と考えられるなど，石器加工場的な様相を呈する場所が少ないのが特徴である。

このことは同じ縄文時代初頭～前葉でありながら沢状地形を挟んで異なる作業領域として機能していたことを示すものと言える。北側が石器の加工に関わる作業域であるのにたいし，南側は海産物の解体と加工の領域であると考えらよう。なお，Ⅱ層において掻器と焼礫が南側に，台石と原石が北側に分布が偏っている。これらも沢状地形を堺にした場の在り方の違いを反映したものと考えられる（図Ⅵ４～８）。

1種

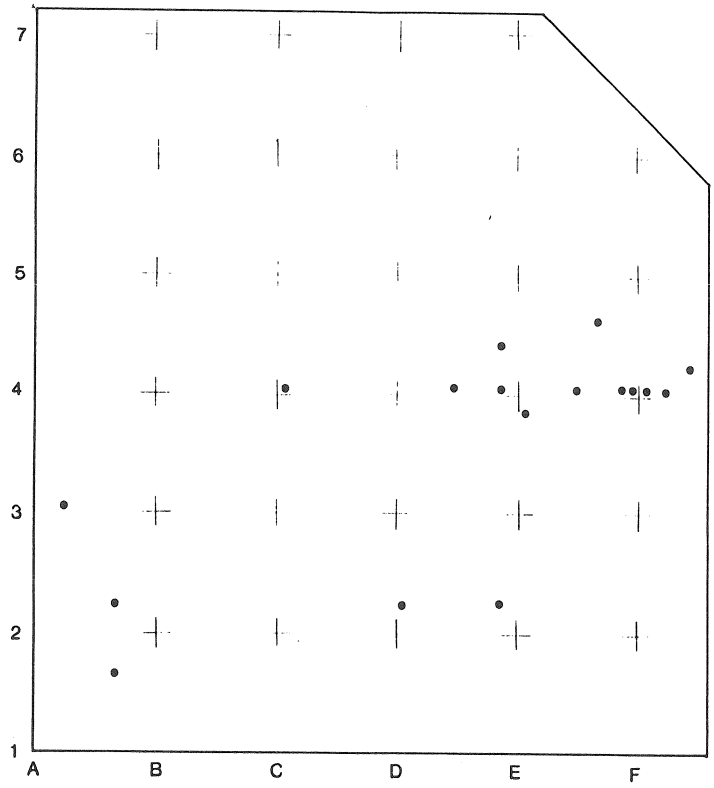


2種

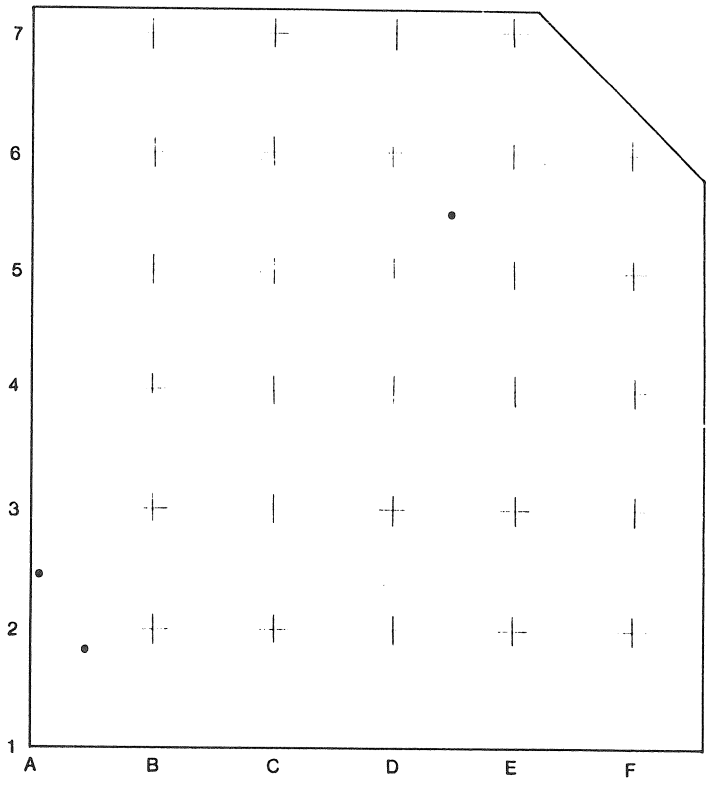


図Ⅵ－２　Ⅳ群ａ類土器分布

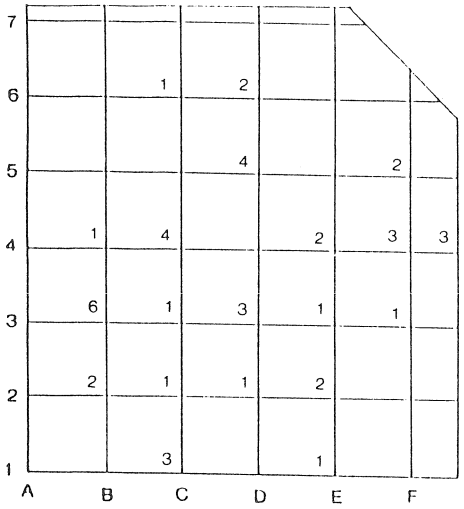
1種



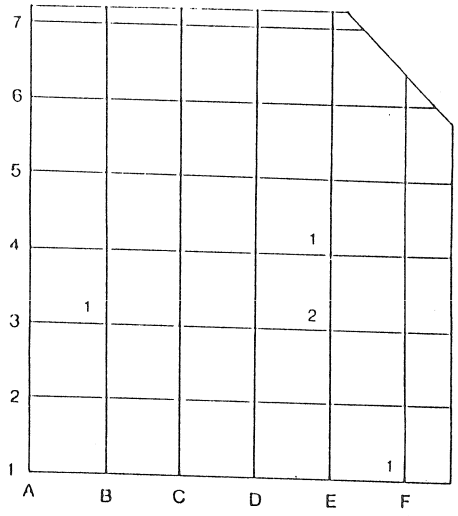
2種



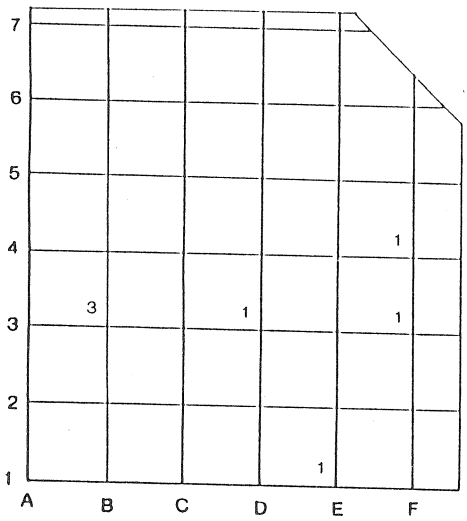
図Ⅵ－３　Ⅳ群　類土器分布



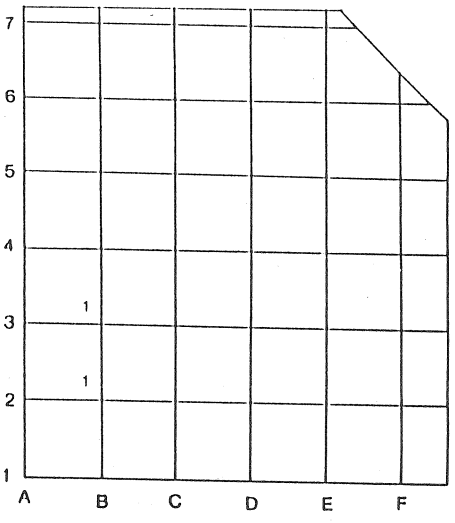
石鏃



石銛

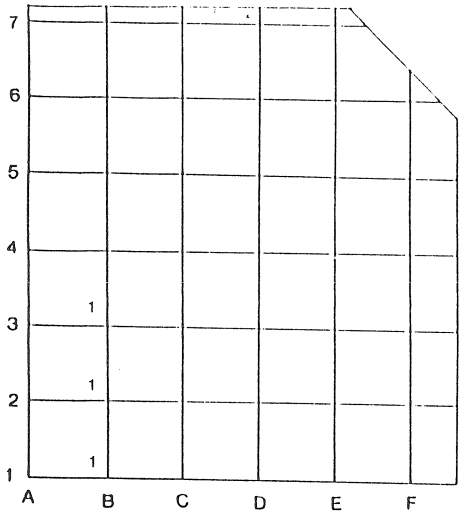


石錐

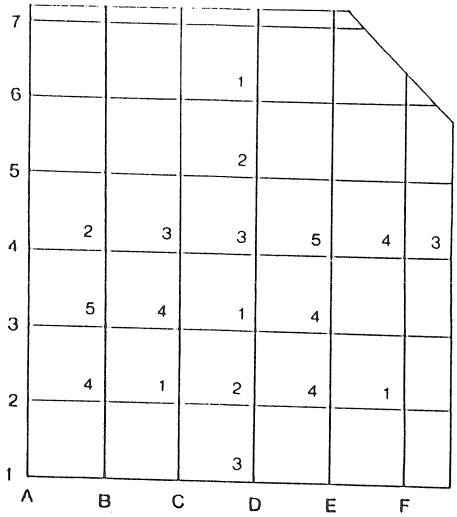


抉入石器

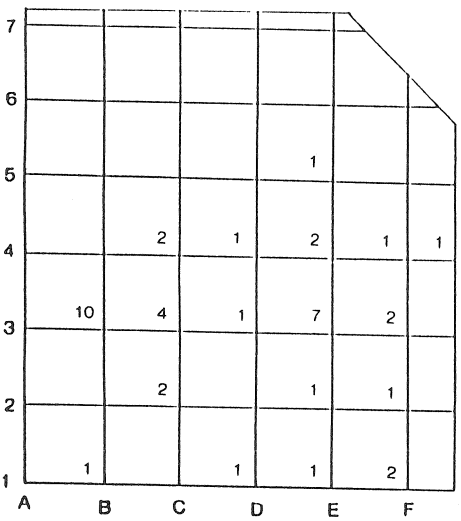
図Ⅵ－４　Ⅱ層出土遺物分布（１）



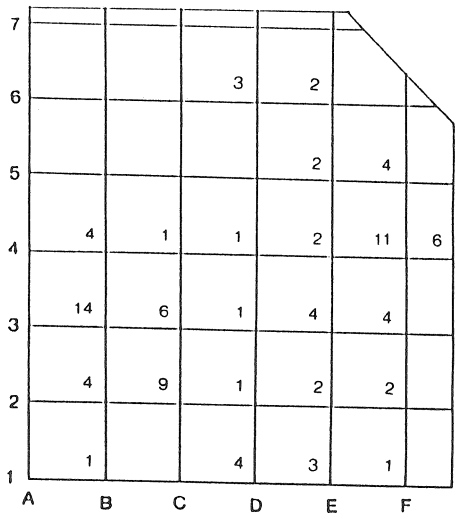
つまみ付きナイフ



削器

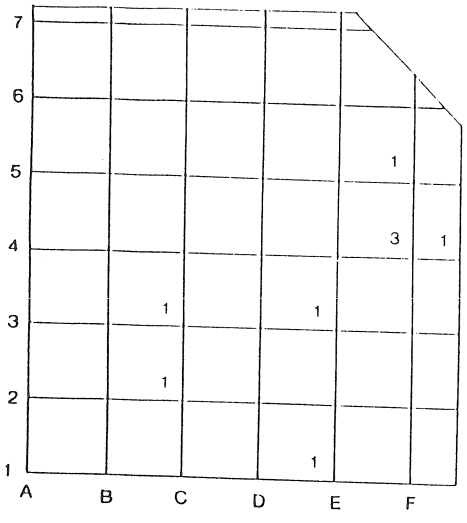


掻器

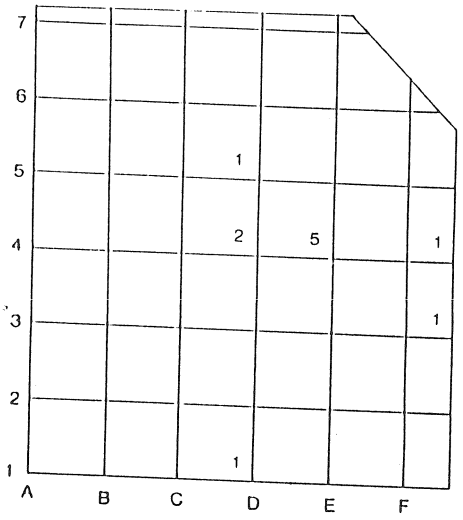


Rフレイク

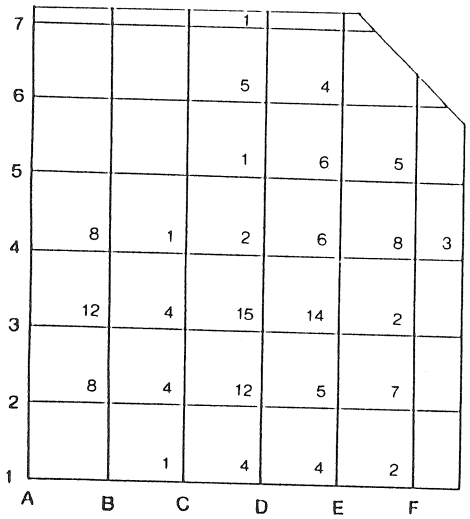
図Ⅵ－５　Ⅱ層出土遺物分布（２）



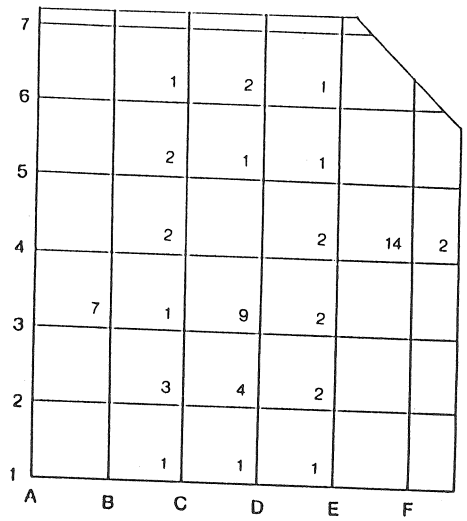
Uフレイク



石核

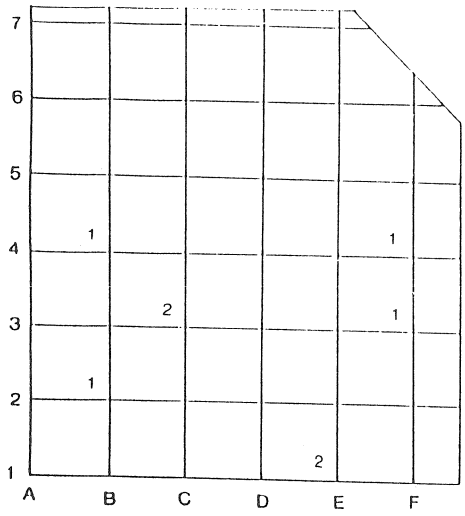


原石

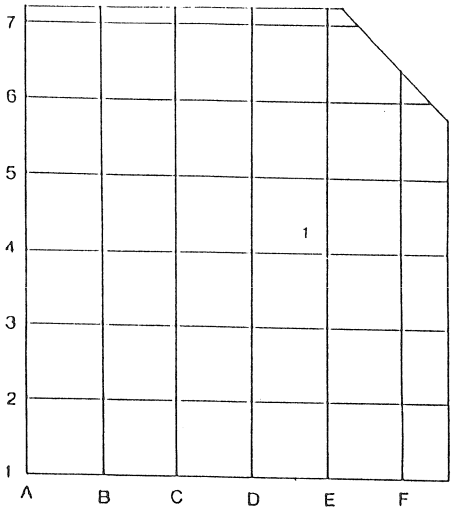


フレイク・チップ（安山岩）

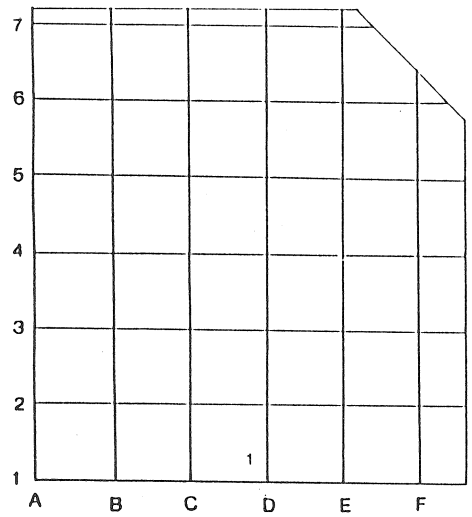
図Ⅵ－6　Ⅱ層出土遺物分布（3）



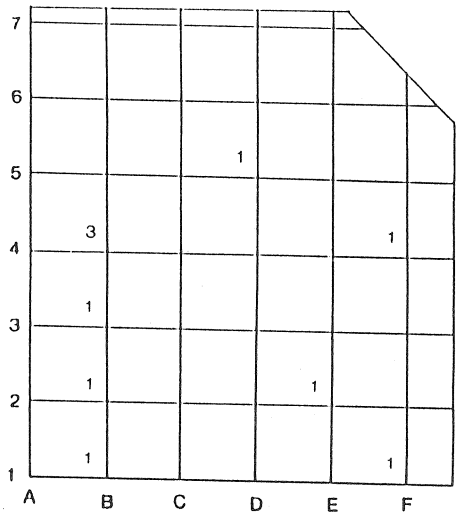
石斧



すり石

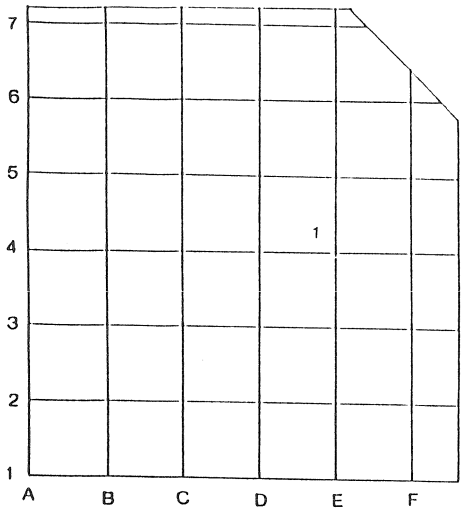


砥石

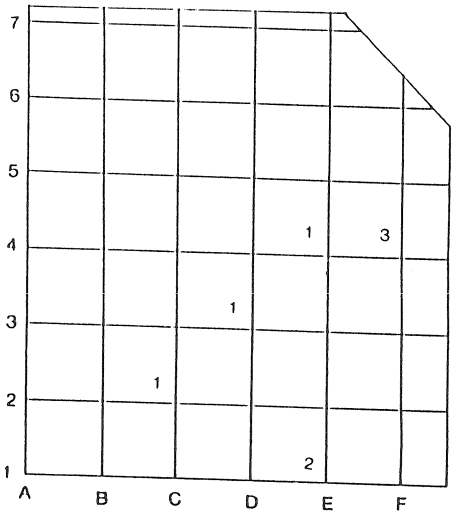


たたき石

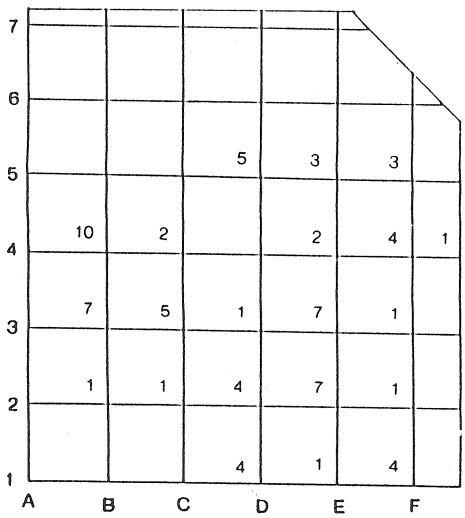
図Ⅵ－７　Ⅱ層出土遺物分布（４）



石皿



台石



焼礫

図Ⅵ－８　Ⅱ層出土遺物分布（５）

土器の分布傾向においても，このような場のあり方に相関するような分布を示すものがある。

図Ⅵ－２及び３はⅣ群土器のうち，復元土器の最大破片もしくは最も破片が出土した小グリットを１個体につき１箇所点を落とし，各種別に主要な土器の分布傾向を示したものである。

Ⅳ群ａ類１種はＡラインにその分布の中心があり，南側がその分布の中心であるが，北側にも比較的ランダムに分布しており沢状の地形を境にした場の状況の差は明確に認められない。それに対し，Ⅳ群ａ類２種の分布は明らかに南側の“海産物の解体と加工の領域”と重なり，注目される。

一方，Ⅳ群ｂ類では１種がＤ～Ｆ－４区に分布が偏り，北側の“石器の加工に関わる作業域”とほぼ一致する。このことからⅣ群ａ類２種と“海産物の解体と加工の領域”及びⅣ群ｂ類１種と“石器の加工に関わる作業域”が沢状の地形を境にある種の場の規制のもとで対峙していたことを示唆するものと言えよう。標高からみると，“石器の加工に関わる作業域”は“海産物の解体と加工の領域”よりも標高が高く海成段丘の斜面に近い。このことは背後に迫る貝塚台地や“沢”を介して石器の原石を採集できる内陸へと向かうのに好都合だったからと思われる。一方，標高の低い“海産物の解体と加工の領域”は眼前に広がる砂丘を介して海に開かれていたと考えられる。そして，この砂丘を舞台にそれぞれ異なる系譜に属するひとびとが，自分たちの特技を生かしつつ活動し，活発な交易活動を行なっていたと考えられるのである。

南川Ⅳ群に相当するⅣ群ｂ類２種土器は，復元土器が３点と少なく，１種に認められるような場の規制も確認できない（図Ⅵ－３）。この時期では当地点が人間の生活の場として頻繁に利用されなくなってきたことを示すものと言える。理由として，弥生海進の進行の影響による生活域の減少などが考えられるかもしれない。

５．擦文時代

当時期の包含層はⅡ層の上位であるが，その殆どは消失しており，遺構もＰ－３が１基のみである。Ｐ－３の性格は不明である。当時期の出土土器は背後の山本台地や貝塚台地より出土したものと同時期のものが出土し，両台地より続く擦文時代後期の生活の場があったものと考えられる。

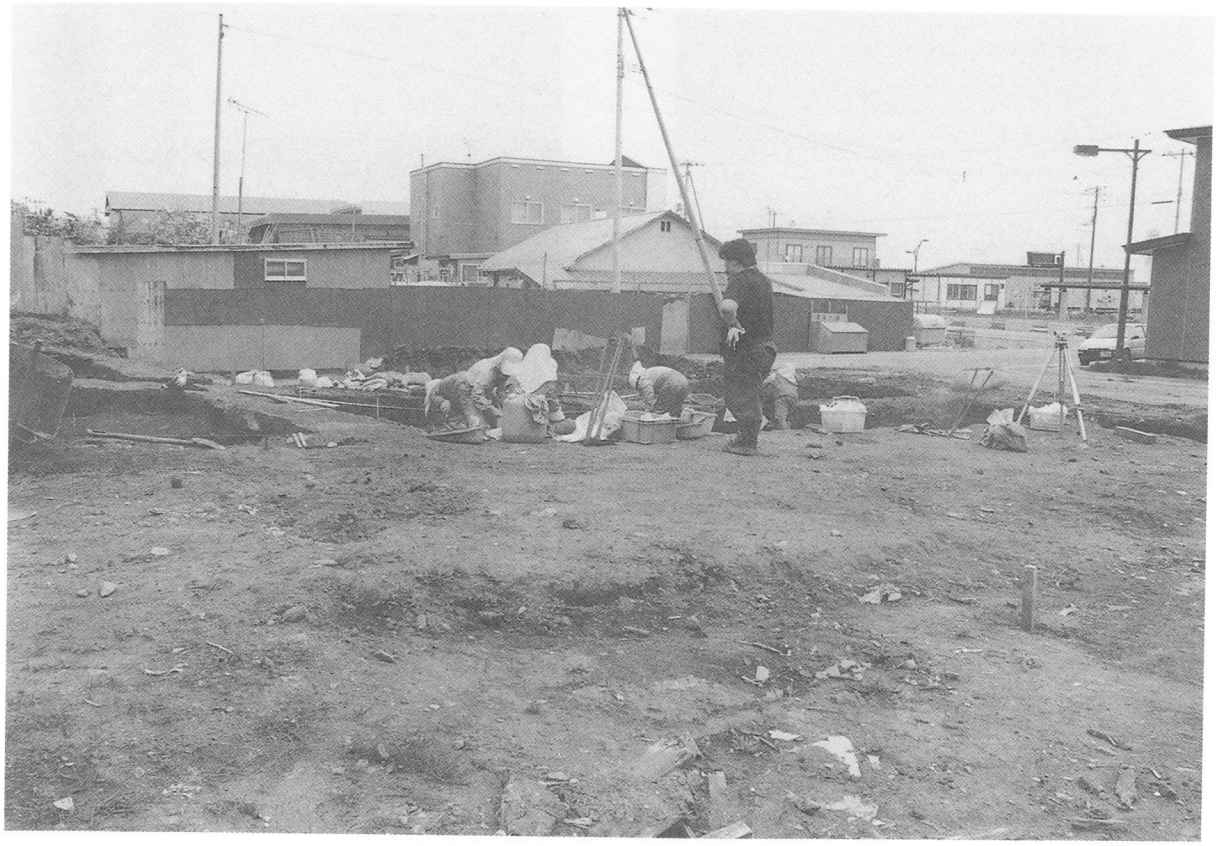
「引用参考文献」

木村哲朗	1997	「青苗遺跡（Ｆ地区）」奥尻町教育委員会
木村哲朗・石橋孝夫	1995	「堀株神社遺跡」泊村教育委員会
佐藤忠雄	1978	「奥尻島米岡第２遺跡」奥尻町教育委員会
佐藤忠雄	1981	「奥尻島青苗遺跡」奥尻島教育委員会
佐藤忠雄	1982	「奥尻島松江遺跡」奥尻町教育委員会
田部　淳	1996	「ヘロカルウス遺跡Ｅ～Ｇ地点」泊村教育委員会
田部　淳	1997	「ヘロカルウス遺跡群」泊村教育委員会

写　真　図　版

図版1

遺　跡　全　景



発　掘　風　景

図版2

P－1

P－2

P－3

P－4

P－5

P－5　セクション

P－6

図版３

P－7

P－10・11

P－12

B－2

B－3

図版４

Ｂ－６

Ｂ－８

Ａ４　グリット骨出土状態

Ｂ－10

Ｂ－10　石組出土状態

図版5

FC－4

FC－5

FC－6

FC－7

FC－8

FC－9

FC－12

FC－13

図版6

FC－15

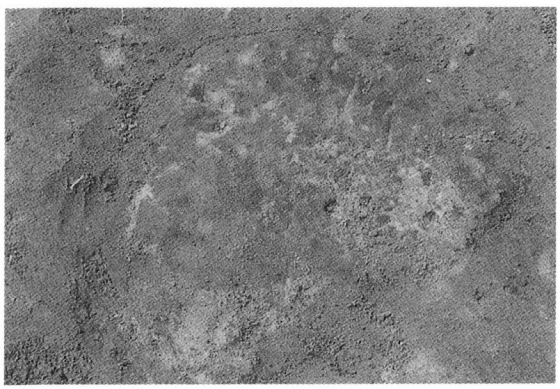
FC－16

FC－17

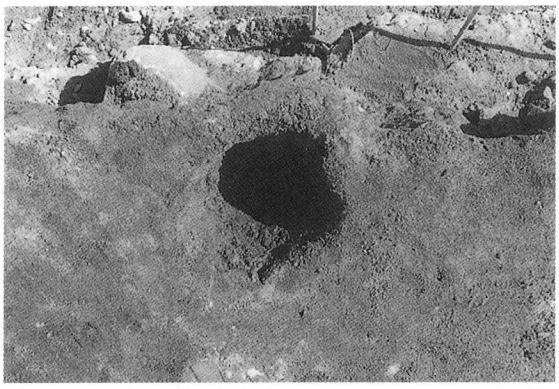
FC－20

FC－21

S－1



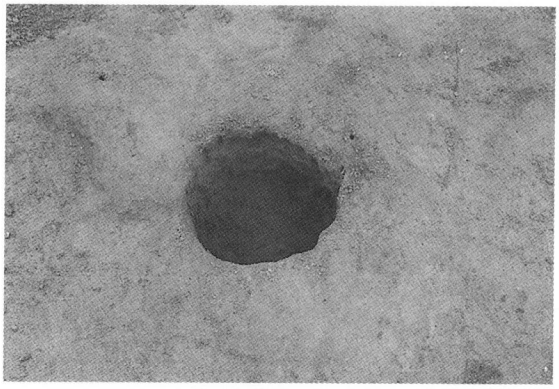
C－1



SP－6

図版7

SP－7・8



SP－12

SP－13

SP－14

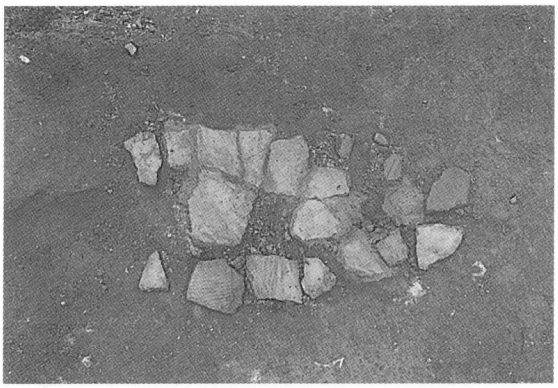
FC－16とⅣ群b類土器出土状況

図版８

Ⅱ群ｂ類土器出土状況

Ⅲ群ａ類土器出土状況

Ⅲ群ａ類土器出土状況



Ⅳ群ａ類土器出土状況

Ⅳ群ｂ類土器出土状況

Ⅴ群土器出土状況

砥石出土状況

台石出土状況

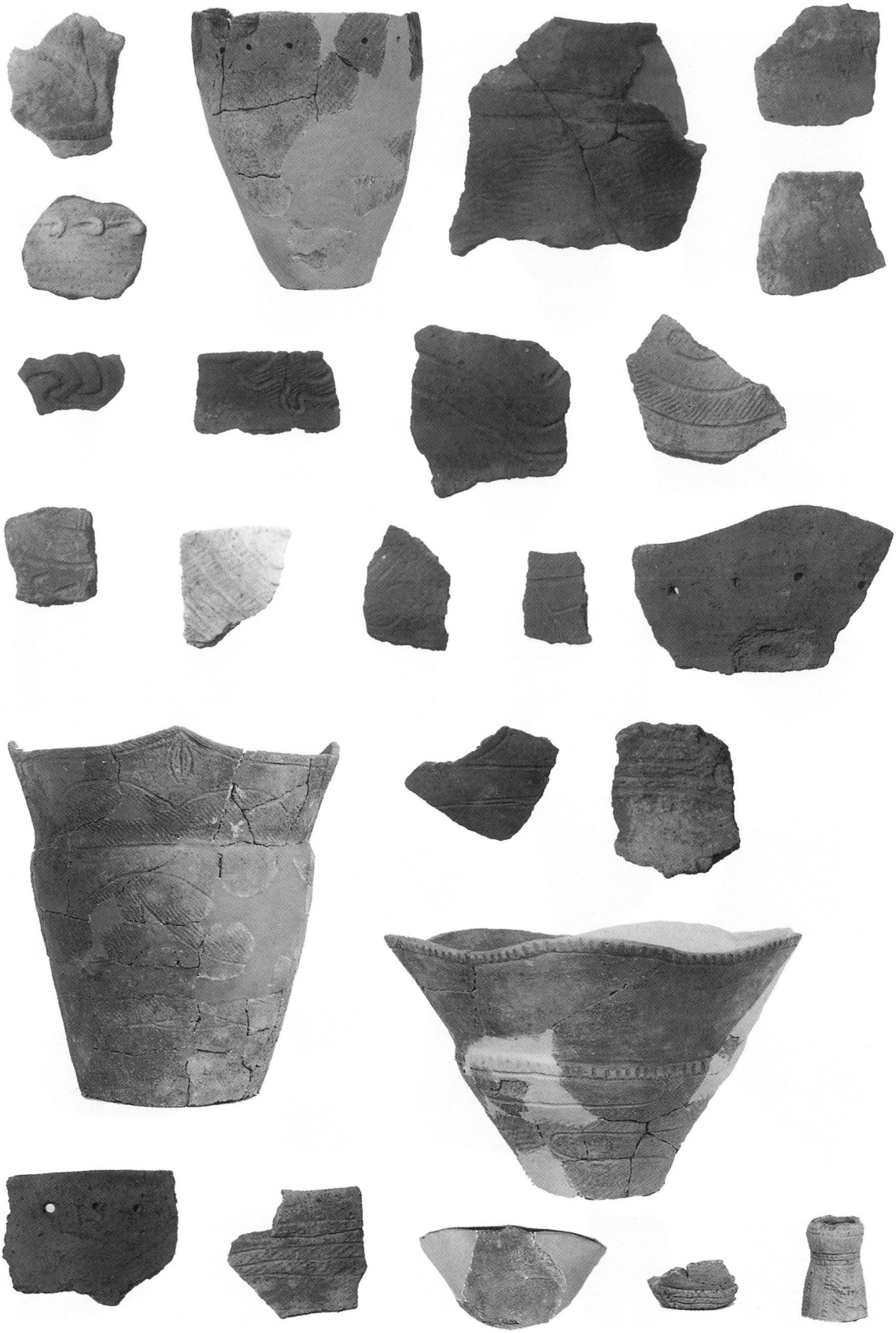
図版９

遺構出土遺物（１）

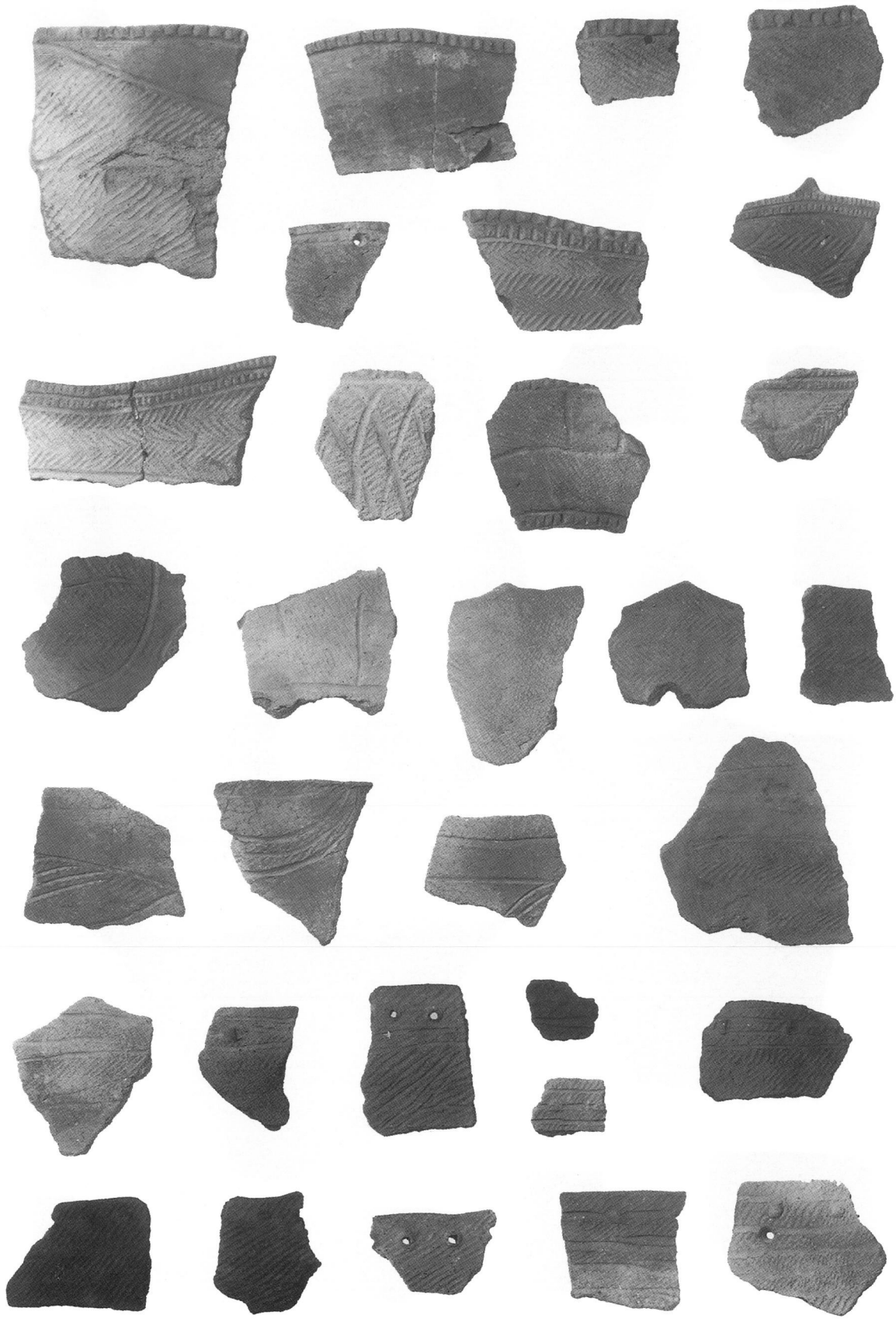
図版10

遺構出土遺物（2）

図版11

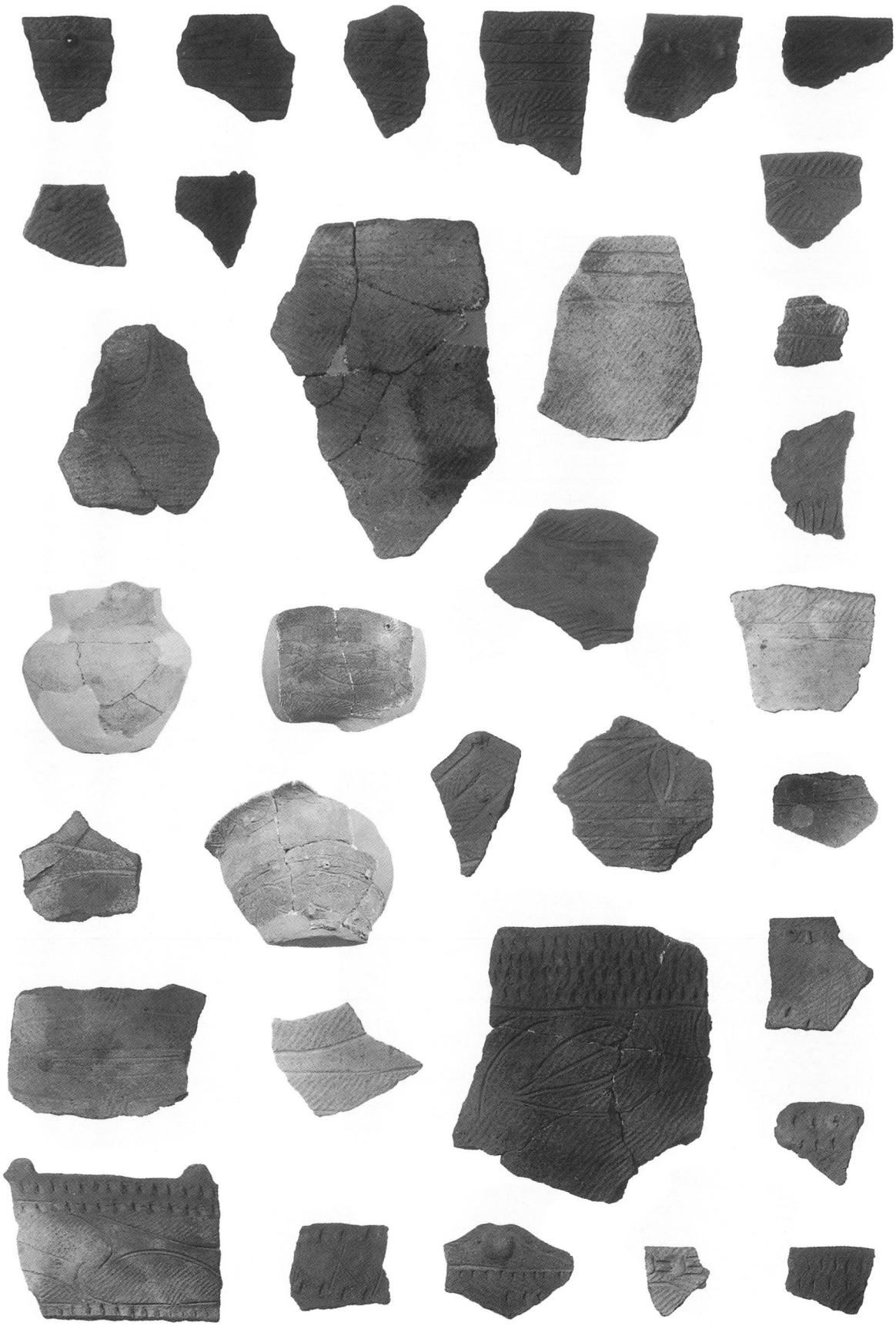


包含層出土土器（1）

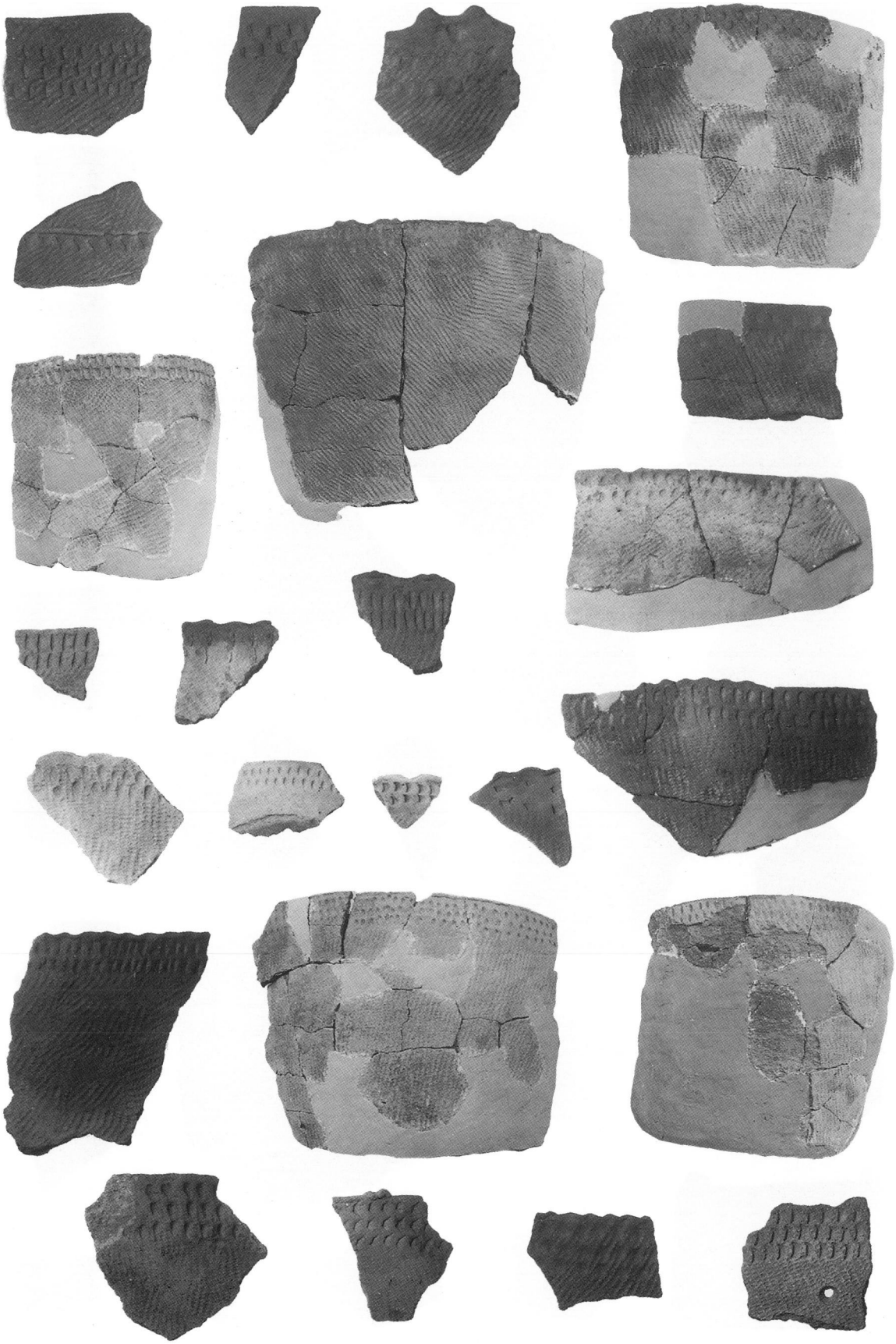


包含層出土土器（2）

図版13

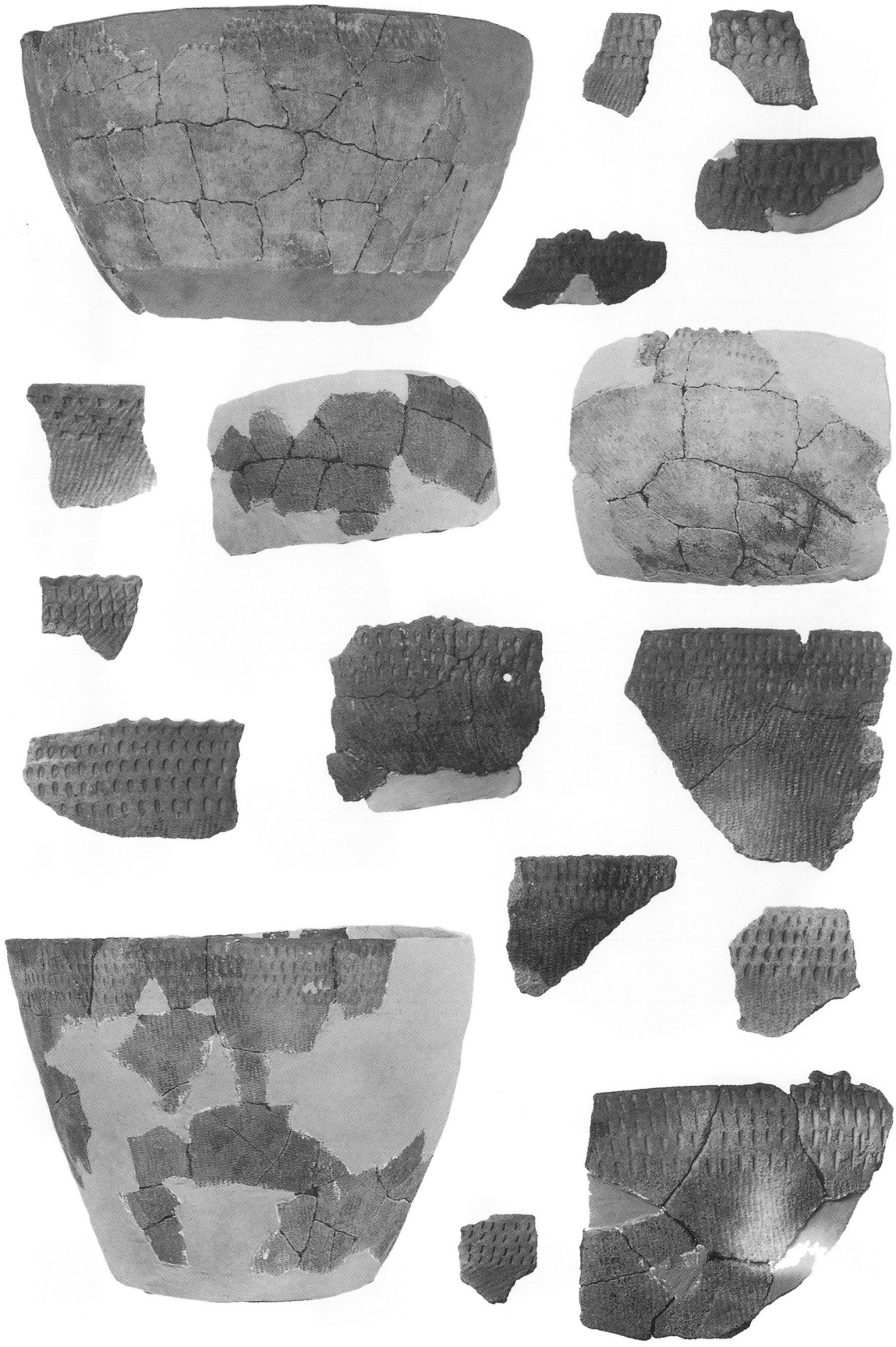


包含層出土土器（3）

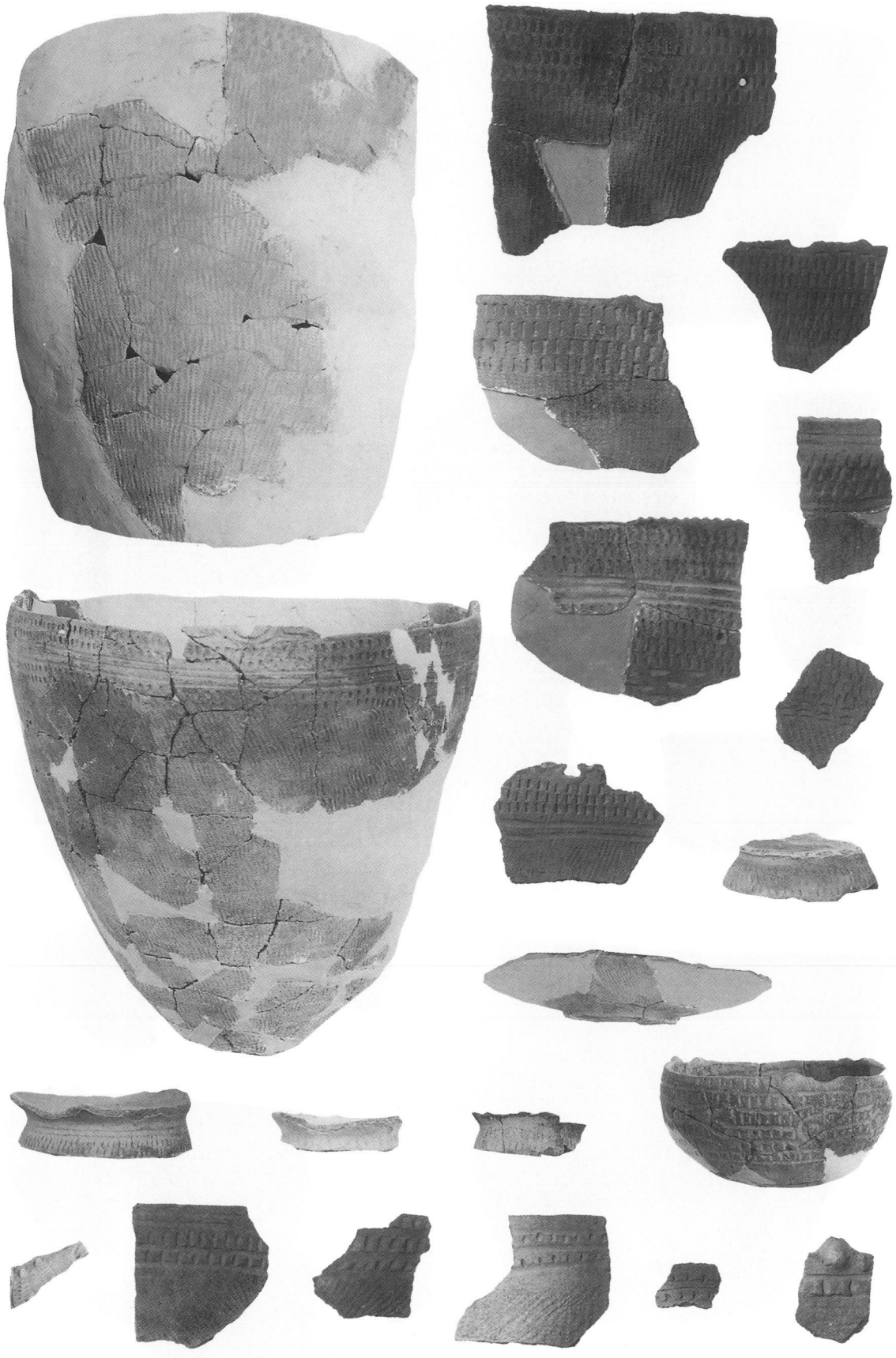


包含層出土土器（4）

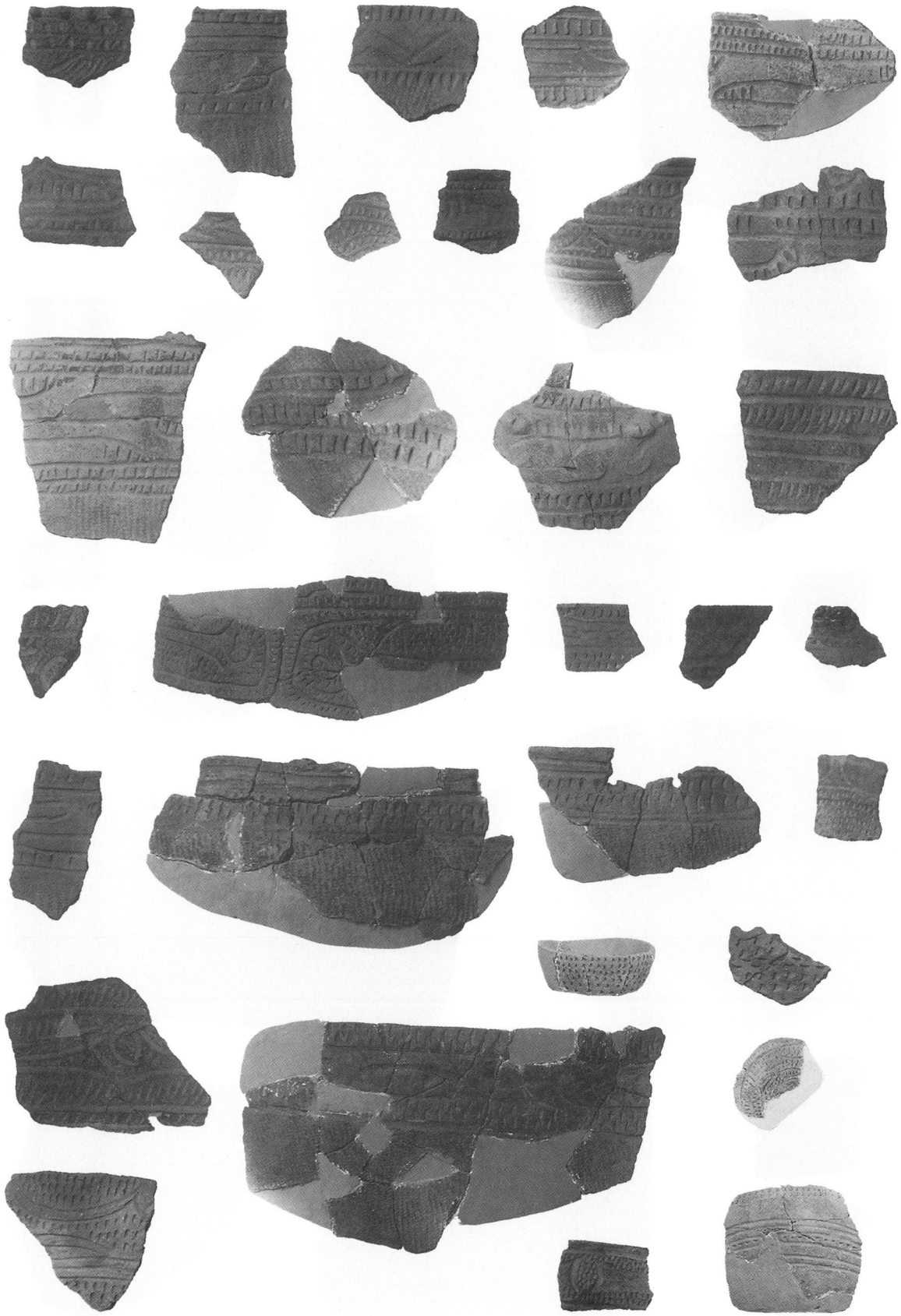
図版15



包含層出土土器（5）

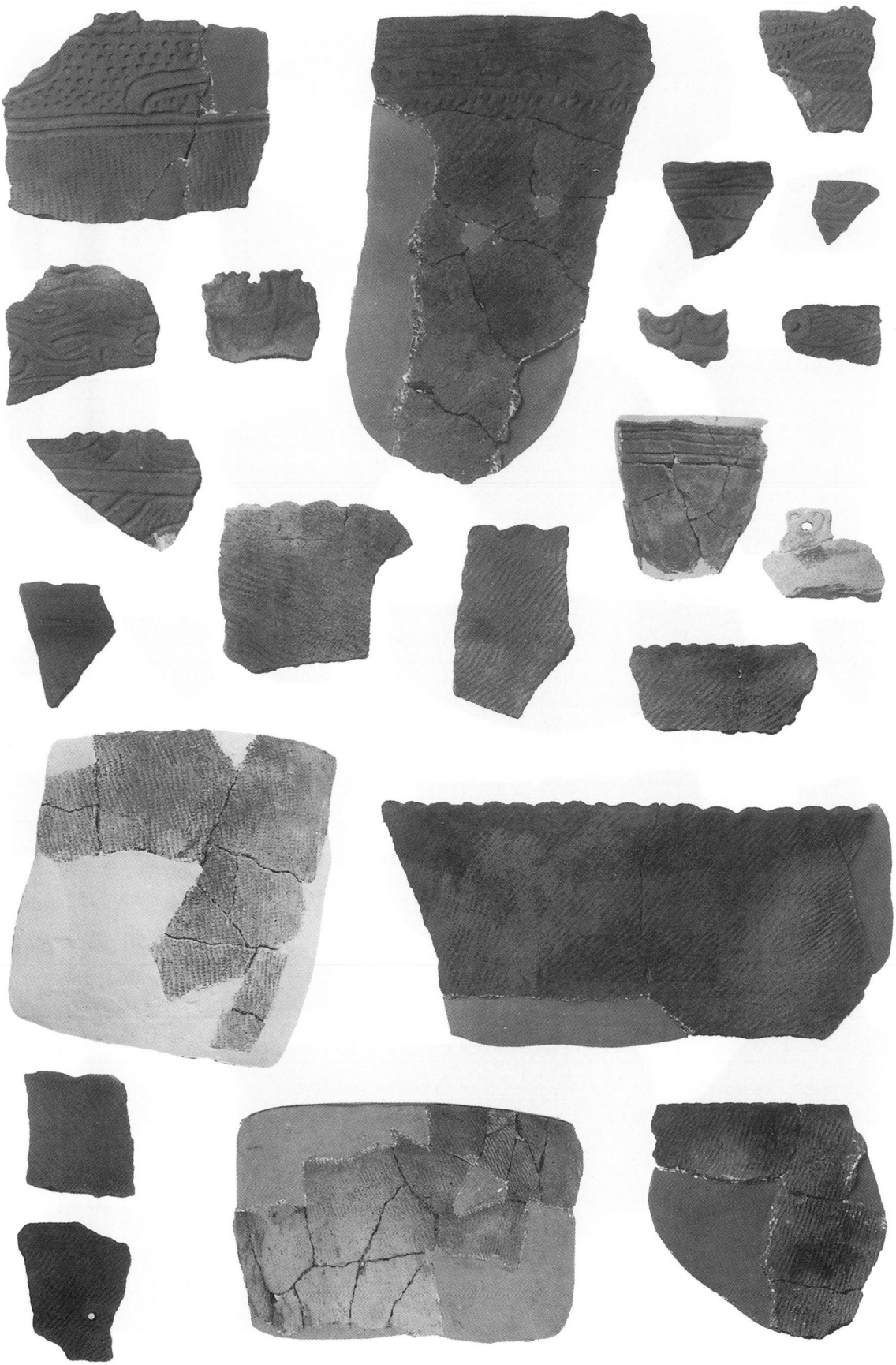


包含層出土土器（6）



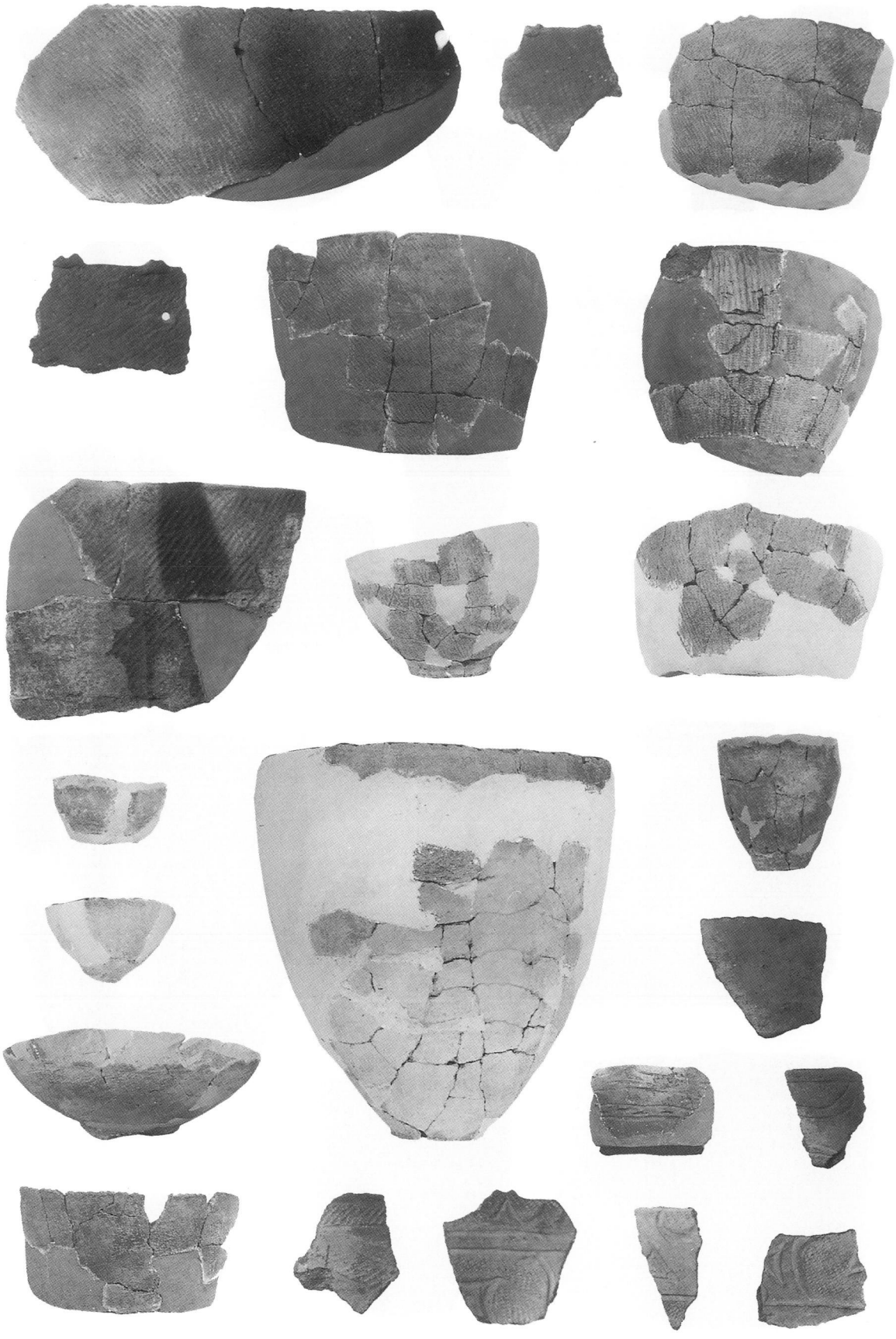
包含層出土土器（7）

図版18



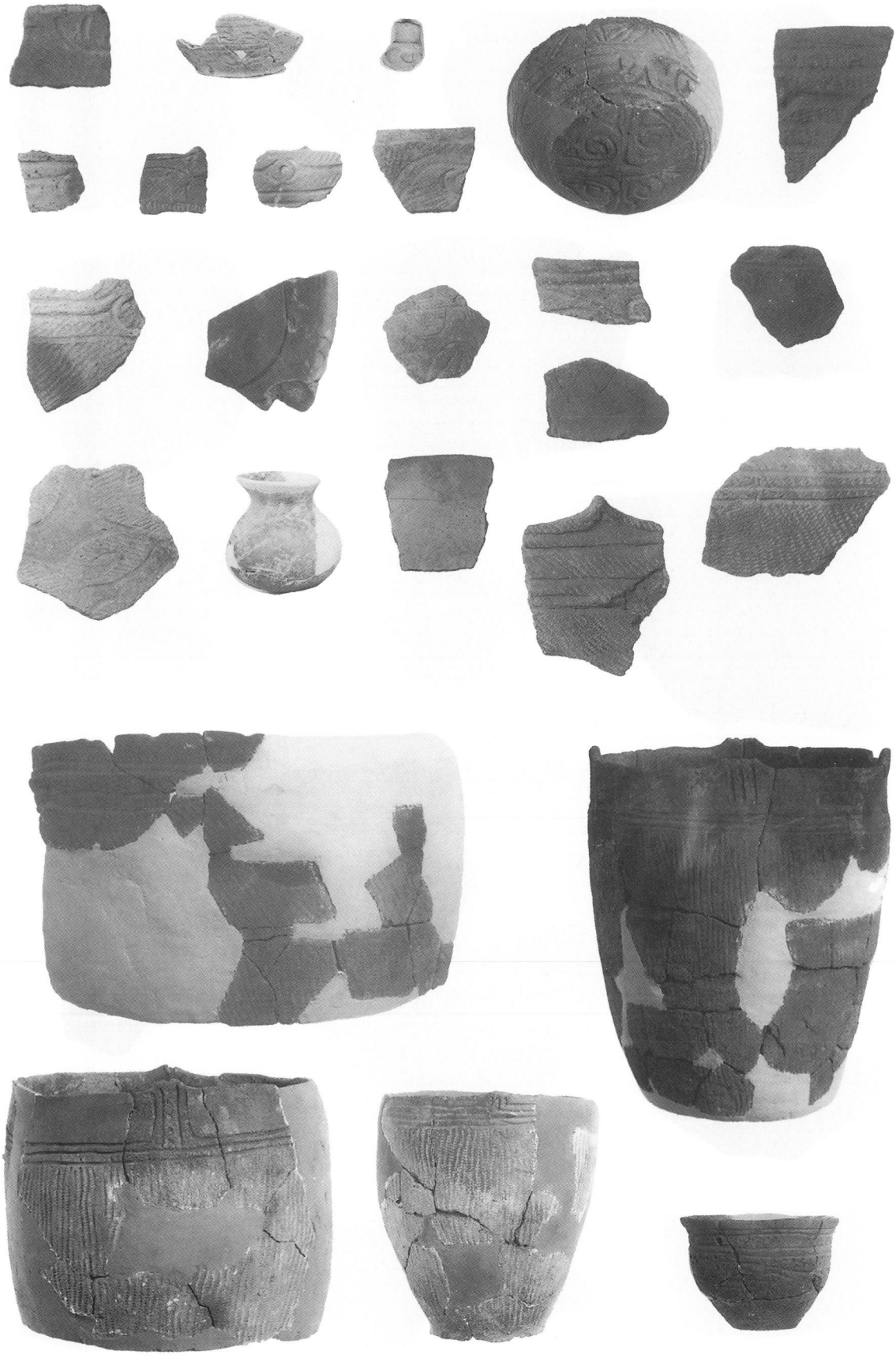
包含層出土土器（8）

図版19



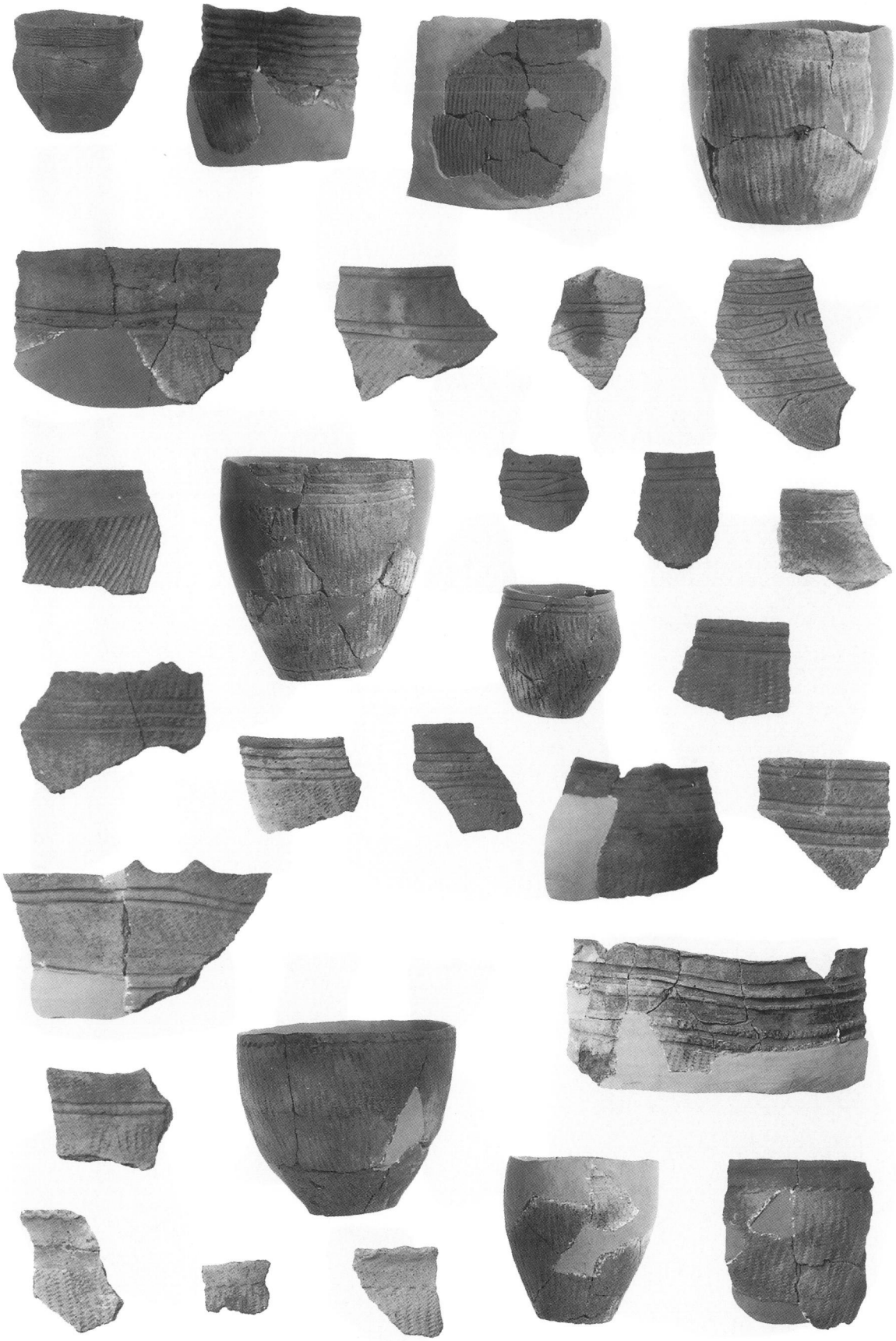
包含層出土土器（9）

図版20

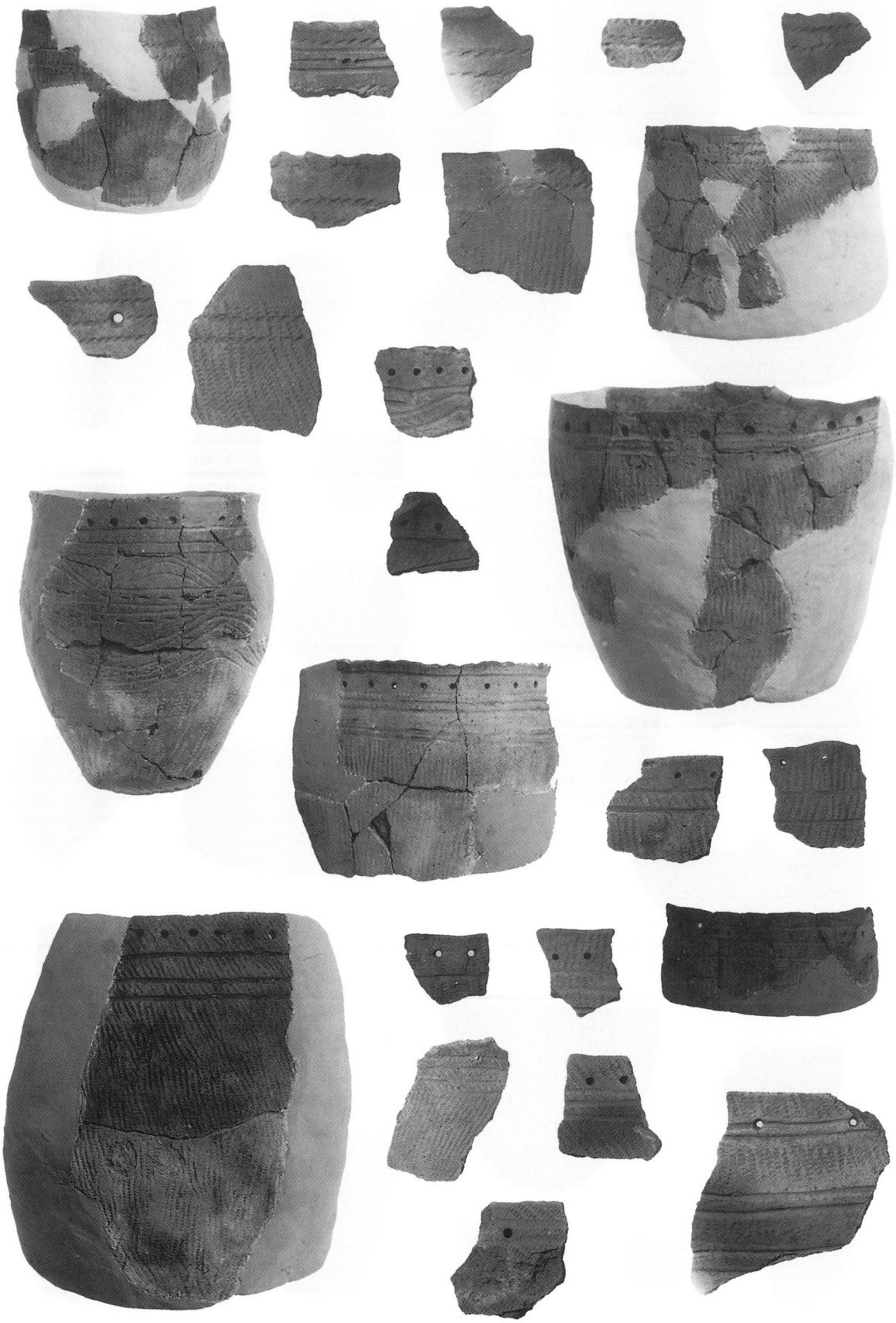


包含層出土土器（10）

図版21

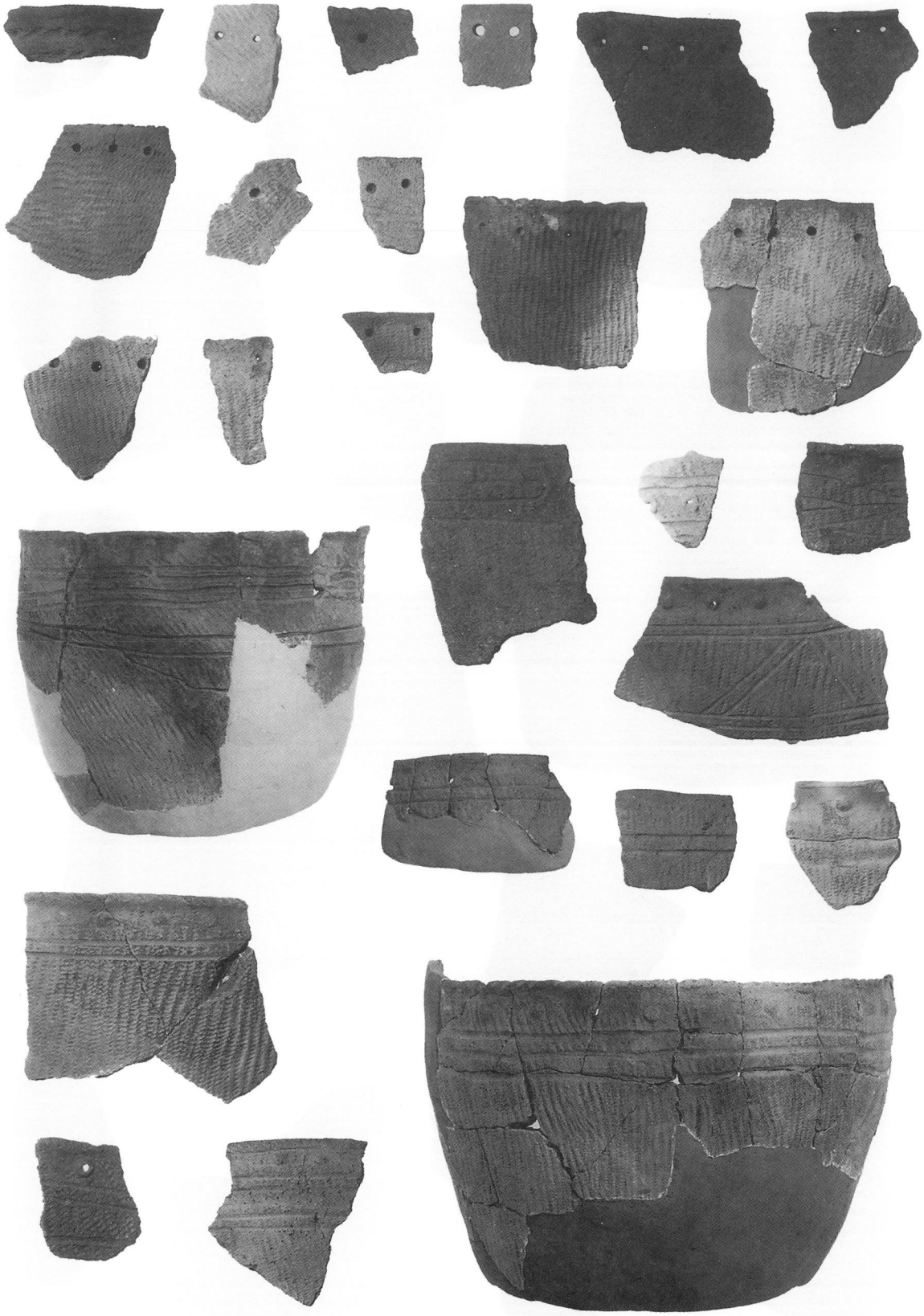


包含層出土土器（11）



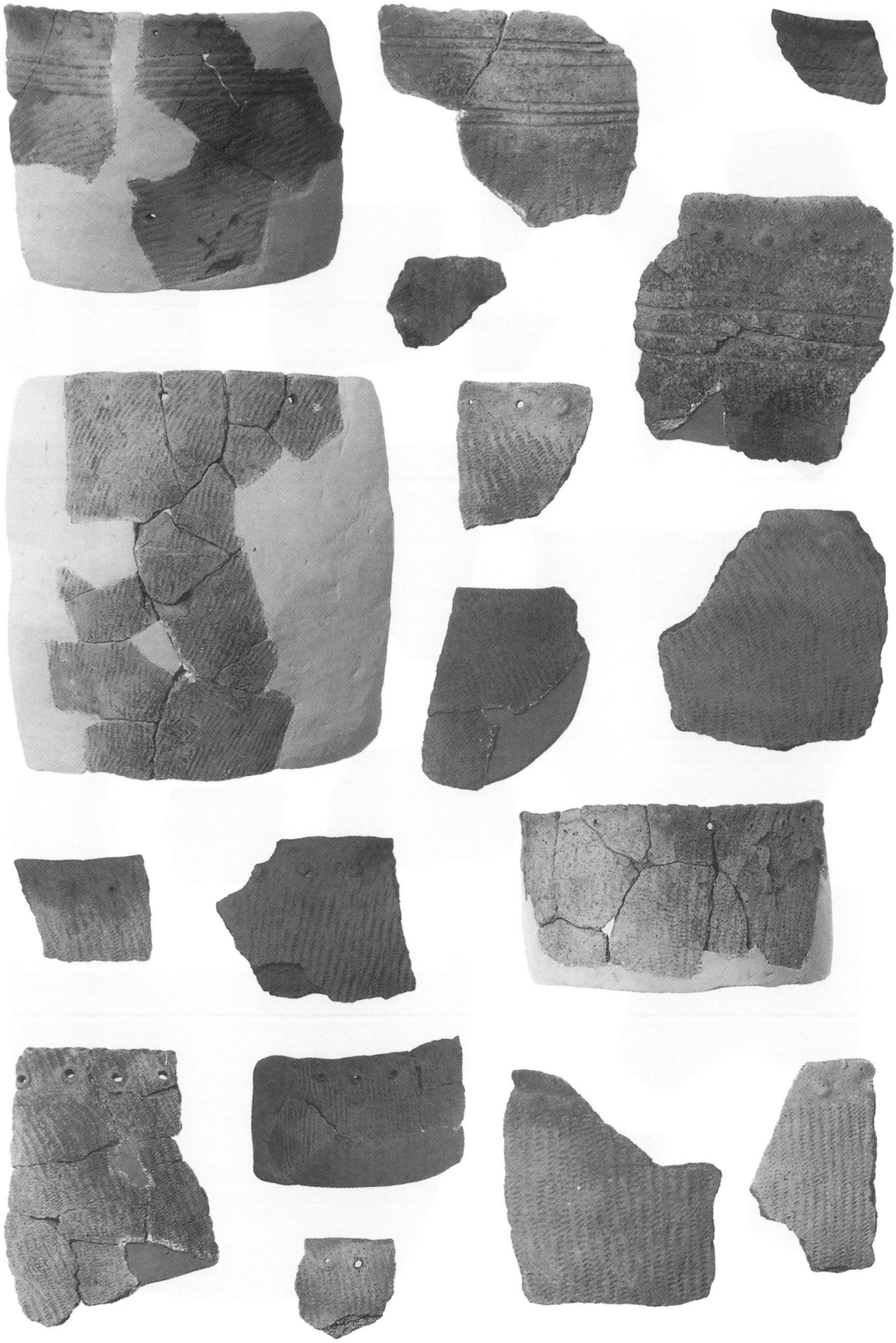
包含層出土土器（12）

図版23



包含層出土土器（13）

図版24

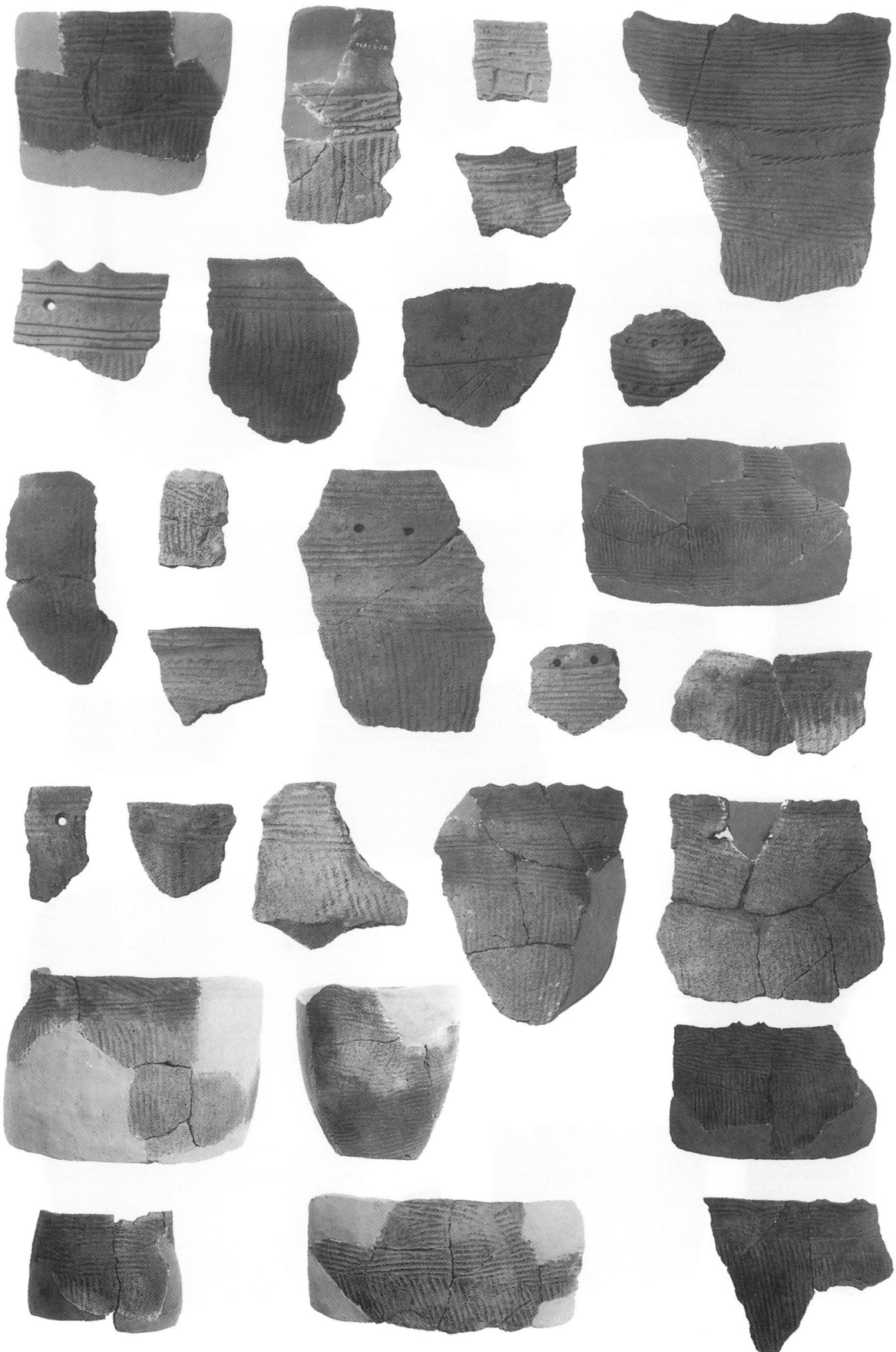


包含層出土土器（14）

図版25

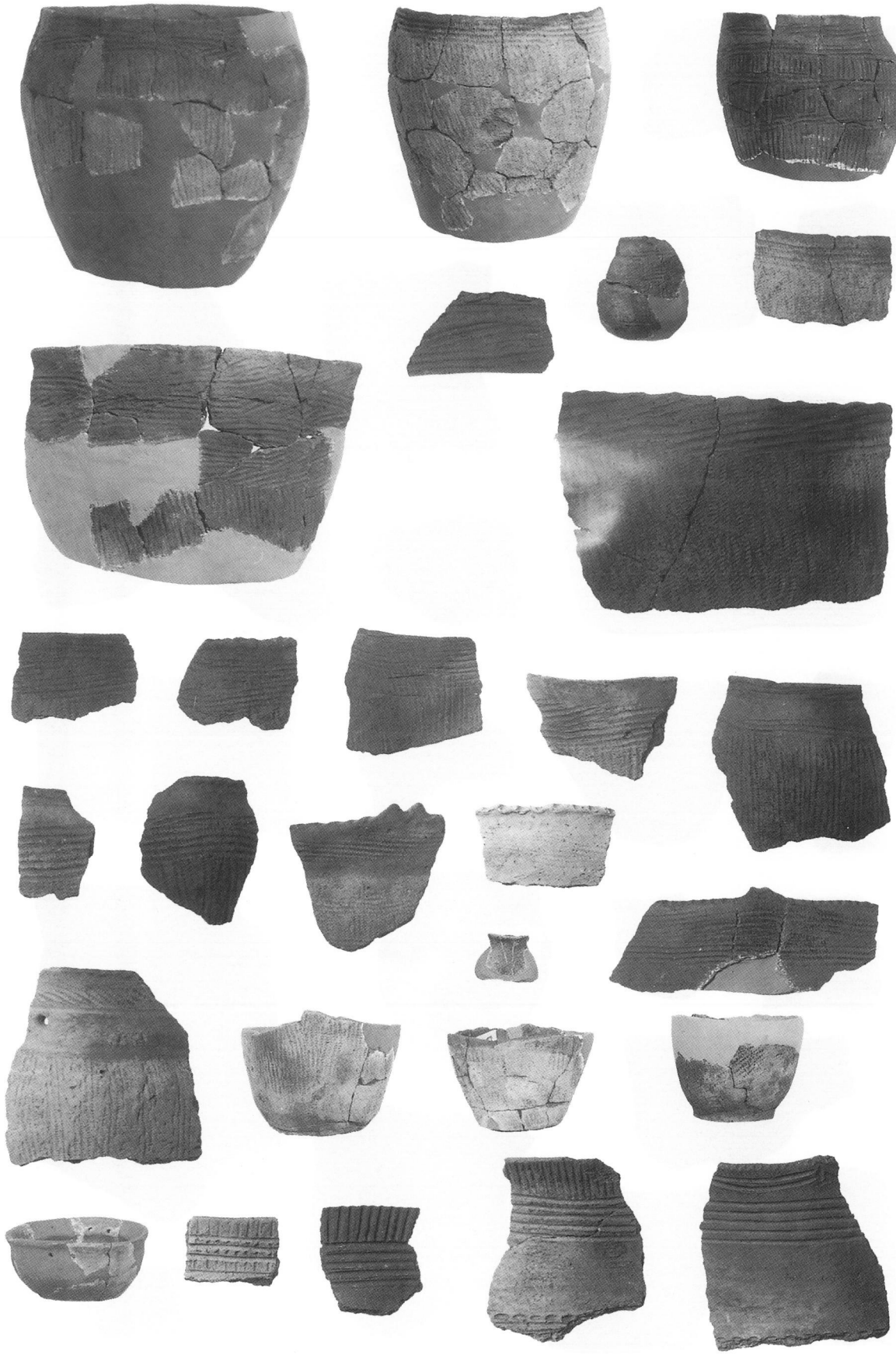
包含層出土土器（15）

図版26



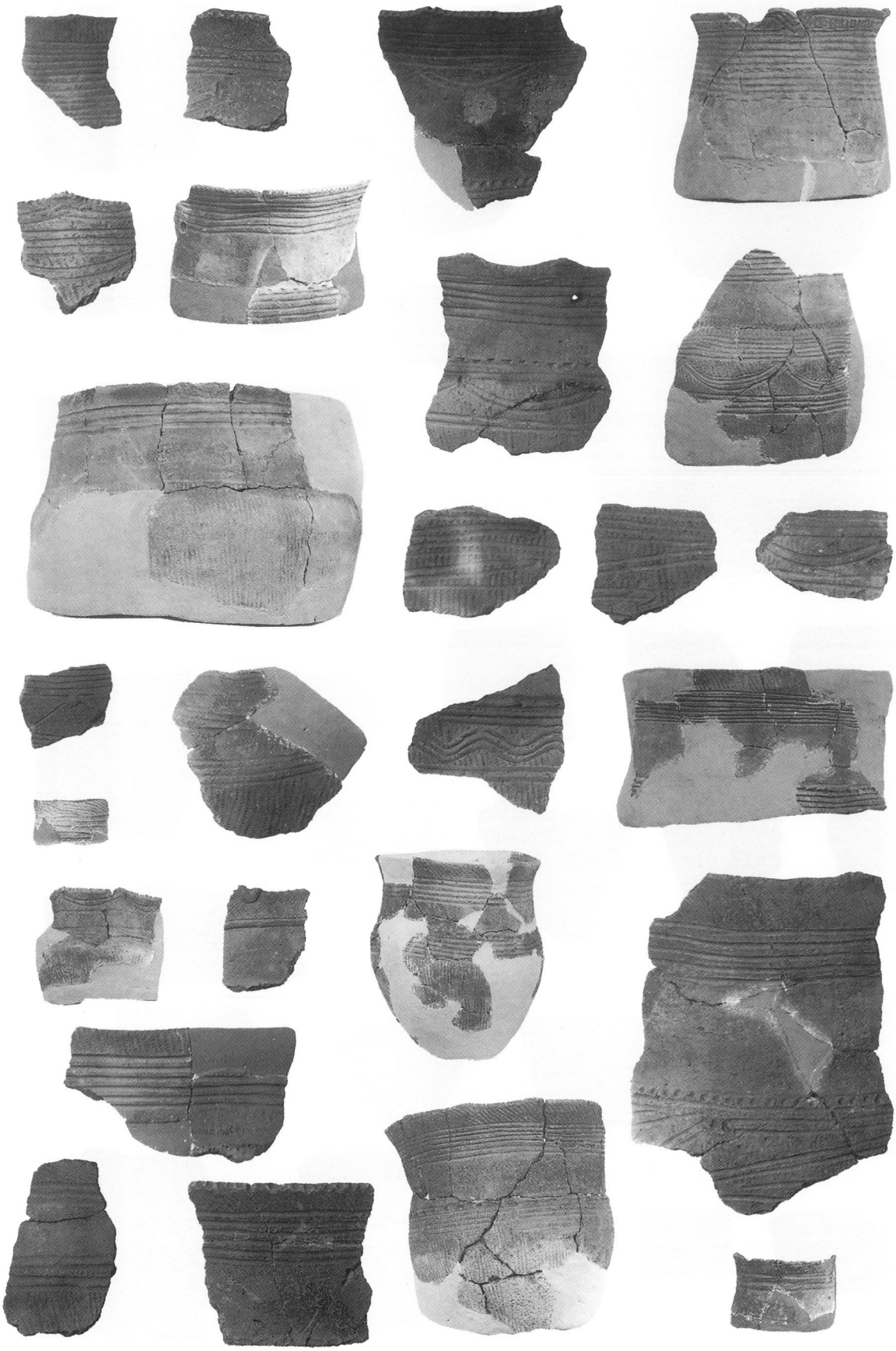
包含層出土土器（16）

図版27



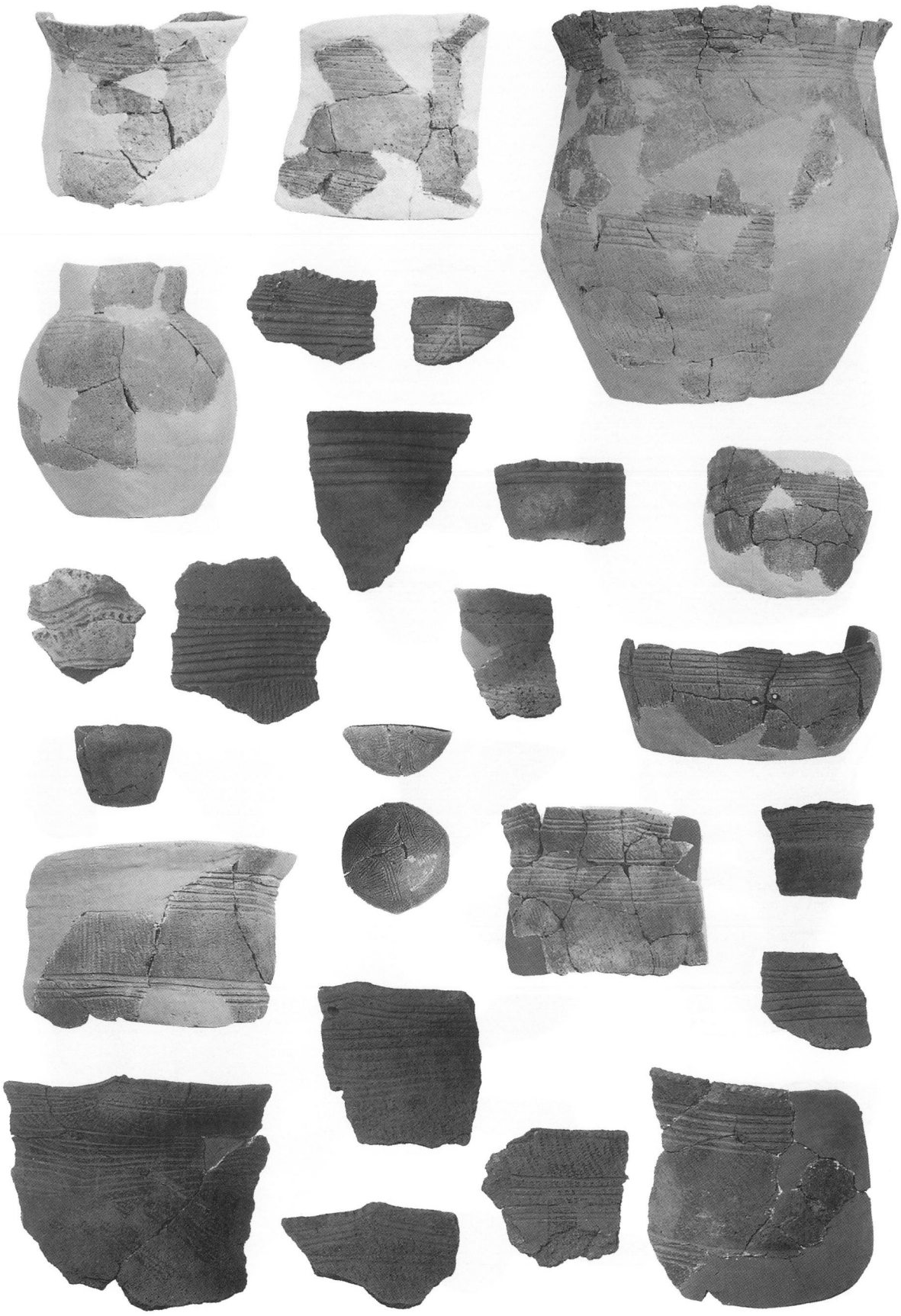
包含層出土土器（17）

図版28



包含層出土土器（18）

図版29

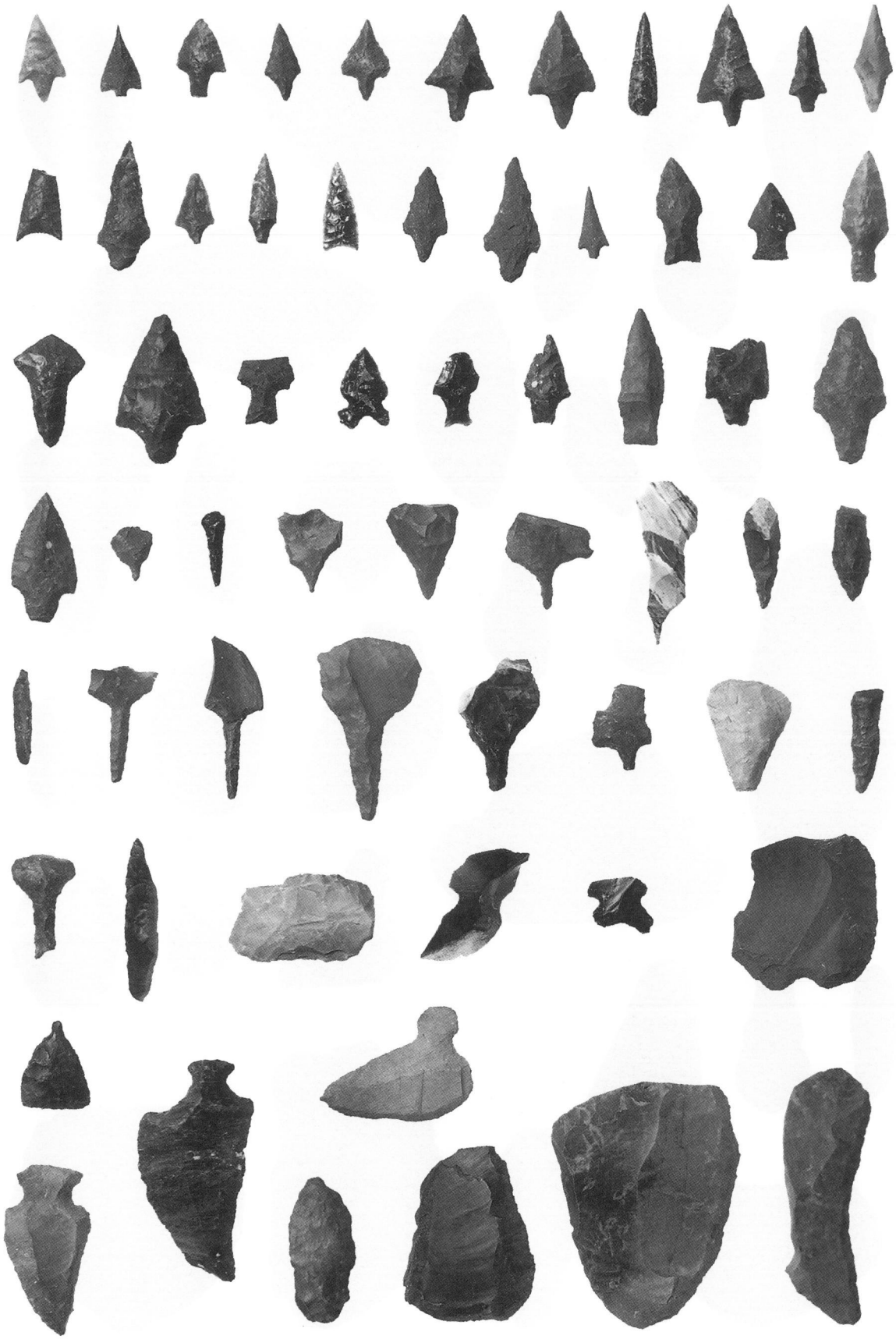


包含層出土土器（19）

図版30

包含層出土土器（20）

図版31



包含層出土石器（1）

包含層出土石器（2）

図版33

包含層出土石器（3）

図版34

包含層出土石器（4）

図版35

包含層出土石器（5）

青苗B遺跡

～萬徳寺再建に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書～

1999年3月発行

発行　奥尻町教育委員会
北海道奥尻郡奥尻町字奥尻317番地地先
☎ 01397（2）3890

印刷　㈱長門出版社　印刷部
北海道函館市日乃出町11番13号
☎ 0138（52）2461